

ELMO

# 取扱説明書

液晶プロジェクター

型名 **EDP-XG50**



このたびは弊社の液晶プロジェクターをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

## はじめに

ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくご使用ください。お読みになった後は大切に保管してください。

本書の裏表紙には保証書が印刷されています。はじめに内容をご確認のうえ、大切に保管してください。

基本編

応用編

メニュー編



# 取扱説明書

## 液晶プロジェクター

型名 **EDP-XG50**

### 【基本編】

本書は【基本編】【応用編】【MIU編】の3編に分かれています。  
操作の詳細とその他の技術情報については【応用編】、MIU機能については【MIU編】をご覧ください。

#### はじめに

ご使用の前に、必ず本書の【基本編】、【応用編】、【MIU編】を全てよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。

### もくじ

はじめに	1 - 2	ズーム（表示倍率）、フォーカス（焦点）を調節する	1 - 26
本機の特長	1 - 2	音量を調節する	1 - 27
本書について	1 - 2	音声を消す	1 - 27
正しくお使いいただくために	1 - 2	<b>画面を調節する</b>	<b>1 - 28</b>
絵表示について	1 - 2	入力信号を選ぶ	1 - 28
使用上のご注意	1 - 3	画面の自動調整機能を使う	1 - 29
付属品の確認	1 - 11	アスペクト（画面の縦横比）を選ぶ	1 - 29
レンズカバーを取り付ける	1 - 11	画面の位置を調節する	1 - 30
各部の名称	1 - 12	キーストン（台形歪み）を調節する	1 - 30
プロジェクター（本機）	1 - 12	画面を拡大する	1 - 31
操作パネル	1 - 13	映像を静止させる	1 - 31
接続パネル	1 - 13	映像を一時的に消す	1 - 31
リモコン	1 - 14	<b>点検とお手入れ</b>	<b>1 - 32</b>
<b>準備</b>	<b>1 - 15</b>	ランプを交換する	1 - 32
配置する	1 - 15	ランプについてのご注意	1 - 32
他の機器と接続する	1 - 17	ランプの交換方法	1 - 33
SDカード、USBメモリを装着する／取り外す	1 - 19	エアフィルターを掃除／交換する	1 - 34
スロットカバーロックを取り付ける	1 - 20	内蔵時計用電池の交換	1 - 35
セキュリティ・スロット／バーを使う	1 - 20	その他のお手入れ	1 - 36
電源に接続する	1 - 21	内部の点検とお手入れ	1 - 36
リモコンを準備する	1 - 22	レンズのお手入れ	1 - 36
電池を入れる	1 - 22	キャビネットやリモコンのお手入れ	1 - 36
レーザーポインタについて	1 - 22	<b>仕様</b>	<b>1 - 37</b>
リモコン信号について	1 - 23	一般仕様	1 - 37
リモコン信号の周波数を切り替える	1 - 23	外形寸法	1 - 37
有線リモコンとして使用する	1 - 23	<b>応用編</b>	<b>2 - 1</b>
簡易マウス／キーボードとして使う	1 - 24	<b>MIU編</b>	<b>3 - 1</b>
<b>投写</b>	<b>1 - 25</b>	<b>保証とアフターサービスについて</b>	
電源を入れる	1 - 25	（必ずお読みください。）	
電源を切る	1 - 25		
傾きを調節する	1 - 26		
画面位置を調整する	1 - 26		

# はじめに

## 本機の特長

本機は、スクリーンまでの距離が短くても、様々な映像を大画面に、かつ低騒音で映し出すことができます。また、本機は豊富な入出力端子を揃えており、幅広い用途にご使用いただけます。さらに、本機のMIU(Multi Information processong Unit)は、より快適なプレゼンテーション環境をご提供いたします。

## 本書について

以下をご参考に本書をご活用ください。

- ① 見出し：奇数ページの右端に記載されています。
- ② ：このマークのあとに、ご参照いただきたい記事のページや場所を記載しています。
- ③ **お知らせ**：本機や接続する機器などに関する参考情報を記載しています。

### お知らせ

- 本書の内容は、製品の仕様を含め、改良のため予告無く変更することがありますので、ご了承ください。
- 本書の運用結果については責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容の一部、あるいは全部を無断で複製、転載しないでください。

## 正しくお使いいただくために <必ずお読みください>

この製品をご使用になる前に、必ずこの「正しくお使いいただくために」をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。誤ったご使用や通常の範囲を超える取扱いによる危害や損害については、いかなる場合も弊社は責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

## 絵表示について

本書ではこの製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損傷を発生する可能性があります。

 「注意」を示します。 この記号の後に続けて「気をつけなければならない」ことを記載しています。	 「破裂注意」  「感電注意」  「高温注意」
 「禁止」を示します。 この記号の後に続けて「してはいけない」ことを記載しています。	 「分解禁止」  「水濡れ禁止」  「ぬれ手禁止」
 「強制」を示します。 この記号の後に続けて「必ず行わなければならない」ことを記載しています。	 「電源プラグをコンセントから抜け」  「アース線を必ず接続せよ」

## 警告

### 異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜く

そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

次のような場合はすぐに使用を中止し、電源プラグを抜いて販売店にご相談ください。



電源プラグを  
コンセント  
から抜け

▶ 煙が出ている、へんな臭いがする、へんな音がする。

▶ 内部に異物や液体（金属や水）が入った。

▶ 落としたり、強い衝撃をあたえた。

▶ 本機や接続している電源コードやケーブル類に損傷がある。

電源プラグはすぐに抜くことができるように設置してください。

お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

### 子供やペットに注意する



誤った取扱いは、火災、感電、けが、やけど、視力障害などの原因となります。

お子様やペットのいる場所でのご使用や保管には十分ご注意ください。

### 異物や液体を入れない

火災や感電の原因となります。

万一、異物や液体が入ってしまったら、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。



電源プラグを  
コンセント  
から抜け

▶ 花瓶、コップ、化粧品、薬品などの液体の入ったものや、ぬれた雑きんなどを、本機の上や近くに置かないでください。

▶ クリップやピンなどの金属の小物や、紙片などの燃え易いものを本機の上や近くに置かないでください。

▶ 付属品、信号ケーブル、信号アダプタ以外のものを、本機と一緒に箱やケースに入れないでください。

### 分解しない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因となります。

▶ 本機のキャビネットや付属品のケースは、本書に記載のある場合を除き、開けないでください。

▶ 本機や付属品を加工しないでください。

▶ 内部の点検、調整、修理、お手入れは販売店にご依頼ください。

▶ ランプ、ランプカバー、エアフィルター、フィルターカバーなどの部品を外した状態で使用しないでください。



分解禁止

### 衝撃をあたえない

ぶついたり落としたりするとけがや破損、故障の原因となり、そのままご使用になると火災や感電の原因となります。

万一、衝撃をあたえてしまったら、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。



電源プラグを  
コンセント  
から抜け

▶ 移動するときは電源コードや信号ケーブルの接続を外し、レンズカバーを閉じてください。

▶ アジャスタ脚は本体を落とさないように持った状態で操作してください。

▶ 修理や引越などの輸送には、お買い上げの際に使用されていた梱包材をご使用ください。

## 使用上のご注意（つづき）

### 警告

#### 不安定な場所に置かない、不安定な置きかたをしない

本機を落としたり倒したりするとけがや破損、故障の原因となり、そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

- ▶ぐらついた台の上や傾いた場所、振動の多い場所など不安定な場所には置かないでください。
- ▶キャスター（車）付きの台に載せる場合は必ずキャスター（車）止めをしてください。
- ▶アジャスタ脚の調節以外は傾けて設置しないでください。（ 1-26）
- ▶前面、側面、背面を下にして置かないでください。
- ▶天吊りなどの特殊な設置は、必ず事前に販売店にご相談ください。
- ▶セキュリティ・スロット（盗難防止ロック用穴）やセキュリティ・バー（盗難防止チェーン／ワイヤー用バー）を落下防止用に使用しないでください。



#### 高温に注意する

本機の使用時、排気口や排気口から出る空気、ランプカバーは高温になり、やけどや火災の原因となります。

- ▶使用中や使用後しばらく、排気口に近づいたり、ランプカバーに触れたりしないでください。
- ▶排気口の近くにリモコンなどの物を置かないでください。
- ▶金属の台など、熱の伝わり易いものや燃え易いもの、熱に弱いものの上や近くで本機を使用しないでください。
- ▶使用後に本機を移動する場合は、本機を十分冷ましてから行ってください。



高温注意

#### ぬらさない

本機や電源コードなどがぬれると火災や感電の原因となります。

水を掛けたり、水や雨の掛かる場所に置いたりしないでください。

- ▶風呂場やシャワー室、台所などに置かないでください。
- ▶海や川、プールなどの水辺の近くや、屋外には置かないでください。
- ▶水槽や植木鉢の近くに置かないでください。



水ぬれ禁止

#### レンズをのぞかない

本機の使用時は、レンズから強い光が出ます。視覚障害などの原因となりますので、絶対にのぞかないでください。



#### 指定の電源電圧で使用する

指定の電圧以外でのご使用は、火災や感電の原因となります。

必ず、本体に表示されている指定電圧、交流 100V のコンセントに接続してご使用ください。



#### 電源コードや電源アダプタ、信号ケーブルやコネクタは所定のものを使用する

仕様の合わない電源コードや信号ケーブルを使用すると、火災や感電、故障や電波妨害の原因となります。

傷や破損がある場合は使用せず、販売店にご相談ください。本機に同梱されているものは必ず同梱品をご使用ください。同梱品以外の接続ケーブルやコネクタは、販売店にご相談のうえ適切なものをご使用ください。



## 使用上のご注意（つづき）

 **警告****電源コードや電源アダプタ、信号ケーブルやコネクタを傷つけない**

損傷のある電源コードや電源アダプタ、信号ケーブルなどを使用すると、火災や感電の原因となります。

傷や破損がある場合は使用せず、販売店にご相談ください。



- ▶本機など、重い物を載せないでください。
- ▶ヒータや本機の通風口の近くなど、高温になる場所に置かないでください。
- ▶コードやケーブル部分を持って引っ張らないでください。
- ▶投げたり、ひきずったりしないでください。
- ▶加工したり、無理に曲げたり、加熱したりしないでください。

**ぬれた手で電源を接続したり外したりしない**

感電の原因となります。

ぬれた手で電源コードや電源アダプタを取り扱わないでください。



ぬれ手禁止

**電源プラグは付着物をふき取ってから使用する**

本機の電源端子や電源コード、電源アダプタのプラグ（刃）部分やその周辺に、ほこりや金属類などが付着していると、火災や感電の原因となります。

必ず接続の前に、取り除いてください。

**電源プラグは根元まで確実に差し込む**

電源の接続が不完全の場合、感電の原因となったり、発熱して火災の原因となります。電源コードや電源アダプタを接続するときは、根元まで確実に差し込んでください。

▶ゆるみやがたつきのあるコンセントは使用しないでください。

**アース線を必ず接続する**

アース線を接地しないと、火災や感電、電波妨害の原因となります。

本書の「電源に接続する」（[1-21](#)）に従って、正しく接続してください。



アース線を必ず接続せよ

- ▶2つ穴コンセントを使用する場合は、付属の電源アダプタをご使用になり、必ずアース線を接続してください。
- ▶アース線を接続するときは、電源アダプタをコンセントに差し込む前に、アース線をアース端子に接続してください。
- ▶アース線を外すときは、先に電源アダプタをコンセントから抜いてから外してください。

**アース線をコンセントに差し込まない**

アース線をコンセントに差し込むと、火災や感電の原因となります。

アース線はアース端子以外には接続しないでください。

**お手入れするときは電源プラグを抜く**

電源プラグを接続したままでお手入れすると、火災や感電の原因となります。

お手入れするときは、電源を切り、電源プラグを抜いてください。

必ず本書の「点検とお手入れ」（[1-32 ~ 36](#)）をお読みにになり、正しくお手入れしてください。



電源プラグをコンセントから抜く

## 警告

### ランプの取扱いに注意する

本機は、寿命のあるガラス製の高圧水銀ランプを使用しています。ランプの取扱いを誤ると、やけどの原因となったり、破裂してけがなどの原因となります。

万一、破裂した場合（破裂音がします）は、**すぐに使用を中止し、電源プラグを抜いてください。**排気口などから出るガスを吸い込んだり、目や口に入らないように十分換気し、**販売店にご連絡ください。**内部にガラス片が散乱しているおそれがありますので、ランプカバーを開けないでください。

必ず本書の「ランプを交換する」（ 1-32, 33）、をお読みになり、指定のランプを正しくご使用ください。

▶使用中や使用後、ランプとその周辺は高温となり、火傷の原因となります。ランプの交換は、電源を切ってプラグを抜き、45分以上放置して冷ましてから行ってください

▶ランプに衝撃をあたえたり、傷つけたりしないように、丁寧に取り扱ってください。

▶廃棄するときは、廃棄を行う地域の規則（条例など）に従ってください。



破裂注意



高温注意

### 電池の取扱いに注意する

電池の取扱いを誤ると、破裂や発火、液漏れなどして、火災やけが、人体への傷害、周囲の汚染の原因となります。また電池は小さいので、お子様やペットが飲み込むおそれがあります。

万一、飲み込んだ場合は**すぐに医師にご相談ください。**

液漏れしたときは、**すぐに乾いた布などで漏れ液をふきとって、新しい電池を入れてください。**漏れ液が皮膚や衣服に着いた場合は、**すぐにきれいな水で洗い流してください。**目などに入った場合は、**すぐにきれいな水で洗い流し、医師にご相談ください。**

▶交換するときは、指定のタイプ（ 1-22, 1-35）の新しい（未使用の）電池を使用してください。種類や銘柄の異なる電池を一緒に使用したり、古い（使用した）電池と新しい電池を一緒に使用しないでください。傷のある電池は使用しないでください。

▶電池ケースの極性表示（ $\oplus$ 、 $\ominus$ ）に従って正しく入れてください。

▶リモコンを長時間使用しない場合は、リモコンから電池を取り出して保管してください。火や水に入れないでください。火気、高温、湿気を避け、暗く涼しく乾燥したところに保管してください。

▶子供やペットが届かないところに保管してください。

▶衝撃をあたえないでください。投げたり落としたりしないでください。

▶充電、短絡、分解、加工、はんだ付けなどしないでください。電池の電極部に金属を接触させないでください。ピンセットなどの金属製の物で持たないでください。

▶廃棄するときは、廃棄を行う地域の規則（条例など）に従ってください。



破裂注意

### レーザー光を目にあてない、スクリーン以外には向けない

レーザー光は目に当たると視覚障害の原因となるなど、有害となる可能性がありますので、スクリーンに向けて指し棒の代わりにご使用になる以外には用いないでください。

▶レーザー光を直接見たり、他の人やペットに向けたりしないでください。

▶お子様にはリモコンを使わせないでください。



## 注意

### 重い物を載せたりぶら下げたりしない



不安定になって落ちたり倒れたりするとけがや破損、故障の原因となったり、そのまま使用すると火災や感電の原因となることがあります。

- ▶本機の上に乗ったり、重い物を載せたりしないでください。
- ▶本書に指定のある場合や所定の別売品（販売店にお尋ねください）以外は、本機に取り付けたりぶら下げたりしないでください。

### 湿気、ほこりの多いところ、タバコの煙や油煙、湯気などの当たるところ、塩害のおそれのあるところに置かない



内部にほこりなどがたまると、火災や感電の原因となったり、故障や映像不良の原因となることがあります。

湿気やほこりの多いところには置かないでください。

- ▶海や川、プールなどの水辺の近くや、屋外には置かないでください。
- ▶調理台、加湿器、植木鉢の近くなど、湿気の多いところに置かないでください。
- ▶喫煙所や人通りの多い場所に置かないでください。

### 高温になるところに置かない



内部温度が上がり過ぎると、本機の電源が自動的に切れたり、火災や故障の原因となることがあります。また熱や温風を当てるとキャビネットなどが傷む原因となることがあります。

温度が高くなるところには置かないでください。

- ▶直射日光の当たるところ、ヒータやエアコンの噴出し口の近くなど、熱源の近くや温風が当たるところには置かないでください。
- ▶本機や付属品を電子レンジに入れしないでください。

### 吸気口、排気口をふさがない



通風が正常に行われないと内部温度が上がり過ぎて、本機の電源が自動的に切れたり、火災や故障の原因となることがあります。

- ▶風通しの良いところに、周辺の壁や物から 30cm 以上離して設置してください。
- ▶吸気口、排気口をふさいだり、近くに物を置いたりしないでください。
- ▶布団やカーペット上に置いたり、布などを被せたりしないでください。
- ▶布や紙などの吸い付く物を、吸気口の近くに置かないでください。

### エアフィルターを定期的にお手入れする



エアフィルターがほこりなどで詰まったり正しく取り付けられていなかったりすると、内部温度が上がり過ぎて、本機の電源が自動的に切れたり、やけどや火災、故障の原因となることがあります。

- ▶必ず本書の「エアフィルターを掃除 / 交換する」(1-34)をお読みにになり、指定のエアフィルターを正しくご使用ください。
- ▶エアフィルターは定期的にお手入れしてください。
- ▶エアフィルターやフィルターカバーを外した状態では使用しないでください。

## 使用上のご注意（つづき）

### 注意

#### 磁気を発生するものを近づけない



本機に磁気を近づけたり、磁気を発生するものの近くに置いたりすると、冷却ファンが止まったり回転速度に異常を生じることがあります。内部温度が上がり過ぎると、本機の電源が自動的に切れたり、火災や故障の原因となることがあります。

▶ 付属品、本書に示される指定品を除き、磁気シールドが施されていない磁気製品（磁気による盗難防止装置など）を本機に使用したり近づけたりしないでください。

#### 使用しないときは電源プラグを抜く



電源プラグを  
コンセント  
から抜け

本機の電源を完全に切るためには電源プラグをコンセントから抜いてください。

長時間ご使用にならない場合は、電源を切り、電源プラグを抜いてください。電源プラグを接続したまま放置すると、火災などの原因となることがあります。

電源プラグはすぐに抜くことができるように設置してください。

#### 年に一度は内部のお手入れを販売店に依頼する



内部にほこりなどがたまると、火災や感電の原因となったり、故障や映像不良の原因となることがあります。

年に一度は、内部の点検と掃除を販売店にご依頼ください。

▶ お客様による内部のお手入れは危険ですので絶対におやめください。

▶ 内部のお手入れは、湿気の多くなる梅雨期の前が効果的です。

#### 雷が鳴り出したら本体、接続ケーブル、電源プラグなどに触れない



接触禁止

感電の原因となります。

## お守りください

### リモコンに衝撃をあたえないでください

破損や故障の原因となることがあります。

- ▶ リモコンを投げたり落としたりしないでください。
- ▶ 上に乗ったり重い物を載せたりしないでください。

### リモコンをぬらさないでください

故障したり、電池が液漏れする原因となることがあります。

- ▶ 水を掛けたり、ぬらしたり、ぬれるところに置いたりしないでください。

### リモコンと本機の受光部の間に物を置かないでください

リモコン送信の障害となって、リモコンが利かなくなることがあります。

### レンズを傷つけないでください

破損や故障の原因となったり、映像不良の原因となることがあります。

- ▶ 使用しないときはレンズカバーを閉じてください。
- ▶ レンズに硬いものを当てたり、こすったりしないでください。お手入れは市販のレンズクリーニングペーパー（カメラや眼鏡の清掃用）をご使用ください。
- ▶ 取付けレンズなどは、所定のもの（販売店にお尋ねください）以外取り付けしないでください。

### レンズに直接手を触れないでください

レンズがくもったり、汚れたりすると、映像不良の原因となることがあります。

### 光源や直射日光などの強い光を避けて設置してください

リモコン受光部に強い光が当たると、リモコンが正常に働かないことがあります。

### 電波を発生するものを避けてください

本機の近くで電波を発生する装置を使用すると、映像が乱れる原因となることがあります。携帯電話やトランシーバなどは本機から離れて使用ください。

### 本機使用中に電源プラグ、電源コードを抜かないでください

正しい手順をふまずに電源プラグを抜いたりすると、故障の原因となることがあります。また、冷却が正常に行われないと投写ランプがつきにくくなる場合があります。電源は決められた手順（[1-25](#)）で切ってください。

- ▶ 停電やシャットダウンスイッチ、電源スイッチ、ブレーカー、テーブルタップのスイッチなどを使用して、冷却完了前に電源を切った（切れた）場合は、電源プラグを抜き、放置して十分冷まして下さい。

**電源を入れるときは他の機器より先に、切るときは他の機器より後に行ってください**  
接続している他の機器（パソコンやビデオなど）のトラブルを防ぐため、特に指定のない場合、本機の電源プラグおよび電源の操作は、他の機器の電源が切れている状態で行ってください。

### キャビネット（本機外装）やリモコンの取扱い、お手入れについて

取扱いやお手入れの方法を誤ると、表面が変質したり塗装がはがれることがあります。お手入れは正しい方法（[1-36](#)）で行ってください。

- ▶ ゴムやビニール製品を長時間接触させたままにしないでください。
- ▶ ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品や、溶剤、研磨剤などは使用しないでください。
- ▶ スプレーは使用しないでください。ガスや霧が本機の内部に入って、故障などの原因となることがあります。
- ▶ 化学雑きんなどのご使用については、その注意書に従ってください。

### 長時間見るときは、ときどき目を休めてください

長時間連続して画面を見ると目が疲れます。ときどき画面から離れて目を休めてください。

### 梱包材は大切に保管してください

修理や引越しなどの輸送には、お買い上げの際に使用されていた梱包材をご使用になり、正しく梱包してください。特にレンズ周りの梱包にはご注意ください。

### お知らせ

#### ●寿命部品について

光学部品（ランプ、液晶パネル、偏光板、PBS（Polarized Beam Splitter）、コントラストアップフィルム）および冷却ファンは寿命部品です。長時間お使いになると修理交換が必要になります。

▶本機は長時間連続使用を想定して設計されたものではありません。毎日6時間以上ご使用になる場合は、1年未満でも寿命部品の交換が必要になることがあります。また6時間以上連続してご使用になったり、短時間でも繰り返しご使用になったりすると、寿命部品の交換サイクルは早くなります。

▶本機を傾けて使用すると、部品の寿命を縮めることがあります。アジャスタ脚の調節範囲以外は傾けて使用しないでください。

▶電源を頻繁に入れたり切ったりすると、部品の寿命を縮めることがあります。

#### ●映像特性について

本機は液晶パネルを使用した投写装置です。投写面（スクリーンや壁面など）の特性により、映像の色あいやコントラストが、テレビやパソコンのモニターとは異なることがあります。故障ではありません。偏光スクリーンでは画面が赤味を帯びて見える場合があります。ご使用にならないでください。

#### ●液晶パネルの焼きつきについて

本機は液晶パネルを使用した投写装置です。静止画像や動きの少ない映像、液晶パネルの仕様（図1-37）と縦横比が異なる映像などを、長時間または繰り返し投映すると、液晶パネルが焼きついて、その映像が残像として残ることがありますが、液晶特有の現象であり、故障ではありません。

#### ●輝点、黒点について

本機は液晶パネルを使用した投写装置です。画面上に輝点（光ったままの点）や黒点（光らない点）が見られることがあります。液晶特有の現象であり、故障ではありません。

#### ●結露にご注意ください

本機を、低温の室外から高温の室内に持ち込んだ場合など、本機の内部の投写レンズやミラーに結露が生じ、映像がぼやけたり、見えなくなったりすることがありますが、故障ではありません。

本機が周囲の温度に慣れるに従って露が消え、映像は正常にもどります。

#### ●冷却ファンの騒音について

本機は、使用環境に合わせて冷却ファンの回転速度を制御する機能を備えています。周囲の温度が高いと冷却ファンの回転速度も速くなり、騒音も大きくなります。

#### ●ノートパソコンとの接続について

ノートパソコンと接続する場合は、ノートパソコンのRGB外部映像出力を有効（LCDとCRTの同時表示またはCRTの設定）にしてご使用ください。詳しくはご使用になるノートパソコンの説明書をご覧ください。

#### ●音声機能について

音量は、周囲に十分配慮して、適度な音量でお楽しみください。特に夜間は小さな音でも通りやすいので、窓を閉めたり音量を下げたりして、生活環境を守りましょう。

#### ●セキュリティ・スロット／バーについて

本機のセキュリティ・スロットおよびセキュリティ・バーは盗難を完全に防ぐものではありません。盗難防止対策のひとつとしてご使用ください。

#### ●この製品（付属品を含む）は日本国内でのみ、ご使用になれます。

日本国外ではご使用にならないでください。また、この製品の保証書は日本国内でのみ、有効です。

This product (including the accessories) is designed for use in Japan only, and cannot be used in any other countries. The warranty appended to this product is void out of Japan.

#### ●電源高調波について

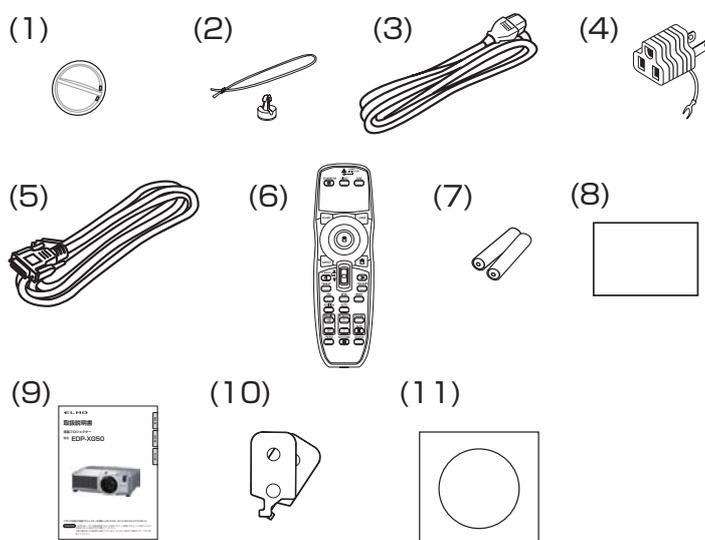
高周波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性 - 第3-2部：限度値 - 高調波電流発生限度値（1相当りの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

## 付属品の確認

初めに付属品をご確認ください。この製品にはプロジェクター本体（本機）の他に、以下のものが含まれています。万一不足しているものがあれば、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。

- (1) レンズカバー
- (2) ひも、留め具（レンズカバー取付け用）
- (3) 電源コード
- (4) 電源アダプタ
- (5) RGB信号ケーブル
- (6) リモコン
- (7) 単3型乾電池×2個（リモコン用）
- (8) セキュリティラベル
- (9) 取扱説明書・保証書（本書）
- (10) スロットカバーロック
- (11) CD-ROM  
“Wireless & Network Software”



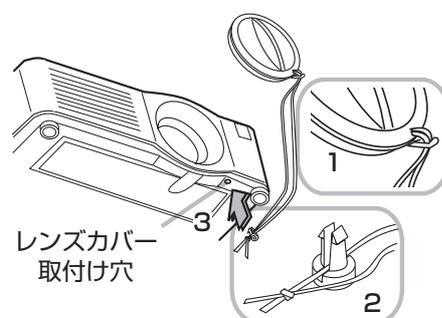
### お知らせ

- 本機を無線LANでネットワークに接続するためには、オプションのワイヤレスネットワークカードをお買い求めください。（[P.1-37](#)）

## レンズカバーを取り付ける

紛失防止のため、レンズカバーは本体に取り付けてご使用ください。

1. ひもをレンズカバーに取り付ける。
2. ひもの1本を、留め具の溝にはさみ込む。
3. 本体底面のレンズカバー取付け穴に、留め具を押し込んで留める。



### 警告



- 不安定な場所に置かない、不安定な置きかたをしない
- 電源コードや信号ケーブルを傷つけない  
本機など、重い物を載せないでください。



- 電池の取扱いに注意する  
子供やペットが届くところに放置しないでください。

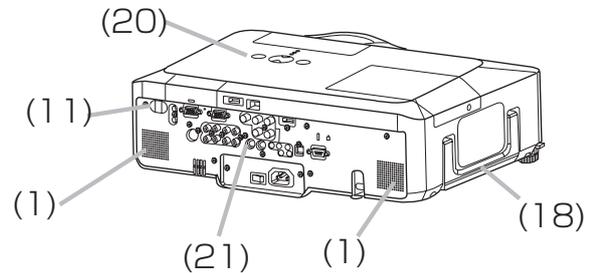
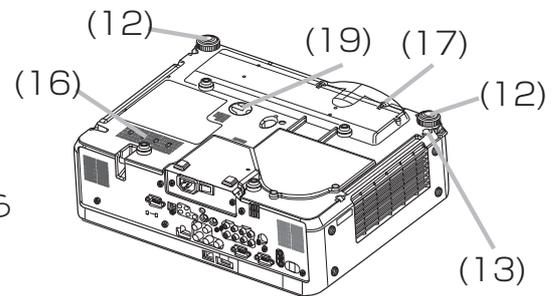
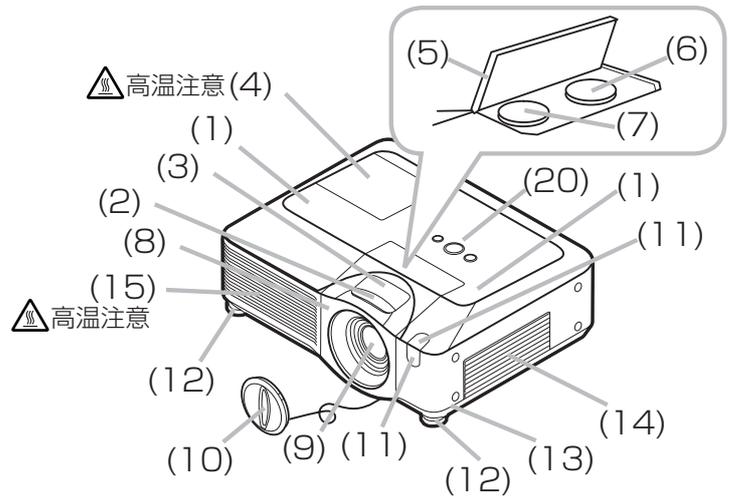
### お守りください

- 梱包材は大切に保管してください。修理や引越しなどの輸送には、お買い上げの際に使用されていた梱包材をご使用になり、正しく梱包してください。特にレンズ周りの梱包にはご注意ください。

# 各部の名称

## プロジェクター（本機）

- (1) スピーカー（×4箇所）（[1-27,2-15](#)）
- (2) フォーカスリング（[1-26](#)）
- (3) ズームリング（[1-26](#)）
- (4) ランプカバー（[1-33](#)）  
この内側がランプケースです。  
ランプが取り付けられています。
- (5) レンズシフトカバー（[1-26](#)）
- (6) 水平レンズシフトダイヤル（[1-26](#)）
- (7) 垂直レンズシフトダイヤル（[1-26](#)）
- (8) フロントカバー
- (9) レンズ（[1-36](#)）
- (10) レンズカバー（[1-11](#)）
- (11) リモコン受光部（×3箇所）（[1-23,2-26](#)）
- (12) アジャスタ脚（×2箇所）（[1-26](#)）
- (13) アジャスタつまみ（×2箇所）（[1-26](#)）
- (14) フィルターユニット（フィルターカバー）（[1-34](#)）  
フィルターユニットは、奥にある本機の主要吸気口に取り付けられています。  
フィルターカバーとフィルターフレームが組み合わされ、間にエアフィルターを挟み込んでいます。
- (15) 排気口
- (16) 吸気口
- (17) レンズカバー取付け穴（[1-11](#)）
- (18) 取っ手
- (19) 時計用電池カバー（[1-35](#)）
- (20) 操作パネル（[1-13](#)）
- (21) 接続パネル（[1-13,17,19](#)）



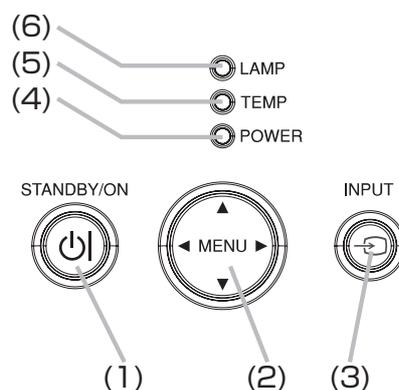
## 警告



- **衝撃をあたえない**  
アジャスタ脚は本体を落とさないように持った状態で操作してください。
- **高温に注意する**  
使用中や使用後しばらく、排気口に近づいたり、ランプカバーに触れたりしないでください。
- **レンズをのぞかない**  
本機の使用中は、レンズから強い光が出ます。視覚障害などの原因となりますので、絶対にのぞかないでください。

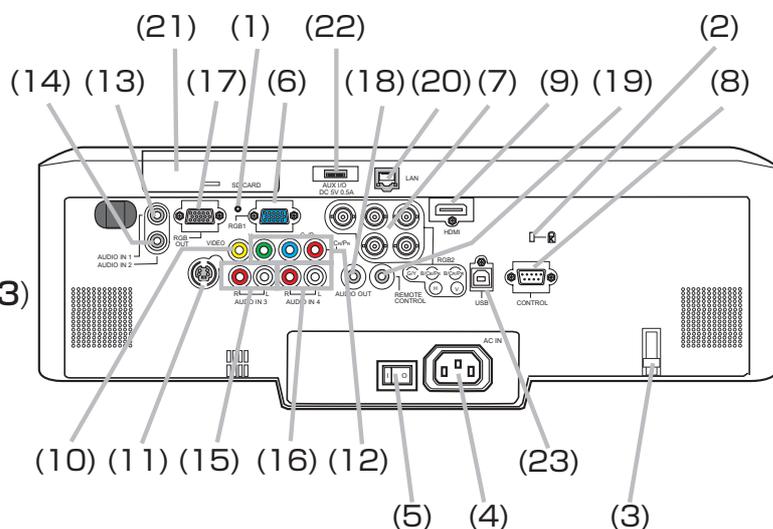
## 操作パネル

- (1) STANDBY/ON ボタン ( 1-25)
- (2) MENU ボタン ( 2-2)  
メニュー操作等で、各々 ▲ (上) / ▼ (下) / ◀ (左) / ▶ (右) のカーソルボタンとして機能します。
- (3) INPUT ボタン ( 1-28)
- (4) POWER インジケータ ( 1-25, 2-45, 46)
- (5) TEMP インジケータ ( 2-45, 46)
- (6) LAMP インジケータ ( 2-45, 46)



## 接続パネル

- (1) シャットダウンスイッチ ( 2-46)
- (2) セキュリティ・スロット (盗難防止ロック用穴) ( 1-20)
- (3) セキュリティ・バー (盗難防止ワイヤー/チェーン用バー) ( 1-20)
- (4) 電源端子 ( 1-21)
- (5) 電源スイッチ ( 1-25)
- (6) RGB1 端子 ( 1-17)
- (7) RGB2(G/Y,B/C<sub>B</sub>/P<sub>B</sub>,R/C<sub>R</sub>/P<sub>R</sub>,H,V) 端子 ( 1-17)
- (8) CONTROL 端子 ( 1-17)
- (9) HDMI 端子 ( 1-17)
- (10) VIDEO 端子 ( 1-17)
- (11) S-VIDEO 端子 ( 1-17)
- (12) COMPONENT (Y, C<sub>B</sub>/P<sub>B</sub>, C<sub>R</sub>/P<sub>R</sub>) 端子 ( 1-17)
- (13) AUDIO IN1 端子 ( 1-17)
- (14) AUDIO IN2 端子 ( 1-17)
- (15) AUDIO IN3 (R,L) 端子 ( 1-17)
- (16) AUDIO IN4 (R,L) 端子 ( 1-17)
- (17) RGB OUT 端子 ( 1-17)
- (18) AUDIO OUT 端子 ( 1-17)
- (19) REMOTE CONTROL 端子 ( 1-17, 23)
- (20) LAN 端子 ( 1-17, 3-8)
- (21) SD カードスロットカバー ( 1-19)  
中にSDカードスロットがあります。
- (22) AUX I/O ポート ( 1-19)
- (23) USB 端子 ( 1-17, 1-24)



### 警告



●不安定な場所に置かない、不安定な置きかたをしない

セキュリティ・スロットやセキュリティ・バーは、転倒・落下防止用などの本機を支える目的で使用しないでください。

### お守りください

- 電源は正しい手順で切ってください。シャットダウンスイッチは、正しい手順で電源を切れない場合にだけご使用ください ( 2-46)。シャットダウンスイッチで電源を切ったときは、電源スイッチの「○」側を押し、放置して十分冷ましてください。

# リモコン

- (1) レーザー射出口、(2) LASER インジケータ、(3) LASER ボタン (📖1-22)

LASER ボタンを押すとレーザー射出口からレーザー光が出て

LASER インジケータが点灯します。

- (4) STANDBY/ON ボタン (📖1-25)

- (5) VOLUME ボタン、(6) MUTE ボタン (📖1-27)

- (7) VIDEO ボタン、(8) RGB ボタン (📖1-28)

- (10) AUTO ボタン (📖1-29)

画面の自動調整を実行します。

- (11) ASPECT ボタン (📖1-29)

表示画面の縦横比を順次切り替えます。

- (12) POSITION ボタン (📖1-30)

画面の位置を調節します。

- (13) KEYSTONE ボタン (📖1-30)

キーストン(台形歪み)調節の操作ガイドを表示/消去します。

メニューに従って歪みを補正できます。

- (14) MAGNIFY - ON ボタン、(15) MAGNIFY - OFF ボタン (📖1-31)

MAGNIFY-ON で表示画面を拡大、MAGNIFY-OFF で拡大を解除します。

また、画面拡大中に POSITION ボタンを押すと、▲/▼/◀/▶ボタンで拡大位置を移動できます。

- (16) FREEZE ボタン (📖1-31)

動画表示中に映像を静止/解除することができます。

- (17) BLANK ボタン (📖1-31)

ブランク画面を表示/解除します。

- (18) MY BUTTON-1 ボタン、(19) MY BUTTON-2 ボタン (📖2-23)

「その他」メニューの「マイボタン」で、各々の機能を選択、設定できます。

- (20) MENU ボタン (📖2-2)

メニューを表示/消去します。

- (21) レバースイッチ (📖1-24, 2-2)

▲表示の方へ倒すと▲(上)カーソルボタン、

▼表示の方へ倒すと▼(下)カーソルボタン、

倒さずに押下すると ENTER ボタンとして機能します。

- (22) ◀(左)カーソルボタン (📖1-24, 2-2)

- (23) ▶(右)カーソルボタン (📖1-24, 2-2)

- (24) RESET ボタン (📖2-2)、(25) ESC ボタン

- (26) マウス左ボタン、(27) マウス右ボタン (📖1-24)

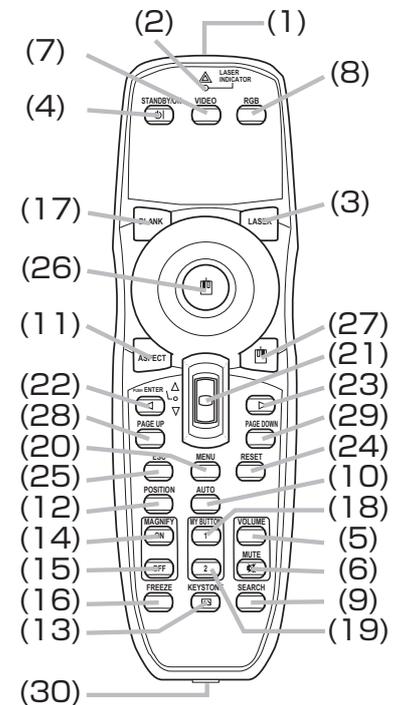
- (28) PAGE UP ボタン、(29) PAGE DOWN ボタン (📖1-24)

- (30) ワイヤードリモコン端子 (📖1-17, 1-23)

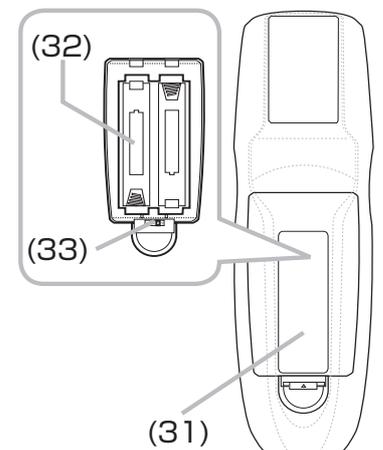
- (31) 電池カバー、(32) 電池ケース (📖1-22)

- (33) 周波数切替スイッチ (📖1-23)

⊘ レーザー射出口をのぞかない、人やペットに向けない



リモコン背面



## 警告

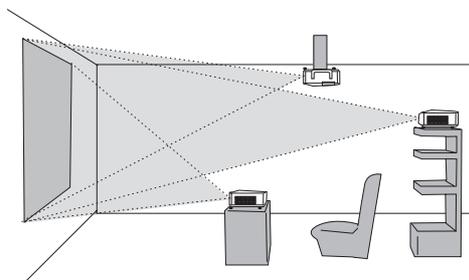
- レーザー光を目にあてない、スクリーン以外には向けない

レーザー光は目に当たると視覚障害の原因となるなど、有害となる可能性がありますので、スクリーンに向けて指し棒の代わりにご使用になる以外には用いないください。レーザー光を直接見たり、他の人やペットに向けたりしないでください。お子様にはリモコンを使わせないでください。

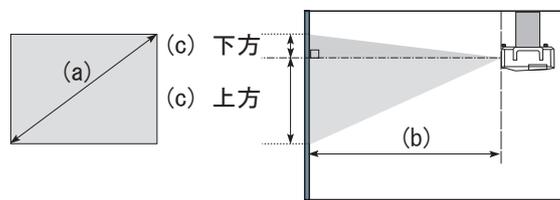


## 配置する

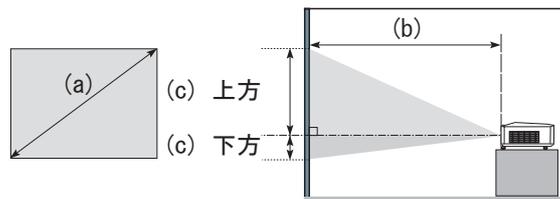
本機は、高温、湿気、ほこりや直射日光を避け、安定した涼しい場所に設置してください。ご使用環境に合わせ、設置の方法と位置をきめてください。



**天吊り**で ※天吊りなどの特殊な設置は、必ず事前に販売店にご相談ください。



台や棚の上に置いて



本機とスクリーンの距離については下表をご参照ください。下表の数値はフルスクリーン（1024 × 768）の場合の参考値（± 10%）です。

(a) 画面サイズ (対角寸法)		4:3 画面のとき								16:9 画面のとき							
		(b) 投写距離				(c) スクリーンの高さ				(b) 投写距離				(c) スクリーンの高さ			
		最小		最大		下方		上方		最小		最大		下方		上方	
インチ	m	m	インチ	m	インチ	cm	インチ	cm	インチ	m	インチ	m	インチ	cm	インチ	cm	インチ
30	0.8	0.9	35	1.1	42	5	2	41	16	1.0	38	1.2	46	-1	0	39	15
40	1.0	1.2	47	1.4	57	6	2	55	22	1.3	51	1.6	62	-2	-1	51	20
60	1.5	1.8	71	2.2	86	9	4	82	32	2.0	78	2.4	94	-2	-1	77	30
70	1.8	2.1	83	2.6	100	11	4	96	38	2.3	91	2.8	110	-3	-1	90	35
80	2.0	2.4	96	2.9	115	12	5	110	43	2.6	104	3.2	126	-3	-1	103	41
90	2.3	2.7	108	3.3	130	14	5	123	49	3.0	117	3.6	141	-4	-1	116	46
100	2.5	3.0	120	3.7	144	15	6	137	54	3.3	131	4.0	157	-4	-2	129	51
120	3.0	3.7	144	4.4	174	18	7	165	65	4.0	157	4.8	189	-5	-2	154	61
150	3.8	4.6	181	5.5	217	23	9	206	81	5.0	197	6.0	237	-6	-2	193	76
200	5.1	6.1	241	7.4	291	30	12	274	108	6.7	263	8.0	317	-8	-3	257	101
250	6.4	7.7	302	9.2	364	38	15	343	135	8.4	329	10.1	396	-10	-4	322	127
300	7.6	9.2	363	11.1	437	46	18	411	162	10.0	395	12.1	476	-12	-5	386	152
350	8.9	10.8	424	13.0	510	53	21	480	189	11.7	462	14.1	556	-15	-6	450	177

## 配置する (つづき)

### 警告



電源プラグを  
コンセント  
から抜け

- 異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜く  
電源プラグはすぐに抜くことができるように設置してください。



高温注意

- 高温に注意する  
熱の伝わり易いものや燃え易いもの、熱に弱いものの上や近くで本機を使用しないでください。



分解禁止

- 分解しない、改造しない  
本機や付属品を加工しないでください。



- 衝撃をあたえない  
アジャスタ脚は本体を落とさないように持った状態で操作してください。
- 不安定な場所に置かない、不安定な置きかたをしない  
ぐらついた台の上や傾いた場所、振動の多い場所など不安定な場所には置かないでください。キャスター（車）付きの台に載せる場合は必ずキャスター（車）止めをしてください。アジャスタ脚の調節以外は傾けて設置しないでください。前面、側面、背面を下にして置かないでください。天吊りなどの特殊な設置は、必ず事前に販売店にご相談ください。セキュリティ・スロット（盗難防止ロック用穴）やセキュリティ・バー（盗難防止チェーン/ワイヤー用バー）を落下防止用に使わないでください。
- ぬらさない、ぬれる場所に置かない  
風呂場やシャワー室、台所などに置かないでください。海や川、プールなどの水辺の近くや、屋外には置かないでください。水槽や植木鉢の近くに置かないでください。

### 注意



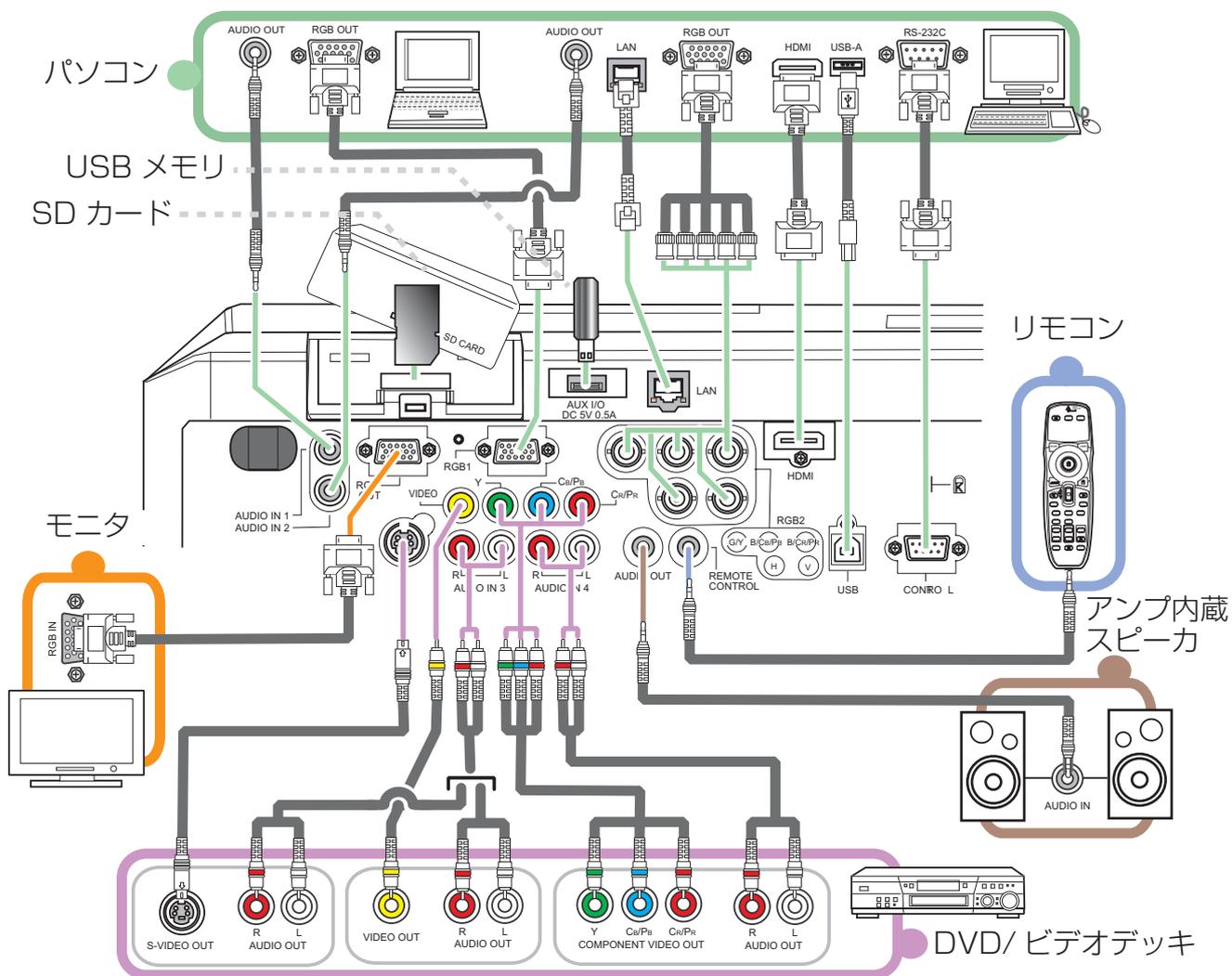
- 湿気、ほこりの多いところ、タバコの煙や油煙、湯気などの当たるところ、塩害のおそれのあるところに置かない  
調理台、加湿器、植木鉢の近くなど、湿気が多いところに置かないでください。喫煙所や人通りの多い場所に置かないでください。
- 高温になるところに置かない  
直射日光の当たるところ、ヒータやエアコンの噴出し口の近くなど、熱源の近くや温風が当たるところには置かないでください。
- 通風口をふさがない  
風通しの良いところに、周辺の壁や物から 30cm 以上離して設置してください。通風口をふさいだり、近くに物を置いたりしないでください。布団やカーペット上に置いたり、布などを被せたりしないでください。布や紙、テーブルクロスなどの吸い付く物を、吸気口の近くに置かないでください。
- 磁気を発生するものを近づけない  
付属品、本書に示される指定品を除き、磁気シールドが施されていない磁気製品（磁気による盗難防止装置など）を本機に使用したり近づけたりしないでください。

### お守りください

- 光源や直射日光などの強い光を避けて設置してください。
- 電波を発生するものを避けてください。

# 他の機器と接続する

接続の前に、本機と接続してご使用になる機器の説明書をよくお読みください。信号によっては、特定のアダプタが必要な場合や、本機では正しく表示できない場合があります。解像度などの仕様が本機に合うことを確認し、必要な信号ケーブルやアダプタを準備してください。本機の端子形状は「入出力信号端子について」( 2-51 ~ 55 ) をご覧下さい。本機および接続する機器の電源が切れていることを確認し、下図をご参考に接続を行ってください。SD カード、USB メモリの接続については、「SD カード、USB メモ리를装着する/取り外す」( 1-19 ) をご参照ください。



## 警告



分解禁止

- 分解しない、改造しない**  
本機や付属品を加工しないでください。



- 信号ケーブルやコネクタを傷つけない**  
傷や破損がある場合は使用せず、販売店にご相談ください。本機など、重い物を載せないでください。ヒータや本機の通風口の近くなど、高温になる場所に置かないでください。コードやケーブル部分を持って引っ張らないでください。投げたり、ひきずったりしないでください。加工したり、無理に曲げたり、加熱したりしないでください。



- 信号ケーブルやコネクタは所定のものを使用する**  
本機に同梱されているものは必ず同梱品をご使用ください。同梱品以外の信号ケーブルやコネクタは、販売店にご相談のうえ、適切なものをご使用ください。

## 他の機器と接続する（つづき）

### 注意



電源プラグを  
コンセント  
から抜け

#### ●接続するときは電源プラグを抜く

接続作業は、本機や接続する機器の電源を切って行ってください。本機の電源を完全に切るためには電源プラグをコンセントから抜いてください。

### お守りください

- 接続はコネクタの形状や向きを確かめながら、正しく行ってください。固定ネジがあるものはネジをきちんと締めて固定してください。
- ネットワークによっては過度の電圧をもつものがあります。過度の電圧を生じる可能性があるネットワークは、安全のため、LAN 端子に接続しないでください。LAN 端子への接続は、事前にネットワーク管理者にご相談ください。

### お知らせ

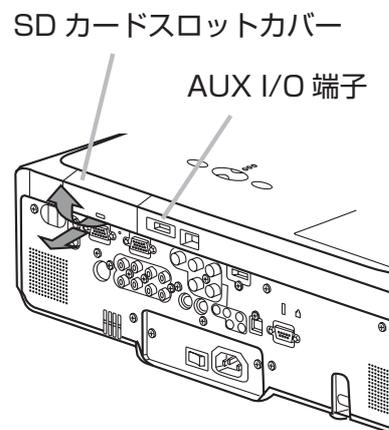
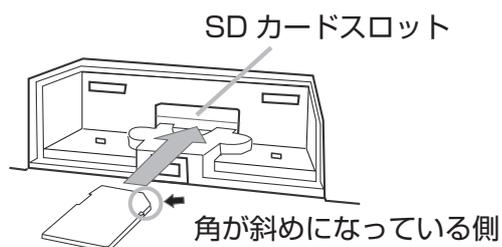
- ノートパソコンと接続する場合は、ノートパソコンの RGB 外部映像出力を有効（LCD と CRT の同時表示または CRT の設定）にしてご使用ください。詳しくはご使用になるノートパソコンの説明書をご覧ください。
- 入力信号によっては、本機の自動調整機能（ 1-29）が正しく働かなかったり、映像を表示できなくなったりすることがあります。また複数の表示モードを持っているパソコンでは、本機が対応していないモードを含む場合があります。あらかじめご確認ください。
- パソコン上で解像度を切り替えるとき、本機の自動調整機能が正常に動作しなかつたり通常より時間が掛かたりすると、解像度切替えのための画面表示が確認できず、もとの解像度に戻ってしまうことがあります。このような場合は、別の表示装置を使って解像度を切り替えてください。
- 本機は VESA DDC 2B に対応しています。本機を VESA DDC（Display Data Channel）対応のパソコンに接続してご使用になると、プラグ & プレイを実現できます。本機の RGB1 端子とパソコンを付属の RGB 信号ケーブルで接続してご使用ください。本機は「プラグ&プレイ・モニタ」として認識されます。このとき、ディスプレイドライバは標準のものをご使用ください。接続するパソコンによってはプラグ&プレイが動作しない場合があります。  
※プラグ & プレイは、パソコンと、表示装置などの周辺機器、およびオペレーティングシステムによって構成されるシステムです。
- 本機の HDMI 端子は HDCP（High-bandwidth Digital Content protection）に対応しています。HDCP 対応の DVD プレーヤなどのビデオ信号を表示することができます。
- 本機は、以下の HDMI 信号に対応しています。
  - ・ビデオ信号：525i(480i), 525p(480p), 625i(576i), 750p(720p), 1125i(1080i), 1125p(1080p)
  - ・パソコン信号：「パソコン信号について」（ 2-49）をご参照ください
  - ・音声信号：フォーマット リニア PCM、サンプリング周波数 48kHz / 44.1kHz 32kHz
- 本機は、HDMI および DVI 対応機器に接続することができますが、機器によっては映像が映らない、音声が出力されないなど、正常に動作しない場合があります。
- DVI 対応機器を本機に接続する場合は、DVI-HDMI 変換ケーブルで本機の HDMI 端子に接続の上、音声ケーブルを本機の音声入力端子（AUDIO IN1 ～ 4 端子）に接続してください。
- HDMI ケーブルは、HDMI ロゴ付きのものをご使用ください。

## SD カード、USB メモリを装着する／取り外す

SD カードは、SD カードスロットカバーの中にある SD カードスロットに装着してください。本機の無線 LAN 機能を使用するときは、オプションのワイヤレスネットワークカード ( 1-37 ) をスロットに装着してください。USB メモリは AUX I/O 端子に装着してください。

スロットへの SD カードの装着は以下の手順に従ってください。

1. ワイヤレスネットワークカードを装着する場合は、本機の電源が切れていることを確認してください。
2. SD カードスロットカバーを外し、SD カードの角が斜めになっている側を右 (AUX I/O 端子寄り) にして、SD カードスロットに SD カードを差し込み、カチッというまで押し込んでください。



3. カバーを元のように閉めてください。

SD カード、USB メモリの取り外しについては以下の手順に従ってください。

1. ワイヤレスネットワークカードを取り外す前に、本機の電源を切ってください。  
SD メモリカードや、USB メモリを取り外すには、本機の電源を切るか、「MIU」メニュー ( 2-34 ) の「PC レスプレゼンテーション」メニュー ( 2-36 ) から、目的のメディアに合った「メディアの取り外し」を実行してください。
2. メディア上の LED が点灯／点滅していないことを確認し、アクセスが完全に終了してからメディアを抜き取ってください。SD カードを取り外すには、一度、カチッというまでカードを押し込んでから抜き取ってください。

### お知らせ

- 本機の有線 LAN 機能を使用するときは、ワイヤレスネットワークカードを取り外してください。

### ⚠ 注意



- 本機の動作中はワイヤレスネットワークカードに触れない  
ワイヤレスネットワークカードの抜き差しは、かならず本機の電源スイッチを切ってから行ってください。
- アクセス中の記録メディアには触れない  
SD メモリカード、USB メモリなどの記録メディアは、アクセス中に抜き取らないでください。

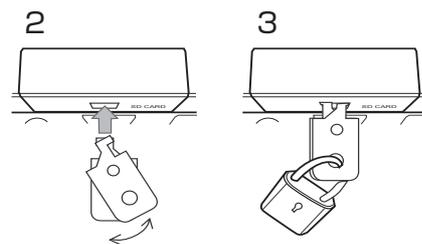
### お守りください

- 本機でワイヤレスネットワークカードを使用するときには、カードのアンテナ部分が周囲の人から少なくとも 20cm 離れるように設置してください。また、他の機器のアンテナや無線機と同じ場所に設置したり、一緒に使用したりしないでください。

## スロットカバーロックを取り付ける

必要に応じて、同梱のスロットカバーロックと市販の南京錠やダイヤル錠で SD カードスロットカバーにロックをかけることができます。

1. SD カードスロットカバーを閉めます。
2. スロットカバーロックを差し込みます。  
右図のようにスロットカバーロックを開き、SD カードスロットカバーの穴に差し込んでください。
3. 南京錠やダイヤル錠を取り付けます。  
スロットカバーロックをゆっくりと閉じ、南京錠やダイヤル錠をスロットカバーロックの穴に取り付けてください。



## セキュリティ・スロット／バーを使う

本機は、市販の盗難防止用ロックをご使用になるためのセキュリティ・スロットと、盗難防止用ワイヤーやチェーンをご使用になるためのセキュリティ・バーを備えています。セキュリティ・バーには直径 10mm までのワイヤーまたはチェーンを取り付けることができます。

詳細はご使用になる盗難防止用ロック、盗難防止用チェーン／ワイヤーの説明書をご覧ください。



### お知らせ

- 本機のセキュリティ・スロットおよびセキュリティ・バーは盗難を完全に防ぐものではありません。盗難防止対策のひとつとしてご使用ください。

## 警告



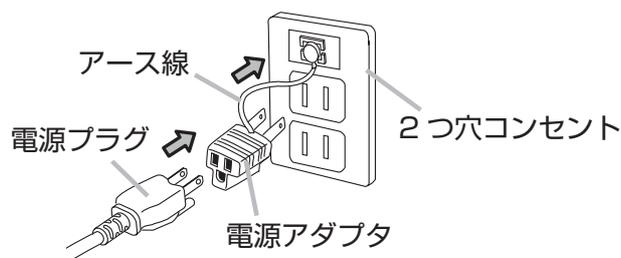
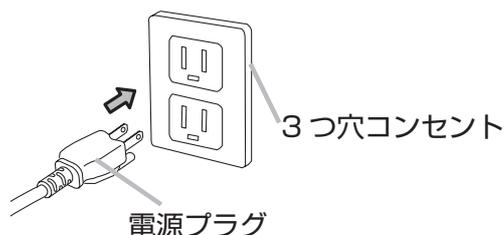
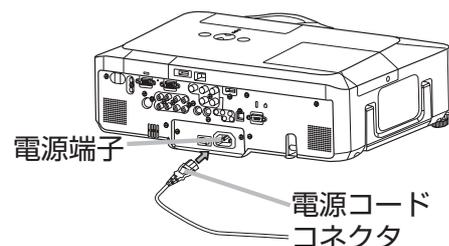
- 不安定な場所に置かない、不安定な置き方をしない

セキュリティ・スロットやセキュリティ・バーは、転倒・落下防止用などの本機を支える目的で使用しないでください。

# 電源に接続する

本機の電源端子と AC（交流）100V の電源コンセントを、付属の電源コードと必要に応じて電源アダプタで接続してください。

1. 電源コードのコネクタ側を本機の電源端子に接続してください。
2. **2つ穴コンセントをご使用のときのみ**  
電源アダプタのアース線をコンセントのアース端子に接続してください。
3. **2つ穴コンセントをご使用のとき**  
電源アダプタをコンセントに接続してから、電源プラグを電源アダプタに接続してください。  
**3つ穴コンセントご使用のとき**  
電源プラグをコンセントに接続してください。



## 警告



電源プラグを  
コンセントから抜け

- **異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜く**  
電源プラグはすぐに抜くことができるように設置してください。



- **指定の電源電圧で使用する**  
必ず、本体に表示されている指定電圧、交流 100V のコンセントに接続してご使用ください。
- **電源コードや電源アダプタは同梱品を使用する**  
電源コードや電源アダプタは本機に付属のものをご使用ください。傷や破損がある場合は使用せず、販売店にご相談ください。
- **電源プラグは付着物をふき取ってから使用する**  
必ず接続の前に、接続部やその周辺に付着しているほこりや金属類など取り除いてください。
- **電源プラグは根元まで確実に差し込む**  
ゆるみやがたつきのあるコンセントは使用しないでください。



アース線を  
必ず接続せよ

- **アース線を必ず接地する**  
2つ穴コンセントを使用する場合、付属の電源アダプタをご使用になり、必ずアース線を接続してください。アース線の接続は電源アダプタをコンセントに差し込む前に、アース線を外すときは電源アダプタをコンセントから抜いてから、行ってください。



- **電源コードや電源アダプタを傷つけない**  
傷や破損がある場合は使用せず、販売店にご相談ください。本機など、重い物を載せないでください。ヒータや本機の通風口の近くなど、高温になる場所に置かないでください。コードやケーブル部分を持って引っ張らないでください。投げたり、ひきずったりしないでください。加工したり、無理に曲げたり、加熱したりしないでください。
- **ぬれた手で電源を接続したり外したりしない**  
ぬれた手で電源コードや電源アダプタを取り扱わないでください。
- **アース線をコンセントに差し込まない**  
アース線はアース端子以外には接続しないでください。

## お守りください

- 接続している他の機器（パソコンやビデオなど）のトラブルを防ぐため、特に指定のない場合、本機の電源の操作は、他の機器の電源が切れている状態で行ってください。電源コードを接続する前に、本機の電源スイッチが切れている（「○」と表示されている側が押されている）ことを確認してください。

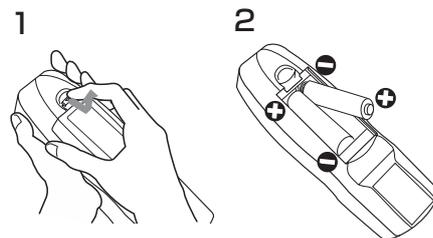
# リモコンを準備する

## 電池を入れる

付属のリモコンは単3型乾電池2本を使用します。ご使用前に電池をリモコンに入れてください。電池は必ず下記のものをご使用ください。

付属リモコン用電池：日立マクセル製 型名：LR6 または R6P

1. リモコンを図のように持って、電池カバーのつまみを軽く手前に引きながら電池カバーを外してください。
2. リモコンの中に表示された極性表示（⊕、⊖）を確認し、電池の向きを合わせて入れてください。
3. 電池カバーをもとのように閉じてください。



## 警告

### ●電池の取扱いに注意する

取扱いを誤ると、破裂や発火、液漏れなどして、火災やけが、人体への傷害、周囲の汚染の原因となります。万一、電池を飲み込んだ場合はすぐに医師にご相談ください。液漏れしたときは、すぐに乾いた布などで漏れ液をふきとって、新しい電池を入れてください。

漏れ液が皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。目などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流し、医師にご相談ください。

▶交換するときは、新しい（未使用の）日立マクセル製 型名：LR6 または R6P の単3型乾電池2本を使用してください。種類や銘柄の異なる電池と一緒に使用したり、古い（使用した）電池と新しい電池と一緒に使用しないでください。傷のある電池は使用しないでください。電池ケースの極性表示（⊕、⊖）に従って正しく入れてください。

▶リモコンを長時間使用しない場合は、リモコンから電池を取り出して保管してください。

▶火や水に入れないでください。火気、高温、湿気を避け、暗く涼しく乾燥したところに保管してください。子供やペットが届かないところに保管してください。

▶衝撃をあたえないでください。投げたり落としたりしないでください。

▶充電、短絡、分解、加工、はんだ付けなどしないでください。電池の電極部に金属を接触させないでください。ピンセットなどの金属製の物で持たないでください。

▶廃棄するときは、廃棄を行う地域の規則（条例など）に従ってください。



破裂注意

## レーザーポインタについて

リモコンのLASER ボタンを押すと、リモコンの先端にある射出口からレーザー光が出ます。スクリーンに向けて指し棒の代わりにご使用ください。レーザー光はLASER ボタンを押している間放射され、ボタンを放すと消えます。レーザー光が出ているあいだはLASER インジケータが点灯します。



レーザー射出口  
レーザーマーク  
LASER インジケータ  
LASER ボタン



### 警告

- ・レーザー光をのぞきこまないこと。
- ・レーザー光を人に向けないこと。
- ・子供に使わせないこと。 SMK



## 警告

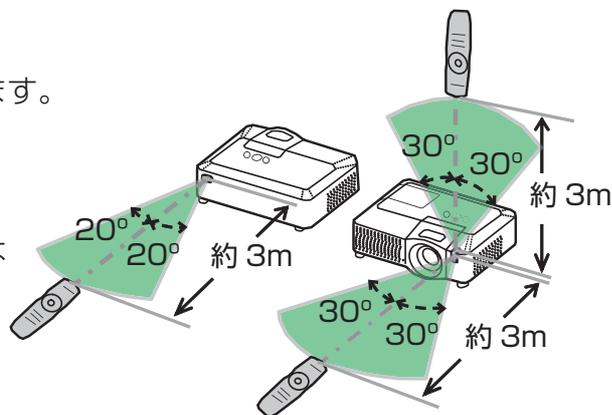
### ●レーザー光を目にあてない、スクリーン以外には向けない

レーザー光は目に当たると視覚障害の原因となるなど、有害となる可能性がありますので、スクリーンに向けて指し棒の代わりにご使用になる以外には用いないでください。レーザー光を直接見たり、他の人やペットに向けたりしないでください。お子様にはリモコンを使わせないでください。



## リモコン信号について

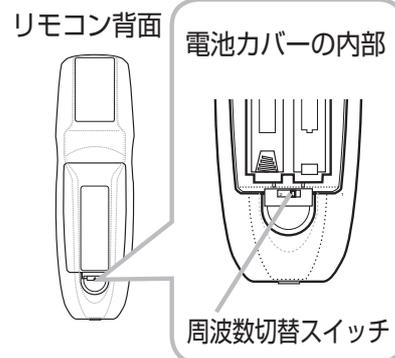
付属のリモコンは、本機の受光部へ信号を送って機能します。  
 リモコンからの信号は、以下の範囲で有効です。  
 前面受光部／上面受光部：左右に各 30°、距離約 3m まで  
 背面受光部：左右に各 20°、距離約 3m まで  
 またリモコン信号は、スクリーンなど、反射面によっては反射させて操作できる場合があります。



## リモコン信号の周波数を切り替える

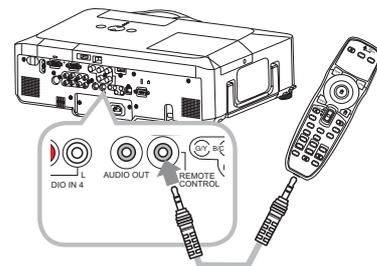
付属のリモコンは、2種類の信号周波数を切り替えてご使用になれます。リモコンが利きにくいときや正常に動作しないとき、周波数を切り替えると改善される場合があります。周波数を変更するには、リモコンと本機の受光部、両方の設定変更が必要です。設定が一致していないとリモコンが正常に動作しませんのでご注意ください。

1. リモコンの周波数切替スイッチを切り替えてください。  
 リモコンの表示「1」は標準周波数モード、「2」は高周波数モードです。
2. リモコン受光部の、受信周波数モードを設定してください。  
 「その他」メニュー ( 2-21 ) の「特別な設定」 ( 2-24 ) - 「リモコン周波数」 ( 2-26 ) で、リモコンの設定に合ったモードを有効にしてください。



## 有線リモコンとして使用する

本機の REMOTE CONTROL 端子とリモコンのワイヤードリモコン端子を、Φ 3.5 ステレオミニプラグ付ケーブルで接続すると、有線リモコンとしてもご使用になれます。



## 警告



高温注意

### ●高温に注意する

排気口の近くにリモコンを置かないでください。



分解禁止

### ●分解しない、改造しない

リモコンを加工しないでください。

## お守りください

- リモコンに衝撃をあたえないでください。リモコンを投げたり落としたり、上に乗ったり重い物を載せたりしないでください。
- リモコンに水を掛けたり、リモコンをぬらしたり、ぬれるところに置いたりしないでください。
- リモコンと本機の受光部の間に物を置かないでください。リモコンは赤外線でお本機に信号を送っています。(クラス1 LED 製品) リモコンと本機の受光部の間に障害物があると、リモコンが利かないことがあります。
- 光源や直射日光などの強い光を避けて設置してください。リモコン受光部に強い光が当たると、リモコンが正常に働かないことがあります。

## 簡易マウス／キーボードとして使う

付属のリモコンを簡易的なマウスやキーボードとしてご使用になることができます。

1. 本機の USB 端子 (B) と、パソコンの USB (A) 端子を接続します。
2. 下記のリモコンのボタンがマウスやキーボードとして機能します。

### (1) マウス左ボタン

垂直に押下すると、マウスの左ボタンとして機能します。

上下左右または斜めに倒すと、マウスとして機能します。(画面上のマウスポインタを移動する)

### (2) マウス右ボタン

押下すると、マウスの右ボタンとして機能します。

### (3) レバースイッチ

▲表示の方へ倒すと、キーボードの「↑」キーとして機能します。

▼表示の方へ倒すと、キーボードの「↓」キーとして機能します。

### (4) ◀ (左) カーソルボタン

キーボードの「←」キーとして機能します。

### (5) ▶ (右) カーソルボタン

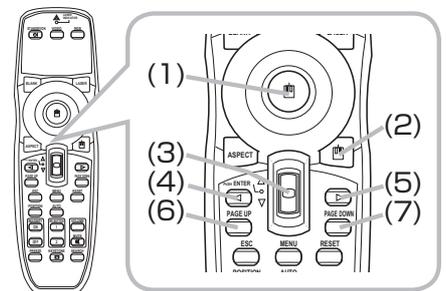
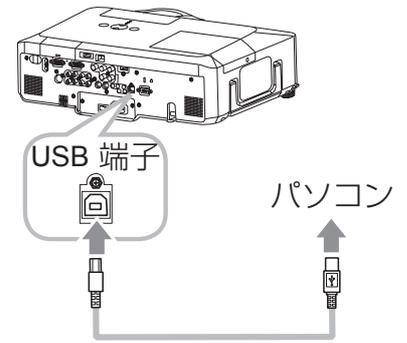
キーボードの「→」キーとして機能します。

### (6) PAGE UP ボタン

キーボードの PAGE UP キーとして機能します。

### (7) PAGE DOWN ボタン

キーボードの PAGE DOWN キーとして機能します。



## お知らせ

- 本機の簡易マウス／キーボード機能は、Windows 95 OSR 2.1 以上でご使用になれます。ただしパソコンの設定やマウスドライバによってはご使用になれない場合もあります。
- ノートパソコンなどで、トラックボールのようなポインティングデバイスが内蔵されている場合、本機の簡易マウス／キーボード機能をご使用になるには、あらかじめパソコンの BIOS メニューで内蔵のポインティングデバイスを無効、外部マウスを有効に設定してください。設定については、ご使用になるパソコンの説明書に従ってください。
- 本機の簡易マウス／キーボード機能では、ドラッグ&ドロップ操作を除き、2 つ以上のボタンやスイッチの同時操作は無効です。
- 本機の簡易マウス／キーボード機能は、本機が正常動作しているときにのみ有効です。ランプ点灯 (ウォームアップ) / 消灯 (冷却動作) 中や、ブランク画面、メニューを表示している時間などは操作できません。

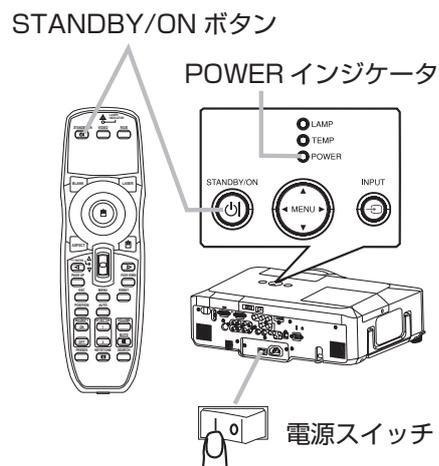
## お守りください

- 本機の USB 端子 (B) は、パソコンの USB 端子 (A) 以外には接続しないでください。簡易マウス／キーボード機能の間違ったご使用は、接続機器の破損の原因となることがあります。本機と接続する前に、ご使用になるパソコンの説明書をよくお読みください。

# 投写

## 電源を入れる

1. 電源コードが正しく接続されているのを確認し、レンズカバーを外してください。
2. 電源スイッチの「I」と表示されている側を押してください。本機がスタンバイ状態となり、POWER インジケータが橙色に点灯します。この直後は、リモコンや操作パネルのボタンが利かないことがありますので、数秒お待ちください。
3. リモコンまたは操作パネルの STANDBY/ON ボタンを押してください。ウォームアップを開始し、POWER インジケータが緑色に点滅を始めます。投写ランプが点灯すると、POWER インジケータは点滅をやめ、緑色に点灯します。



## 電源を切る

本機は、以下の手順を踏まなくても、電源スイッチやテーブルタップのスイッチ、ブレーカーをご使用になって電源を切ることができます。ただし、使用中に電源プラグ、電源コードを抜くと故障の原因となりますので以下に従い、冷却中または冷却完了後に抜いてください。

1. リモコンまたは操作パネルの STANDBY/ON ボタンを押してください。「電源を切りますか？」のメッセージが約5秒間表示されます。
2. メッセージが表示されている間に、もう一度 STANDBY/ON ボタンを押してください。ランプが消灯し、冷却動作を開始します。冷却動作中は POWER インジケータが橙色に点滅します。
3. 冷却が終わると POWER インジケータは点滅をやめ、橙色に点灯します。電源スイッチの「O」と表示されている側を押してください。電源が切れて、POWER インジケータが消灯します。
4. レンズ部保護のためレンズカバーを閉じてください。

電源を切った後 10 分以上は、電源を入れないでください。本機の温度が十分に下がっていない状態で電源を頻繁に入れたり切ったりすると、ランプの寿命を縮めることがあります。

### 警告



#### ●レンズをのぞかない

本機の使用中は、レンズから強い光が出ます。視覚障害などの原因となりますので、絶対にのぞかないでください。



高温注意

#### ●高温に注意する

使用中や使用後しばらく、排気口に近づいたり、レンズやランプカバーに触れたりしないでください。



#### ●使用しないときは電源プラグを抜く

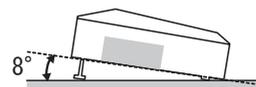
本機の電源を完全に切るためには電源プラグをコンセントから抜いてください。

### お守りください

- 電源を入れるときは他の機器より先に、電源を切るときは他の機器より後に行なってください。接続している他の機器（パソコンやビデオなど）のトラブルを防ぐため、特に指定のない場合、本機の電源の操作は、他の機器の電源が切れている状態で行ってください。

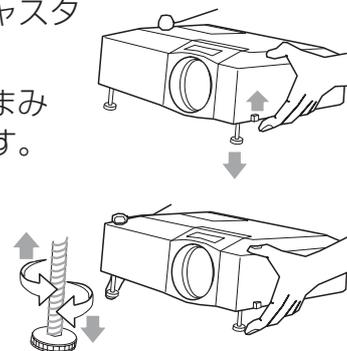
## 傾きを調節する

スクリーンなどの投写面に傾きがある場合は、アジャスタ脚を使って本機のレンズ面と投写面をできるだけ平行にしてください。本機のアジャスタ脚では、水平な設置面に対し、前上がりに最大 8° まで傾けることができます。



アジャスタ脚とアジャスタつまみは、本機の左右側面下部、前寄りに一組ずつ計二組あります。アジャスタつまみを引き上げると、同じ側面にあるアジャスタ脚の固定がはずれて、脚の長さを変えられます。アジャスタ脚の固定がはずれると、本機が落ちることがありますので、アジャスタつまみは本機をきちんと支えながら操作してください。

1. 後部を設置面に着けたまま、本体を背面から両手で支え、アジャスタつまみを引き上げてください。アジャスタ脚の長さを変えられるようになります。
2. アジャスタつまみを引き上げたまま、本機の位置（角度）を決めます。好みの位置でアジャスタつまみを放してください。アジャスタ脚が固定されたのを確認して、静かに本体を置いてください。
3. アジャスタ脚をネジのように回すと、アジャスタ脚を固定したまま長さを微調節できます。必要に応じてご利用ください。



### 警告

#### ● 衝撃をあたえない

アジャスタ脚は本体を落とさないように持った状態で操作してください。



#### ● 不安定な場所に置かない、不安定な置きかたをしない

アジャスタ脚の調節以外は傾けて設置しないでください。

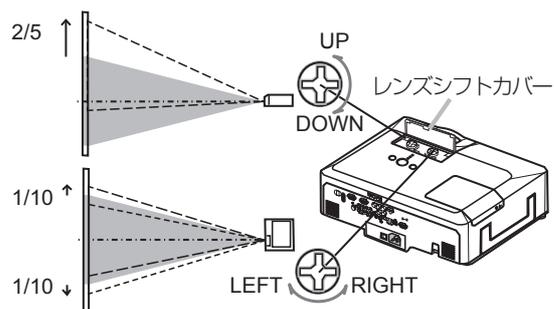
#### ● 傾けて使用しない

傾けての使用は、前後方向（前上がり）8° 以内で設置してください。8° 以上の角度に傾けた状態でのご使用は故障や寿命を縮める原因となります。

## 画面位置を調節する

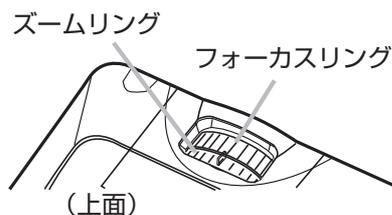
レンズシフトカバーを開けると、二つのレンズシフトダイヤルがあります。

垂直レンズシフト（UP ↔ DOWN）ダイヤルで上下に、水平レンズシフト（LEFT ↔ RIGHT）ダイヤルで左右に、映像画面の位置を調節してください。



## ズーム（表示倍率）、フォーカス（焦点）を調節する

1. ズームリングを左右にまわして、映像画面の大きさを調節してください。
2. フォーカスリングを左右にまわして、映像の焦点を合わせてください。



## 音量を調節する

1. リモコンの VOLUME ボタンを押してください。音量調節のためのダイアログが表示されます。
2. ダイアログが表示されている間、▲（上） / ▼（下）カーソルボタンで音量を調節できます。

約 5 秒間調節を行わないか、もう一度 VOLUME ボタンを押すと、ダイアログが消えて音量の調節を終了します。



## 音声を消す

音声を消したいときには、リモコンの MUTE ボタンを押してください。ダイアログが表示され、音声が消えます。ダイアログは約 5 秒で消えます。

もう一度 MUTE ボタンを押すか、VOLUME ボタンを押して音量の調節を開始すると、音声は復帰します。

### お知らせ

- AUDIO OUT 端子からの音量も調節することができます。音声を消すと、AUDIO OUT 端子からの音声も出力されなくなります。
- 「オーディオ」メニュー（[図2-15](#)）の「スピーカー」で「無効」が選択されていると、本機の内蔵スピーカーから音声は出力されません。
- 「オーディオ」メニューの「AUDIO」（[図2-16](#)）で、受信中の信号の入力端子に「」が選択されていると、音声は出力されません。

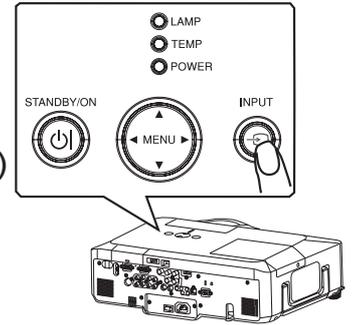
# 画面を調節する

## 入力信号を選ぶ

### ■操作パネルで信号を選ぶ

操作パネルの INPUT ボタンを押すたびに、受信端子を切り替えることができます。選択されていた端子を起点に、以下の順序で切り替わります。

RGB1 → RGB2 → HDMI → MIU → COMPONENT (Y,C<sub>B</sub>/P<sub>B</sub>,C<sub>R</sub>/P<sub>R</sub>)  
↑ VIDEO ← S-VIDEO ←

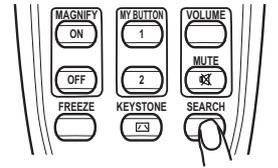


### ■リモコンで入力信号を検索する

リモコンの SEARCH ボタンを押すと、正常な信号入力を検出するか起点に戻るまで、各端子を自動的に検索します。

選択されていた端子を起点に、以下の順序で検索します。

RGB1 → RGB2 → HDMI → MIU → COMPONENT (Y,C<sub>B</sub>/P<sub>B</sub>,C<sub>R</sub>/P<sub>R</sub>)  
↑ VIDEO ← S-VIDEO ←



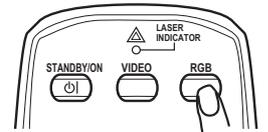
正常な入力信号が見つからない場合は、SEARCH ボタンを押した時の状態に戻って終了します。

### ■リモコンでパソコンからの信号、MIU の信号を選ぶ

RGB ボタンを押すたびに、表示信号が切り替わります。

選択されていた端子が RGB1、RGB2、HDMI、MIU のいずれかならその端子を起点に、それ以外なら RGB1 を起点に以下の順序で切り替わります。

RGB1 → RGB2 → HDMI → MIU  
↑

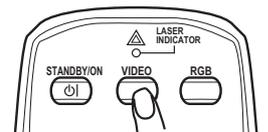


### ■リモコンで DVD やビデオなどからの信号を選ぶ

VIDEO ボタンを押すたびに、表示信号が切り替わります。

選択されていた端子が COMPONENT (Y,C<sub>B</sub>/P<sub>B</sub>,C<sub>R</sub>/P<sub>R</sub>)、S-VIDEO、VIDEO のいずれかならその端子を起点に、それ以外なら COMPONENT (Y,C<sub>B</sub>/P<sub>B</sub>,C<sub>R</sub>/P<sub>R</sub>) を起点に以下の順序で切り替わります。

COMPONENT (Y,C<sub>B</sub>/P<sub>B</sub>,C<sub>R</sub>/P<sub>R</sub>) → S-VIDEO → VIDEO  
↑



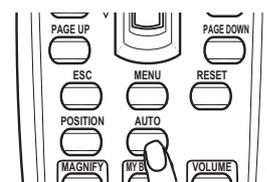
### お知らせ

- 「オーディオ」メニュー (2-15) の「AUDIO」(2-16) で、受信中の信号の入力端子に「」が選ばれていると、音声は出力されません。
- 「その他」メニュー (2-21) の「オートサーチ」が「有効」に設定されていると、操作パネルの INPUT ボタン、リモコンの SEARCH ボタン、RGB ボタン、VIDEO ボタンを押すと、正常な入力信号を検出、受信するまで各端子を繰り返し検索します。

## 画面の自動調整機能を使う

リモコンの AUTO ボタンを押すと画面の自動調整が実行されます。調整される項目は、受信中の映像信号により異なります。

自動調整機能を使わない場合、または自動調整を実行後、映像をお好みに合わせて手動で操作、調節したい場合は、「表示」メニュー (☞2-8) をご参照ください。



### ■パソコンからの信号、MIU の信号を受信している場合

画面の垂直位置、水平位置、クロック位相が自動的に調整され、水平サイズが初期設定に戻ります。RGB 信号 (パソコンからのアナログ映像信号) を受信している場合は、画面の解像度が自動的に設定されます。

パソコンで、アプリケーションのウィンドウを最大化表示して実行してください。また、暗い映像では正しく調整されない場合がありますので、明るい映像を表示して実行してください。

### ■DVD やビデオなどからの信号を受信している場合

画面の垂直位置、水平位置が初期設定に戻ります。コンポーネントビデオ信号を受信しているときのみ、クロック位相も初期設定に戻ります。また、「入力」メニュー (☞2-10) の「ビデオフォーマット」 (☞2-11) が「オート」に設定されているとき、受信している信号に最適な信号方式が自動的に選択されます。

### お知らせ

- 自動調整には 10 秒程度の時間がかかります。また、入力信号によっては正しく調整できないことがあります。
- 「その他」メニュー (☞2-21) の「特別な設定」 (☞2-24) - 「オートアジャスト」で、「詳細」または「無効」が設定されていると、自動調整される項目が変わります。
- 受信している映像信号やお客様のご使用環境 (ケーブル長・種類、分配器の使用等) によっては、画像の位置やサイズが合わない場合があります。この場合は、手動で操作、調節してください。対応信号については「パソコン信号について」 (☞2-49) を参照してください。
- DVD やビデオなどからの信号を受信している時に画面の自動調整を実行すると、画面の端に線などが映る場合があります。お好みで、画面の位置 (☞1-30)、および「表示」メニューの「オーバーキャン」を調節してください。

## アスペクト (画面の縦横比) を選ぶ

リモコンの ASPECT ボタンを押すたびに、以下の順序で表示画面のアスペクト (縦横比) が切り替わります。選択できるアスペクトは受信中の信号により異なります。「ノーマル」では、表示中の信号の本来アスペクトで表示されます。

### ■RGB 信号 (パソコンからのアナログ映像信号) または MIU の信号を表示しているとき

ノーマル → 4:3 → 16:9 → スモール



### ■HDMI 信号を表示しているとき

ノーマル → 4:3 → 16:9 → 14:9 → スモール



### ■DVD やビデオなどからの信号を表示しているとき

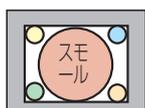
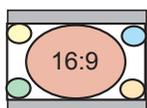
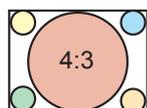
4:3 → 16:9 → 14:9 → スモール



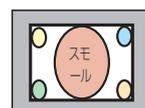
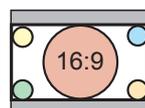
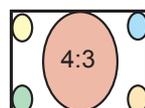
### ■映像信号の入力がされていない、または正常な入力信号を検出できない場合 (ASPECT ボタンは無効です)

4:3 (固定)

入力信号が  
4:3 信号の例

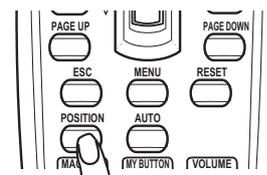


入力信号が  
16:9 信号の例



## 画面の位置を調節する

1. リモコンの POSITION ボタンを押してください。「位置」ダイアログが表示されます。
2. ダイアログが表示されている間に、カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で画面位置を調節してください。



画面の位置調節を取り消すにはダイアログが表示されている間にリモコンの

RESET ボタンを押してください。画面をもとの位置（信号を受信した時点の表示位置）に戻すことができます。

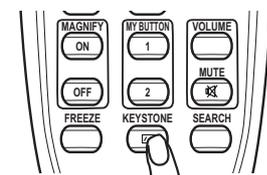
数秒間調節を行わないか、もう一度 POSITION ボタンを押すと、ダイアログが消えて画面位置の調節を終了します。

### お知らせ

- DVD やビデオなどからの信号を表示しているとき、画面位置を調節すると画面の外側の線などが映ることがあります。

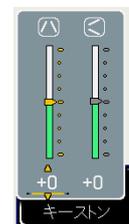
## キーストン（台形歪み）を調節する

1. リモコンの KEYSTONE ボタンを押してください。キーストン（台形歪み）調節のダイアログが表示されます。



2. カーソルボタン▲ / ▼でオートあるいはマニュアルを選択してください。オートはキーストン（垂直）の自動調整を行います。カーソルボタン▶で実行してください。マニュアルはキーストン（垂直）をカーソルボタンで調節できます。カーソルボタン▶を押すとキーストンの補正量ゲージが表示されます。カーソルボタン◀ / ▶で垂直、水平を選択し、▲ / ▼で調節してください。

数秒間なにも操作を行わないか、もう一度 KEYSTONE ボタンを押すと、ガイドが消えてキーストンの調節を終了します。

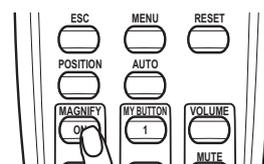


### お知らせ

- キーストンの調節範囲は入力信号によって異なります。また入力信号によっては正しく動作しないことがあります。
- 反転表示モード(☞2-14)が「通常表示」以外に設定されているときに、スクリーンが傾いていたり、本機を下向きに投映させたりすると、正しく補正できないことがあります。
- ズーム調節が TELE(小さく表示)側に設定されていると、過補正となることがあります。この機能は、できるだけズーム調節を WIDE(大きく表示)に設定してお使いください。
- 本機の傾きが(前後方向)約±3°以下に設置されているとき、オートキーストンは動作しません。
- 本機の傾きが(前後方向)約±30°以上に設置されているとき、オートキーストンは正しく動作しません。
- レンズシフトが上方向一杯でないとき、キーストン補正は正しく動作しないことがあります。但しオプションレンズタイプ FL-601 はレンズシフト下方向一杯でないとき、キーストン補正は正しく動作しないことがあります。「その他」メニューの「特別な設定」-「レンズタイプ」(☞2-25)をご参照ください。
- この機能は状態監視機能が有効のときは選択できません。「その他」メニューの「セキュリティ」(☞2-27) - 「状態監視」(☞2-30)をご参照ください。

## 画面を拡大する

1. リモコンの MAGNIFY -ON ボタンを押すと、画面は約 2 倍に拡大表示され、「拡大」ダイアログが表示されます。数秒間なにも操作をしないとダイアログは消えます。
  2. 「拡大」ダイアログが表示されている間に POSITION ボタンを押すと、「位置」ダイアログが表示され、カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で拡大位置を選ぶことができます。  
拡大位置を確定するにはもう一度 POSITION ボタンを押してください。
  3. 「位置」ダイアログが消えたら、カーソルボタン▲ / ▼を操作して拡大率を調節できます。画面をみながら調節してください。最大 4 倍まで画面を拡大することができます。
- 各ダイアログが表示されている時に、数秒間なにも操作をしないとダイアログは消えますが、拡大表示は解除されません。画面の拡大表示を解除するには、リモコンの MAGNIFY -OFF ボタンを押してください。

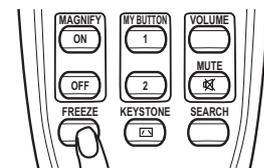


### お知らせ

- 入力信号が変化したときや表示状態を変更する操作（自動調整やアスペクトの切替えなど）を実行したときにも画面の拡大を終了します。
- 拡大機能を有効にすると、キーストン補正の状態が正しく表示されないことがあります。拡大表示を解除すると、もとの状態に戻ります。

## 映像を静止させる

リモコンの FREEZE ボタンを押すと「静止」ダイアログが表示され、映像が静止します。「スクリーン」メニュー (☞2-17) の「メッセージ」(☞2-18) でメッセージを表示しないに設定している場合は、ダイアログは表示はされません  
映像の静止を解除するには、もう一度 FREEZE ボタンを押してください。

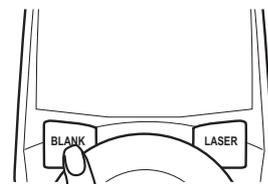


### お知らせ

- 操作パネルのボタンを押したときにも、映像の静止を終了します。また、リモコンの他のボタンを押したときや、ネットワーク、コントロール端子からコマンドを受けた場合にも映像の静止を終了することがありますのでご注意ください。
- 本機は同じ映像を長時間表示し続けると、液晶パネルが焼きついて、その映像が残像として残ることがあります。映像を静止させたまま放置したり、終了するのを忘れていたりしないようご注意ください。

## 映像を一時的に消す

リモコンの BLANK ボタンを押すと、映像が消えてブランク画面が表示されます。ブランク画面は「スクリーン」メニューの「ブランク」で設定できます。  
もう一度 BLANK ボタンを押すともとの映像表示に戻ります。



### お知らせ

- 操作パネルのボタンを押したときにもブランク画面の表示を終了します。また、リモコンの他のボタンを押した時や、ネットワーク、コントロール端子からコマンドを受けた場合にもブランク画面の表示を終了することがありますのでご注意ください。
- ブランク画面を表示しても音声は消えません。あらかじめ音量を調節するか、音声を消してからブランク画面を表示させるか、あるいはマイボタンの AV ミュート (☞2-23) をご利用ください。

# 点検とお手入れ

## ランプを交換する

### ランプについてのご注意



#### 警告



感電注意



高温注意



破裂注意

#### ●本機のランプは、ガラス製で内部圧力の高い水銀ランプです

このランプは、衝撃や傷、高温状態での取扱い、使用時間の経過による劣化などで、大きな音を伴って破裂したり、不点灯状態になって寿命が尽きたりする特性があります。寿命にはランプによって大きな差があり、使用後もまもなく破裂したり不点灯になったりすることもあります。

▶ランプが破裂すると、ランプハウスのガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部の水銀を含むガスが本機の通風口から出たりすることがあります。ご使用のまえに、本書および本機の注意ラベルをよくお読みになり、取扱いには十分ご注意ください。

#### ●使用済みランプの廃棄について

本機は水銀ランプを使用しています。廃棄は、廃棄を行う地域の規則（条例など）に従って正しく行ってください。

#### ●ランプが破裂したら使用を中止して電源プラグを抜き、販売店に連絡する

万一、ランプが破裂した場合（破裂音がします）は、本機の電源プラグをコンセントから抜いて、必ず販売店にランプ交換をご依頼ください。

▶飛び散ったガラス片によって、けがや本機の内部を傷つける原因となることがありますので、お客様による本機内部の清掃やランプ交換はおやめください。

▶換気を十分にして、本機の通風口から排出されるガスを吸い込んだり、目や口に入ったりしないようご注意ください。

#### ●ランプを交換するまえに、電源プラグを抜き、十分冷ます

ランプを交換するまえに、必ず電源を切って電源プラグを抜き、45分以上待って、ランプおよび本機内部を十分冷ましてください。電源プラグを接続したままでお手入れすると、火災や感電の原因となります。また、高温状態での取扱いは火傷や破裂の原因となります。

#### ●天吊りや高所への設置状態では本機のランプカバーを開けない

万一、ランプが破裂していると、破片が落下して危険です。また高所での作業は危険ですので、ランプが破裂していない場合でも、ランプ交換は必ず販売店にご依頼ください。

#### ●ランプカバーを外した状態で本機を使用しない

ランプ交換の後は、ネジなどがしっかりと止められ、ランプカバーがきちんと閉じられていることを確認してください。ネジがゆるんでいたりランプカバーが外れたりすると、けがや故障の原因となることがあります。

#### ●ランプは取扱いに注意し、正しく使用する

ランプは指定のものをご使用ください（[図1-33](#)）。ランプを交換するときは、本書に指定の交換用ランプと型名が一致することを予めご確認ください。また、ランプに衝撃を加えたり傷つけたりしますと、使用中に破裂する場合がありますので、ていねいに取り扱ってください。

▶古いランプ（ご使用済み）の再利用はランプの破裂の原因となりますのでおやめください。

▶ランプを長時間ご使用になると映像が暗くなったり、ランプが破裂したり、点灯しなくなる場合があります。映像がくらくらしたり、色あいが悪くなったりしたら、お早めに交換してください。

▶ランプ交換の際は、エアーフィルターも交換してください（[図1-34](#)）。本機の交換用ランプに付属のエアーフィルターをご使用いただけます。



電源プラグを  
コンセント  
から抜け



## ランプの交換方法

ランプは寿命部品です。使用時間の経過にともない、徐々に映像が暗くなったり、色あいが悪くなったりします。また、ランプの寿命は個体差や使用条件によって大きなばらつきがあり、ご使用開始から比較的短期間で破裂したり、不点灯となる場合もあります。あらかじめ交換用のランプをご用意いただき、お早めに交換いただくことをお勧めします。交換用のランプは、下記の型名を販売店に指定してご購入ください。

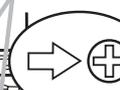
### 交換用ランプ：型名 DT00871

また、ランプを交換するときはエアーフィルターも交換してください。

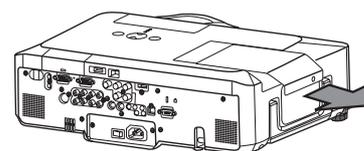
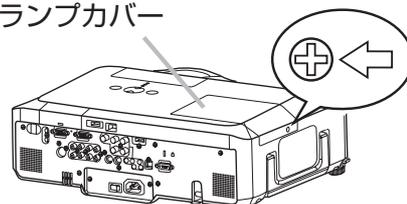
本機の交換用ランプをご購入になると、本機用のエアーフィルターが付属されています。

1. 本機の電源を切って（[図1-25](#)）電源プラグを抜き、45分以上放置して冷ましてください。
2. 販売店にご連絡頂き、ランプの交換作業を依頼されるか、新しいランプをご購入ください。但し、以下の場合は、必ず作業を販売店にご依頼ください。お客様による交換作業は危険ですのでおやめください。
  - ・ランプが破裂した、あるいは破裂するおそれがある
  - ・本機を天吊りなど、高所に設置している

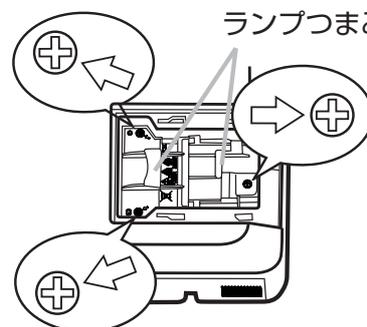
### ＜ご自分で交換する場合＞

3. 右図を参考に、ランプカバーのネジ（）を緩めてプロジェクター本体からランプカバーを外してください。
4. ランプを固定している3つのネジ（, , ）を緩めランプつまみを持って、ランプ（ランプケース）をゆっくり引き出してください。
5. 新しいランプを前のランプと同じように入れ、緩めた3つのネジ（, , ）をもとのように締めてください。
6. ランプカバーを閉じて、もとのようにネジ（）を締めて固定してください。
7. 本機の電源を入れ、「その他」メニュー（[図2-21](#)）の「ランプタイマー」（[図2-22](#)）を使ってランプタイマーを初期化してください。詳細はメニュー表示に従ってください。

ランプカバー



ランプつまみ



## お守りください

- ランプを外した状態で本機の内部に触れないでください。故障、映像不良の原因となることがあります。
- ランプタイマーの初期化は正しく行ってください。ランプを交換したら必ずランプタイマーを初期化してください。ランプを交換せずにランプタイマーを初期化しないでください。ランプタイマーはランプの使用時間です。初期、または前回ランプタイマーを初期化した時から現在までの本機の稼働時間を1時間単位で表示します。ランプタイマーの初期化は、ランプの交換に合わせて正しく行わないと実際のランプの使用時間とランプタイマーの値が一致しません。

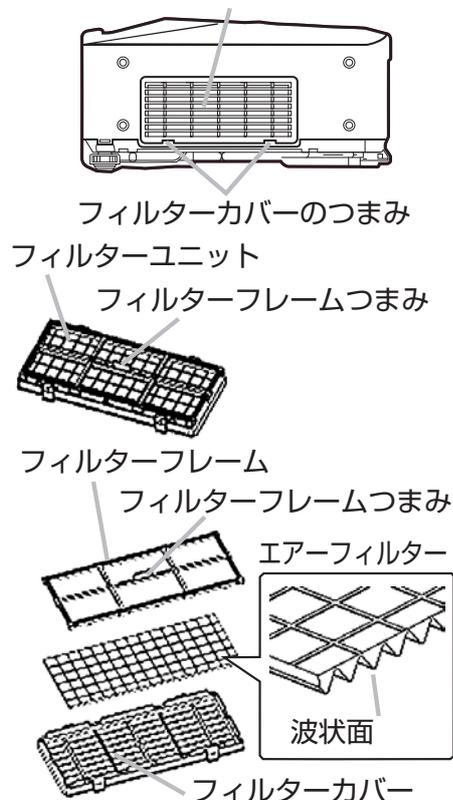
# エアフィルターを掃除／交換する

エアフィルターは定期的にお手入れしてください。エアフィルターの掃除をお願いするメッセージ（**2-44**）が表示されたときや、TEMP インジケータ（**1-13**）が赤く点灯した場合は、できるだけ早くお手入れしてください。

エアフィルターが傷んでいたり、汚れがひどくて掃除しきれない場合は交換が必要です。あらかじめ交換用のエアフィルターをご用意いただくことをお勧めします。交換用のエアフィルターは、下記の型名を販売店に指定してご購入ください。

## 交換用エアフィルター：型名 MU03642

1. 本機の電源を切って（**1-25**）電源プラグを抜き、放置して十分冷ましてください。
2. フィルターカバーとその周辺を、掃除機で掃除してください。
3. フィルターユニットをプロジェクター本体から外します。フィルターカバーのつまみを持って手前に引き上げるようにしてください。
4. 本体のフィルターユニットがついていた部分、およびフィルターユニットのフィルターフレーム側（本体に取り付けたとき吸気口側）を掃除機で掃除してください。  
エアフィルターが傷んでいたり汚れがひどい場合は、フィルターユニットからフィルターフレームを外し、中のエアフィルターを交換してください。交換後はフィルターユニットをもとのように組み立ててください。
5. フィルターユニットをもとのように本体に取り付けてください。
6. 本機の電源を入れ、「簡単メニュー」（**2-3**）の「フィルタータイマー」（**2-4**）を使ってフィルタータイマーを初期化してください。詳細はメニュー表示に従ってください。



## 警告



### ●エアフィルターをお手入れする前に、電源プラグを抜き、十分冷ます

エアフィルターをお手入れする前に、必ず電源を切って電源プラグを抜き、本機内部を十分に冷ましてください。電源プラグを接続したままでお手入れすると、火災や感電の原因になります。また、高温状態での取扱いはやけどの原因となります。



### ●エアフィルターは正しく使用し、定期的にお手入れする

エアフィルターがほこりや汚れで詰まったり、正しく取付けられていなかったりすると、内部温度が上がり過ぎて本機の電源が自動的に切れたり、火災、故障の原因となることがあります。

- ▶ エアフィルターやフィルターカバー、フィルターユニットを外した状態では使用しないでください。
- ▶ エアフィルターが傷んでいたり汚れがひどい場合は、新しいエアフィルターと交換してください。その際、必ず指定のエアフィルターを正しくご使用ください。

## お守りください

- フィルタータイマーの初期化は正しく行ってください。エアフィルターを掃除または交換したら必ずフィルタータイマーを初期化してください。エアフィルターを掃除や交換もせずにフィルタータイマーを初期化しないでください。フィルタータイマーはエアフィルターの使用時間です。初期、または前回フィルタータイマーを初期化した時から現在までの本機稼動時間を1時間単位で表示します。フィルタータイマーの初期化はエアフィルターの掃除または交換に合わせて正しく行わないと、実際のエアフィルターの使用時間とフィルタータイマーの値が一致せず、エアフィルターの掃除時間をお知らせするメッセージも正しく表示されません。

## 内蔵時計用電池の交換

本機は電池式内蔵時計を備えています。電池が消耗すると、時計がくるったり止まったりすることがあります。この場合は電池を新しいものに交換してください。

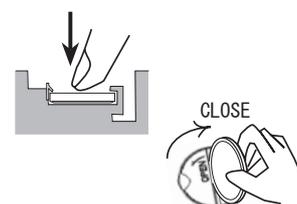
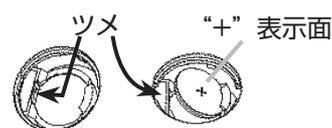
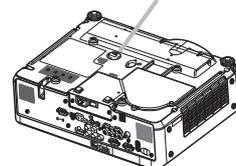
1. 本機の電源を切って（ 1-25）電源プラグを抜き、放置して十分冷ましてください。
2. 本機の底面を上に向けて置いてください。本機をぶつけたり落としたりしないよう、ご注意ください。
3. 電池カバーを外します。図を参考に、電池カバーの溝にコインなどを合わせて「OPEN」と表示されている方向に回し、電池カバーが浮いてきたらつまみあげて外してください。
4. 電池ケースから古い電池を取り外します。電池ケースの中のツメを押し、電池が浮いてきたらつまみあげて外してください。
5. 新しい電池をいれます。電池は必ず下記のものをご使用ください。

### 内蔵時計用電池：日立マクセル製、型名 CR2032

電池ケースの中の極性表示⊖に従って、電池の－側を下（中）に、＋側を上（カバー側）にして入れてください。電池を軽く押し、電池ケースに固定してください。

6. 電池カバーを閉じます。電池カバーの溝にコインなどを合わせて「CLOSE」と表示されている方向に回し、もとのように固定してください。

時計用電池カバー



## 警告

### ●電池の取扱いに注意する

取扱いを誤ると、破裂や発火、液漏れなどして、火災やけが、人体への傷害、周囲の汚染の原因となります。また電池は小さいので、お子様やペットが飲み込むおそれがあります。

万一、飲み込んだ場合はすぐに医師にご相談ください。

液漏れしたときは、すぐに乾いた布などで漏れ液をふきとって、新しい電池を入れてください。漏れ液が皮膚や衣服に着いた場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。目などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流し、医師にご相談ください。

- ▶ 交換するときは、新しい（未使用の）**日立マクセル製、型名 CR2032 のボタン型電池**を使用してください。
- ▶ 傷のある電池は使用しないでください。
- ▶ 電池ケースの極性表示（⊖）に従って正しく入れてください。
- ▶ 火や水に入れないでください。火気、高温、湿気を避け、暗く涼しく乾燥したところに保管してください。
- ▶ 子供やペットが届かないところに保管してください。
- ▶ 衝撃をあたえないでください。投げたり落としたりしないでください。
- ▶ 充電、短絡、分解、加工、はんだづけなどしないでください。
- ▶ 電池の電極部に金属を接触させないでください。ピンセットなどの金属製の物で持たないでください。



破裂注意

## お守りください

### ●もし電池を逆さまにいたら、以下の手順で外し、正しく入れなおしてください。

1. 電池カバーを外したまま底面を下にして本機を置きなおしてください。
2. 本機の前面（レンズ側）を持ち上げながら、電池ケースの中のツメを押すと、電池が外れて落ちて来ます。落として失くさないようご注意ください。

# その他のお手入れ

## 内部の点検とお手入れ

内部にホコリがたまった状態で本機を使用し続けると、火災や感電、故障や映像不良の原因となることがあります。安全なご使用のため、1年に1度を目安に、販売店に内部の清掃・点検をご依頼ください。内部のお手入れは湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。お手入れの費用などについては販売店にご相談ください。

## レンズのお手入れ

レンズが傷ついたり、くもったり、汚れたりすると、映像不良の原因となります。

1. 本機の電源を切って電源プラグを抜き、しばらく待って冷ましてください。
2. 本機が十分に冷えていることを確認し、市販のレンズクリーニングペーパー（カメラやメガネの清掃用）でレンズを軽く拭いてください。レンズを傷つけないように、また、素手で触らないようにご注意ください。

## キャビネットやリモコンのお手入れ

1. 本機の電源を切って電源プラグを抜き、しばらく待って冷ましてください。
2. 本機が十分に冷えていることを確認し、ガーゼなどのやわらかい布で軽く拭いてください。汚れがひどい場合は、水または水で薄めた中性洗剤に浸してよく絞ったやわらかい布で軽く拭いた後、別の乾いたやわらかい布で軽く拭いて仕上げてください。

### 警告



電源プラグを  
コンセント  
から抜け

#### ●お手入れの前に、電源プラグを抜き、十分冷ます

お手入れのまえに、必ず電源を切って電源プラグを抜き、本機を十分に冷ましてください。使用中や使用後しばらくは、レンズやその周辺は高温になります。電源プラグを接続したままお手入れすると、火災や感電の原因となります。また、高温状態での取扱いはやけどの原因となります。



#### ●ランプ点灯中はレンズをのぞかない

ランプの点灯中はレンズから強い光が出ます。視力障害などの原因となりますので、絶対にのぞかないでください。

### 注意



#### ●本書に指定されているもの以外の洗剤、薬品は使用しない

表面が変質したり、塗装がはがれることがあります。また、水、水で薄めた中性洗剤はキャビネットとリモコンのお手入れ以外には使用しないでください。

▶スプレーはご使用にならないでください。ガスや霧が本機の内部に入って、故障などの原因となることがあります。

▶化学雑きんなどのご使用については、その注意書に従ってください。

#### ●本機内部に水や洗剤を入れない

万一、水や洗剤が入ってしまったら、販売店にご連絡ください。

#### ●本機（キャビネット、レンズ）およびリモコンを傷つけない

硬いものを当てたり、こすったりして傷つけないようにご注意ください。破損や故障、映像不良の原因となることがあります。



#### ●内部の点検とお手入れは、販売店に依頼する

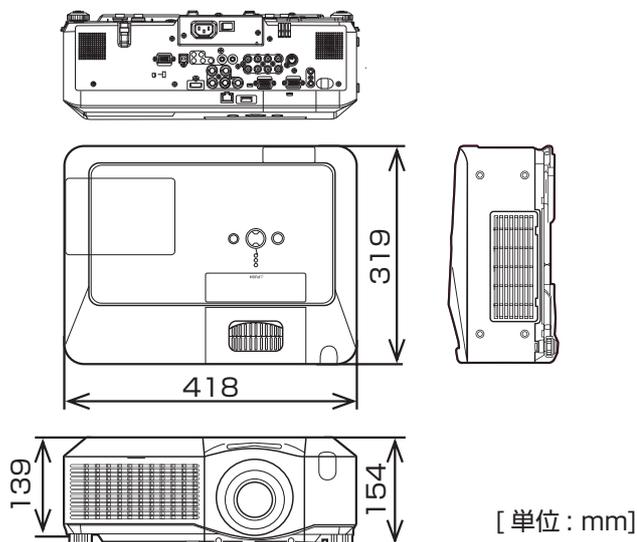
お客様による内部のお手入れは危険ですので、絶対におやめください。

# 仕様

## 一般仕様

項目		仕様
品名		液晶プロジェクター
液晶 パネル	パネルサイズ	2.0 cm (0.79 型)
	駆動式	TFT アクティブマトリックス
	画素数	786,432 画素 (水平 1024 x 垂直 768)
レンズ		ズームレンズ F=約 1.7 ~ 1.9 f=約 24 ~ 29 mm
ランプ		275W UHB
スピーカー		4W x4
電源/消費電力		AC 100V/5.0A / 460W
使用温度範囲		5 ~ 35° C
外形寸法/質量		418 (幅) x 139 (高さ) x 319 (奥行) mm 突起部含まず (下図ご参照) / 約 7.1 kg
端子	RGB 信号入力	RGB1..... D サブ 15 ピンミニ x1 RGB2(G/Y,B/C <sub>B</sub> /P <sub>B</sub> ,R/C <sub>R</sub> /P <sub>R</sub> ,H,V) .....BNC x5
	音声信号入力	AUDIO IN1..... ステレオミニ x1 AUDIO IN2..... ステレオミニ x1 AUDIO IN3.....RCA x2 AUDIO IN4.....RCA x2
端子	RGB 信号出力	RGB OUT D サブ 15 ピンミニ x1
	音声信号出力	AUDIO OUT..... ステレオミニ x1
端子	デジタル信号入力	HDMI.....HDMI x1
	RS-232C 通信	CONTROL.....D サブ 9 ピン x1
端子	ビデオ信号入力	Y,C <sub>B</sub> /P <sub>B</sub> ,C <sub>R</sub> /P <sub>R</sub> (component video) .....RCA x3
	その他	USB.....USB(B) x1 REMOTE CONTROL.... ステレオミニ x1 LAN.....RJ-45 x1 AUX I/O .....USB(A) x1 SD card .....SD カードスロット x1
別売品		ランプ : DT00871 エアフィルター : MU03642 ワイヤレスネットワークカード : VA08333 ※その他については販売店にご相談ください。

## 外形寸法





# 取扱説明書

液晶プロジェクター

型名 **EDP-XG50**

## 【応用編】

この応用編では、詳細な設定や調節をおこなうメニューおよびその他技術情報について説明します。

応用編

### はじめに

ご使用の前に、必ず本書の【基本編】、【応用編】、【MIU 編】を全てよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。

## もくじ

基本編	1 - 1	故障かなと思ったら	2 - 43
		一括して初期設定にもどす	2 - 43
		メッセージ表示について	2 - 44
		インジケータ表示について	2 - 45
		シャットダウンスイッチを使う	2 - 46
		故障と間違えやすい現象について	2 - 47
設定・調節	2 - 2	技術情報	2 - 49
メニュー機能の使い方	2 - 2	パソコン信号について	2 - 49
簡単メニュー	2 - 3	入出力信号端子について	2 - 51
映像メニュー	2 - 5	RS-232C 通信について	2 - 56
表示メニュー	2 - 8	RS-232C コマンド一覧	2 - 59
入力メニュー	2 - 10		
設置メニュー	2 - 13	MIU 編	3 - 1
オーディオメニュー	2 - 15		
スクリーンメニュー	2 - 17	保証とアフターサービスについて	
その他メニュー	2 - 21	(必ずお読みください。)	
MIU メニュー	2 - 34		

# 設定・調節

## メニュー機能の使いかた

詳細な設定や複雑な調節にはメニュー機能をご使用ください。本機には、よく使われる機能をまとめた簡単メニューと、機能別に分類した詳細メニューがあります。詳細メニューには、「映像」「表示」「入力」「設置」「オーディオ」「スクリーン」「その他」「MIU」の8個のメニューがあります。どのメニューも基本操作は同様です。下記をご参考に操作してください。



操作パネルのカーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶のいずれか、またはリモコンのMENU ボタンを押してください。簡単メニューまたは詳細メニューは、前回ご使用になっていたほうのメニューが表示されます。電源を入れた後は必ず簡単メニューが表示されます。

### 簡単メニューの操作

1. カーソルボタン▲ / ▼で操作したい項目を選択してください。選択されている項目は黄色く反転表示されます。
2. カーソルボタン◀ / ▶で選択した項目の設定、調節、および実行することができます。

■詳細メニューに切り替えたいときは、「詳細メニューへ…」を選択、実行してください。

■操作の途中で RESET ボタンを押すと、選択中の項目を初期設定にもどすことができます。ただし、一部の項目は初期化されません。

■数秒間なにも操作を行わないか、もう一度 MENU ボタンを押すと、表示が消えて操作を終了します。



簡単メニュー

### 詳細メニューの操作

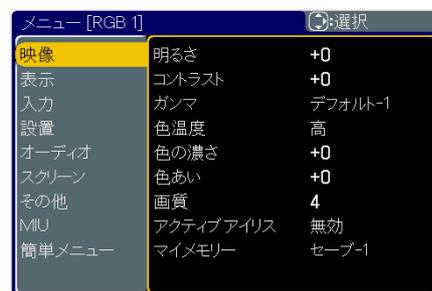
1. カーソルボタン▲ / ▼で、操作したいメニューを選択してください。選択したメニュー中の項目が右側に表示されます。
2. カーソルボタン▶ (または ENTER ボタン) を押すと、選択カーソル (黄色) が右側に移ります。操作したい項目をカーソルボタン▲ / ▼で選択してください。
3. カーソルボタン▶ (または ENTER ボタン) を押すと、選択した項目を実行、もしくは操作するためのメニュー、ダイアログが表示されます。

■簡単メニューに切り替えたいときは、「簡単メニュー」から「簡単メニューへ…」を選択、実行してください。

■メニュー右側の項目を選択中に RESET ボタンを押すと、選択中の項目を初期設定にもどすことができます。また、メニューを選択中に RESET ボタンを押すと、そのメニューの初期化確認ダイアログが表示されます。ただし、一部の項目は初期化されません。

■カーソルボタン◀ (または ESC ボタン) を押すと、一つ前のメニュー表示に戻ることができます。

■数秒間なにも操作を行わないか、もう一度 MENU ボタンを押すと、表示が消えて操作を終了します。



詳細メニュー

# 簡単メニュー

「メニュー機能の使い方」(2-2)に従い、簡単メニューを表示してください。

簡単メニューでは、下表の項目を操作することができます。

カーソルボタン▲/▼で項目を選択し、下表およびメニュー表示に従って操作してください。



応用編

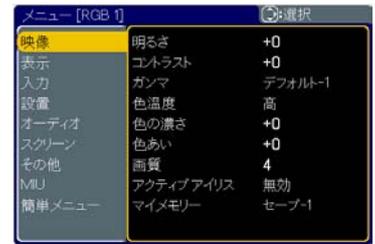
設定項目	操作内容																																
アスペクト (画面の縦横比)	<p>カーソルボタン◀/▶で、アスペクト(画面の縦横比)を選択できます。 「表示」メニューの「アスペクト」(2-8)をご参照ください。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <p>●選択できるアスペクトは、受信中の映像信号によって異なります。</p>																																
オートキーストン ⏏ 実行	<p>カーソルボタン▶を押すと、垂直キーストン(⏏ 方向の台形歪み)が自動的に調整されます。 「設置」メニューの「オートキーストン ⏏ 実行」(2-13)をご参照ください。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <p>●この項目は、「その他」メニュー(2-21)の「セキュリティ」(2-27)－「状態監視」(2-30)を「有効」に設定しているときは選択できません。</p>																																
キーストン ⏏	<p>カーソルボタン◀/▶で、垂直キーストン(⏏ 方向の台形歪み)を調整できます。 「設置」メニューの「キーストン ⏏」(2-13)をご参照ください。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <p>●この項目は、「その他」メニュー(2-21)の「セキュリティ」(2-27)－「状態監視」(2-30)を「有効」に設定しているときは選択できません。</p>																																
キーストン ⏏	<p>カーソルボタン◀/▶で、水平キーストン(⏏ 方向の台形歪み)を調整できます。 「設置」メニューの「キーストン ⏏」(2-14)をご参照ください。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <p>●この項目は、「その他」メニュー(2-21)の「セキュリティ」(2-27)－「状態監視」(2-30)を「有効」に設定しているときは選択できません。</p>																																
映像モード	<p>カーソルボタン◀/▶で、映像モードを選択できます。</p> <p>ノーマル ↔ シネマ ↔ ダイナミック ← ↓ デイトイム ↔ ホワイトボード ↔ 黒板(緑) ↔ 黒板(黒)</p> <p>映像モードは、ガンマモードと色温度モードの組み合わせです。下表をご参考に、映像に合わせてお選びください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>映像モード</th> <th>ガンマ</th> <th>色温度</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ノーマル</td> <td>#1 デフォルト</td> <td>中</td> <td>標準的な画質で、幅広くお楽しみ頂けます。</td> </tr> <tr> <td>シネマ</td> <td>#2 デフォルト</td> <td>低</td> <td>フィルムライクな階調表現を重視した映像、映画コンテンツをご覧になる場合に適切です。</td> </tr> <tr> <td>ダイナミック</td> <td>#3 デフォルト</td> <td>高</td> <td>明るさを重視した映像です。</td> </tr> <tr> <td>黒板(黒)</td> <td>#4 デフォルト</td> <td>ハイブライト-1</td> <td>黒板(黒)に投射された映像や文字を、通常のスクリーンに投射した色に近づけます。</td> </tr> <tr> <td>黒板(緑)</td> <td>#4 デフォルト</td> <td>ハイブライト-2</td> <td>黒板(緑)に投射された映像や文字を、通常のスクリーンに投射した色に近づけます。</td> </tr> <tr> <td>ホワイトボード</td> <td>#5 デフォルト</td> <td>中</td> <td>スクリーンからの光の反射を低減するため、明るさを抑えた映像です。</td> </tr> <tr> <td>デイトイム</td> <td>#6 デフォルト</td> <td>ハイブライト-3</td> <td>明る室内でのご利用に適しています。</td> </tr> </tbody> </table> <p>「映像」メニューの「ガンマ」および「色温度」をご参照ください。(2-5)</p> <p><b>お知らせ</b></p> <p>●ガンマモードと色温度モードの組み合わせが上記の映像モードと異なる場合、メニュー上の表示は「カスタム」と表示されます。</p> <p>●選択した瞬間に、ノイズが発生することがありますが故障ではありません。</p>	映像モード	ガンマ	色温度	内容	ノーマル	#1 デフォルト	中	標準的な画質で、幅広くお楽しみ頂けます。	シネマ	#2 デフォルト	低	フィルムライクな階調表現を重視した映像、映画コンテンツをご覧になる場合に適切です。	ダイナミック	#3 デフォルト	高	明るさを重視した映像です。	黒板(黒)	#4 デフォルト	ハイブライト-1	黒板(黒)に投射された映像や文字を、通常のスクリーンに投射した色に近づけます。	黒板(緑)	#4 デフォルト	ハイブライト-2	黒板(緑)に投射された映像や文字を、通常のスクリーンに投射した色に近づけます。	ホワイトボード	#5 デフォルト	中	スクリーンからの光の反射を低減するため、明るさを抑えた映像です。	デイトイム	#6 デフォルト	ハイブライト-3	明る室内でのご利用に適しています。
映像モード	ガンマ	色温度	内容																														
ノーマル	#1 デフォルト	中	標準的な画質で、幅広くお楽しみ頂けます。																														
シネマ	#2 デフォルト	低	フィルムライクな階調表現を重視した映像、映画コンテンツをご覧になる場合に適切です。																														
ダイナミック	#3 デフォルト	高	明るさを重視した映像です。																														
黒板(黒)	#4 デフォルト	ハイブライト-1	黒板(黒)に投射された映像や文字を、通常のスクリーンに投射した色に近づけます。																														
黒板(緑)	#4 デフォルト	ハイブライト-2	黒板(緑)に投射された映像や文字を、通常のスクリーンに投射した色に近づけます。																														
ホワイトボード	#5 デフォルト	中	スクリーンからの光の反射を低減するため、明るさを抑えた映像です。																														
デイトイム	#6 デフォルト	ハイブライト-3	明る室内でのご利用に適しています。																														

## 簡単メニュー（つづき）

設定項目	操作内容
明るさ	カーソルボタン◀ / ▶で、映像の明るさを調節できます。 「映像」メニューの「明るさ」(☐2-5)をご参照ください。
コントラスト	カーソルボタン◀ / ▶で、映像のコントラストを調節できます。 「映像」メニューの「コントラスト」(☐2-5)をご参照ください。
色の濃さ	カーソルボタン◀ / ▶で、色の濃さを調節できます。 「映像」メニューの「色の濃さ」(☐2-5)をご参照ください。
色あい	カーソルボタン◀ / ▶で、色あいを調節できます。 「映像」メニューの「色あい」(☐2-5)をご参照ください。
画質	カーソルボタン◀ / ▶で、画質を調節できます。 「映像」メニューの「画質」(☐2-6)をご参照ください。 <b>お知らせ</b> ●選択した瞬間にノイズが発生することがありますが故障ではありません。
静音	カーソルボタン◀ / ▶で、標準モード / 静音モードを選択できます。 「設置」メニューの「静音」(☐2-14)をご参照ください。
反転表示	カーソルボタン◀ / ▶で、映像を上下左右に反転させることができます。 「設置」メニューの「反転表示」(☐2-14)をご参照ください。 <b>お知らせ</b> ●状態監視機能を有効にした状態で反転モードを変更し、電源スイッチを切って再び電源を入れると、状態監視アラームが表示されます。(☐2-30)
初期化	「簡単メニュー」の設定を一括して初期化できます。 カーソルボタン▶ (または ENTER ボタン) を押すと、確認のためのダイアログが表示されます。 初期化する ← 初期化しない 初期化を実行するときは、カーソルボタン▲を押して「初期化する」を選択してください。 <b>お知らせ</b> ●「フィルタータイマー」と「表示言語」は初期化されません。
フィルタータイマー	エアーフィルターの使用時間を表示します。 フィルタータイマーの初期化については、「その他」メニューの「フィルタータイマー」(☐2-22)をご参照ください。
表示言語	カーソルボタン◀ / ▶で、メニューなどのオンスクリーン表示の表示言語を選択できます。 「スクリーン」メニューの「表示言語」(☐2-17)をご参照ください。
詳細メニューへ…	カーソルボタン▶ (または ENTER ボタン) を押すと、「簡単メニュー」を詳細メニュー(「映像」、「表示」、「入力」、「設置」、「オーディオ」、「スクリーン」、「その他」、「MIU」メニュー)に切り替えられます。 詳細メニューには、より多彩な機能を備えております。お好みに合わせた調節や設定にして、ご活用ください。(☐2-5 ~ 2-42)

# 映像メニュー

「メニュー機能の使い方」(2-2)に従い、「映像」メニューを表示してください。「映像」メニューでは下表の項目を操作することができます。カーソルボタン▲/▼で項目を選択し、カーソルボタン▶(またはENTERボタン)を押すと、操作を開始または実行できます。下表およびメニュー表示に従って操作してください。



設定項目	操作内容
明るさ	カーソルボタン▲/▼で、映像の明るさを調節できます。 明るく ↔ 暗く
コントラスト	カーソルボタン▲/▼で、コントラストを調節できます。 強く ↔ 弱く
ガンマ	<p>カーソルボタン▲/▼で、ガンマモードを選択できます。</p> <p>#1 デフォルト ↔ #1 カスタム ↔ #2 デフォルト ↔ #2 カスタム ↔ #3 デフォルト ↓ ↓ #6 カスタム #3 カスタム ↓ ↓ #6 デフォルト ↔ #5 カスタム ↔ #5 デフォルト ↔ #4 カスタム ↔ #4 デフォルト</p> <p>ガンマモードはガンマ値を設定/調節するためのモードです。 名称に“カスタム”のつくガンマモードは、お好みに合わせて調節できます。詳細は、「ガンマおよび色温度のカスタムモード調節手順」(2-7)をご参照ください。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <p>●調節した瞬間にノイズが発生することがありますが故障ではありません。</p>
色温度	<p>カーソルボタン▲/▼で、色温度を設定するための色温度モードを切り替えられます。</p> <p>高 ↔ 高カスタム ↔ 中 ↔ 中カスタム ↔ 低 ↔ 低カスタム ↓ ↓ ハイブライト-3 カスタム ハイブライト-1 ↓ ↓ ハイブライト-3 ↔ ハイブライト-2 カスタム ↔ ハイブライト-2 ↔ ハイブライト-1 カスタム</p> <p>色温度モードは、色温度を設定/調節するためのモードです。 名称に“カスタム”のつく色温度モードは、お好みに合わせて調節できます。詳細は、「ガンマおよび色温度のカスタムモード調節手順」(2-7)をご参照ください。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <p>●調節した瞬間にノイズが発生することがありますが故障ではありません。</p>
色の濃さ	<p>カーソルボタン▲/▼で、色の濃さを調節できます。</p> <p>濃く ↔ 淡く</p> <p><b>お知らせ</b></p> <p>●この項目は RGB 信号 (パソコンからのアナログ映像信号)、MIU の信号を受信中には選択できません。</p>
色あい	<p>カーソルボタン▲/▼で、色合いを調節できます。</p> <p>緑っぽく ↔ 赤っぽく</p> <p><b>お知らせ</b></p> <p>●この項目は RGB 信号 (パソコンからのアナログ映像信号)、MIU の信号を受信中には選択できません。</p>



## ガンマおよび色温度のカスタムモード調節手順

### 1. カスタムモードの調節メニューを表示する。

「映像」メニューの「ガンマ」または「色温度」（2-5）で、カスタムモード（“カスタム” のつく各モード）を選択し、カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押すと、下図のような調節メニューが表示されます。



ガンマ調節のメニュー



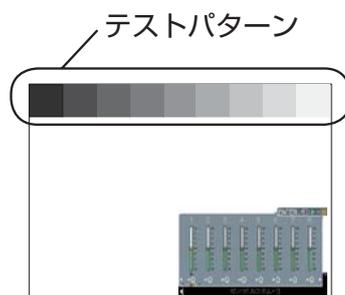
色温度の調節のメニュー

### 2. テストパターンを表示する。

カスタムモードの調整メニューを表示している間に ENTER ボタンを押すと、右図のようなテストパターンが表示されます。テストパターンは3種類あり、ENTER ボタンを押すたび以下のように変更できます。

パターンなし → グレイスケール（9 ステップ） →  
↑ ランプ波形 ← グレイスケール（15 ステップ）

お好みのパターンをお選びになり、これを参考に調節してください。



### お知らせ

● 「ガンマ」、「色温度」共に、テストパターンを表示しなくても調節できます。お好みで便利にお使いください。

### 3. 各階調、および各色を調節する。

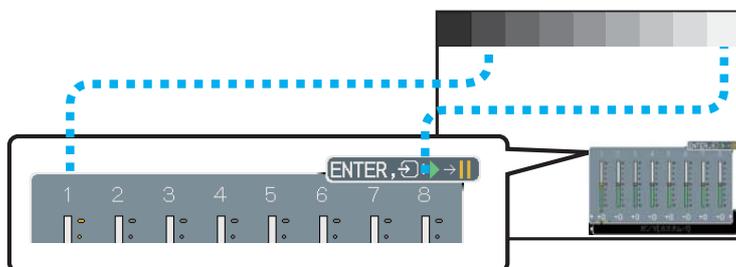
カーソルボタン◀ / ▶で調節メニューの調節したい項目を選択し、カーソルボタン▲ / ▼でレベルを調節してください。

#### ■ガンマのカスタムモード

この機能を使うと、特定の階調の明るさを変更できます。

8つの調節バーは、テストパターン（9ステップ）の最も暗い階調（左端）を除く8つの階調に対応しています。例えばテストパターン上の左から2番目の階調を調節したい場合、それに対応する「1」の調節バーを使用します。最も暗い階調は調節できません。

カーソルボタン◀ / ▶で階調を選び、カーソルボタン▲ / ▼でガンマを調節してください。



#### ■色温度のカスタムモード

この機能を使うと、オフセット調節は、テストパターンの全階調の色温度を変更できます。またゲイン調節は、主にテ明るい階調上の色温度を変更できます。

カーソルボタン◀ / ▶で各色のオフセットまたはゲインを選び、▲ / ▼ボタンでレベルを調節してください。



## 表示メニュー（つづき）

設定項目	操作内容
クロック位相	<p>カーソルボタン▲ / ▼で、クロック位相を調節し、画面のちらつきを低減できます。 左へ（+側） ↔ 右へ（-側）</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● RGB 信号（パソコンからのアナログ映像信号）、MIU の信号、コンポーネントビデオ信号（COMPONENT 端子からの 525i（480i）、625i（576i）信号、SCART RGB 信号を除く）を受信しているときのみ、調節が可能です。</li> </ul>
水平サイズ	<p>カーソルボタン▲ / ▼で、画面の横幅を調節できます。 大きく（+側） ↔ 小さく（-側）</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 大きくしすぎたり小さくしすぎたりすると映像が正しく表示されない場合があります。このような場合には、RESET ボタンを押して「水平サイズ」を初期設定に戻してください。</li> <li>● RGB 信号（パソコンからのアナログ映像信号）、MIU の信号を受信しているときのみ調節が可能です。</li> </ul>
オートアジャスト実行	<p>この機能は「表示」メニュー上で「オートアジャスト実行」を選択し、カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押した時点で実行されます。</p> <p>カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押すと、画面の自動調整を実行できます。調整される項目は、受信中の信号により異なります。</p> <p>■ パソコンからの映像信号、MIU 信号を受信している場合 「垂直位置」、「水平位置」（<a href="#">図2-8</a>）、「クロック位相」（<a href="#">図 上記</a>）が自動的に調整されます。また、「水平サイズ」（<a href="#">図 上記</a>）は初期設定に戻ります。RGB 信号を受信している場合は、「入力」メニューの「解像度」（<a href="#">図2-12</a>）が「オート」に設定され、入力信号に応じた解像度が自動的に設定されます。</p> <p>パソコンで、アプリケーションのウィンドウを最大表示して実行してください。また、暗い映像では正しく調整されない場合がありますので、明るい映像を表示して実行してください。</p> <p>■ DVD やビデオなどからの映像信号を受信している場合 「垂直位置」、「水平位置」（<a href="#">図2-8</a>）が初期設定に戻ります。コンポーネントビデオ信号を受信しているときのみ、「クロック位相」（<a href="#">図 上記</a>）も初期設定に戻ります。ビデオ信号、S-ビデオ信号を受信している場合は、「入力」メニューの「ビデオフォーマット」（<a href="#">図2-11</a>）が「オート」に設定されていれば、受信している信号に最適な信号方式が自動的に選択されます。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「その他」メニュー（<a href="#">図2-21</a>）の「特別な設定」－「オートアジャスト」（<a href="#">図2-24</a>）で、「詳細」または「無効」が設定されていると、自動調整される項目が変わります。</li> <li>● 自動調整には 10 秒程度の時間がかかります。また、入力信号によっては正しく調整できないことがあります。</li> </ul>

# 入力メニュー

「メニュー機能の使い方」(2-2)に従い「入力」メニューを表示してください。「入力」メニューでは、下表の項目を操作することができます。カーソルボタン▲/▼で項目を選択し、カーソルボタン▶(またはENTERボタン)を押すと、操作を開始または実行できます。下表およびメニュー表示に従って操作してください。

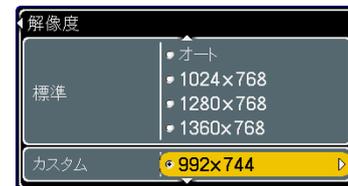
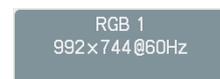
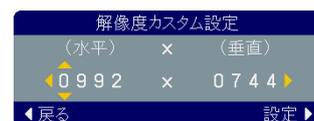
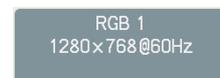
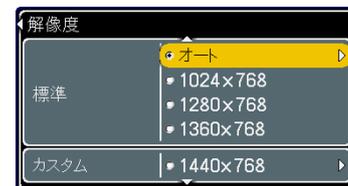


設定項目	操作内容
プログレッシブ	<p>カーソルボタン▲/▼で、プログレッシブモードを選択できます。</p> <p><b>TV ↔ フィルム ↔ オフ</b></p> <p>↑ ↑</p> <p>プログレッシブモードは、インターレース信号の補間方法を決めるためのモードです。「TV」、「フィルム」を選択すると、より鮮明な映像になります。映像をご覧になりながら設定してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■「TV」モード：通常のテレビ番組や家庭用ビデオカメラで撮影したビデオ、DVDなどをご覧になるのに向いています。</li> <li>■「フィルム」モード：映画番組や映画のビデオ、DVDなど、フィルムで撮影されたものをご覧になるのに向いています。</li> </ul> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●この機能は、ビデオ信号、S-ビデオ信号、およびコンポーネントビデオ信号とHDMI信号のうちのインターレース信号を受信しているときに動作します。</li> <li>●「TV」、「フィルム」を選択すると、より鮮明な映像になりますが、物体がすばやく移動するシーンで線がギザギザになるなど、表示に不具合があることがあります。このような場合には「オフ」を選択してください。</li> </ul>
VIDEO NR	<p>カーソルボタン▲/▼で、映像ノイズの低減レベルを選択できます。</p> <p><b>強 ↔ 中 ↔ 弱</b></p> <p>↑ ↑</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●この機能は、ビデオ信号、S-ビデオ信号、およびコンポーネントビデオ信号とHDMI信号のうちのインターレース信号を受信している場合に動作します。</li> <li>●この機能により画質が劣化することがあります。このような場合には「中」、「弱」を選択してください。</li> </ul>
三次元 YC 分離	<p>カーソルボタン▲/▼で、3次元YC分離の設定を選択できます。</p> <p><b>静止画 ↔ 映画 ↔ オフ</b></p> <p>↑ ↑</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■「静止画」モード：スライドのように、動きの少ない映像に向いています。</li> <li>■「映画」モード：映画のように動きの多い映像に向いています。</li> </ul> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●この機能は、NTSC、またはPALのビデオ信号を受信している場合に動作します。</li> </ul>
色空間	<p>カーソルボタン▲/▼で、色空間モードを選択できます。</p> <p><b>オート ↔ RGB ↔ SMPTE240 ↔ REC709 ↔ REC601</b></p> <p>↑ ↑</p> <p>色空間モードは、色を表す方式を設定するためのモードです。「オート」を選択すると適切な色空間モードが自動的に設定されます。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●RGB信号(パソコンからのアナログ映像信号)、またはコンポーネントビデオ信号(525i(480i)、625i(576i)信号、SCART RGB信号を除く)を受信しているときのみ、選択が可能です。</li> <li>●信号によっては「オート」が正しく動作しない場合があります。このような場合には、「オート」以外で入力信号に合う設定を選択してください。</li> </ul>



## 入力メニュー（つづき）

設定項目	操作内容
<p><b>RGB-イン</b></p>	<p>RGB 信号（パソコンからのアナログ映像信号）の、信号受信モードを設定できます。</p> <p>(1) カーソルボタン◀/▶で設定する入力端子を選択します。  <b>RGB1 ↔ RGB2</b></p> <p>(2) カーソルボタン▲/▼で、選択した端子から入力される映像信号の受信モードを選択してください。  <b>オート ↔ SYNC ON G オフ</b></p> <p>「オート」に設定すると、その端子からの SYNC. ON Green 信号を受信できるようになります。「オート」では映像が正しく表示されない、または正常な入力信号が検出されない場合には、「SYNC ON G オフ」に設定してください。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 正常な入力信号が検出されないときに「SYNC ON G オフ」に設定する場合は、一旦信号ケーブルを外して無信号の状態にし、「SYNC ON G オフ」に設定してから、信号を再入力してください。</li> <li>● RGB IN1 / IN2 端子でコンポーネント信号を受信する場合には、「オート」に設定してください。</li> </ul>
<p><b>解像度</b></p>	<p>受信中の、RGB 信号の解像度を設定できます。</p> <p>(1) カーソルボタン▲/▼で設定したい解像度を選択します。</p> <p>(2) カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押すと、選択した解像度に設定、もしくは解像度の入力用ダイアログが表示されます。</p> <p>■ <b>「標準」モード</b></p> <p>選択した解像度に設定され、「垂直位置」、「水平位置」、「クロック位相」、「水平サイズ」が自動的に調整、「アスペクト」が自動的に選択されます。調整が終わると、右のようなメッセージが表示されます。</p> <p>「オート」に設定した場合は、入力信号に応じた解像度が自動的に設定されます。</p> <p>■ <b>「カスタム」モード</b></p> <p>「解像度カスタム設定」ダイアログが表示されます。カーソルボタン▲/▼/◀/▶で「水平」と「垂直」の解像度を入力してください。入力が終わったら、カーソルを数値の右端の桁に置いて、▶ボタンを押します。</p> <p>入力した解像度が設定され、「垂直位置」、「水平位置」、「クロック位相」、「水平サイズ」が自動的に調整、「アスペクト」が自動的に選択されます。調整が終わると、右のようなメッセージが約 10 秒間表示され、元のメニューに戻ります。</p> <p>このメニューには選択した解像度が表示されています。設定の変更を保存せずに以前の解像度に戻る場合は、カーソルを数値の左端の桁に置き、◀ボタンを押してください。元のメニューに戻り、以前の解像度が表示されます。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● すべての解像度が保証されているわけではありません、信号によっては正しく動作しない場合があります。</li> </ul>



# 設置メニュー

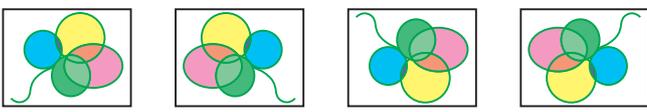
「メニュー機能の使い方」(2-2)に従い、「設置」メニューを表示してください。「設置」メニューでは、下表の項目を操作することができます。カーソルボタン▲/▼で項目を選択し、カーソルボタン▶(または ENTER ボタン)を押すと、操作を開始または実行できます。下表およびメニュー表示に従って操作してください。



応用編

設定項目	操作内容
オートキーストン ☑ 実行	<p>この機能は、「オートキーストン ☑ 実行」を選択し、カーソルボタン▶(または ENTER ボタン)を押した時点で実行されます。</p> <p>カーソルボタン▶を押すと、垂直キーストン (☑ 方向の台形歪み) の自動調整が一回動作します。本機の傾きを変えた場合は、再度オートキーストンを実行してください。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●調整範囲は入力信号によって異なります。また入力信号によっては正しく動作しないことがあります。</li> <li>●「反転表示」(2-14)で、「上下反転」、または「上下左右反転」が選択されているときに、スクリーンが傾いていたり、本機を下向きに投映させたりしていると、正しくキーストン補正できないことがあります。</li> <li>●この機能は、できるだけズーム調節を WIDE (大きく表示) に設定してお使いください。ズーム調節が TELE (小さく表示) 側に設定されていると、過補正となることがあります。</li> <li>●本機がほぼ水平 (前後方向に約 ± 3° 以下) に設置されているときには、この機能は動作しません。</li> <li>●本機の傾きが (前後方向) およそ ± 30° 以上に設置されているときには、この機能は正しく動作しません。</li> <li>●レンズシフトが上方向一杯でないとき、この機能は正しく動作しないことがあります。但しオプションレンズタイプ FL-601 だけは、レンズシフト下方向一杯で正しく動作します。(2-25)</li> <li>●レンズシフトが水平方向で中央にセットされていないと、この機能は正しく動作しないことがあります。</li> <li>●この項目は、「その他」メニュー (2-21) の「セキュリティ」(2-27) — 「状態監視」(2-30) を「有効」に設定しているときは選択できません。</li> </ul>
キーストン ☑	<p>カーソルボタン▲/▼で垂直キーストン (☑ 方向の台形歪み) を調節できます。</p> <p><b>画像の上側を小さく ↔ 画像の下側を小さく</b></p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●キーストンの調節範囲は入力信号によって異なります。また入力信号によっては正しく動作しないことがあります。</li> <li>●レンズシフトが水平方向で中央にセットされていないと、この機能は正しく動作しないことがあります。</li> <li>●この項目は、「その他」メニューの「セキュリティ」 — 「状態監視」を「有効」に設定しているときは選択できません。</li> </ul>

## 設置メニュー（つづき）

設定項目	操作内容
キーストン 	<p>カーソルボタン▲/▼で水平キーストン（方向の台形歪み）を調節できます。  <b>画像の右側を小さく ↔ 画像の左側を小さく</b></p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●キーストンの調節範囲は入力信号によって異なります。また入力信号によっては正しく動作しないことがあります。</li> <li>●この機能は、できるだけズーム調節を WIDE（大きく表示）に設定してお使いください。ズーム調節が TELE（小さく表示）側に設定されていると、過補正となることがあります。</li> <li>●レンズシフトが上方向一杯でないとき、この機能は正しく動作しないことがあります。但しオプションレンズタイプ FL-601 だけは、レンズシフト下方向一杯で正しく動作します。（<a href="#">図2-25</a>）</li> <li>●この項目は、「その他」メニュー（<a href="#">図2-21</a>）の「セキュリティ」（<a href="#">図2-27</a>）－「状態監視」（<a href="#">図2-30</a>）を「有効」に設定しているときは選択できません。</li> </ul>
静音	<p>カーソルボタン▲/▼で静音モードを切り替えられます。  <b>標準モード ↔ 静音モード</b></p> <p>「静音モード」を選択すると、本機が動作中に発する騒音を低減することができます。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●静音モードでは画像の明るさも少し抑えられます。</li> </ul>
反転表示	<p>カーソルボタン▲/▼で画面の反転表示モードを選択できます。  <b>通常表示 ↔ 左右反転 ↔ 上下反転 ↔ 上下左右反転</b></p> <p>↑ ↑</p> <p>例 </p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「その他」メニューの「セキュリティ」－「状態監視」を「有効」に設定している状態で反転モードを変更し、電源を切ってから再度電源を入れると、状態監視アラームが表示されます。（<a href="#">図2-30</a>）</li> </ul>



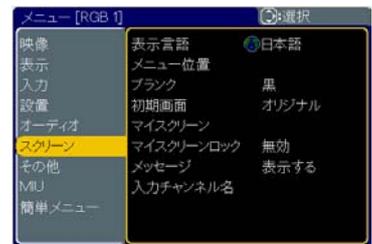
## オーディオメニュー（つづき）

設定項目	操作内容
<p><b>AUDIO</b></p>	<p>音声信号の入力端子をどの映像信号の入力端子に連動させるかを設定します。</p> <p>(1) カーソルボタン▲ / ▼で設定する映像信号の入力端子を選択します。</p> <p style="text-align: center;"> <b>RGB1 ↔ RGB2 ↔ HDMI ↔ MIU</b>            ↓  <b>戻る ↔ VIDEO ↔ S-VIDEO ↔ COMPONENT</b>            ↓         </p> <p>(2) カーソルボタン◀ / ▶で連動させる音声信号の入力端子を設定してください。</p> <p style="text-align: center;"><b>1 ↔ 2 ↔ 3 ↔ 4 ↔ 𠂆 ( ↔ H/M)</b></p> <p>「1」：AUDIO IN1 端子からの音声が出力されます。          「2」：AUDIO IN2 端子からの音声が出力されます。          「3」：AUDIO IN3 端子からの音声が出力されます。          「4」：AUDIO IN4 端子からの音声が出力されます。          「𠂆」：音声は出力されません。          「オーディオ」メニュー、音量調節、MUTE 等も動作しません。          「H」：HDMI 端子からの音声が出力されます。          「M」：MIU の音声が出力されます。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <p>● 「H」、および「M」は、それぞれ HDMI 端子、MIU 以外には設定できません。</p>
<p><b>HDMI AUDIO</b></p>	<p>カーソルボタン▲ / ▼で、HDMI Audio を選択できます。</p> <p style="text-align: center;"><b>1 ↔ 2</b></p> <p>初期設定では「1」に設定されています。HDMI の音声が出力されない場合は、「2」に変更してください。</p>



# スクリーンメニュー

「メニュー機能の使い方」(2-2)に従い、「スクリーン」メニューを表示してください。スクリーンメニューでは下表の項目を操作することができます。カーソルボタン▲/▼で項目を選択し、カーソルボタン▶(またはENTERボタン)を押すと、操作を開始または実行できます。下表およびメニュー表示に従って操作してください。



設定項目	操作内容
表示言語	<p>カーソルボタン▲/▼でメニュー表示言語を選択できます。</p> <p>ENGLISH ⇄ FRANÇAIS ⇄ DEUTSCH ⇄ ESPAÑOL ⇄ ITALIANO            ↳            NORSK ⇄ NEDERLANDS ⇄ PORTUGUÊS ⇄ 日本語            ↳            简体中文 ⇄ 繁體中文 ⇄ 한글 ⇄ SVENSKA ⇄ РУССКИЙ            ↳            SUOMI ⇄ POLSKI ⇄ TÜRKÇE</p>
メニュー位置	<p>カーソルボタン▲/▼/◀/▶でメニュー位置を調節できます。</p> <p style="text-align: center;">上 ↑ 左 ← → 右 ↓ 下</p> <p>カーソルボタン▶を押しても操作は終了しません。MENU ボタンを押すか、10 秒間何も操作しないと終了します。</p>
ブランク	<p>カーソルボタン▲/▼でブランク画面を選択できます。</p> <p>マイスクリーン ⇄ オリジナル ⇄ 青 ⇄ 白 ⇄ 黒</p> <p style="text-align: center;">↑</p> <p>「ブランク画面」は BLANK ボタンを押したときに投映される映像です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■「マイスクリーン」:「マイスクリーン」(2-18)で登録したお好みの映像が表示されます。</li> <li>■「オリジナル」:本機の標準映像が表示されます。投映してご確認ください。</li> <li>■「青」「白」「黒」:各色の無地画面が表示されます。</li> </ul> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●本機は、同じ映像を長時間投映し続けると残像が残ることがあります。これを防ぐため、「マイスクリーン」または「オリジナル」は数分で無地の画面に変わります。</li> </ul>
初期画面	<p>カーソルボタン▲/▼で初期画面を選択できます。</p> <p>「初期画面」は起動時の信号が安定するまでの間や、正常な信号が見つからない(入力信号が無い、入力信号が本機の仕様に合わない、など)ときに投映される映像です。</p> <p>マイスクリーン ⇄ オリジナル ⇄ 表示しない</p> <p style="text-align: center;">↑</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■「マイスクリーン」:「マイスクリーン」(2-18)で登録したお好みの映像が表示されます。</li> <li>■「オリジナル」:本機の標準映像が表示されます。投映してご確認ください。</li> <li>■「表示しない」:黒の無地画面が表示されます。</li> </ul> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●本機は、同じ映像を長時間投映し続けると残像が残ることがあります。これを防ぐため、「マイスクリーン」または「オリジナル」は数分でブランク画面に変わります。「ブランク」(2-17)で「マイスクリーン」または「オリジナル」が選択されている場合は、黒の無地画面に変わります。</li> <li>●この項目は、マイスクリーンパスワード機能が有効に設定(2-28)されているときは選択できません。初期画面は「マイスクリーン」に固定されます。</li> </ul>

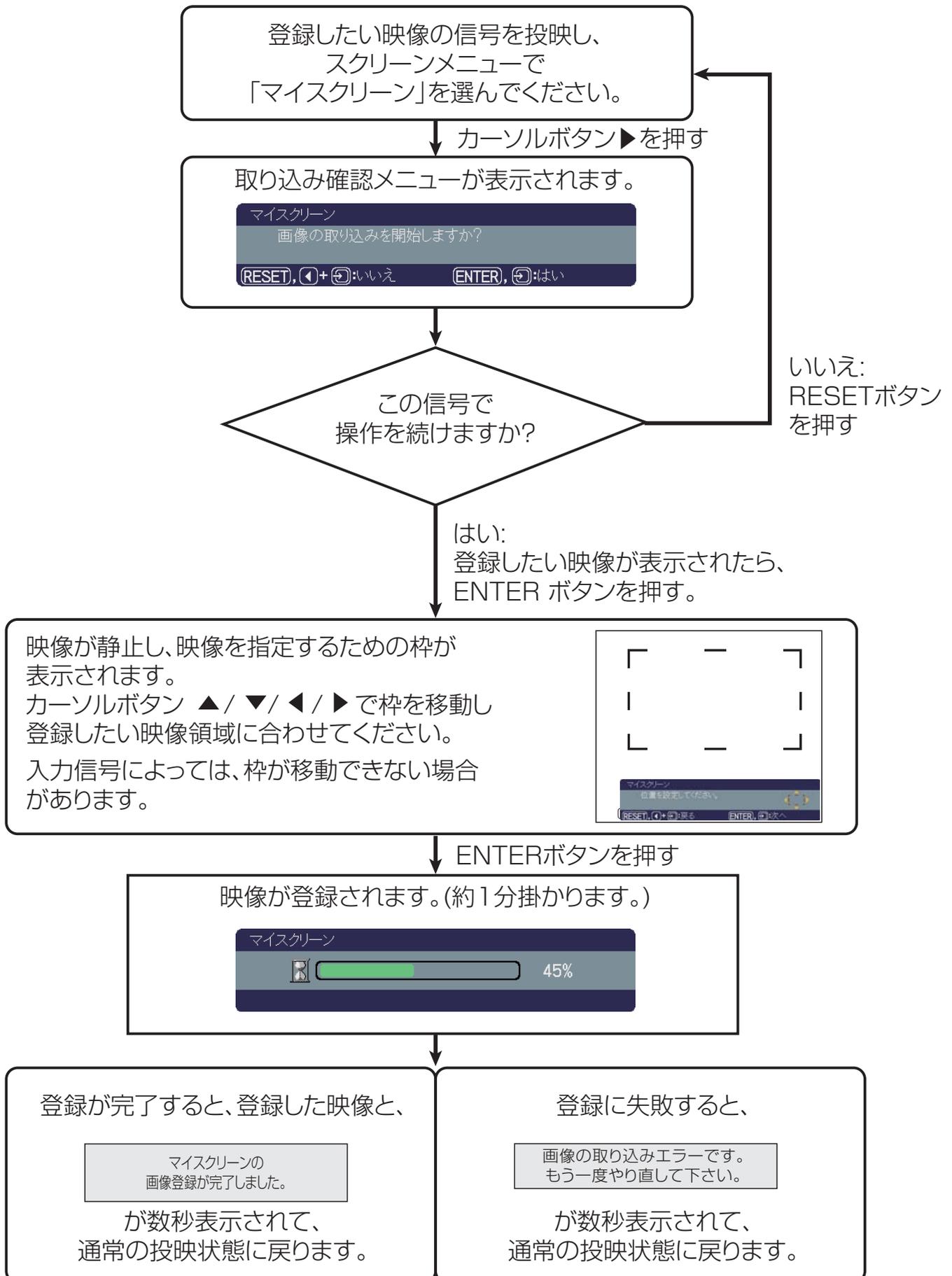
## スクリーンメニュー（つづき）

設定項目	操作内容
<p>マイスクリーン</p>	<p>ブランク画面や初期画面用に、お好みの画像（マイスクリーン）を登録することができます。あらかじめ、登録したい映像信号を入力・選択してください。 カーソルボタン▶（またはENTERボタン）を押すと登録操作を開始します。「マイスクリーンを登録する」（2-20）に従って操作してください。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●マイスクリーンで登録した画像は、元の画像より劣化します。</li> <li>●この項目は、「マイスクリーンロック」（ 下記）が「有効」に設定されているときは選択できません。</li> <li>●この項目は、マイスクリーンパスワード機能が有効に設定（2-28）されているときは選択できません。</li> <li>●HDMI信号からは、マイスクリーンを登録できません。</li> </ul>
<p>マイスクリーン ロック</p>	<p>カーソルボタン▲/▼でマイスクリーンの上書き防止機能を設定できます。</p> <p><b>有効 ↔ 無効</b></p> <p>「有効」に設定すると、「マイスクリーン」の登録操作を禁止し、登録済みの映像を保護することができます。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●この項目は、マイスクリーンパスワード機能が有効に設定されているときは選択できません。</li> </ul>
<p>メッセージ</p>	<p>カーソルボタン▲/▼でメッセージモードを選択できます。</p> <p><b>表示する ↔ 表示しない</b></p> <p>「表示しない」を選択すると、以下のメッセージは表示されません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「AUTO 実行中」</li> <li>・「信号が入力されていません」</li> <li>・「信号は同期範囲外です」</li> <li>・「検索中…」</li> <li>・「信号検出中…」</li> <li>・入力切替による入力信号表示</li> <li>・「アスペクト」の変更による縦横比の表示</li> <li>・「マイメモリー」の変更による表示</li> <li>・「映像モード」の変更による表示</li> <li>・画面を静止させたときの「静止」</li> </ul> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「表示しない」に設定したときは、画面を静止させたことを忘れないように注意してください。</li> </ul>



## スクリーンメニュー（つづき）

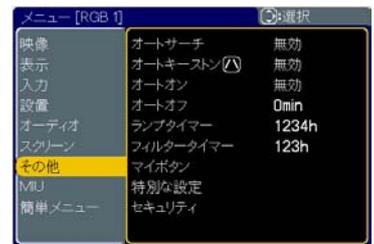
### マイスクリーンを登録する



# その他メニュー

「メニュー機能の使い方」(2-2)に従い、「その他」メニューを表示してください。その他メニューでは下表の項目を操作することができます。

カーソルボタン▲/▼で項目を選択し、カーソルボタン▶(またはENTERボタン)を押すと、操作を開始または実行できます。下表およびメニュー表示に従って操作してください。



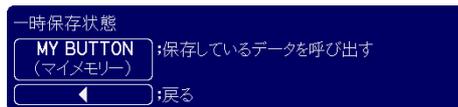
設定項目	操作内容
オートサーチ	<p>カーソルボタン▲/▼で入力信号の自動検索機能の有効/無効を設定できます。</p> <p><b>有効 ↔ 無効</b></p> <p>「有効」を選択すると、信号を受信できなくなると、本機は自動的に他の端子からの入力信号を検索し始めます。正常な入力信号が見つかったら、その映像が表示されます。オートサーチは、実行前に選択されていた入力端子から、正常な入力信号が見つかるまで、次の順序でくりかえし行われます。</p> <p><b>RGB1 → RGB2 → HDMI → MIU → COMPONENT → S-VIDEO → VIDEO</b></p> <p>↑</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●本機が「ライブモード」(2-34)に設定されているときに、パソコンから映像が送信されてこない場合、MIUはスキップされます。</li> </ul>
オートキーストン	<p>カーソルボタン▲/▼でオートキーストン機能の有効/無効を設定できます。</p> <p><b>有効 ↔ 無効</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■「有効」 本機の傾きを変更した際に、垂直キーストン ()方向の台形歪みを自動的に調整します。</li> <li>■「無効」 垂直キーストン ()方向の台形歪みの自動調整を実行するには、リモコンのKEYSTONEボタンか、「設置」メニューの「オートキーストン実行」(2-13)を使用してください。</li> </ul> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●天井からの吊り下げ使用のように、固定用途で本機を使用するときは、この機能は「無効」を選択することを推奨します。</li> <li>●この機能は「セキュリティ」(2-27) — 「状態監視」(2-30)を「有効」に設定しているときは選択できません。</li> </ul>
オートオン	<p>カーソルボタン▲/▼でオートオン機能の有効/無効を設定できます。</p> <p><b>有効 ↔ 無効</b></p> <p>「有効」に設定すると、本機の使用(ランプ点灯中)に、電源スイッチやテーブルタップのスイッチ、プレーカーをご使用になって電源を切ったあと、再度電源を接続したときに、STANDBY/ONボタンの操作無しで電源が入り、ランプが自動的に点灯します。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●以下のいずれかの手順で電源を切った場合は、電源を再度接続しても、ランプは自動的に点灯しません。STANDBY/ONボタンの操作または電源「入」コマンドを送信してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・STANDBY/ONボタン、または電源「切」のコマンドでランプを消灯したとき。</li> <li>・「オートオフ」機能でランプを消灯したとき。(2-22)</li> </ul> </li> <li>●オートオン機能で電源が入ってから、入力信号が検出されないまま以下の設定時間が経過すると、オートオフ機能が動作し、自動的に電源が切れます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「オートオフ」時間が1～99に設定してある場合は設定した時間</li> <li>・「オートオフ」時間が0分(オートオフ無効)の場合は30分</li> </ul> </li> <li>●上記の時間内にリモコンまたは操作パネルのボタンを押したとき、または、コマンド(Getコマンド除く)を受けた場合は、その時点から再び時間が経過するまでオートオフ機能は動作しません。</li> </ul>

## その他メニュー（つづき）

設定項目	操作内容
<p><b>オートオフ</b></p>	<p>カーソルボタン▲/▼で信号がなくなってから自動的に電源を切る（ランプを消灯し、冷却動作を始める）までの待ち時間を設定できます。</p> <p><b>長く（最長 99 分） ↔ 短く（最短 1 分、0 分無効）</b></p> <p>例</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>オートオフ</p> <p>有効</p> <p>1min</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>オートオフ</p> <p>無効</p> <p>0min</p> </div> </div> <p>オートオフ機能は 1 ～ 99 分に設定されているときのみ有効です。0 に設定すると無効になります。</p> <p>有効に設定（待ち時間を設定）すると、入力信号が検出されない場合、設定時間経過後に自動的に電源が切れます。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●リモコンまたは操作パネルのボタンを押したとき、または、コントロール端子がコマンド（Get コマンド除く）を受けた場合は、その時点から再び設定時間が経過するまで自動電源オフは動作しません。</li> <li>●電源オフについては「電源を切る」（<a href="#">P.1-25</a>）をお読みください。</li> </ul>
<p><b>ランプタイマー</b></p>	<p>メニューに表示されている「ランプタイマー」の右側の値は、ランプの使用時間です。初期、または前回ランプタイマーを初期化した時からの現在までのランプの点灯時間を 1 時間単位で表示します。</p> <p>カーソルボタン▲を押して「初期化する」を選択すると、ランプタイマーを初期化することができます。</p> <p><b>初期化する ← 初期化しない</b></p> <p>タイマーを初期化した後は、メニューの「ランプタイマー」の右側の値が「0」になっていることを確認してください。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●一度カーソルボタン▲を押してランプタイマーを初期化すると、元には戻せませんので、ご注意ください。</li> <li>●ランプを交換したときは必ずランプタイマーを初期化してください。ランプの交換に合わせて初期化しないと、実際のランプの使用時間とランプタイマーの値が一致しません。</li> <li>●ランプ交換の際は必ず「ランプを交換する」（<a href="#">P.1-32,33</a>）をお読みください。</li> </ul>
<p><b>フィルタータイマー</b></p>	<p>メニューに表示されている「フィルタータイマー」の右側の値は、エアーフィルターの使用時間です。初期、または前回フィルタータイマーを初期化した時からの現在までの本機の稼働時間を 1 時間単位で表示します。</p> <p>カーソルボタン▲を押して「初期化する」を選択すると、フィルタータイマーを初期化することができます。</p> <p><b>初期化する ← 初期化しない</b></p> <p>タイマーを初期化した後は、メニューの「フィルタータイマー」の右側の値が「0」になっていることを確認してください。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●一度カーソルボタン▲を押してフィルタータイマーを初期化すると、元には戻せませんのでご注意ください。</li> <li>●エアーフィルターを掃除または交換したときは必ずフィルタータイマーを初期化してください。エアーフィルターの掃除または交換に合わせて初期化しないと、実際の稼働時間とフィルタータイマーの値が一致せず、また、エアーフィルターの掃除時期をお知らせするメッセージ（<a href="#">P.2-44</a>）が正しく表示されません。</li> <li>●エアーフィルターの掃除または交換については、「エアーフィルターを掃除／交換する」（<a href="#">P.1-34</a>）をお読みください。</li> </ul>

## その他メニュー（つづき）

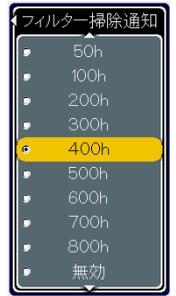
設定項目	操作内容
<p>マイボタン</p>	<p>リモコンの、2つのMY BUTTON1/2に機能を割り当てることができます。</p> <p>(1) カーソルボタン◀/▶で、設定するボタン（1または2）を選択してください。</p> <p><b>1：MY BUTTON1 ↔ 2：MY BUTTON2</b></p> <p>(2) カーソルボタン▲/▼で、MY BUTTONに割り当てる機能を設定してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・RGB1：RGB IN1 端子からの信号を選択します。</li> <li>・RGB2：RGB IN2 端子からの信号を選択します。</li> <li>・HDMI：HDMI 端子からの信号を選択します。</li> <li>・MIU：MIUの信号を選択します。</li> <li>・COMPONENT：COMPONENT (Y,P<sub>B</sub>/C<sub>B</sub>,P<sub>R</sub>/C<sub>R</sub>) 端子からの信号を選択します。</li> <li>・S-VIDEO：S-VIDEO 端子からの信号を選択します。</li> <li>・VIDEO：VIDEO 端子からの信号を選択します。</li> <li>・インフォメーション：「入力 - インフォメーション -」ダイアログ（受信中の入力信号の情報）（<a href="#">図2-26</a>）、または「MIU - インフォメーション -」ダイアログ（ネットワークの設定情報）（<a href="#">図2-41</a>）を表示します。</li> <li>・オートキーストン<math>\square</math>：垂直キーストンの自動調整を実行します。（<a href="#">図2-13</a>）</li> <li>・マイメモリー：マイメモリーで記憶した設定のロード操作を行います。（<a href="#">図2-6</a>）</li> </ul> <p><b>■ 「マイメモリー」を設定したMY BUTTONの動作</b></p> <p>MY BUTTON1/2を押したときの「映像」メニューの設定と、ロードしようとする設定が異なると、右のような操作表示が現れます。現在の設定を変えたくない場合はカーソルボタン◀を押してください。</p> <p>ロードを実行するには、もう一度MY BUTTON1/2を押してください。メモリーに保存されているデータがあると設定をロードします。MY BUTTON1/2を押すたびに、保存されているデータをメモリーの番号に従って順次呼び出します。4つのメモリーのいずれにも設定データが記憶されていないと右の表示が現れます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アクティブアイリス：アクティブアイリスモードを変更します。（<a href="#">図2-6</a>）</li> <li>・映像モード：映像モードを変更します。（<a href="#">図2-3</a>）</li> <li>・フィルターリセット：フィルタータイマーの初期化確認ダイアログを表示します。（<a href="#">図2-22</a>）</li> <li>・音量+：音量を上げます。</li> <li>・音量-：音量を下げます。</li> <li>・AVミュート：映像の表示と音声のオン/オフを同時に切り替えます。</li> <li>・静止画転送：静止画転送メニューを表示します。（<a href="#">図2-41</a>）</li> <li>・ライブモード：入力信号をMIUに切り替え、ライブモードに設定します。（<a href="#">図2-34</a>）ライブモード中に押した場合は、「ライブモード設定」メニュー（<a href="#">図2-34</a>）が表示されます。</li> <li>・サムネイル：入力信号をMIUに切り替え、PCレスプレゼンテーションをサムネイルモードで開始します。（<a href="#">図2-36</a>）</li> <li>・スライドショー：入力信号をMIUに切り替え、PCレスプレゼンテーションをスライドショーモードで開始します。（<a href="#">図2-36</a>）</li> <li>・ディレクトリ：入力信号をMIUに切り替え、PCレスプレゼンテーションをディレクトリモードで開始します。（<a href="#">図2-36</a>）</li> <li>・メディア取外し：「メディア取外し」ダイアログを表示します。（<a href="#">図2-36</a>）</li> </ul>





## その他メニュー（つづき）

設定項目	操作内容	
特別な設定 (つづき)	フィルター 掃除通知	<p>カーソルボタン▲/▼でエアフィルターの掃除時期をお知らせするメッセージが表示されるまでの時間を設定できます。</p> <p>50h ↔ 100h ↔ 200h ↔ 300h ↔ 400h ↔ 500h 無効 ↔ 800h ↔ 700h ↔ 600h ←</p> <p>定期的なお掃除で、エアフィルターを清潔に保てるよう、本機のご使用環境に合わせて設定してください。</p> <p>「無効」以外を設定すると、フィルタータイマー ( 2-22 ) の値が設定した時間に達したとき、エアフィルターの掃除をお願いするメッセージ ( 2-44 ) が表示されます。「無効」が設定されていると、このお知らせメッセージは表示されません。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●お掃除メッセージが表示されなくても、エアフィルターは定期的に掃除してください。エアフィルターがホコリなどで詰まると、本機の内部温度が上がり過ぎて、故障や本機の寿命を縮める原因となることがあります。</li> <li>●ご使用環境やエアフィルターの状態に気を付けてご使用ください。</li> </ul>
	レンズタイプ	<p>カーソルボタン▲/▼で使用するレンズタイプを選択してください。</p> <p>1 ↔ 2 ↔ 3 ↔ 4 ↔ 5</p> <p>1：標準レンズ (NL-600) 2：固定短焦点レンズ (FL-601) 3：短焦点レンズ (SL-602) 4：長焦点レンズ (LL-603) 5：超長焦点レンズ (UL-604)</p> <p>交換したオプションレンズにあわせて設定してください。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●この設定はキーストンの補正などに影響します。</li> <li>●オプションレンズについては、販売店、最寄りの弊社支店または営業所 ( 巻末 ) におたずねください。</li> </ul>
	キーロック	<p>カーソルボタン▲/▼で操作パネルのボタンをロック設定できます。</p> <p>有効 ↔ 無効</p> <p>「有効」を選ぶと、STANDBY/ON ボタン以外の操作パネルのボタンを押しても反応しなくなります。いたずらや誤操作を防止したい場合などにこの機能をご使用ください。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●リモコン操作には影響しません。</li> </ul>

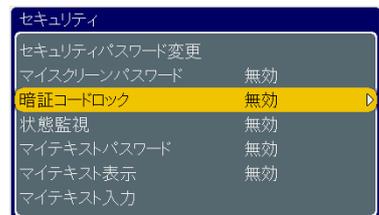


## その他メニュー（つづき）

設定項目	操作内容
特別な設定 (つづき)	<p>本機のリモコン受光部の設定を変更できます。</p> <p>(1) カーソルボタン▲ / ▼で設定を変更するリモコン受光部を選択してください。</p> <p>1 : 前面 ↔ 2 : 上面 ↔ 3 : 背面</p>  <p>(2) ENTER または INPUT ボタンで有効 / 無効を切り替えてください。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> (有効) ↔ <input type="checkbox"/> (無効)</p> <p>チェックマークを付けた項目が有効になります。</p> <p>3 個とも全てを無効には設定できません。少なくとも 1 個は常に有効に設定されます。</p> <p>工場出荷時は全て有効に設定されています。蛍光灯妨害などでリモコンが正常に機能しない場合に、どれかを無効に設定してみてください。</p>
	<p>リモコン受光部のリモコン信号受信周波数モードを設定できます。</p> <p>(1) カーソルボタン▲ / ▼で、信号受信周波数モードを選択します。</p> <p>1 : 標準 ↔ 2 : 高</p>  <p>(2) ENTER または INPUT ボタンで有効 / 無効を切り替えてください。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> (有効) ↔ <input type="checkbox"/> (無効)</p> <p>チェックマークを付けた項目は有効になります。</p> <p>「1 : 標準」と「2 : 高」の両方を無効にすることはできません。工場出荷時には「1 : 標準」と「2 : 高」の両方とも有効になっています。リモコンが正常に機能しない場合、「1 : 標準」または「2 : 高」だけを有効にしてみてください。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● リモコンとリモコン受光部、両方の設定が一致していないとリモコンは正常に動作しません。リモコンで設定されている信号周波数モード（1 または 2）がリモコン受光部で有効となるように設定してください。</li> </ul>
	<p>この機能は、「インフォメーション」を選択し、カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押した時点で実行されます。</p> <p>カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押すと、「入力 - インフォメーション -」ダイアログが表示され、現在受信中の信号について、信号の入力端子や、解像度、垂直周波数、信号方式（「ビデオフォーマット」の設定）などの情報を確認することができます。</p>  <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● “フレームロック”と表示されている場合は、「入力」メニュー（<a href="#">2-10</a>）の「フレームロック」（<a href="#">2-11</a>）が「有効」に設定されていることを示します。</li> <li>● “SCART RGB”と表示されている場合は、「入力」メニューの「COMPONENT」（<a href="#">2-11</a>）が「SCART RGB」に設定され、COMPONENT 端子および VIDEOE 端子が SCART RGB 端子として動作していることを示します。</li> <li>● 「セキュリティ」（<a href="#">2-27</a>） - 「マイテキスト表示」（<a href="#">2-33</a>）が「有効」に設定されていると、マイテキストも一緒に表示されます。</li> </ul>

## その他メニュー（つづき）

設定項目	操作内容
<p>特別な設定 (つづき)</p>	<p>カーソルボタン▲を押して、「初期化する」を選択すると、詳細メニューの各項目を一括して初期設定に戻すことができます。</p> <p>初期化する ← 初期化しない</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● マイスクリンパスワードが設定 (☑2-28) されていない場合は、マイスクリン画像もクリアされます。</li> <li>● 「クロック位相」、「表示言語」、「ランプタイマー」、「フィルタータイマー」、「フィルター掃除通知」、「セキュリティ」および「MIU」メニューの各項目は初期化されません。</li> </ul>
<p>セキュリティ</p>	<p>本機はセキュリティ機能を備えています。パスワード、暗証コードのお問い合わせの際に必要となりますので、保証書はかならず大切に保管してください。</p> <p>この項目を選択してカーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押すと、「セキュリティ / パスワードを入力してください」ダイアログが表示されます。</p> <p>(1) カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶ で、登録されているセキュリティパスワードを入力してください。 工場出荷時には、パスワードは <b>7803</b> に設定されています。</p> <p>(2) カーソルをダイアログの右端に移動し、カーソルボタン▶を押すと、「セキュリティ」メニューが表示されます。間違ったパスワードを入力した場合は、「セキュリティ / パスワードを入力してください」ダイアログが再度表示されます。</p> <p>(3) 「セキュリティ」メニュー上で、カーソルボタン▲ / ▼ で、操作したい項目を選択してください。</p> <p style="text-align: center;"> <b>セキュリティパスワード変更 ↔ マイスクリンパスワード ↔ 暗証コードロック</b>          ↓ ↑  <b>マイテキスト入力 ↔ マイテキスト表示 ↔ マイテキストパスワード ↔ 状態監視</b> </p> <p>カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押すと、その項目のダイアログが表示されます。</p> <p>■ <b>セキュリティパスワードを忘れた場合</b></p> <p>(1) 「セキュリティ / パスワードを入力してください」ダイアログが表示されている間に、RESET ボタン、または操作パネルのカーソルボタン▶と INPUT ボタンを同時に3秒間押し続けると、「セキュリティパスワード / 照合コード」ダイアログが表示されます。 このダイアログには10桁のセキュリティパスワード照合コードが表示されています。</p> <p>(2) 10桁のセキュリティパスワード照合コードを、お客様のお名前、電話番号と合わせて <b>カスタマーサービス部 TEL 052-811-5135 (9:00 ~ 17:00)</b> までご連絡ください。確認後パスワードをご連絡いたします。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 間違ったパスワードを3回入力すると、電源が切れます。これ以降は、パスワードの入力を間違えるたびに電源が切れます。</li> <li>● 「セキュリティパスワード / 照合コード」ダイアログが表示されているときに約55秒間何も入力しないと、ダイアログが閉じます。</li> <li>● セキュリティパスワードは変更できます (☑2-28)。工場出荷時のパスワードはできるだけ早めに変更してください。</li> </ul>



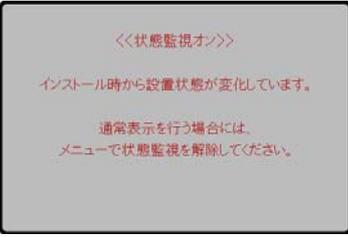
## その他メニュー（つづき）

設定項目	操作内容
セキュリティ パスワード変更	<p>セキュリティパスワードを変更することができます。</p> <p>(1) 「セキュリティ / 新パスワードを入力してください」ダイアログで、カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で新しいパスワードを入力してください。</p>  <p>(2) カーソルをダイアログの右端に移動し、カーソルボタン▶を押すと、「セキュリティ新パスワードを再入力してください」ダイアログが表示されます。</p>  <p>(3) カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で先に入力したのと同じパスワードをもう一度入力してください。</p> <p>(4) カーソルをダイアログの右端に移動して、カーソルボタン▶を押すと、新しいセキュリティパスワードが設定され、「セキュリティ / 新パスワードをメモしてください」ダイアログが約 20 秒間表示されます。この間に新しいパスワードをメモしてください。</p>  <p>(5) ENTER または INPUT ボタンを押すと、ダイアログが閉じます。</p>
	<p>マイスクリーンへのアクセスを禁止し、登録されている画像の上書きを防ぐことができます。</p> <p><b>有効 ↔ 無効</b></p> <p>この機能を有効にすると、「スクリーン」メニューの「マイスクリーン」、および「マイスクリーンロック」を操作できなくなり、「初期画面」が「マイスクリーン」に固定されます。(P.2-17)</p> <p><b>■マイスクリーンパスワード機能を有効にする（マイスクリーンパスワードを設定・登録する）</b></p> <p>(1) 「マイスクリーンパスワード」ダイアログで、カーソルボタン▲を押して「有効」を選択すると、「マイスクリーン / パスワードを入力してください」(小) ダイアログが表示されます。</p>  <p>(2) カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で、パスワードを入力してください。</p> <p>(3) カーソルをダイアログの右端に移動し、カーソルボタン▶を押すと、「パスワードを再入力してください」ダイアログが表示されます。</p>  <p>(4) 先に入力したのと同じパスワードをもう一度入力してください。</p> <p>(5) カーソルをダイアログの右端に移動し、カーソルボタン▶を押すと、マイスクリーンパスワードが設定・登録され、「マイスクリーン / パスワードをメモしてください」ダイアログが約 20 秒間表示されます。このダイアログにはパスワードが表示されています。この間にパスワードをメモしてください。</p>  <p>ENTER または INPUT ボタンを押すと、「マイスクリーンパスワード」ダイアログに戻ります。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <p>●マイスクリーンパスワードを忘れないようにしてください。</p>
セキュリティ (つづき)	マイスクリーンパスワード

## その他メニュー（つづき）

設定項目	操作内容
<p>マイスクリーンパスワード (つづき)</p>	<p><b>■マイスクリーンパスワード機能を無効にする</b>            マイスクリンパスワード機能を無効にすると、「マイスクリーンロック」の操作や、マイスクリーンの書き換えが可能になります。            (1) 「マイスクリーンパスワード」ダイアログで、カーソルボタン▼を押して「無効」を選択すると、「マイスクリーン／パスワードを入力してください」(大)ダイアログが表示されます。            (2) 登録されたパスワードを入力すると、「マイスクリーンパスワード」は「無効」に設定され、「マイスクリーンパスワード」ダイアログに戻ります。間違ったパスワードを入力すると、「マイスクリーン／パスワードを入力してください」(大)ダイアログが閉じます。</p> <p><b>■マイスクリーンパスワードを忘れた場合</b>            (1) 「マイスクリーンパスワード」ダイアログで、カーソルボタン▼を押して「無効」を選択し、「マイスクリーン／パスワードを入力してください」(大)ダイアログを表示させてください。            このダイアログには 10 桁のマイスクリーンパスワード照合コードが表示されています。            (2) 10 桁のマイスクリーンパスワード照合コードを、お客様のお名前、電話番号と合わせて  <b>カスタマーサービス部 TEL 052-811-5135 (9:00 ~ 17:00)</b>            までご連絡ください。確認後、マイスクリーンパスワードをご連絡いたします。</p> 
<p>セキュリティ (つづき)</p>	<p>起動の際に入力が必要な暗証コードを設定し、本機の無断使用、いたずらを防止することができます。</p> <p><b>有効 ↔ 無効</b></p> <p>暗証コードロック機能を有効にすると、電源スイッチを入れて最初に電源を入れるたびに暗証コードを確認するダイアログが表示され、登録された暗証コードを入力しない限り、本機を使用できなくなります。ただし、この機能は、一度本機の電源を切った後で、再度電源を入れないと有効になりません。</p> <p><b>■暗証コードロック機能を有効にする（暗証コードを設定・登録する）</b>            (1) 「暗証コードロック」ダイアログでカーソルボタン▲を押して「有効」を選択すると、「暗証コードメニュー／暗証コードを入力してください」ダイアログが表示されます。              (2) カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶、および RGB ボタンまたは INPUT ボタンで、4 つのパートからなる暗証コードを入力してください。            「暗証コードメニュー／暗証コードを再入力してください」ダイアログが表示されます。              (3) 先に入力した暗証コードをもう一度入力してください。暗証コードが設定・登録され、「暗証コードロック」ダイアログに戻ります。  </p> <p><b>お知らせ</b>            ●暗証コードを忘れないようにしてください。</p>

## その他メニュー（つづき）

設定項目	操作内容
<p>セキュリティ （つづき）</p>	<p><b>暗証コードロック（つづき）</b></p> <p>■暗証コードロック機能を無効にする 暗証コードロック機能を無効にすると、本機は通常どおりに起動します。 (1) 「暗証コードロック」ダイアログでカーソルボタン▼を押して「無効」を選択すると、「暗証コードメニュー／暗証コードを入力してください」ダイアログが表示されます。 (2) 登録された暗証コードを入力すると、「暗証コードロック」は「無効」に設定され「暗証コードロック」ダイアログに戻ります。 間違ったパスワードを入力すると、「暗証コードメニュー／暗証コードを入力してください」ダイアログが閉じます。</p> <p>■暗証コードを忘れた場合 (1) 本機の電源を入れるか、もしくは「暗証コードロック」ダイアログでカーソルボタン▼を押して「無効」を選択し、「暗証コードメニュー／暗証コードを入力してください」ダイアログを表示させてください。 (2) このダイアログが表示されている間に RESET ボタン、または操作パネルのカーソルボタン▶と INPUT ボタンを同時に、約 3 秒間押すと、「暗証コードメニュー／照合コード」ダイアログが表示されます。このダイアログには 10 桁の暗証コード照合コードが表示されています。 (3) 10 桁の暗証コード照合コードを、お客様のお名前、電話番号と合わせて <b>カスタマーサービス部 TEL 052-811-5135 (9:00 ~ 17:00)</b> までご連絡ください。確認後、暗証コードをご連絡いたします。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●各ダイアログが表示されているときに約 55 秒間何も入力しないと、ダイアログが閉じます。</li> <li>●本機の電源を入れたときに表示される「暗証コードメニュー／暗証コードを入力してください」ダイアログは、正しい暗証コードを入力するか、ランプが消灯するまで表示されます。間違った暗証コードを入力すると、ダイアログが再表示されます。間違った暗証コードを 3 回入力すると、ランプが消灯します。その後は、暗証コードの入力を間違えるたびに電源が切れます。また、ダイアログが表示されてから正しい暗証コードを約 5 分間以内に入力しない場合も、ランプが消灯します</li> </ul>
	<p><b>状態監視</b></p> <p>状態監視のアラームを表示し、本機を無断で移動されることを防止することができます。</p> <p><b>有効 ↔ 無効</b></p> <p>この機能を有効にすると、本機の電源を入れたときの角度（前後の傾き）、反転表示モード（<b>2-14</b>）が記録されている設定と異なると、状態監視のアラームが表示され、本機は入力信号を表示しなくなります。本機を記録されている元の状態に戻すか、あるいはこの機能を無効にしない限り本機を使用できなくなります。また、キーストンの調節機能（<b>2-3,13,14,21</b>）も無効になります。</p> <p>この機能は、一度本機の電源を切った（<b>1-25</b>）あとで、再度電源を入れないと有効になりません。ただし、キーストンの調節機能は、本機の電源を切らなくても、「状態監視」が「有効」に設定された時点で、無効になります。</p> <p>本機を移動または再設置した場合、アラームが表示されることがありますのでご注意ください。</p>  

設定項目	操作内容
<p>セキュリティ （つづき）</p>	<p><b>状態監視</b> （つづき）</p> <p>■状態監視機能を有効にする（状態監視パスワードを設定・登録する）</p> <p>(1) 「状態監視」ダイアログでカーソルボタン▲を押して「有効」を選択すると、現在の角度（前後の傾き）、反転表示モード（2-14）が記録され、「状態監視／パスワードを入力してください」（小）ダイアログが表示されます。</p>  <p>(2) カーソルボタン▲／▼／◀／▶で、パスワードを入力してください。</p> <p>(3) カーソルをダイアログの右端に移動し、カーソルボタン▶を押すと、「状態監視／パスワードを再入力してください」ダイアログが表示されます。</p>  <p>(4) カーソルボタン▲／▼／◀／▶で、先に入力したのと同じパスワードをもう一度入力してください。</p> <p>(5) カーソルをダイアログの右端に移動し、カーソルボタン▶を押すと、状態監視パスワードが設定・登録され、「状態監視／パスワードをメモしてください」ダイアログが約 20 秒間表示されます。このダイアログにはパスワードが表示されています。この間にパスワードをメモしてください。</p> <p>ENTER または INPUT ボタンを押すと、「状態監視」ダイアログに戻ります。</p>  <p>■状態監視機能を無効にする</p> <p>状態監視機能を無効にすると、状態監視のアラームが表示されなくなり、通常の操作が可能になります。</p> <p>(1) 「状態監視」ダイアログでカーソルボタン▼を押して「無効」を選択すると、「状態監視／パスワードを入力してください」（大）ダイアログが表示されます。</p>  <p>(2) 登録されたパスワードを入力すると、「状態監視」は「無効」に設定され、「状態監視」ダイアログに戻ります。</p> <p>間違ったパスワードを入力すると、「状態監視／パスワードを入力してください」（大）ダイアログが閉じます。</p> <p>■状態監視パスワードを忘れた場合</p> <p>(1) 「状態監視」ダイアログで、カーソルボタン▼を押して「無効」を選択し、「状態監視／パスワードを入力してください」（大）ダイアログを表示させてください。このダイアログには 10 桁の状態監視パスワード照合コードが表示されています。</p> <p>(2) 10 桁の状態監視パスワード照合コードを、お客様のお名前、電話番号と合わせて</p> <p><b>カスタマーサービス部 TEL 052-811-5135 (9:00 ~ 17:00)</b> までご連絡ください。確認後、状態監視パスワードをご連絡いたします。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●状態監視のパスワードを忘れないようにしてください。</li> <li>●「状態監視」ダイアログで「有効」を選択したときに、本機が安定した状態で設置されていないと、この機能は正常に動作しません。</li> <li>●状態監視のアラームが表示されてから約 5 分が経過すると、ランプが消灯します。</li> </ul>

## その他メニュー（つづき）

設定項目	操作内容
<p>セキュリティ （つづき）</p>	<p>「マイテキスト入力」で登録したマイテキストの上書きを防止することができます。</p> <p><b>有効 ↔ 無効</b></p> <p>この機能を有効にすると、「マイテキスト表示」、「マイテキスト入力」の操作ができなくなり、マイテキストの登録・変更、および表示の設定を変更できなくなります。</p> <p><b>■マイテキストパスワード機能を有効にする</b></p> <p>(1) 「マイテキストパスワード」ダイアログでカーソルボタン▲を押して「有効」を選択すると、「マイテキスト/パスワードを入力してください」(小)ダイアログが表示されます。</p> <p>(2) カーソルボタン▲/▼/◀/▶で、パスワードを入力してください。</p> <p>(3) カーソルをダイアログの右端に移動し、カーソルボタン▶を押すと、「マイテキスト/パスワードを再入力してください」ダイアログが表示されます。</p> <p>(4) カーソルボタン▲/▼/◀/▶で、先に入力したのと同じパスワードをもう一度入力してください。</p> <p>(5) カーソルをダイアログの右端に移動し、カーソルボタン▶を押すと、マイテキストパスワードが設定・登録され、「マイテキスト/パスワードをメモしてください」ダイアログが約 20 秒間表示されます。このダイアログにはパスワードが表示されています。この間にパスワードをメモしてください。</p> <p>ENTER または INPUT ボタンを押すと、「マイテキストパスワード」ダイアログに戻ります。</p> <p><b>■マイテキストパスワード機能を無効にする</b></p> <p>マイテキストパスワード機能を無効にすると、「マイテキスト入力」の操作が可能になり、マイテキストの登録・変更が可能になります。</p> <p>(1) 「マイテキストパスワード」ダイアログでカーソルボタン▼を押して「無効」を選択すると、「マイテキスト/パスワードを入力してください。」(大)ダイアログが表示されます。</p> <p>(2) 登録されたパスワードを入力を入力すると、「マイテキストパスワード」は「無効」に設定され、「マイテキストパスワード」ダイアログに戻ります。間違ったパスワードが入力すると、「マイテキスト/パスワードを入力してください。」(大)ダイアログが閉じます。</p> <p><b>■マイテキストパスワードを忘れた場合</b></p> <p>(1) 「マイテキストパスワード」ダイアログで、カーソルボタン▼を押して「無効」を選択し、「マイテキスト/パスワードを入力してください。」(大)ダイアログを表示させてください。このダイアログには 10 桁のマイテキストパスワード照合コードが表示されています。</p> <p>(2) 10 桁のマイテキストパスワード照合コードを、お客様のお名前、電話番号と合わせて</p> <p><b>カスタマーサービス部 TEL 052-811-5135 (9:00 ~ 17:00)</b> までご連絡ください。確認後、マイテキストパスワードをご連絡いたします。</p>     

## その他メニュー（つづき）

設定項目	操作内容	
セキュリティ (つづき)	マイテキスト 表示	<p>「マイテキスト入力」で登録したマイテキストの表示を、有効／無効に設定できます。</p> <p><b>有効 ↔ 無効</b></p>  <p>有効に設定すると、マイテキストは初期画面 (図2-17) と「入力 - インフォメーション -」ダイアログ (図2-26) に表示されます。</p>
	マイテキスト 入力	<p>初期画面 (図2-17) と「入力 - インフォメーション -」ダイアログ (図2-26) に表示する、マイテキストを登録することができます。</p> <p>■ <b>マイテキストを入力する</b></p> <p>最初の3行（下線付き）に現在のマイテキストが表示されます。マイテキストをまだ登録していないときは、最初の3行は空白です。</p> <p>カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で各文字を選択し、ENTER または INPUT ボタンを押して入力してください。</p> <p>直前の文字を削除するには、RESET ボタンを押してください。 1行につき最大24文字入力できます。</p> <p>■ <b>マイテキストを変更／削除する</b></p> <p>マイテキストが表示されている行にカーソルをもっていき、カーソルボタン◀ / ▶で変更／削除する文字を選択します。文字を変更する場合は、再度4行目以下にカーソルを戻し、文字を上書きしてください。削除する場合は、RESET ボタンを押してください。</p> <p>また、一番下の行の「消去」にカーソルを置き、ENTER または INPUT ボタンを押すと、1文字消去、「全消去」にカーソルを置き、ENTER または INPUT ボタンを押すと、全文字消去します。</p> <p>■ <b>マイテキストを保存する</b></p> <p>テキストの入力が終わったら、一番下の行の「セーブ」にカーソルを合わせ、ENTER または INPUT ボタンを押します。変更を保存せずに入力を終えるには、「取消」にカーソルを合わせて ENTER または INPUT ボタンを押します。</p>    <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「マイテキストパスワード」が「無効」になっているときのみ、マイテキストパスワード入力の操作が行えます。</li> </ul>

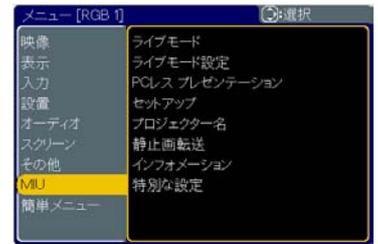
# MIU メニュー

本機をネットワークに接続するには、あらかじめご使用になるネットワーク環境に合わせた設定が必要です。本機をネットワークに接続する前に、必ずご使用になるネットワークの管理者へご相談ください。誤った接続や設定はネットワーク障害などの原因となることがあります。

「メニュー機能の使い方」(図2-2)に従い「MIU」メニューを表示してください。「MIU」メニューでは、下表の項目を操作することができます。

カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、カーソルボタン▶ (または ENTER

ボタン)を押すと、操作を開始または実行できます。下表およびメニュー表示に従って操作してください。



## お知らせ

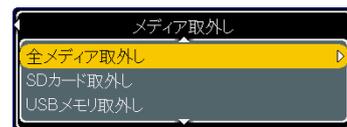
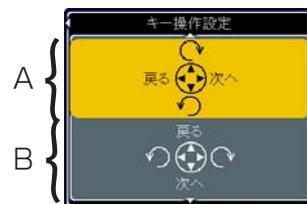
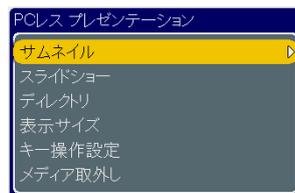
- 初期設定では「DHCP」は「オフ」に設定されています。ご利用のネットワークが DHCP に対応で、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを自動で設定する必要がある場合、「DHCP」を「オン」に設定してください。(図2-37)
- ご利用のネットワークが SNTP に非対応の場合、日時(「日付と時刻の設定」(図2-38))を設定する必要があります。

設定項目	操作内容
ライブモード	<p>この機能は「MIU」メニュー上で「ライブモード」を選択し、カーソルボタン▶ (または ENTER ボタン) を押した時点で実行されます。</p> <p>カーソルボタン▶ (または ENTER ボタン) を押すと、入力信号を MIU に切り替え、ライブモードを開始します。</p> <p>ライブモードでは、専用アプリケーション “Live Viewer 3” がパソコンの画面をキャプチャし、ネットワークを介して本機に送信、本機の画面に表示します。</p> <p>詳細は、【MIU 編】「3. ライブモード」(図3-14) をご参照ください。</p>
ライブモード設定	<p>この項目を選択してカーソルボタン▶ (または ENTER ボタン) を押すと、「ライブモード設定」メニューを表示します。</p> <p>カーソルボタン▲ / ▼で操作したい項目を選択し、カーソルボタン▶ (または ENTER ボタン) を押すと、操作を開始または実行できます。</p> <p style="text-align: center;"><b>プレゼンターモード解除 ↔ マルチ PC モード ↔ ユーザー名表示</b></p> <div data-bbox="1165 1254 1500 1377" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ライブモード設定</p> <p>プレゼンターモード解除 ▶</p> <p>マルチ PC モード</p> <p>ユーザー名表示</p> </div>
	<p>本機をライブモードで使用中のパソコンで設定された、プレゼンターモードを強制的に解除することができます。</p> <p>カーソルボタン▲を押して「実行する」を選択すると、プレゼンターモードの解除を実行することができます。</p> <p style="text-align: center;"><b>実行する ← 実行しない</b></p> <div data-bbox="1149 1523 1500 1657" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>プレゼンターモード解除</p> <p>プレゼンターモード: オン</p> <p>実行する</p> <p>実行しない</p> </div> <p><b>プレゼンターモード解除</b></p> <p>プレゼンターモードの解除が実行されると、プレゼンターモードを設定していたパソコンの画面に、プレゼンターモード解除のメッセージが約 3 秒間表示されます。</p> <p>本機をプレゼンターモードで使用中のパソコンがある場合、「プレゼンターモード解除」ダイアログに表示されます。この機能は、本機をプレゼンターモードで使用中のパソコンがあるときのみ操作できます。</p> <p>プレゼンターモードについての詳細は、【MIU 編】「3.1 ライブモードについて」(図3-15)、「3.8 “Live Viewer 3” の操作」(図3-40) をご参照ください。</p>

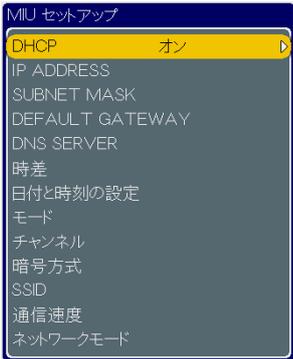
設定項目	操作内容									
<p>ライブモード設定 (つづき)</p>	<p>ライブモードの表示モードを切り替えることができます。</p> <p>■ <b>「シングル」 PC モード</b>：マルチ PC モードからシングル PC モードに切り替えます。カーソルボタン▲/▼で、マルチ PC モードの、4 分割された画面のどの位置の映像をシングル PC モード (フルスクリーン) で表示するか選択し、ENTER または INPUT ボタンを押してください。</p> <p>■ <b>「マルチ」 PC モード</b>：シングル PC モードからマルチ PC モードに切り替えます。カーソルボタン▲/▼で「マルチ」を選択し、ENTER または、INPUT ボタンを押してください。マルチ PC モードに切り替わり、スクリーンは 4 分割されます。</p> <p>表示モードについての詳細は、【MIU 編】「3.1 ライブモードについて」(図 3-14)、「3.8 “Live Viewer 3” の操作」(図 3-37) をご参照ください。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●マルチ PC モードへの切り替えは、“Live Viewer 3” でマルチ PC モードに設定しているパソコンが、少なくとも 1 台以上本機に接続されている場合に動作します。</li> <li>●シングル PC モードで本機を使用しているパソコンが、“Live Viewer 3” でプレゼンターモードを設定していた場合、マルチ PC モードに切り替えると、プレゼンターモードが解除されます。プレゼンターモードの解除が実行されると、プレゼンターモードを設定していたパソコンの画面に、プレゼンターモード解除のメッセージが約 3 秒間表示されます。</li> </ul>									
	<p>画面に表示されている映像がどのパソコンから送信されているのか、“Live Viewer 3” で設定した、パソコンのユーザー名を表示することができます。</p> <p>■ <b>シングル PC モードの場合</b></p> <p>「ユーザー名表示」ダイアログにユーザー名が 1 つだけ表示されます。</p>  <p>(例)</p> <table border="1" data-bbox="587 1438 1497 1653"> <thead> <tr> <th>“Live Viewer 3” でのユーザー名設定</th> <th>「ユーザー名表示」ダイアログ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PC_NAME0001</td> <td>PC_NAME0001</td> </tr> <tr> <td>初期設定</td> <td>Unnamed</td> </tr> <tr> <td>(登録なし)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ユーザー名表示オフ</td> <td>(匿名)</td> </tr> </tbody> </table> <p>本機に接続しているパソコンがない場合は、右のようなダイアログが表示されます。</p>  <p>■ <b>マルチ PC モードの場合</b></p> <p>「ユーザー名表示」ダイアログに、現在接続中のパソコンに設定されたユーザー名が表示されます。</p>  <p>ユーザー名についての詳細は、【MIU 編】「3.1 ライブモードについて」(図 3-15)、「3.8 “Live Viewer 3” の操作」(図 3-40) をご参照ください。</p>	“Live Viewer 3” でのユーザー名設定	「ユーザー名表示」ダイアログ	PC_NAME0001	PC_NAME0001	初期設定	Unnamed	(登録なし)		ユーザー名表示オフ
“Live Viewer 3” でのユーザー名設定	「ユーザー名表示」ダイアログ									
PC_NAME0001	PC_NAME0001									
初期設定	Unnamed									
(登録なし)										
ユーザー名表示オフ	(匿名)									

## MIU メニュー (つづき)

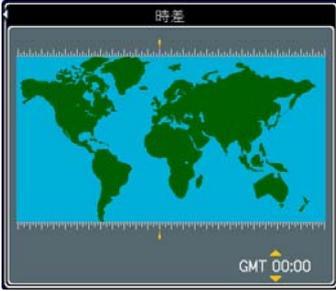
設定項目	操作内容
<p style="text-align: center;"><b>PC レス プレゼンテーション</b></p>	<p>この項目を選択してカーソルボタン▶ (または ENTER ボタン) を押すと、「PC レス プレゼンテーション」メニューを表示します。カーソルボタン▲ / ▼で操作したい項目を選択し、カーソルボタン▶ (または ENTER ボタン) を押すと、操作を開始または実行できます。</p> <p style="text-align: center;">サムネイル ↔ スライドショー ↔ ディレクトリ ↓ ↑ メディア取り外し ↔ キー操作設定 ↔ 表示サイズ</p> <p>PC レス プレゼンテーションについての詳細は、【MIU 編】「5. PC レス プレゼンテーション」(☞3-67) をご参照ください。</p>
	<p>サムネイル</p> <p>この項目を選択し、カーソルボタン▶ (または ENTER ボタン) を押すと、入力信号を MIU に切り替え、サムネイルモードで PC レス プレゼンテーションを開始します。 サムネイルモードについての詳細は、【MIU 編】「5.2 サムネイルモード」(☞3-70) をご参照ください。</p>
	<p>スライドショー</p> <p>この項目を選択し、カーソルボタン▶ (または ENTER ボタン) を押すと、入力信号を MIU に切り替え、スライドショーモードで PC レス プレゼンテーションを開始します。 スライドショーモードについての詳細は、【MIU 編】「5.4 スライドショーモード」(☞3-74) をご参照ください。</p>
	<p>ディレクトリ</p> <p>この項目を選択し、カーソルボタン▶ (または ENTER ボタン) を押すと、入力信号を MIU に切り替え、ディレクトリモードで PC レス プレゼンテーションを開始します。 ディレクトリモードについての詳細は、【MIU 編】「5.5 ディレクトリモード」(☞3-76) をご参照ください。</p>
	<p>表示サイズ</p> <p>カーソルボタン▲ / ▼で、PC レス プレゼンテーションで静止画像をフルスクリーン表示したときの、表示サイズを設定できます。</p> <p style="text-align: center;">リアル ↔ ノーマル ↔ フル ↑ ↓</p> <p>設定内容の詳細は、【MIU 編】「5.3 全画面モード」(☞3-73) をご参照ください。</p>
	<p>キー操作設定</p> <p>カーソルボタン▲ / ▼で、PC レス プレゼンテーションで静止画像をフルスクリーン表示したときの、キー操作を設定できます。</p> <p style="text-align: center;">パターン A ↔ パターン B</p> <p>設定内容の詳細は、【MIU 編】「5.3 全画面モード」(☞3-73) をご参照ください。</p>
	<p>メディア 取り外し</p> <p>SD メモリカード、USB メモリの取り外しを実行します。</p> <p>(1) カーソルボタン▲ / ▼で取り外すメディアを選択します。</p> <p style="text-align: center;">全メディア取り外し ↔ SD カード取り外し ↔ USB メモリ取り外し ↑ ↓</p> <p>(2) カーソルボタン▶ (または ENTER ボタン) を押すと、各メディア取り外しの実行確認ダイアログが表示されます。</p> <p style="text-align: center;">実行する ← 実行しない</p> <p>カーソルボタン▲を押してメディアの取り外しを実行してください。</p>



## MIU メニュー (つづき)

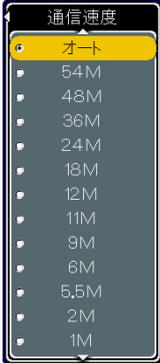
設定項目	操作内容		
<b>セットアップ</b>	<p>この項目を選択してカーソルボタン▶ (または ENTER ボタン) を押すと、「MIU セットアップ」メニューを表示します。カーソルボタン▲/▼で操作したい項目を選択し、カーソルボタン▶ (または ENTER ボタン) を押すと、操作を開始または実行できます。</p> <p style="text-align: center;">           DHCP ↔ IP ADDRESS ↔ SUBNETMASK ↔ DEFAULT GATEWAY            ↓            ネットワークモード            ↓            通信速度            ↓            SSID ↔ 暗号方式 ↔ チャンネル ↔ モード ↔ 日付と時刻の設定         </p> 		
	<b>DHCP</b> (Dynamic Host Configuration Protocol)	<p>カーソルボタン▲/▼で DHCP のオン/オフを切り替えることができます。</p> <p style="text-align: center;"><b>オン ↔ オフ</b></p> <p style="text-align: center;"><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「DHCP」を「オン」に設定したときには、DHCP サーバから IP アドレスを取得するのに少々時間がかかります。</li> <li>● 「DHCP」が「オン」に設定されているのに DHCP サーバから IP アドレスを取得できなかった場合には、自動的に IP アドレスが割り当てられます。</li> </ul> 	
	<b>IP ADDRESS</b>	<p>カーソルボタン▲/▼/◀/▶で、IP アドレスを入力します。この項目は「DHCP」が「オフ」に設定されているときのみ設定できます。</p> <p style="text-align: center;"><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● IP アドレスは、ネットワーク上で本機を識別するための数字です。同じネットワーク上で 2 台以上の装置が同じ IP アドレスを持つことはできません。</li> <li>● IP アドレスに“0.0.0.0”は設定できません。</li> </ul> 	
	<b>SUBNET MASK</b>	<p>カーソルボタン▲/▼/◀/▶で、ご利用のパソコンと同じサブネットマスクを入力します。この項目は「DHCP」が「オフ」に設定されているときのみ設定できます。</p> <p style="text-align: center;"><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● サブネットマスクに“0.0.0.0”は設定できません。</li> </ul> 	
	<b>DEFAULT GATEWAY</b>	<p>カーソルボタン▲/▼/◀/▶を使って、デフォルトゲートウェイを入力します。デフォルトゲートウェイは、ネットワークへのアクセスポイントとして機能するネットワーク上のノードです。この項目は「DHCP」が「オフ」に設定されているときのみ設定できます。</p> 	
	<b>DNS SERVER</b>	<p>カーソルボタン▲/▼/◀/▶で DNS サーバーのアドレスを入力します。DNS サーバーはネットワーク上のドメイン名と IP アドレスを対応させるシステムです。</p> 	

## MIU メニュー (つづき)

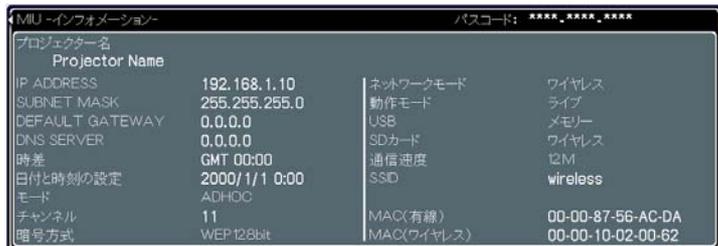
設定項目	操作内容	
セットアップ (つづき)	時 差	<p>カーソルボタン▲ / ▼で時差を入力します。ご利用の PC と同じ時差を設定してください。不確かな場合はネットワーク管理者にお尋ねください。</p> <p>時差を設定し終わったら、カーソルボタン◀を押すと、「MIU セットアップ」メニューに戻ります。</p> 
	日付と時刻の設定	<p>カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で、年 (西暦下 2 桁)、月、日、時、分を入力します。接続したネットワークが SNTP 対応の場合は、タイムサーバーから日付と時刻を受信すると設定が上書きされます。</p> 
	モード	<p>カーソルボタン▲ / ▼で、本機とパソコン間で使用する接続制御方式を選択します。</p> <p><b>ADHOC ↔ INFRASTRUCTURE</b></p> <p>お使いのパソコンの設定とネットワーク環境に合わせて下さい。</p> 
	チャンネル	<p>カーソルボタン▲ / ▼を使って無線 LAN 接続時に使用するチャンネルを選択します。</p> <p><b>1 ~ 11</b></p> <p>※日本国内で使用できるチャンネルは、1 ~ 11 です。また、規格によってはご利用の PC に、別途ワイヤレスネットワークカードが必要になる場合があります。</p> 
	暗号方式	<p>カーソルボタン▲ / ▼で使用する暗号方式を選択します。</p> <p><b>WPA2-PSK (AES) ↔ WPA-PSK (AES) ↔ WPA-PSK (TKIP)</b></p> <p>↓</p> <p><b>無効 ↔ WEP 64bit ↔ WEP 128bit</b> ←</p> 

設定項目	操作内容
<p>セットアップ (つづき)</p>	<p>カーソルボタン▲ / ▼で、SSID を選択し、カーソルボタン▶ (または ENTER ボタン) を押してください。</p> <p>#1 デフォルト : wireless ↔ #2 デフォルト ↓ ↑ #5 カスタム ↔ #4 デフォルト ↔ #3 デフォルト</p> <p>#1 ~ #4 のデフォルト SSID を使用しない場合は、「#5 カスタム」を選択して手動で入力してください。</p> <p>■デフォルト : 選択した SSID が設定されます。 ■カスタム : 「SSID #5 カスタム」ダイアログが表示されます。以下の手順にしたがって手動で SSID を入力してください。</p> <p>(1) 最初の行に現在の SSID が表示されます。SSID をまだ指定していないときは、“wireless” と設定されています。カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で各文字を選択し、ENTER または INPUT ボタンを押して入力してください。直前の文字を削除するには、RESET ボタンを押してください。最大 32 文字のまで入力できます。</p> <p>(2) 既に入力した文字を変更 / 削除するには、SSID が表示されている行にカーソルをもっていき、カーソルボタン◀ / ▶で変更 / 削除する文字を選択します。文字を変更する場合は、再度 3 行目以下にカーソルを戻し、文字を上書きしてください。削除する場合は、RESET ボタンを押してください。また、一番下の行の「消去」にカーソルを置き、ENTER または INPUT ボタンを押すと、1 文字消去、「全消去」にカーソルを置き、ENTER または INPUT ボタンを押すと、全文字消去します。</p> <p>(3) 入力が終わったら、一番下の行の「セーブ」にカーソルを合わせ、ENTER または INPUT ボタンを押すと、SSID を保存し、入力を終了します。変更を保存せずに入力を終えるには、「取消」にカーソルを合わせて ENTER または INPUT ボタンを押します。</p>    

## MIU メニュー (つづき)

設定項目	操作内容	
<b>セットアップ</b> (つづき)	<b>通信速度</b>	<p>カーソルボタン▲ / ▼で、データの転送速度を選択します。</p> <p>オート ↔ 54 ↔ 48 ↔ 36 ↔ 24 ↔ 18 ↔ 12 (Mbps)</p> <p>↑ ↓</p> <p>1 ↔ 2 ↔ 5.5 ↔ 6 ↔ 9 ↔ 11 (Mbps)</p> <p>オートモードに設定すると、最適な転送速度が自動的に選択されます。</p> <p>Mbps = メガビット/秒</p> <p><b>お知らせ</b></p> <p>● ネットワークの状態により、転送速度が変わる場合があります。</p> 
	<b>ネットワークモード</b>	<p>ネットワークモードを選択します。</p> <p>カーソルボタン▲ / ▼で設定してください。</p> <p>ワイヤレス (無線 LAN) ↔ 有線 LAN</p> <p><b>お知らせ</b></p> <p>● ネットワークモードは、電源スイッチを「切」から「入」にすると初期設定に戻ります。</p> <p>オプションのワイヤレスネットワークカードを装着して電源スイッチを「切」から「入」にすると、「ワイヤレス」が設定されます。</p> <p>ワイヤレスネットワークカードを装着しないで電源スイッチを「切」から「入」にすると、「有線 LAN」が設定されます。</p> 
<b>プロジェクター名</b>	<p>本機の名前 (プロジェクター名) を登録することができます。</p> <p><b>■ プロジェクター名を入力する</b></p> <p>最初の 3 行 (下線付き) に現在のプロジェクター名が表示されます。プロジェクター名をまだ登録していないときは、最初の 3 行は空白です。</p> <p>カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶ で各文字を選択し、ENTER または INPUT ボタンを押して入力してください。</p> <p>直前の文字を削除するには、RESET ボタンを押してください。最大 64 文字入力できます。</p> <p><b>■ プロジェクター名を変更 / 削除する</b></p> <p>プロジェクター名が表示されている行にカーソルをもっていく、カーソルボタン◀ / ▶ で変更 / 削除する文字を選択します。文字を変更する場合は、再度 4 行目以下にカーソルを戻し、文字を上書きしてください。削除する場合は、RESET ボタンを押してください。</p> <p>また、一番下の行の「消去」にカーソルを置き、ENTER または INPUT ボタンを押すと、1 文字消去、「全消去」にカーソルを置き、ENTER または INPUT ボタンを押すと、全文字消去します。</p> <p><b>■ プロジェクター名を保存する</b></p> <p>テキストの入力が終わったら、一番下の行の「セーブ」にカーソルを合わせ、ENTER または INPUT ボタンを押します。変更を保存せずに入力を終えるには、「取消」にカーソルを合わせて ENTER または INPUT ボタンを押します。</p>   	

# MIU メニュー (つづき)

設定項目	操作内容
静止画転送	<p>静止画転送機能で転送された静止画を、本機で表示できます。転送された画像ファイルを保存した SD メモリカードまたは USB メモリを本機に差し込んでから、静止画転送機能进行操作してください。</p> <p>カーソルボタン▲/▼で、表示したい静止画ファイルを選択し、カーソルボタン▶ (または ENTER ボタン) を押し、画像を表示できます。</p> <p style="text-align: center;"> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">画像 -1 ↔ 画像 -2 ↔ 画像 -3 ↔ 画像 -4</span>  <span style="display: inline-block; width: 100%; text-align: center;">↑</span> </p> <p>画像が表示されたら、カーソルボタン▲/▼で、表示する静止画を切り替えることができます。</p> <p>カーソルボタン◀ (または ESC ボタン) を押し、メニュー画面に戻ることができます。</p> <p>画像表示中に RESET ボタンを押し、静止画像初期化確認ダイアログが表示されます。ダイアログが表示されている間に ENTER または INPUT ボタンを押し、表示している画像のファイルを、記録メディアから削除できます。削除したくない場合は、カーソルボタン◀ (または ESC ボタン) を押し、</p> <p>静止画転送機能を使用するには、専用のアプリケーションが必要です。詳細は、【MIU 編】「4.5 静止画転送」(P.3-63) をご参照ください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center; margin: 0;"><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 静止画像を含まない項目は選択できません。</li> <li>● 表示できる画像ファイル名は半角で 16 文字以内です。</li> <li>● 本機の表示言語が日本語に設定されていないと、日本語のファイル名は正しく表示されません。また、日本語に設定されていると、英数字以外の文字 (Ç, ä など) は正しく表示されません。</li> </ul> </div>  
インフォメーション	<p>この機能は、「インフォメーション」を選択し、カーソルボタン▶ (または ENTER ボタン) を押した時点で実行されます。</p> <p>カーソルボタン▶ (または ENTER ボタン) を押し、「MIU - インフォメーション -」ダイアログが表示され、現在のネットワーク設定情報を確認することができます。</p>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center; margin: 0;"><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「SSID」、および「プロジェクト名」は、未登録の場合、空欄が表示されます。</li> <li>● 内蔵時計用電池の電圧が低下すると、正確な日時が入力されていても設定時刻に狂いが生じる場合があります。「内蔵時計用電池の交換」(P.1-35) の手順に従って電池を交換してください。</li> <li>● 「ネットワークモード」(P.2-40) が「有線 LAN」に設定されているときは、オプションのワイヤレスネットワークカードを装着しても、MAC (ワイヤレス) の項目は表示されません。</li> <li>● 以下の状態では、「IP ADDRESS」、「SUBNET MASK」、および「DEFAULT GATEWAY」はそれぞれ「0.0.0.0」と表示されます。             <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 「ネットワークモード」が「ワイヤレス」に設定されているのに、ワイヤレスネットワークカードが装着されていない場合</li> <li>(2) 「DHCP」(P.2-37) が「オン」に設定されているのに、本機が DHCP サーバーからアドレスを取得できていない場合</li> </ul> </li> </ul> </div>

## MIU メニュー (つづき)

設定項目	操作内容	
特別な設定	<p>この項目を選択してカーソルボタン▶(またはENTERボタン)を押すと、「特別な設定」メニューを表示します。 「MIU リスタート」を実行するには、カーソルボタン▶(またはENTERボタン)を押してください。</p> 	
	MIU リスタート	<p>MIU 機能をいったん停止し、再起動することができます。</p> <p><b>実行する ← 実行しない</b></p> <p>カーソルボタン▲を押して MIU リスタートを実行してください。 MIU の動作が止まったとき、操作ができなくなったときなどに実行してください。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● MIU リスタートを実行すると、ネットワークが一時切断されます。</li> <li>● 「DHCP」(☑2-37) が「オン」に設定されていると、IP アドレスが変更される場合があります。</li> <li>● MIU リスタート実行後、「MIU」メニューは約 20 秒間操作できなくなります。</li> </ul> 

# 故障かなと思ったら

## 警告



電源プラグを  
コンセント  
から抜く

### ●異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜く

煙が出ている、へんな臭いがする、へんな音がる、などの異常が発生した場合は、すぐに電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。その後、煙やにおい、音などが止まったことを確認し、販売店にご連絡ください。

### ●次のような場合はすぐに使用を中止し、電源プラグを抜いて販売店に相談する

そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

また、**お客様による修理は危険です**ので絶対におやめください。

- ▶内部に異物や液体（金属や水）が入った
- ▶落とした、強い衝撃をあたえた
- ▶本機や接続している電源コードやケーブル類に損傷がある

ご使用のまえに、必ず「正しくお使いいただくために」( 1-2 ~ 10 ) をお読みください。

異常が発生した場合は、すぐに電源プラグを抜き、販売店にご相談ください。

その他の問題が起きた場合は、修理を依頼される前に、以下の「一括して初期設定にもどす」、「メッセージ表示について」、「インジケータ表示について」、「シャットダウンスイッチを使う」、「故障と間違えやすい現象について」をご確認いただき、必要と思われる処置を行ってください。それでも問題が解決しない場合は、販売店、最寄りの弊社支店または営業所にご相談ください。

## 一括して初期設定にもどす

誤って本機のメニュー設定を行い、元に戻せなくなったときには、一括初期化機能をご使用ください。「その他」メニュー ( 2-21 ) の「特別な設定」( 2-24 ) - 「工場出荷設定」( 2-27 ) で「初期化する」を選択すると、メニューの各項目を一括して初期設定に戻すことができます。

### お知らせ

- マイスクリーンパスワードが設定 ( 2-28 ) されていない場合は、マイスクリーン画像もクリアされます。
- マイスクリーンパスワードが設定されている場合は、「初期画面」、「マイスクリーンロック」は初期化されません。
- 「ランプタイマー」、「フィルタータイマー」、「フィルター掃除通知」、「表示言語」、「クロック位相」および「セキュリティ」、また「MIU」メニューの各項目は、一括初期化機能では初期化されません。「ランプタイマー」、「フィルタータイマー」、「フィルター掃除通知」を初期化するには、個別に RESET ボタンを押すなどの初期化操作を行ってください。

# メッセージ表示について

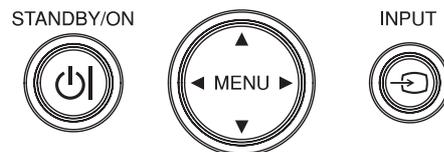
本機の電源を入れたときに、下表のようなメッセージは表示されることがあります。メッセージが表示されたら下表に従って処置してください。処置後も同じメッセージが表示されたり、下表に記載されていないメッセージが表示された場合は、販売店にご相談ください。

メッセージ	内 容
<p>信号が入力されていません ***</p>	<p>入力信号が見つかりません。以下のことをご確認ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・信号ケーブルやコネクタは正しく接続されていますか？ (☞1-17)</li> <li>・信号源（ビデオ、パソコンなど）は正しく動作していますか？</li> </ul>
<p>信号は同期範囲外です *** fH **kHz fV **Hz</p>	<p>入力されている信号の水平または垂直周波数は本機の対応範囲外です。以下のことをご確認ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入力している信号は本機の仕様 (☞2-49) に合っていますか？</li> <li>・信号源（DVD、ビデオ、パソコンなど）は正しく動作していますか？</li> </ul>
<p>吸気口をチェックしてください</p>	<p>内部の温度が上昇しています。すぐに本機の電源を抜き、20分以上冷ましてから、以下のことを確認のうえ、もう一度電源を入れてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・吸気口、排気口はふさがっていませんか？ (☞1-12)</li> <li>・エアフィルターは汚れていませんか？ (☞1-12,1-34)</li> <li>・周囲温度が35℃を超えていませんか？</li> </ul> <p>再度電源を入れたときに左記のメッセージがまだ表示される場合は、「その他」メニュー (☞2-21) の「特別な設定」－「ファン速度」 (☞2-24) を「高速」に設定してみてください。</p>
<p>ご注意 前回のエアフィルターの掃除から ** 時間以上経過しました。 エアフィルターの掃除をお願いします。 エアフィルター掃除後、フィルタータイマーをリセットしてください。 詳しくは取扱説明書をご覧ください。</p>	<p>エアフィルターのお手入れ時期です。すぐに電源を切って電源プラグを抜きしばらく待って十分冷ましてから、エアフィルターを掃除または交換 (☞1-34) したら、「その他」メニュー (☞2-21) の「フィルタータイマー」 (☞2-22) を使って、忘れずにフィルタータイマーを初期化してください。</p>

# インジケータ表示について

POWER インジケータ、LAMP インジケータ、TEMP インジケータの点灯や点滅には下表のような意味があります。なんらかの問題がある場合は下表に従って処置してください。処置後もインジケータが同様に点灯、点滅したり、下表に記載されていない点灯や点滅が見られた場合は、販売店にご相談ください。

LAMP インジケータ  LAMP  
 TEMP インジケータ  TEMP  
 POWER インジケータ  POWER



応用編

POWER インジケータ	LAMP インジケータ	TEMP インジケータ	内 容
橙色の点灯	消 灯	消 灯	本機はスタンバイ状態です。 この状態で電源を入れる（ランプを点灯させる）、または電源スイッチを切ることができます。（ <a href="#">P1-25</a> ）
橙色の点滅	消 灯	消 灯	本機は冷却動作中です。 POWER インジケータの点滅が止まるまでお待ちください。
緑色の点灯	消 灯	消 灯	本機は通常の動作状態です。
緑色の点滅	消 灯	消 灯	本機はウォームアップ中です。 POWER インジケータの点滅が止まるまでお待ちください。
赤色の点滅	—	—	不具合が見つかったため、本機は冷却動作中です。 POWER インジケータの点滅が止まるまでお待ちになり、LAMP インジケータおよび TEMP インジケータの状態により、以下に従って処置してください。
赤色の点灯 または 赤色の点滅	赤色の点灯	消 灯	ランプが点灯しない、または本機内部の温度が上がりすぎている可能性があります。 すぐに本機の電源を切って電源プラグを抜き、45分以上待って冷ましてください。本機が十分に冷えてから以下のことをご確認のうえ、もう一度電源を入れてください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>吸気口、排気口はふさがっていませんか？（<a href="#">P1-12</a>）</li> <li>エアフィルターは汚れていませんか？（<a href="#">P1-12,1-34</a>）</li> <li>周囲温度が 35℃を超えていませんか？</li> <li>ランプは正しく取り付けられていますか？</li> </ul> 再度電源を入れたときにインジケータ表示が変わらない場合は、ランプを交換してください。（ <a href="#">P1-32,33</a> ）
赤色の点灯 または 赤色の点滅	赤色の点滅	消 灯	ランプまたはランプカバーがはずれているか、取付けが不完全です。 すぐに本機の電源を切って電源プラグを抜き、45分以上待って冷ましてください。本機が十分に冷えてからランプまたはランプカバーの取付け状態をご確認（ <a href="#">P1-33</a> ）のうえ、もう一度電源を入れてください。
赤色の点灯 または 赤色の点滅	消 灯	赤色の点滅	冷却ファンが動作しません。 すぐに本機の電源を切って電源プラグを抜き、20分以上待って冷ましてください。本機が十分に冷えてから以下のことをご確認のうえ、もう一度電源を入れてください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ファンに異物がはさまったりしていませんか？</li> <li>本機の周辺に磁気を発生するものはありませんか？</li> </ul>

## インジケータ表示について (つづき)

POWER インジケータ	LAMP インジケータ	TEMP インジケータ	内 容
赤色の点灯 または 赤色の点滅	消 灯	赤色の 点 灯	本機内部の温度が上がりすぎている可能性があります。すぐに本機の電源を切って電源プラグを抜き、20分以上待って冷ましてください。本機が十分に冷えてから以下のことをご確認のうえ、もう一度電源を入れてください。 ・吸気口、排気口はふさがっていませんか？ (☞1-12) ・エアフィルターは汚れていませんか？ (☞1-12,1-34) ・周囲温度が 35℃を超えていませんか？ 再度電源を入れたときにインジケータ表示が変わらない場合は、「その他」メニュー (☞2-21) の「特別な設定」-「ファン速度」 (☞2-24) を「高速」に設定してみてください。
緑色の点灯	LAMP インジケータと TEMP インジケータが 同時に赤色の点滅		エアフィルターが汚れている可能性があります。エアフィルターのお手入れ時期です。すぐに本機の電源を切って電源プラグを抜き、しばらく待って冷ましてください。本機が十分に冷えてからエアフィルターを掃除または交換 (☞1-34) し、もう一度電源を入れてください。エアフィルターを掃除または交換したら、「その他」メニュー (☞2-21) の「フィルタータイマー」 (☞2-22) を使って、忘れずにフィルタータイマーを初期化してください。
緑色の点灯	LAMP インジケータと TEMP インジケータが 交互に赤色の点滅		内部温度が下がりすぎている可能性があります。適切な温度環境 (5 ~ 35℃) でご使用ください。本機の電源を切り、周囲の気温をご確認のうえ、もう一度電源を入れてください。
緑色の点灯 (約 3 秒間隔)	消灯	消灯	少なくとも 1 つの“電源入”スケジュールが設定されています。詳細は【MIU 編】「4.1 WEB コントロール」-「Schedule Settings」 (☞3-51) をご参照ください。

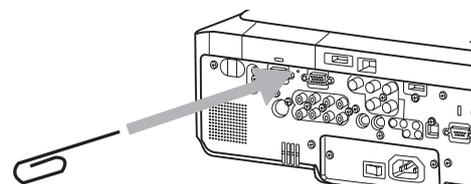
### お知らせ

●本機内部の温度が上がりすぎたときには、安全のため、自動的に本機の電源が切れます。インジケータが全て消灯した場合は、電源スイッチを切って電源プラグを抜いて 5 分以上待ち、もう一度電源をいれてください。

## シャットダウンスイッチを使う

内蔵マイコンの誤作動などで、正常な操作で本機の電源を切る (☞1-25) ことができない場合があります。この場合シャットダウンスイッチを押すと本機の動作を終了し、ランプを消灯することができます。

シャットダウンスイッチは、細い棒状のものを差し込んで押ししてください。シャットダウンスイッチを押した後は、電源スイッチを切って電源プラグを抜き、本機を十分に冷ましてください。再起動する場合は、電源プラグを抜いてから 20 分以上待って行ってください。



### お守りください

●シャットダウンスイッチは、正しい手順で電源を切れない場合にだけご使用ください。シャットダウンスイッチで電源を切ったときは、電源スイッチを切って電源プラグを抜き、放置して十分冷ましてください。

# 故障と間違えやすい現象について

以下のような現象は、故障ではない場合があります。  
修理をご依頼になる前に、下表をご確認のうえ、必要に応じて処置してください。  
処置後も現象が改善しない場合は、販売店にご相談下さい

現象	確認内容	参考頁
電源が入らない	電源コードは正しく接続されていますか？ 電源コードの接続状態を確認してください。	1-21
	電源スイッチは入っていますか？ 電源スイッチの「 」と表示されている側を押してください。	1-25
	停電などで、動作中に電源が切れませんでしたか？ その場合は電源スイッチを切って 10 分以上待って冷まし、もう一度電源を入れてください。	1-25
	ランプおよびランプカバーは正しく取り付けられていますか？ すぐに電源スイッチを切り、45 分以上待って冷ましてください。本機が十分に冷えてからランプおよびランプカバーの取付け状態をご確認のうえ、もう一度電源を入れてください。	1-33 1-25
映像も音声も出ない	信号ケーブルは正しく接続されていますか？ 信号ケーブルの接続状態を確認し、正しく接続してください。	1-17
	信号源（DVD、ビデオ、パソコンなど）は正しく動作していますか？ 信号源の電源や設定を確認してください。	—
	信号が入力されている端子を選んでいませんか？ 入力信号を選択しなおしてください。	1-28
	AV ミュートをオンにしていますか？ AV ミュートをオフしてください。	2-23
映像は出るが音声が出ない	音声信号は正しく接続されていますか？ 信号ケーブルの接続状態を確認してください。	1-17
	「音量」が小さく調節されていませんか？ 「音量」を大きく調節してください。	1-27
	音声を消していませんか？ MUTE ボタンまたは VOLUME ボタンを押し、音声を復帰させてください。	1-27
	音声信号の入力端子および内蔵スピーカーが正しく設定されていますか？ 「オーディオ」メニューの「スピーカー」、「AUDIO」の設定を確認してください。	2-15,16
音声は出るが映像が出ない	レンズカバーは外れていますか？ レンズカバーを外してください。	—
	信号ケーブルは正しく接続されていますか？ 信号ケーブルの接続状態を確認し、正しく接続してください。	1-17
	画面の明るさが極端に暗く調節されていませんか？ 「簡単メニュー」か、「映像」メニューの「明るさ」を調節して明るくしてください。	2-4 2-5
	接続しているパソコンがプラグ&プレイ・モニターを検知できますか？ 他のプラグ・アンド・プレイ・モニターを使用して、パソコンがプラグ・アンド・プレイ・モニターを検知することができるか確認してください。	1-18
	ブランク画面になっていませんか？ BLANK ボタンを押して確認してください。	1-31

## 故障と間違えやすい現象について（つづき）

現象	確認内容	参考頁
映像が動かない (静止している)	FREEZE ボタンで映像を静止させていませんか？ FREEZE ボタンを押して確認してください。	1-31
色が薄い、 色あいが悪い	色の濃さや色あいは正しく調節されていますか？ 「簡単メニュー」か「映像」メニューの「色の濃さ」、「色あい」を調節してください。	2-4 2-5
	色空間は正しく設定されていますか？ 「入力」メニューの「色空間」の設定を変更してください。	2-10
	色温度やガンマは正しく設定されていますか？ 「簡単メニュー」の「映像モード」の設定を変更するか、「映像」メニューの「ガンマ」、「色温度」を調節してください。	2-3 2-5 2-7
	信号方式は正しく選択されていますか？ 「入力」メニューの「ビデオフォーマット」の設定を変更してください。	2-11
	画面の明るさやコントラスト、ガンマは正しく調節されていますか？ 「簡単メニュー」か「映像」メニューの、「明るさ」、「コントラスト」を調節してください。	2-4 ~ 6
映像が暗い	画面の明るさやコントラストが暗く設定されていませんか？ 「簡単メニュー」か「映像」メニューの、「明るさ」、「コントラスト」を調節して明るくしてください。	2-4 2-5
	電源を入れたとき「ランプを交換して下さい」などのメッセージが出ていませんか？ ランプの寿命が近づいています。ランプを交換してください。	1-32,33
画像がぼやける、もや がかかって見える、 画像周辺が明るい	フォーカスは調節されていますか？クロック位相は調節されていますか？ フォーカス、および「表示」メニューの「クロック位相」を調節してください。	1-26 2-9
	レンズが汚れたり、くもったりしていませんか？ レンズをお手入れしてください。	1-36
映像がゆれる（陽炎）	排気口が何かでじゃまされていませんか？ 障害物を取り除いてください。	1-12

### お知らせ

- 画面中に輝点や黒点がみられることがありますが、これは液晶特有の現象であり、故障ではありません。
- 静止画、動きの少ない映像や液晶パネルの仕様と異なる縦横比（16：9 など）の映像を長時間または繰り返し投映すると、液晶パネルが焼きついて残像が残ることがあります。この場合は白画面（白い無地の映像）を1時間以上投映し続けるか、または電源を切って数時間放置してください。白画面表示には、ブランク機能（ 1-31,2-17）をご利用ください。

## パソコン信号について

### 対応信号例

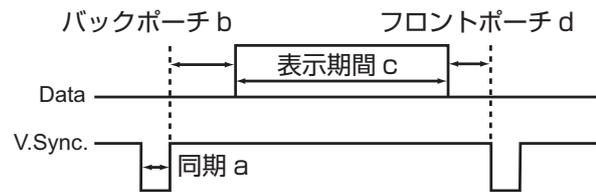
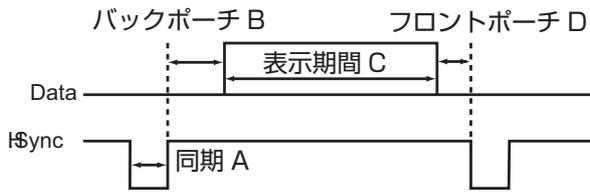
解像度 (水平 x 垂直)	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	規格	信号モード
720 x 400	37.9	85	VESA	TEXT
640 x 480	31.5	59.9	VESA	VGA (60Hz)
640 x 480	37.9	72.8	VESA	VGA (72Hz)
640 x 480	37.5	75	VESA	VGA (75Hz)
640 x 480	43.3	85	VESA	VGA (85Hz)
800 x 600	35.2	56.3	VESA	SVGA (56Hz)
800 x 600	37.9	60.3	VESA	SVGA (60Hz)
800 x 600	48.1	72.2	VESA	SVGA (72Hz)
800 x 600	46.9	75	VESA	SVGA (75Hz)
800 x 600	53.7	85.1	VESA	SVGA (85Hz)
832 x 624	49.7	74.5		Mac 16" mode
1024 x 768	48.4	60	VESA	XGA (60Hz)
1024 x 768	56.5	70.1	VESA	XGA (70Hz)
1024 x 768	60	75	VESA	XGA (75Hz)
1024 x 768	68.7	85	VESA	XGA (85Hz)
1152 x 864	67.5	75	VESA	1152 x 864 (75Hz)
1280 x 960	60	60	VESA	1280 x 960 (60Hz)
1280 x 1024	64	60	VESA	SXGA (60Hz)
1280 x 1024	80	75	VESA	SXGA (75Hz)
* 1280 x 1024	91.1	85	VESA	SXGA (85Hz)
* 1600 x 1200	75	60	VESA	UXGA (60Hz)
1280 x 768	47.7	60	VESA	W-XGA (60Hz)
1400 x 1050	65.2	60	VESA	SXGA+ (60Hz)

### お知らせ

- 本機とパソコンを接続するまえに、端子形状、信号レベル、タイミングや解像度などの適合性を予めご確認ください。
- パソコンによっては複数ディスプレイ表示モードを持っているものがあり、本機では対応できないモードを含む場合があります。
- 入力信号によってはフルサイズで表示されない場合があります。上記の解像度をご参照下さい。
- 本機ではUXGA (1600 × 1200) の信号まで表示することができますが、信号処理の過程でプロジェクターの液晶パネルの解像度に変換、表示されます。  
入力信号と液晶パネルの解像度が同一の場合に、映像表示は最良となります。
- 画面の自動調節は入力信号によって正しく動作しない場合があります。
- SYNC ON G、コンポジットシンク信号などの同期信号の場合は、正常に表示できない場合があります。
- 本機は、HDMI 信号について、\* マークの信号には対応しておりません。

## 初期設定信号

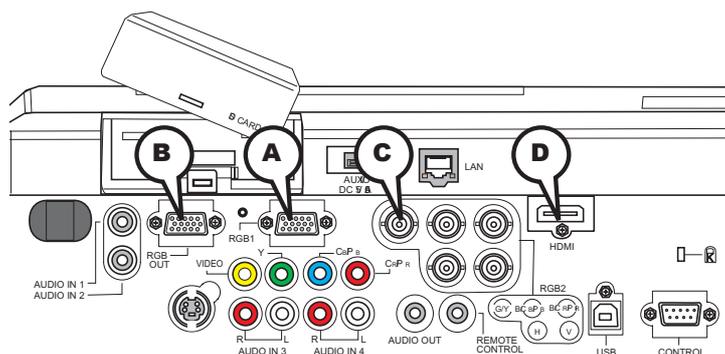
本機では下記の信号を初期設定していますが、パソコンは機種によって信号タイミングが異なる場合があります。必要に応じて表示メニューの「垂直位置」「水平位置」の調節を行ってください。



パソコン／信号源	水平信号タイミング (μs)			
	(A)	(B)	(C)	(D)
TEXT	2.0	3.0	20.3	1.0
VGA (60Hz)	3.8	1.9	25.4	0.6
VGA (72Hz)	1.3	4.1	20.3	0.8
VGA (75Hz)	2.0	3.8	20.3	0.5
VGA (85Hz)	1.6	2.2	17.8	1.6
SVGA (56Hz)	2.0	3.6	22.2	0.7
SVGA (60Hz)	3.2	2.2	20.0	1.0
SVGA (72Hz)	2.4	1.3	16.0	1.1
SVGA (75Hz)	1.6	3.2	16.2	0.3
SVGA (85Hz)	1.1	2.7	14.2	0.6
Mac 16" mode	1.1	3.9	14.5	0.6
XGA (60Hz)	2.1	2.5	15.8	0.4
XGA (70Hz)	1.8	1.9	13.7	0.3
XGA (75Hz)	1.2	2.2	13.0	0.2
XGA (85Hz)	1.0	2.2	10.8	0.5
1152 x 864 (75Hz)	1.2	2.4	10.7	0.6
1280 x 960 (60Hz)	1.0	2.9	11.9	0.9
SXGA (60Hz)	1.0	2.3	11.9	0.4
SXGA (75Hz)	1.1	1.8	9.5	0.1
SXGA (85Hz)	1.0	1.4	8.1	0.4
UXGA (60Hz)	1.2	1.9	9.9	0.4
W-XGA (60Hz)	1.7	2.5	16.0	0.8
SXGA+ (60Hz)	1.2	2.0	11.4	0.7

パソコン／信号源	垂直信号タイミング (ライン数)			
	(a)	(b)	(c)	(d)
TEXT	3	42	400	1
VGA (60Hz)	2	33	480	10
VGA (72Hz)	3	28	480	9
VGA (75Hz)	3	16	480	1
VGA (85Hz)	3	25	480	1
SVGA (56Hz)	2	22	600	1
SVGA (60Hz)	4	23	600	1
SVGA (72Hz)	6	23	600	37
SVGA (75Hz)	3	21	600	1
SVGA (85Hz)	3	27	600	1
Mac 16" mode	3	39	624	1
XGA (60Hz)	6	29	768	3
XGA (70Hz)	6	29	768	3
XGA (75Hz)	3	28	768	1
XGA (85Hz)	3	36	768	1
1152 x 864 (75Hz)	3	32	864	1
1280 x 960 (60Hz)	3	36	960	1
SXGA (60Hz)	3	38	1024	1
SXGA (75Hz)	3	38	1024	1
SXGA (85Hz)	3	44	1024	1
UXGA (60Hz)	3	46	1200	1
W-XGA (60Hz)	3	23	768	1
SXGA+ (60Hz)	3	33	1050	1

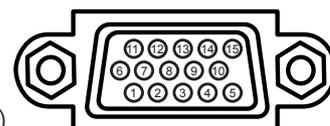
# 入出力信号端子について



## Ⓐ RGB IN1, Ⓑ RGB OUT

D-sub 15ピン ミニシュリンクジャック

- ・映像信号：RGB セパレート、アナログ 0.7Vp-p、75 Ω 終端（正極性）
- ・水平 / 垂直同期信号（セパレートシンク）：TTL レベル（正極性 / 負極性）
- ・複合同期信号（コンポジットシンク）：TTL レベル



ピン No.	信号	ピン No.	信号	ピン No.	信号
1	映像信号（赤）	6	接地（赤）	11	—
2	映像信号（緑）	7	接地（緑）	12	Ⓐ：SDA (DDC データ) Ⓑ：—
3	映像信号（青）	8	接地（青）	13	水平同期信号 / 複合同期信号
4	—	9	—	14	垂直同期信号
5	接地	10	接地	15	Ⓐ：SCL (DDC クロック) Ⓑ：—

## Ⓒ RGB IN2 (G/Y, B/C<sub>B</sub>/P<sub>B</sub>, B/C<sub>R</sub>/P<sub>R</sub>, H, V)

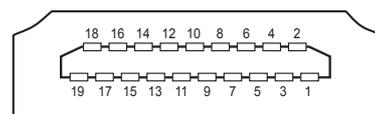
BNC ジャック×5

- ・映像信号：アナログ 0.7Vp-p、75 Ω 終端（正極性）
- ・水平 / 垂直同期信号（セパレートシンク）：TTL レベル（正極性 / 負極性）
- ・複合同期信号（コンポジットシンク）：TTL レベル

## Ⓓ HDMI

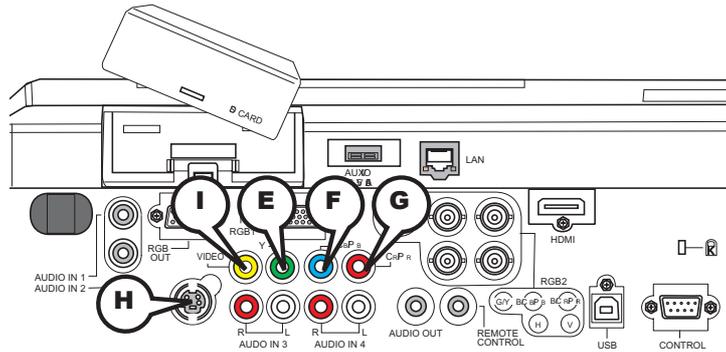
HDMI デジタルオーディオ / ビデオコネクタ

- ・音声信号：PCM(周波数例：32/44.1/48kHz)



ピン No.	信号	ピン No.	信号
1	T.M.D.S. データ 2 +	11	T.M.D.S. データ 1 シールド
2	T.M.D.S. データ 2 シールド	12	T.M.D.S. クロック —
3	T.M.D.S. データ 2 -	13	CEC
4	T.M.D.S. データ 2 1+	14	予備（非結線）
5	T.M.D.S. データ 1 シールド	15	SCL
6	T.M.D.S. データ 1 -	16	SDA
7	T.M.D.S. データ 0 +	17	DDC/CEC グランド
8	T.M.D.S. データ 0 シールド	18	+ 5V 電源
9	T.M.D.S. データ 0 -	19	ホットプラグ検出
10	クロック +		

## 入出力信号端子について (つづき)



### COMPONENT VIDEO ⑤ Y, ⑥ C<sub>B</sub>/P<sub>B</sub>, ⑦ C<sub>R</sub>/P<sub>R</sub>

RCA ジャック× 3

・ 信号方式 : 525i(480i), 525p(480p), 625i(576i), 750p(720p), 1125i(1080i)

端子	信号
Y	コンポーネントビデオ Y, 1.0 ± 0.1Vp-p, 75 Ω 終端, コンポジット同期
C <sub>B</sub> / P <sub>B</sub>	コンポーネントビデオ C <sub>B</sub> / P <sub>B</sub> , 0.7 ± 0.1Vp-p, 75 Ω 終端
C <sub>R</sub> / P <sub>R</sub>	コンポーネントビデオ C <sub>R</sub> / P <sub>R</sub> , 0.7 ± 0.1Vp-p, 75 Ω 終端

### ⑧ S-VIDEO

ミニ DIN4 ピンジャック



ピン No.	信号
1	色信号 0.286Vp-p(NTSC, burst), 75 Ω 終端 0.300Vp-p(PAL / SECAM, burst), 75 Ω 終端
2	輝度信号 1.0Vp-p, 75 Ω 終端
3	接地
4	接地

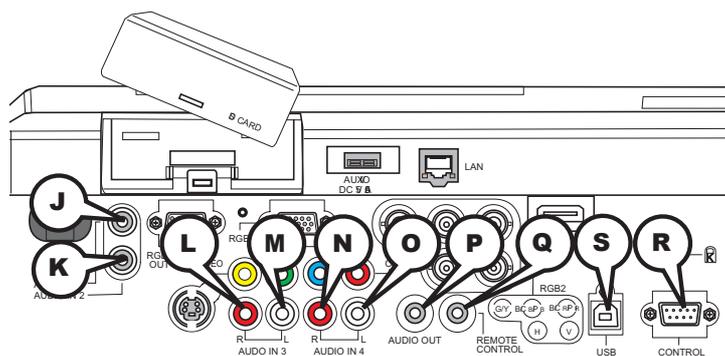
### ⑨ VIDEO

RCA ジャック

・ 信号方式 : NTSC, PAL, SECAM, PAL-M, PAL-N, NTSC4.43

・ 入力信号 : 1.0 ± 0.1Vp-p, 75 Ω 終端

## 入出力信号端子について (つづき)



### ⓐ AUDIO IN1, ⓑ AUDIO IN2

φ 3.5 ステレオミニジャック

・入力信号：500mVrms, 47k Ω終端

### AUDIO IN3 ⓓ R, ⓔ L AUDIO IN4 ⓖ R, ⓗ L

RCA ジャック× 各2

・入力信号：500mVrms, 47k Ω終端

### ⓐ AUDIO OUT

φ 3.5 ステレオミニジャック

・入力信号：500mVrms, 47k Ω終端

### ⓑ REMOTE CONTROL

φ 3.5 ステレオミニジャック

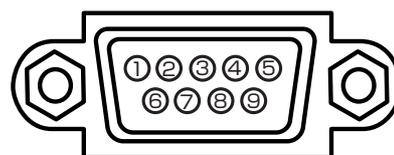
・本端子と付属のリモコンを接続してください。

### ⓓ CONTROL

D-sub 9 ピンプラグ

・RS-232C 通信については、

次章「RS-232C 通信について」をご参照下さい。



ピン No.	信号	ピン No.	信号	ピン No.	信号
1	—	4	—	7	RTS
2	RD	5	接地	8	CTS
3	TD	6	—	9	—

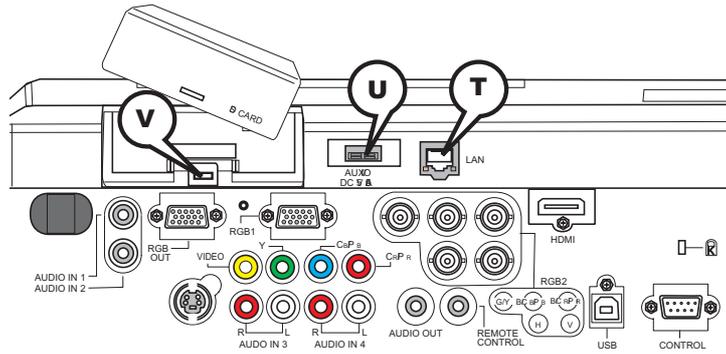
### ⓑ USB

USB(B) ジャック

ピン No.	信号
1	+ 5V
2	— データ
3	+ データ
4	接地

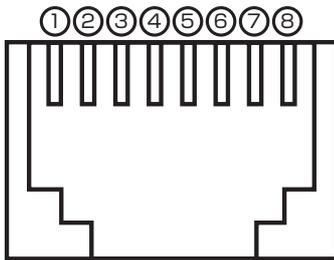


## 入出力信号端子について (つづき)



### ④ LAN

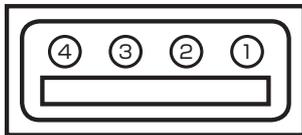
RJ-45 ジャック



ピン No.	信号	ピン No.	信号	ピン No.	信号
1	TX+	4	—	7	—
2	TX-	5	—	8	—
3	RX+	6	RX-		

### ④ AUX/IO

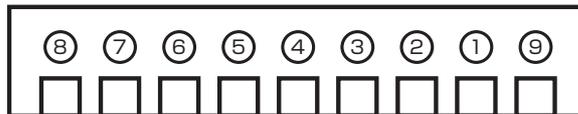
USB(A) ジャック



ピン No.	信号
1	+5V
2	- データ
3	+ データ
4	接地

### ④ SD card slot

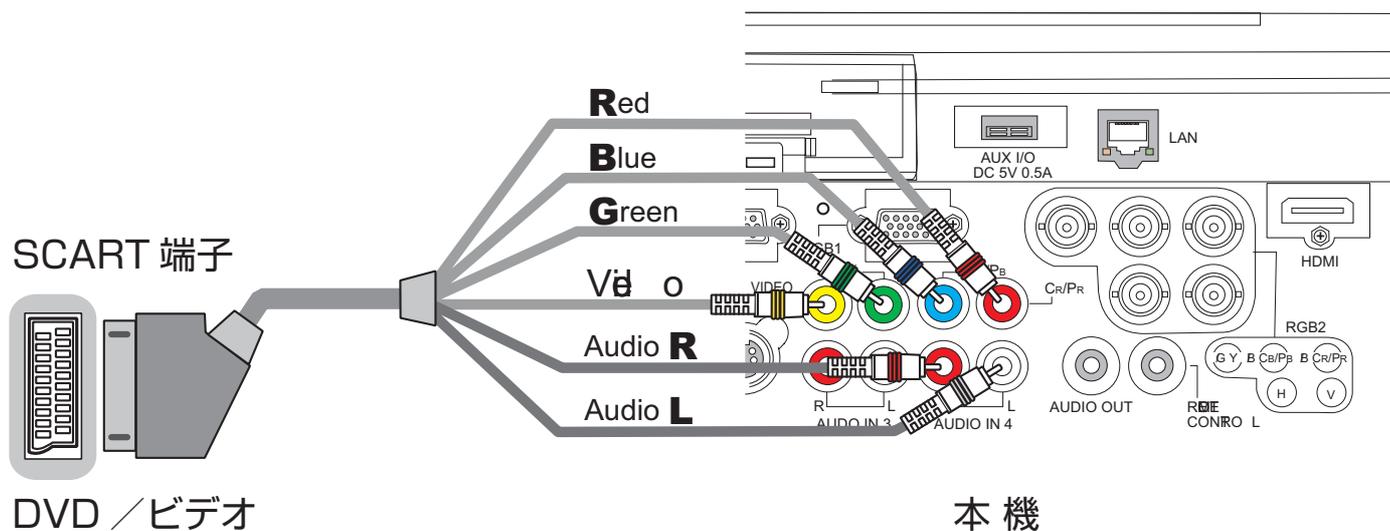
SD カードスロット



ピン No.	信号	ピン No.	信号	ピン No.	信号
1	CD/ データ 3	4	電源	7	データ 0
2	コマンドライン	5	クロック	8	データ 1
3	接地	6	接地	9	データ 2

## 入出力信号端子について (つづき)

### SCART RGB 信号の入力について

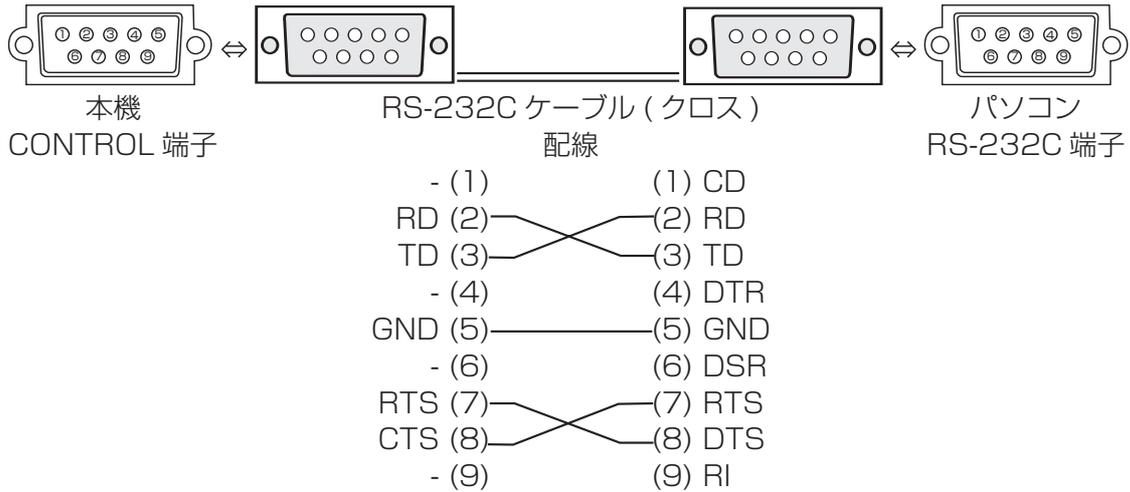


応用編

本機に SCART RGB 信号を入力するには、SCART-RCA 変換ケーブルをご使用になり、上図のように接続してください。

ご不明な点は、お買い求めになった販売店、最寄りの弊社支店または営業所にご相談ください。

# RS-232C 通信について



## ケーブルの接続

1. 本機とパソコンの電源を切って下さい。
2. 本機の CONTROL 端子とパソコンの RS-232C 端子を RS-232C ケーブル (クロス) で接続してください。ケーブルには上図の配線仕様のものでお使いください。
3. パソコンの電源を入れ、パソコンが立ち上がったあとに本機の電源を入れてください。

## 通信設定

### 19200bps, 8N1

1. プロトコル構成  
ヘッダ (7 バイト) + コマンドデータ (6 バイト)
2. ヘッダ  
BE + EF + 03 + 06 + 00 + CRC\_low + CRC\_high  
CRC\_low : コマンドデータに対する CRC フラグ下位 1 バイト  
CRC\_high : コマンドデータに対する CRC フラグ上位 1 バイト

3. コマンドデータ  
コマンドデータの構成

byte_0	byte_1	byte_2	byte_3	byte_4	byte_5
Action		Type		Setting code	
low	high	low	high	low	high

#### Action (byte\_0 - 1)

Action	コマンドタイプ	説明
1	SET	設定値を書き込みます
2	GET	本機の設定値を読み込みます
4	INCREMENT	設定値を 1 増やします
5	DECREMENT	設定値を 1 減らします
6	EXECUTE	コマンドを実行します

## RS-232C 通信について (つづき)

### 3. コマンドデータ (つづき)

#### 本機の状態を問い合わせる場合 (Get command)

- (1) パソコンから質問コードヘッダ + コマンドデータ ( '02H' + '00H' + type(2bytes) + '00H' + '00H' ) を本機に送ります。
- (2) 本機は 回答コード '1DH' + data(2byte) をパソコンへ返します。

#### 本機の設定を変更する場合 (Set command)

- (1) パソコンから設定コードヘッダ + コマンドデータ ( '01H' + '00H' + type(2bytes) + セットアップコード (2 bytes) ) をプロジェクターに送ります。
- (2) 本機は上記設定コードに基づき設定を変更します。
- (3) 本機は回答コード '06H' をパソコンへ返します。

#### 本機の設定をデフォルトにする場合 (Reset Command)

- (1) パソコンからデフォルト設定コードヘッダ + コマンドデータ ( '06H' + '00H' + type(2bytes) + '00H' + '00H' ) を本機に送ります。
- (2) 本機は指定された設定コードをデフォルトに変えます。
- (3) 本機は回答コード '06H' をパソコンへ返します。

#### 本機の設定値を増やす場合 (Increment command)

- (1) パソコンから増加設定コードヘッダ + コマンドデータ ( '04H' + '00H' + type(2bytes) + '00H' + '00H' ) を本機に送ります。
- (2) 本機は上記設定コードに基づき設定を増加します。
- (3) 本機は回答コード '06H' をパソコンへ返します。

#### 本機の設定値を減らす場合 (Decrement command)

- (1) パソコンから減少設定コードヘッダ + コマンドデータ ( '05H' + '00H' + type(2bytes) + '00H' + '00H' ) を本機に送ります。
- (2) 本機は上記設定コードに基づき設定を減少します。
- (3) 本機は回答コード '06H' をパソコンへ返します。

#### 本機が受信したコマンドを理解できない場合

本機が受信したコマンドを理解できない場合は、本機はエラーコード '15H' をパソコンへ送信します。

まれに、本機がコマンドを正しく受信できない場合があり、この場合受信コマンドは実行されず、エラーコード '15H' をパソコンへ送信します。エラーコード '15H' を受信した場合は再度同じコマンドを送信してください。

#### 本機が受信したコマンドを実行できない場合

本機が受信したコマンドを実行できない場合は、プロジェクターはエラーコード '1CH' + 'xxxxH' をパソコンへ送信します。

なお、必要なコマンドコード長より長い場合は、本機は余分なコードを無視します。

逆に、必要なコマンドコード長より短い場合、本エラーコードをパソコンへ送信します。

### お知らせ

- 本機が未定義のコマンドあるいはデータを受け取った場合は、動作を保証できません。
- 回答コードと他のコードの間隔は 40ms 以上あけてください。
- 本機の電源スイッチを入れたとき、およびランプ点灯後に本機からテスト用のデータが出力されますが無視してください。
- ウォームアップ中、本機はコマンドを受信できません。

## RS-232C 通信について (つづき)

### ネットワークからのコマンド制御

RS-232C コマンドを使用し、ネットワークを介して、本機をコマンド制御することもできます。詳細は、【MIU 編】「4.6 ネットワークからのコマンド制御」(📖3-64) をご参照ください。

# RS-232C コマンド一覽

Names	Operation Type	Header				Command Data			
					CRC	Action	Type	Setting Code	
Power	Set	TURN OFF	BE EF	03	06 00	2A D3	01 00	00 60	00 00
		TURN ON	BE EF	03	06 00	BA D2	01 00	00 60	01 00
	Get	BE EF	03	06 00	19 D3	02 00	00 60	00 00	
		[Example return] 00 00                    01 00                    02 00 [Off]                    [On]                    [Cool down]							
Input Source	Set	RGB1	BE EF	03	06 00	FE D2	01 00	00 20	00 00
		RGB2	BE EF	03	06 00	3E D0	01 00	00 20	04 00
		HDMI	BE EF	03	06 00	0E D2	01 00	00 20	03 00
		VIDEO	BE EF	03	06 00	6E D3	01 00	00 20	01 00
		S-VIDEO	BE EF	03	06 00	9E D3	01 00	00 20	02 00
		COMPONENT	BE EF	03	06 00	AE D1	01 00	00 20	05 00
	MIU	BE EF	03	06 00	5E D1	01 00	00 20	06 00	
Get	BE EF	03	06 00	CD D2	02 00	00 20	00 00		
Error Status	Get	BE EF	03	06 00	D9 D8	02 00	20 60	00 00	
		[Example return] 00 00                    01 00                    02 00                    03 00 [Normal]                    [Cover error]                    [Fan error]                    [Lamp error] 04 00                    05 00                    06 00                    07 00 [Temp error]                    [Air flow error]                    [Lamp time error]                    [Cold error] 08 00 [Filter error]							
BRIGHTNESS	Get	BE EF	03	06 00	89 D2	02 00	03 20	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	EF D2	04 00	03 20	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	3E D3	05 00	03 20	00 00	
BRIGHTNESS Reset	Execute	BE EF	03	06 00	58 D3	06 00	00 70	00 00	
CONTRAST	Get	BE EF	03	06 00	FD D3	02 00	04 20	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	9B D3	04 00	04 20	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	4A D2	05 00	04 20	00 00	
CONTRAST Reset	Execute	BE EF	03	06 00	A4 D2	06 00	01 70	00 00	
PICTURE MODE	Set	NORMAL	BE EF	03	06 00	23 F6	01 00	BA 30	00 00
		CINEMA	BE EF	03	06 00	B3 F7	01 00	BA 30	01 00
		DYNAMIC	BE EF	03	06 00	E3 F4	01 00	BA 30	04 00
		BOARD(BLACK)	BE EF	03	06 00	E3 EF	01 00	BA 30	20 00
		BOARD(GREEN)	BE EF	03	06 00	73 EE	01 00	BA 30	21 00
		WHITEBOARD	BE EF	03	06 00	83 EE	01 00	BA 30	22 00
		DAY TIME	BE EF	03	06 00	E3 C7	01 00	BA 30	40 00
	Get	BE EF	03	06 00	10 F6	02 00	BA 30	00 00	
		[Example return] 00 00                    01 00                    04 00                    10 00 [Normal]                    [Cinema]                    [Dynamic]                    [Custom] 20 00                    21 00                    22 00                    40 00 [BOARD(BLACK)]                    [BOARD(GREEN)]                    [WHITEBOARD]                    [DAY TIME]							

# RS-232C コマンド一覧 (つづき)

Names	Operation Type	Header				Command Data			
					CRC	Action	Type	Setting Code	
GAMMA	Set	#1 DEFAULT	BE EF	03	06 00	07 E9	01 00	A1 30	20 00
		#1 CUSTOM	BE EF	03	06 00	07 FD	01 00	A1 30	10 00
		#2 DEFAULT	BE EF	03	06 00	97 E8	01 00	A1 30	21 00
		#2 CUSTOM	BE EF	03	06 00	97 FC	01 00	A1 30	11 00
		#3 DEFAULT	BE EF	03	06 00	67 E8	01 00	A1 30	22 00
		#3 CUSTOM	BE EF	03	06 00	67 FC	01 00	A1 30	12 00
		#4 DEFAULT	BE EF	03	06 00	F7 E9	01 00	A1 30	23 00
		#4 CUSTOM	BE EF	03	06 00	F7 FD	01 00	A1 30	13 00
		#5 DEFAULT	BE EF	03	06 00	C7 EB	01 00	A1 30	24 00
		#5 CUSTOM	BE EF	03	06 00	C7 FF	01 00	A1 30	14 00
		#6 DEFAULT	BE EF	03	06 00	57 EA	01 00	A1 30	25 00
	#6 CUSTOM	BE EF	03	06 00	57 FE	01 00	A1 30	15 00	
	Get		BE EF	03	06 00	F4 F0	02 00	A1 30	00 00
User Gamma Pattern	Set	Off	BE EF	03	06 00	FB FA	01 00	80 30	00 00
		9 steps gray scale	BE EF	03	06 00	6B FB	01 00	80 30	01 00
		15 steps gray scale	BE EF	03	06 00	9B FB	01 00	80 30	02 00
		Ramp	BE EF	03	06 00	0B FA	01 00	80 30	03 00
	Get		BE EF	03	06 00	C8 FA	02 00	80 30	00 00
User Gamma Point 1	Get		BE EF	03	06 00	08 FE	02 00	90 30	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	6E FE	04 00	90 30	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	BF FF	05 00	90 30	00 00
User Gamma Point 2	Get		BE EF	03	06 00	F4 FF	02 00	91 30	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	92 FF	04 00	91 30	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	43 FE	05 00	91 30	00 00
User Gamma Point 3	Get		BE EF	03	06 00	B0 FF	02 00	92 30	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	D6 FF	04 00	92 30	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	07 FE	05 00	92 30	00 00
User Gamma Point 4	Get		BE EF	03	06 00	4C FE	02 00	93 30	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	2A FE	04 00	93 30	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	FB FF	05 00	93 30	00 00
User Gamma Point 5	Get		BE EF	03	06 00	38 FF	02 00	94 30	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	5E FF	04 00	94 30	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	8F FE	05 00	94 30	00 00
User Gamma Point 6	Get		BE EF	03	06 00	C4 FE	02 00	95 30	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	A2 FE	04 00	95 30	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	73 FF	05 00	95 30	00 00
User Gamma Point 7	Get		BE EF	03	06 00	80 FE	02 00	96 30	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	E6 FE	04 00	96 30	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	37 FF	05 00	96 30	00 00
User Gamma Point 8	Get		BE EF	03	06 00	7C FF	02 00	97 30	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	1A FF	04 00	97 30	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	CB FE	05 00	97 30	00 00

# RS-232C コマンド一覧 (つづき)

Names	Operation Type	Header				Command Data			
						CRC	Action	Type	Setting Code
COLOR TEMP	Set	HIGH	BE EF	03	06 00	0B F5	01 00	B0 30	03 00
		MID	BE EF	03	06 00	9B F4	01 00	B0 30	02 00
		LOW	BE EF	03	06 00	6B F4	01 00	B0 30	01 00
		Hi-BRIGHT-1	BE EF	03	06 00	3B F2	01 00	B0 30	08 00
		Hi-BRIGHT-2	BE EF	03	06 00	AB F3	01 00	B0 30	09 00
		Hi-BRIGHT-3	BE EF	03	06 00	5B F3	01 00	B0 30	0A 00
		CUSTOM-1(HIGH)	BE EF	03	06 00	CB F8	01 00	B0 30	13 00
		CUSTOM-2(MID)	BE EF	03	06 00	5B F9	01 00	B0 30	12 00
		CUSTOM-3(LOW)	BE EF	03	06 00	AB F9	01 00	B0 30	11 00
		CUSTOM-4(Hi-BRIGHT-1)	BE EF	03	06 00	FB FF	01 00	B0 30	18 00
		CUSTOM-5(Hi-BRIGHT-2)	BE EF	03	06 00	6B FE	01 00	B0 30	19 00
		CUSTOM-6(Hi-BRIGHT-3)	BE EF	03	06 00	98 FE	01 00	B0 00	1A 00
		Get	BE EF	03	06 00	C8 F5	02 00	B0 30	00 00
COLOR TEMP GAIN R	Get	BE EF	03	06 00	34 F4	02 00	B1 30	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	52 F4	04 00	B1 30	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	83 F5	05 00	B1 30	00 00	
COLOR TEMP GAIN G	Get	BE EF	03	06 00	70 F4	02 00	B2 30	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	16 F4	04 00	B2 30	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	C7 F5	05 00	B2 30	00 00	
COLOR TEMP GAIN B	Get	BE EF	03	06 00	8C F5	02 00	B3 30	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	EA F5	04 00	B3 30	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	3B F4	05 00	B3 30	00 00	
COLOR TEMP OFFSET R	Get	BE EF	03	06 00	04 F5	02 00	B5 30	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	62 F5	04 00	B5 30	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	B3 F4	05 00	B5 30	00 00	
COLOR TEMP OFFSET G	Get	BE EF	03	06 00	40 F5	02 00	B6 30	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	26 F5	04 00	B6 30	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	F7 F4	05 00	B6 30	00 00	
COLOR TEMP OFFSET B	Get	BE EF	03	06 00	BC F4	02 00	B7 30	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	DA F4	04 00	B7 30	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	0B F5	05 00	B7 30	00 00	
COLOR	Get	BE EF	03	06 00	B5 72	02 00	02 22	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	D3 72	04 00	02 22	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	02 73	05 00	02 22	00 00	
COLOR Reset	Execute	BE EF	03	06 00	80 D0	06 00	0A 70	00 00	
TINT	Get	BE EF	03	06 00	49 73	02 00	03 22	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	2F 73	04 00	03 22	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	FE 72	05 00	03 22	00 00	
TINT Reset	Execute	BE EF	03	06 00	7C D1	06 00	0B 70	00 00	
SHARPNESS	Get	BE EF	03	06 00	F1 72	02 00	01 22	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	97 72	04 00	01 22	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	46 73	05 00	01 22	00 00	
SHARPNESS Reset	Execute	BE EF	03	06 00	C4 D0	06 00	09 70	00 00	

# RS-232C コマンド一覧 (つづき)

Names	Operation Type	Header				Command Data			
						CRC	Action	Type	Setting Code
MY MEMORY Load	Set	1	BE EF	03	06 00	0E D7	01 00	14 20	00 00
		2	BE EF	03	06 00	9E D6	01 00	14 20	01 00
		3	BE EF	03	06 00	6E D6	01 00	14 20	02 00
		4	BE EF	03	06 00	FE D7	01 00	14 20	03 00
MY MEMORY Save	Set	1	BE EF	03	06 00	F2 D6	01 00	15 20	00 00
		2	BE EF	03	06 00	62 D7	01 00	15 20	01 00
		3	BE EF	03	06 00	92 D7	01 00	15 20	02 00
		4	BE EF	03	06 00	02 D6	01 00	15 20	03 00
PROGRESSIVE	Set	TURN OFF	BE EF	03	06 00	4A 72	01 00	07 22	00 00
		TV	BE EF	03	06 00	DA 73	01 00	07 22	01 00
		FILM	BE EF	03	06 00	2A 73	01 00	07 22	02 00
	Get	BE EF	03	06 00	79 72	02 00	07 22	00 00	
3D-YCS	Set	TURN OFF	BE EF	03	06 00	E6 70	01 00	0A 22	00 00
		MOVIE	BE EF	03	06 00	76 71	01 00	0A 22	01 00
		STILL	BE EF	03	06 00	86 71	01 00	0A 22	02 00
	Get	BE EF	03	06 00	D5 70	02 00	0A 22	00 00	
VIDEO NR	Set	LOW	BE EF	03	06 00	26 72	01 00	06 22	01 00
		MID	BE EF	03	06 00	D6 72	01 00	06 22	02 00
		HIGH	BE EF	03	06 00	46 73	01 00	06 22	03 00
	Get	BE EF	03	06 00	85 73	02 00	06 22	00 00	
ASPECT	Set	4:3	BE EF	03	06 00	9E D0	01 00	08 20	00 00
		16:9	BE EF	03	06 00	0E D1	01 00	08 20	01 00
		14:9	BE EF	03	06 00	CE D6	01 00	08 20	09 00
		SMALL	BE EF	03	06 00	FE D1	01 00	08 20	02 00
		NORMAL	BE EF	03	06 00	5E DD	01 00	08 20	10 00
	Get	BE EF	03	06 00	AD D0	02 00	08 20	00 00	
OVER SCAN	Get	BE EF	03	06 00	91 70	02 00	09 22	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	F7 70	04 00	09 22	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	26 71	05 00	09 22	00 00	
OVER SCAN Reset	Execute	BE EF	03	06 00	EC D9	06 00	27 70	00 00	
V POSITION	Get	BE EF	03	06 00	0D 83	02 00	00 21	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	6B 83	04 00	00 21	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	BA 82	05 00	00 21	00 00	
V POSITION Reset	Execute	BE EF	03	06 00	E0 D2	06 00	02 70	00 00	
H POSITION	Get	BE EF	03	06 00	F1 82	02 00	01 21	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	97 82	04 00	01 21	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	46 83	05 00	01 21	00 00	
H POSITION Reset	Execute	BE EF	03	06 00	1C D3	06 00	03 70	00 00	
H PHASE	Get	BE EF	03	06 00	49 83	02 00	03 21	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	2F 83	04 00	03 21	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	FE 82	05 00	03 21	00 00	
H SIZE	Get	BE EF	03	06 00	B5 82	02 00	02 21	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	D3 82	04 00	02 21	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	02 83	05 00	02 21	00 00	
H SIZE Reset	Execute	BE EF	03	06 00	68 D2	06 00	04 70	00 00	
AUTO ADJUST	Execute	BE EF	03	06 00	91 D0	06 00	0A 20	00 00	

# RS-232C コマンド一覧 (つづき)

Names	Operation Type	Header				Command Data			
						CRC	Action	Type	Setting Code
COLOR SPACE	Set	AUTO	BE EF	03	06 00	0E 72	01 00	04 22	00 00
		RGB	BE EF	03	06 00	9E 73	01 00	04 22	01 00
		SMPTE240	BE EF	03	06 00	6E 73	01 00	04 22	02 00
		REC709	BE EF	03	06 00	FE 72	01 00	04 22	03 00
		REC601	BE EF	03	06 00	CE 70	01 00	04 22	04 00
	Get	BE EF	03	06 00	3D 72	02 00	04 22	00 00	
COMPONENT	Set	COMPONENT	BE EF	03	06 00	4A D7	01 00	17 20	00 00
		SCART RGB	BE EF	03	06 00	DA D6	01 00	17 20	01 00
	Get	BE EF	03	06 00	79 D7	02 00	17 20	00 00	
C-VIDEO FORMAT	Set	AUTO	BE EF	03	06 00	A2 70	01 00	11 22	0A 00
		NTSC	BE EF	03	06 00	C2 74	01 00	11 22	04 00
		PAL	BE EF	03	06 00	52 75	01 00	11 22	05 00
		SECAM	BE EF	03	06 00	52 70	01 00	11 22	09 00
		NTSC4.43	BE EF	03	06 00	62 77	01 00	11 22	02 00
		M-PAL	BE EF	03	06 00	C2 71	01 00	11 22	08 00
		N-PAL	BE EF	03	06 00	32 74	01 00	11 22	07 00
	Get	BE EF	03	06 00	31 76	02 00	11 22	00 00	
S-VIDEO FORMAT	Set	AUTO	BE EF	03	06 00	E6 70	01 00	12 22	0A 00
		NTSC	BE EF	03	06 00	86 74	01 00	12 22	04 00
		PAL	BE EF	03	06 00	16 75	01 00	12 22	05 00
		SECAM	BE EF	03	06 00	16 70	01 00	12 22	09 00
		NTSC4.43	BE EF	03	06 00	26 77	01 00	12 22	02 00
		M-PAL	BE EF	03	06 00	86 71	01 00	12 22	08 00
		N-PAL	BE EF	03	06 00	76 74	01 00	12 22	07 00
	Get	BE EF	03	06 00	75 76	02 00	12 22	00 00	
HDMI	Set	AUTO	BE EF	03	06 00	86 D8	01 00	22 20	00 00
		NORMAL	BE EF	03	06 00	16 D9	01 00	22 20	01 00
		ENHANCED	BE EF	03	06 00	E6 D9	01 00	22 20	02 00
	Get	BE EF	03	06 00	B5 D8	02 00	22 20	00 00	
RGB 1	Set	SYNC ON G OFF	BE EF	03	06 00	5E D7	01 00	10 20	02 00
		AUTO	BE EF	03	06 00	CE D6	01 00	10 20	03 00
	Get	BE EF	03	06 00	0D D6	02 00	10 20	00 00	
RGB 2	Set	SYNC ON G OFF	BE EF	03	06 00	A2 D6	01 00	11 20	02 00
		AUTO	BE EF	03	06 00	32 D7	01 00	11 20	03 00
	Get	BE EF	03	06 00	F1 D7	02 00	11 20	00 00	

# RS-232C コマンド一覧 (つづき)

Names	Operation Type		Header				Command Data			
							CRC	Action	Type	Setting Code
FRAME LOCK RGB1	Set	TURN OFF	BE EF	03	06 00	3B 2C	01 00	50 30	00 00	
		TURN ON	BE EF	03	06 00	AB C3	01 00	50 30	01 00	
	Get	BE EF	03	06 00	08 C2	02 00	50 30	00 00		
FRAME LOCK RGB2	Set	TURN OFF	BE EF	03	06 00	0B C3	01 00	54 30	00 00	
		TURN ON	BE EF	03	06 00	9B 2C	01 00	54 30	01 00	
	Get	BE EF	03	06 00	38 C3	02 00	54 30	00 00		
FRAME LOCK HDMI	Set	TURN OFF	BE EF	03	06 00	7F C2	01 00	53 30	00 00	
		TURN ON	BE EF	03	06 00	EF C3	01 00	53 30	01 00	
	Get	BE EF	03	06 00	4C C2	02 00	53 30	00 00		
KEYSTONE V	Get	BE EF	03	06 00	B9 D3	02 00	07 20	00 00		
	Increment	BE EF	03	06 00	DF D3	04 00	07 20	00 00		
	Decrement	BE EF	03	06 00	0E D2	05 00	07 20	00 00		
KEYSTONE V Reset	Execute	BE EF	03	06 00	08 D0	06 00	0C 70	00 00		
AUTO KEYSTONE V EXECUTE	Execute	BE EF	03	06 00	E5 D1	06 00	0D 20	00 00		
AUTO KEYSTONE V	Set	TURN OFF	BE EF	03	06 00	EA D1	01 00	0F 20	00 00	
		TURN ON	BE EF	03	06 00	7A D0	01 00	0F 20	01 00	
	Get	BE EF	03	06 00	D9 D1	02 00	0F 20	00 00		
KEYSTONE H	Get	BE EF	03	06 00	E9 D0	02 00	0B 20	00 00		
	Increment	BE EF	03	06 00	8F D0	04 00	0B 20	00 00		
	Decrement	BE EF	03	06 00	5E D1	05 00	0B 20	00 00		
KEYSTONE H Reset	Execute	BE EF	03	06 00	98 D8	06 00	20 70	00 00		
ACTIVE IRIS	Set	TURN OFF	BE EF	03	06 00	0B 22	01 00	04 33	00 00	
		THEATER	BE EF	03	06 00	CB 2F	01 00	04 33	10 00	
		PRESENTATION	BE EF	03	06 00	5B 2E	01 00	04 33	11 00	
	Get	BE EF	03	06 00	38 22	02 00	04 33	00 00		
WHISPER	Set	NORMAL	BE EF	03	06 00	3B 23	01 00	00 33	00 00	
		WHISPER	BE EF	03	06 00	AB 22	01 00	00 33	01 00	
	Get	BE EF	03	06 00	08 23	02 00	00 33	00 00		
MIRROR	Set	NORMAL	BE EF	03	06 00	C7 D2	01 00	01 30	00 00	
		H:INVERT	BE EF	03	06 00	57 D3	01 00	01 30	01 00	
		V:INVERT	BE EF	03	06 00	A7 D3	01 00	01 30	02 00	
		H&V:INVERT	BE EF	03	06 00	37 D2	01 00	01 30	03 00	
	Get	BE EF	03	06 00	F4 D2	02 00	01 30	00 00		
VOLUME-RGB1	Get	BE EF	03	06 00	CD CC	02 00	60 20	00 00		
	Increment	BE EF	03	06 00	AB CC	04 00	60 20	00 00		
	Decrement	BE EF	03	06 00	7A CD	05 00	60 20	00 00		
VOLUME-RGB2	Get	BE EF	03	06 00	FD CD	02 00	64 20	00 00		
	Increment	BE EF	03	06 00	9B CD	04 00	64 20	00 00		
	Decrement	BE EF	03	06 00	4A CC	05 00	64 20	00 00		
VOLUME-HDMI	Get	BE EF	03	06 00	89 CC	02 00	63 20	00 00		
	Increment	BE EF	03	06 00	EF CC	04 00	63 20	00 00		
	Decrement	BE EF	03	06 00	3E CD	05 00	63 20	00 00		
VOLUME-Video	Get	BE EF	03	06 00	31 CD	02 00	61 20	00 00		
	Increment	BE EF	03	06 00	57 CD	04 00	61 20	00 00		
	Decrement	BE EF	03	06 00	86 CC	05 00	61 20	00 00		
VOLUME-S-Video	Get	BE EF	03	06 00	75 CD	02 00	62 20	00 00		
	Increment	BE EF	03	06 00	13 CD	04 00	62 20	00 00		
	Decrement	BE EF	03	06 00	C2 CC	05 00	62 20	00 00		

# RS-232C コマンド一覧 (つづき)

Names	Operation Type	Header			Command Data			
					CRC	Action	Type	Setting Code
VOLUME-Component	Get	BE EF	03	06 00	01 CC	02 00	65 20	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	67 CC	04 00	65 20	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	B6 CD	05 00	65 20	00 00
VOLUME - MIU	Get	BE EF	03	06 00	45 CC	02 00	66 20	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	23 CC	04 00	66 20	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	F2 CD	05 00	66 20	00 00
TREBLE-RGB1	Get	BE EF	03	06 00	0D C8	02 00	70 20	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	6B C8	04 00	70 20	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	BA C9	05 00	70 20	00 00
TREBLE-RGB2	Get	BE EF	03	06 00	3D C9	02 00	74 20	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	5B C9	04 00	74 20	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	8A C8	05 00	74 20	00 00
TREBLE-HDMI	Get	BE EF	03	06 00	49 C8	02 00	73 20	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	2F C8	04 00	73 20	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	FE C9	05 00	73 20	00 00
TREBLE-Video	Get	BE EF	03	06 00	F1 C9	02 00	71 20	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	97 C9	04 00	71 20	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	46 C8	05 00	71 20	00 00
TREBLE-S-Video	Get	BE EF	03	06 00	B5 C9	02 00	72 20	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	D3 C9	04 00	72 20	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	02 C8	05 00	72 20	00 00
TREBLE-Component	Get	BE EF	03	06 00	C1 C8	02 00	75 20	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	A7 C8	04 00	75 20	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	76 C9	05 00	75 20	00 00
TREBLE - MIU	Get	BE EF	03	06 00	85 C8	02 00	76 20	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	E3 C8	04 00	76 20	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	32 C9	05 00	76 20	00 00
BASS-RGB1	Get	BE EF	03	06 00	0D FB	02 00	80 20	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	6B FB	04 00	80 20	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	BA FA	05 00	80 20	00 00
BASS-RGB2	Get	BE EF	03	06 00	3D FA	02 00	84 20	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	5B FA	04 00	84 20	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	8A FB	05 00	84 20	00 00
BASS-HDMI	Get	BE EF	03	06 00	49 FB	02 00	83 20	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	2F FB	04 00	83 20	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	FE FA	05 00	83 20	00 00
BASS-Video	Get	BE EF	03	06 00	F1 FA	02 00	81 20	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	97 FA	04 00	81 20	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	46 FB	05 00	81 20	00 00
BASS-S-Video	Get	BE EF	03	06 00	B5 FA	02 00	82 20	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	D3 FA	04 00	82 20	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	02 FB	05 00	82 20	00 00
BASS-Component	Get	BE EF	03	06 00	C1 FB	02 00	85 20	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	A7 FB	04 00	85 20	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	76 FA	05 00	85 20	00 00
BASS - MIU	Get	BE EF	03	06 00	85 FB	02 00	86 20	00 00
	Increment	BE EF	03	06 00	E3 FB	04 00	86 20	00 00
	Decrement	BE EF	03	06 00	32 FA	05 00	86 20	00 00

# RS-232C コマンド一覧 (つづき)

Names	Operation Type	Header				Command Data			
						CRC	Action	Type	Setting Code
SRS WOW – RGB1	Set	TURN OFF	BE EF	03	06 00	FE FF	01 00	90 20	00 00
		MID	BE EF	03	06 00	9E FE	01 00	90 20	02 00
		HIGH	BE EF	03	06 00	0E FF	01 00	90 20	03 00
	Get	BE EF	03	06 00	CD FF	02 00	90 20	00 00	
SRS WOW – RGB2	Set	TURN OFF	BE EF	03	06 00	CE FE	01 00	94 20	00 00
		MID	BE EF	03	06 00	AE FF	01 00	94 20	02 00
		HIGH	BE EF	03	06 00	3E FF	01 00	94 20	03 00
	Get	BE EF	03	06 00	FD FE	02 00	94 20	00 00	
SRS WOW – HDMI	Set	TURN OFF	BE EF	03	06 00	BA FF	01 00	93 20	00 00
		MID	BE EF	03	06 00	DA FE	01 00	93 20	02 00
		HIGH	BE EF	03	06 00	4A FF	01 00	93 20	03 00
	Get	BE EF	03	06 00	89 FF	02 00	93 20	00 00	
SRS WOW – Video	Set	TURN OFF	BE EF	03	06 00	02 FE	01 00	91 20	00 00
		MID	BE EF	03	06 00	62 FF	01 00	91 20	02 00
		HIGH	BE EF	03	06 00	F2 FE	01 00	91 20	03 00
	Get	BE EF	03	06 00	31 FE	02 00	91 20	00 00	
SRS WOW – S-Video	Set	TURN OFF	BE EF	03	06 00	46 FE	01 00	92 20	00 00
		MID	BE EF	03	06 00	26 FF	01 00	92 20	02 00
		HIGH	BE EF	03	06 00	B6 FE	01 00	92 20	03 00
	Get	BE EF	03	06 00	75 FE	02 00	92 20	00 00	
SRS WOW – Component	Set	TURN OFF	BE EF	03	06 00	32 FF	01 00	95 20	00 00
		MID	BE EF	03	06 00	52 FE	01 00	95 20	02 00
		HIGH	BE EF	03	06 00	C2 FF	01 00	95 20	03 00
	Get	BE EF	03	06 00	01 FF	02 00	95 20	00 00	
SRS WOW – MIU	Set	TURN OFF	BE EF	03	06 00	76 FF	01 00	96 20	00 00
		MID	BE EF	03	06 00	16 FE	01 00	96 20	02 00
		HIGH	BE EF	03	06 00	86 FF	01 00	96 20	03 00
	Get	BE EF	03	06 00	45 FF	02 00	96 20	00 00	
MUTE	Set	TURN OFF	BE EF	03	06 00	46 D3	01 00	02 20	00 00
		TURN ON	BE EF	03	06 00	D6 D2	01 00	02 20	01 00
	Get	BE EF	03	06 00	75 D3	02 00	02 20	00 00	
SPEAKER	Set	TURN OFF	BE EF	03	06 00	6E D5	01 00	1C 20	00 00
		TURN ON	BE EF	03	06 00	FE D4	01 00	1C 20	01 00
	Get	BE EF	03	06 00	5D D5	02 00	1C 20	00 00	

# RS-232C コマンド一覧 (つづき)

Names	Operation Type	Header				Command Data			
						CRC	Action	Type	Setting Code
AUDIO - RGB1	Set	TURN OFF	BE EF	03	06 00	FE DD	01 00	30 20	00 00
		Audio1	BE EF	03	06 00	6E DC	01 00	30 20	01 00
		Audio2	BE EF	03	06 00	9E DC	01 00	30 20	02 00
		Audio3	BE EF	03	06 00	0E DD	01 00	30 20	03 00
		Audio4	BE EF	03	06 00	3E DF	01 00	30 20	04 00
	Get	BE EF	03	06 00	CD DD	02 00	30 20	00 00	
AUDIO - RGB2	Set	TURN OFF	BE EF	03	06 00	CE DC	01 00	34 20	00 00
		Audio1	BE EF	03	06 00	5E DD	01 00	34 20	01 00
		Audio2	BE EF	03	06 00	AE DD	01 00	34 20	02 00
		Audio3	BE EF	03	06 00	3E DC	01 00	34 20	03 00
		Audio4	BE EF	03	06 00	0E DE	01 00	34 20	04 00
	Get	BE EF	03	06 00	FD DC	02 00	34 20	00 00	
AUDIO - HDMI	Set	TURN OFF	BE EF	03	06 00	BA DD	01 00	33 20	00 00
		Audio1	BE EF	03	06 00	2A DC	01 00	33 20	01 00
		Audio2	BE EF	03	06 00	DA DC	01 00	33 20	02 00
		Audio3	BE EF	03	06 00	4A DD	01 00	33 20	03 00
		Audio4	BE EF	03	06 00	7A DF	01 00	33 20	04 00
	Audio HDMI	BE EF	03	06 00	7A C4	01 00	33 20	20 00	
Get	BE EF	03	06 00	89 DD	02 00	33 20	00 00		
AUDIO - Video	Set	TURN OFF	BE EF	03	06 00	02 DC	01 00	31 20	00 00
		Audio1	BE EF	03	06 00	92 DD	01 00	31 20	01 00
		Audio2	BE EF	03	06 00	62 DD	01 00	31 20	02 00
		Audio3	BE EF	03	06 00	F2 DC	01 00	31 20	03 00
		Audio4	BE EF	03	06 00	C2 DE	01 00	31 20	04 00
	Get	BE EF	03	06 00	31 DC	02 00	31 20	00 00	
AUDIO - S-Video	Set	TURN OFF	BE EF	03	06 00	46 DC	01 00	32 20	00 00
		Audio1	BE EF	03	06 00	D6 DD	01 00	32 20	01 00
		Audio2	BE EF	03	06 00	26 DD	01 00	32 20	02 00
		Audio3	BE EF	03	06 00	B6 DC	01 00	32 20	03 00
		Audio4	BE EF	03	06 00	86 DE	01 00	32 20	04 00
	Get	BE EF	03	06 00	75 DC	02 00	32 20	00 00	
AUDIO - Component	Set	TURN OFF	BE EF	03	06 00	32 DD	01 00	35 20	00 00
		Audio1	BE EF	03	06 00	A2 DC	01 00	35 20	01 00
		Audio2	BE EF	03	06 00	52 DC	01 00	35 20	02 00
		Audio3	BE EF	03	06 00	C2 DD	01 00	35 20	03 00
		Audio4	BE EF	03	06 00	F2 DF	01 00	35 20	04 00
	Get	BE EF	03	06 00	01 DD	02 00	35 20	00 00	
AUDIO - MIU	Set	TURN OFF	BE EF	03	06 00	76 DD	01 00	36 20	00 00
		Audio1	BE EF	03	06 00	E6 DC	01 00	36 20	01 00
		Audio2	BE EF	03	06 00	16 DC	01 00	36 20	02 00
		Audio3	BE EF	03	06 00	86 DD	01 00	36 20	03 00
		Audio4	BE EF	03	06 00	B6 DF	01 00	36 20	04 00
	MIU	BE EF	03	06 00	B6 D0	01 00	36 20	10 00	
Get	BE EF	03	06 00	45 DD	02 00	36 20	00 00		
HDMI AUDIO	Set	1	BE EF	03	06 00	AE C6	01 00	40 20	01 00
		2	BE EF	03	06 00	5E C6	01 00	40 20	02 00
	Get	BE EF	03	06 00	0D C7	02 00	40 20	00 00	

# RS-232C コマンド一覧 (つづき)

Names	Operation Type	Header				Command Data			
						CRC	Action	Type	Setting Code
REMOTE RECEIV. Front	Set	Off	BE EF	03	06 00	FF 32	01 00	00 26	00 00
		On	BE EF	03	06 00	6F 33	01 00	00 26	01 00
	Get	BE EF	03	06 00	CC 32	02 00	00 26	00 00	
REMOTE RECEIV. Top	Set	Off	BE EF	03	06 00	47 33	01 00	02 26	00 00
		On	BE EF	03	06 00	D7 32	01 00	02 26	01 00
	Get	BE EF	03	06 00	74 33	02 00	02 26	00 00	
REMOTE RECEIV. Rear	Set	Off	BE EF	03	06 00	03 33	01 00	01 26	00 00
		On	BE EF	03	06 00	93 32	01 00	01 26	01 00
	Get	BE EF	03	06 00	30 33	02 00	01 26	00 00	
REMOTE FREQ. NORMAL	Set	Off	BE EF	03	06 00	FF 3D	01 00	30 26	00 00
		On	BE EF	03	06 00	6F 3C	01 00	30 26	01 00
	Get	BE EF	03	06 00	CC 3D	02 00	30 26	00 00	
REMOTE FREQ. HIGH	Set	Off	BE EF	03	06 00	03 3C	01 00	31 26	00 00
		On	BE EF	03	06 00	93 3D	01 00	31 26	01 00
	Get	BE EF	03	06 00	30 3C	02 00	31 26	00 00	
LANGUAGE	Set	ENGLISH	BE EF	03	06 00	F7 D3	01 00	05 30	00 00
		FRANÇAIS	BE EF	03	06 00	67 D2	01 00	05 30	01 00
		DEUTSCH	BE EF	03	06 00	97 D2	01 00	05 30	02 00
		ESPAÑOL	BE EF	03	06 00	07 D3	01 00	05 30	03 00
		ITALIANO	BE EF	03	06 00	37 D1	01 00	05 30	04 00
		NORSK	BE EF	03	06 00	A7 D0	01 00	05 30	05 00
		NEDERLANDS	BE EF	03	06 00	57 D0	01 00	05 30	06 00
		PORTUGUÊS	BE EF	03	06 00	C7 D1	01 00	05 30	07 00
		日本語	BE EF	03	06 00	37 D4	01 00	05 30	08 00
		简体中文	BE EF	03	06 00	A7 D5	01 00	05 30	09 00
		繁體中文	BE EF	03	06 00	37 DE	01 00	05 30	10 00
		한글	BE EF	03	06 00	57 D5	01 00	05 30	0A 00
		SVENSKA	BE EF	03	06 00	C7 D4	01 00	05 30	0B 00
		РУССКИЙ	BE EF	03	06 00	F7 D6	01 00	05 30	0C 00
		SUOMI	BE EF	03	06 00	67 D7	01 00	05 30	0D 00
	POLSKI	BE EF	03	06 00	97 D7	01 00	05 30	0E 00	
TÜRKÇE	BE EF	03	06 00	07 D6	01 00	05 30	0F 00		
	Get	BE EF	03	06 00	C4 D3	02 00	05 30	00 00	
MENU POSITION H	Get	BE EF	03	06 00	04 D7	02 00	15 30	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	62 D7	04 00	15 30	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	B3 D6	05 00	15 30	00 00	
MENU POSITION H Reset	Execute	BE EF	03	06 00	DC C6	06 00	43 70	00 00	
MENU POSITION V	Get	BE EF	03	06 00	40 D7	02 00	16 30	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	26 D7	04 00	16 30	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	F7 D6	05 00	16 30	00 00	
MENU POSITION V Reset	Execute	BE EF	03	06 00	A8 C7	06 00	44 70	00 00	

# RS-232C コマンド一覧 (つづき)

Names	Operation Type	Header				Command Data			
						CRC	Action	Type	Setting Code
BLANK	Set	My Screen	BE EF	03	06 00	FB CA	01 00	00 30	20 00
		ORIGINAL	BE EF	03	06 00	FB E2	01 00	00 30	40 00
		BLUE	BE EF	03	06 00	CB D3	01 00	00 30	03 00
		WHITE	BE EF	03	06 00	6B D0	01 00	00 30	05 00
		BLACK	BE EF	03	06 00	9B D0	01 00	00 30	06 00
	Get		BE EF	03	06 00	08 D3	02 00	00 30	00 00
BLANK On/Off	Set	TURN OFF	BE EF	03	06 00	FB D8	01 00	20 30	00 00
		TURN ON	BE EF	03	06 00	6B D9	01 00	20 30	01 00
		Get		BE EF	03	06 00	C8 D8	02 00	20 30
START UP	Set	My Screen	BE EF	03	06 00	CB CB	01 00	04 30	20 00
		ORIGINAL	BE EF	03	06 00	0B D2	01 00	04 30	00 00
		TURN OFF	BE EF	03	06 00	9B D3	01 00	04 30	01 00
		Get		BE EF	03	06 00	38 D2	02 00	04 30
My Screen LOCK	Set	TURN OFF	BE EF	03	06 00	3B EF	01 00	C0 30	00 00
		TURN ON	BE EF	03	06 00	AB EE	01 00	C0 30	01 00
		Get		BE EF	03	06 00	08 EF	02 00	C0 30
MESSAGE	Set	TURN OFF	BE EF	03	06 00	8F D6	01 00	17 30	00 00
		TURN ON	BE EF	03	06 00	1F D7	01 00	17 30	01 00
		Get		BE EF	03	06 00	BC D6	02 00	17 30
AUTO SEARCH	Set	TURN OFF	BE EF	03	06 00	B6 D6	01 00	16 20	00 00
		TURN ON	BE EF	03	06 00	26 D7	01 00	16 20	01 00
		Get		BE EF	03	06 00	85 D6	02 00	16 20
AUTO OFF	Get		BE EF	03	06 00	08 86	02 00	10 31	00 00
		Increment	BE EF	03	06 00	6E 86	04 00	10 31	00 00
		Decrement	BE EF	03	06 00	BF 87	05 00	10 31	00 00
AUTO ON	Set	TURN OFF	BE EF	03	06 00	3B 89	01 00	20 31	00 00
		TURN ON	BE EF	03	06 00	AB 88	01 00	20 31	01 00
		Get		BE EF	03	06 00	08 89	02 00	20 31
LAMP TIME	Get		BE EF	03	06 00	C2 FF	02 00	90 10	00 00
LAMP TIME Reset	Execute		BE EF	03	06 00	58 DC	06 00	30 70	00 00
FILTER TIME	Get		BE EF	03	06 00	C2 F0	02 00	A0 10	00 00
FILER TIME Reset	Execute		BE EF	03	06 00	98 C6	06 00	40 70	00 00

# RS-232C コマンド一覧 (つづき)

Names	Operation Type	Header				Command Data			
					CRC	Action	Type	Setting Code	
MY BUTTON-1	Set	RGB1	BE EF	03	06 00	3A 33	01 00	00 36	00 00
		RGB2	BE EF	03	06 00	FA 31	01 00	00 36	04 00
		HDMI	BE EF	03	06 00	CA 33	01 00	00 36	03 00
		COMPONENT	BE EF	03	06 00	6A 30	01 00	00 36	05 00
		S-VIDEO	BE EF	03	06 00	5A 32	01 00	00 36	02 00
		VIDEO	BE EF	03	06 00	AA 32	01 00	00 36	01 00
		MIU	BE EF	03	06 00	9A 30	01 00	00 36	06 00
		INFORMATION	BE EF	03	06 00	FA 3E	01 00	00 36	10 00
		AUTO KEYSTONE V	BE EF	03	06 00	6A 3F	01 00	00 36	11 00
		MY MEMORY	BE EF	03	06 00	9A 3F	01 00	00 36	12 00
		PICTURE MODE	BE EF	03	06 00	0A 3E	01 00	00 36	13 00
		FILTER RESET	BE EF	03	06 00	3A 3C	01 00	00 36	14 00
		ACTIVE IRIS	BE EF	03	06 00	AA 3D	01 00	00 36	15 00
		e-SHOT	BE EF	03	06 00	5A 3D	01 00	00 36	16 00
		VOLUME +	BE EF	03	06 00	CA 3C	01 00	00 36	17 00
		VOLUME -	BE EF	03	06 00	3A 39	01 00	00 36	18 00
		AV MUTE	BE EF	03	06 00	AA 38	01 00	00 36	19 00
		LIVE MODE	BE EF	03	06 00	FA 2A	01 00	00 36	20 00
		THUMBNAIL	BE EF	03	06 00	6A 2B	01 00	00 36	21 00
		SLIDE SHOW	BE EF	03	06 00	9A 2B	01 00	00 36	22 00
DIRECTORY	BE EF	03	06 00	0A 2A	01 00	00 36	23 00		
REMOVE MEDIA	BE EF	03	06 00	3A 28	01 00	00 36	24 00		
	Get	BE EF	03	06 00	09 33	02 00	00 36	00 00	
MY BUTTON-2	Set	RGB1	BE EF	03	06 00	C6 32	01 00	01 36	00 00
		RGB2	BE EF	03	06 00	06 30	01 00	01 36	04 00
		HDMI	BE EF	03	06 00	36 32	01 00	01 36	03 00
		COMPONENT	BE EF	03	06 00	96 31	01 00	01 36	05 00
		S-VIDEO	BE EF	03	06 00	A6 33	01 00	01 36	02 00
		VIDEO	BE EF	03	06 00	56 33	01 00	01 36	01 00
		MIU	BE EF	03	06 00	66 31	01 00	01 36	06 00
		INFORMATION	BE EF	03	06 00	06 3F	01 00	01 36	10 00
		AUTO KEYSTONE V	BE EF	03	06 00	96 3E	01 00	01 36	11 00
		MY MEMORY	BE EF	03	06 00	66 3E	01 00	01 36	12 00
		PICTURE MODE	BE EF	03	06 00	F6 3F	01 00	01 36	13 00
		FILTER RESET	BE EF	03	06 00	C6 3D	01 00	01 36	14 00
		ACTIVE IRIS	BE EF	03	06 00	56 3C	01 00	01 36	15 00
		e-SHOT	BE EF	03	06 00	A6 3C	01 00	01 36	16 00
		VOLUME +	BE EF	03	06 00	36 3D	01 00	01 36	17 00
		VOLUME -	BE EF	03	06 00	C6 38	01 00	01 36	18 00
		AV MUTE	BE EF	03	06 00	56 39	01 00	01 36	19 00
		LIVE MODE	BE EF	03	06 00	06 2B	01 00	01 36	20 00
		THUMBNAIL	BE EF	03	06 00	96 2A	01 00	01 36	21 00
		SLIDE SHOW	BE EF	03	06 00	66 2A	01 00	01 36	22 00
DIRECTORY	BE EF	03	06 00	F6 2B	01 00	01 36	23 00		
REMOVE MEDIA	BE EF	03	06 00	C6 29	01 00	01 36	24 00		
	Get	BE EF	03	06 00	F5 32	02 00	01 36	00 00	

# RS-232C コマンド一覧 (つづき)

Names	Operation Type	Header				Command Data			
					CRC	Action	Type	Setting Code	
MAGNIFY	Get	BE EF	03	06 00	7C D2	02 00	07 30	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	1A D2	04 00	07 30	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	CB D3	05 00	07 30	00 00	
FREEZE	Set	NORMAL	BE EF	03	06 00	83 D2	01 00	02 30	00 00
		FREEZE	BE EF	03	06 00	13 D3	01 00	02 30	01 00
	Get	BE EF	03	06 00	B0 D2	02 00	02 30	00 00	
e-SHOT	Set	OFF	BE EF	03	06 00	3A C3	01 00	00 35	00 00
		IMAGE 1	BE EF	03	06 00	AA C2	01 00	00 35	01 00
		IMAGE 2	BE EF	03	06 00	5A C2	01 00	00 35	02 00
		IMAGE 3	BE EF	03	06 00	CA C3	01 00	00 35	03 00
	IMAGE 4	BE EF	03	06 00	FA C1	01 00	00 35	04 00	
Get	BE EF	03	06 00	09 C3	02 00	00 35	00 00		
e-SHOT IMAGE1 Delete	Execute	BE EF	03	06 00	71 C3	06 00	01 35	00 00	
e-SHOT IMAGE2 Delete	Execute	BE EF	03	06 00	35 C3	06 00	02 35	00 00	
e-SHOT IMAGE3 Delete	Execute	BE EF	03	06 00	C9 C2	06 00	03 35	00 00	
e-SHOT IMAGE4 Delete	Execute	BE EF	03	06 00	BD C3	06 00	04 35	00 00	

# RS-232C コマンド一覧 (つづき)

Names	Operation Type	Header				Command Data			
		CRC	Action	Type	Setting Code				
Power	Set	TURN OFF	BE EF	03	06 00	2A D3	01 00	00 60	00 00
		TURN ON	BE EF	03	06 00	BA D2	01 00	00 60	01 00
	Get	BE EF	03	06 00	19 D3	02 00	00 60	00 00	
			[Example return]						
			00 00	01 00	02 00				
			[Off]	[On]	[Cool down]				
Input Source	Set	RGB1	BE EF	03	06 00	FE D2	01 00	00 20	00 00
		RGB2	BE EF	03	06 00	3E D0	01 00	00 20	04 00
		HDMI	BE EF	03	06 00	0E D2	01 00	00 20	03 00
		VIDEO	BE EF	03	06 00	6E D3	01 00	00 20	01 00
		S-VIDEO	BE EF	03	06 00	9E D3	01 00	00 20	02 00
		COMPONENT	BE EF	03	06 00	AE D1	01 00	00 20	05 00
	MIU	BE EF	03	06 00	5E D1	01 00	00 20	06 00	
Get	BE EF	03	06 00	CD D2	02 00	00 20	00 00		
Error Status	Get	BE EF	03	06 00	D9 D8	02 00	20 60	00 00	
		[Example return]							
			00 00	01 00	02 00	03 00			
			[Normal]	[Cover error]	[Fan error]	[Lamp error]			
			04 00	05 00	06 00	07 00			
			[Temp error]	[Air flow error]	[Lamp time error]	[Cold error]			
			08 00						
			[Filter error]						
BRIGHTNESS	Get	BE EF	03	06 00	89 D2	02 00	03 20	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	EF D2	04 00	03 20	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	3E D3	05 00	03 20	00 00	
BRIGHTNESS Reset	Execute	BE EF	03	06 00	58 D3	06 00	00 70	00 00	
CONTRAST	Get	BE EF	03	06 00	FD D3	02 00	04 20	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	9B D3	04 00	04 20	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	4A D2	05 00	04 20	00 00	
CONTRAST Reset	Execute	BE EF	03	06 00	A4 D2	06 00	01 70	00 00	
PICTURE MODE	Set	NORMAL	BE EF	03	06 00	23 F6	01 00	BA 30	00 00
		CINEMA	BE EF	03	06 00	B3 F7	01 00	BA 30	01 00
		DYNAMIC	BE EF	03	06 00	E3 F4	01 00	BA 30	04 00
		BOARD(BLACK)	BE EF	03	06 00	E3 EF	01 00	BA 30	20 00
		BOARD(GREEN)	BE EF	03	06 00	73 EE	01 00	BA 30	21 00
		WHITEBOARD	BE EF	03	06 00	83 EE	01 00	BA 30	22 00
		DAY TIME	BE EF	03	06 00	E3 C7	01 00	BA 30	40 00
	Get	BE EF	03	06 00	10 F6	02 00	BA 30	00 00	
			[Example return]						
			00 00	01 00	04 00	10 00			
			[Normal]	[Cinema]	[Dynamic]	[Custom]			
			20 00	21 00	22 00	40 00			
			[BOARD(BLACK)]	[BOARD(GREEN)]	[WHITEBOARD]	[DAY TIME]			

# 取扱説明書

液晶プロジェクター

型名 **EDP-XG50**

## 【MIU 編】

この【MIU 編】では、本製品の MIU(Multi Information processing Unit) の機能について説明します。

### はじめに

ご使用の前に、必ず本書の【基本編】、【応用編】、【MIU 編】を全てよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。

## もくじ

基本編	1 - 1	4. WEB コントロール 遠隔操作	3 - 41
応用編	2 - 1	4.1 WEB コントロール	3 - 42
はじめに	3 - 2	4.2 電子メール機能による自動通知	3 - 60
使用上のご注意 < 必ずお読みください >	3 - 2	4.3 SNMP による自動通知	3 - 61
1. 主な機能	3 - 3	4.4 スケジュール設定	3 - 62
1.1 ライブモード	3 - 3	4.5 静止画転送	3 - 63
1.2 らくらくネットワーク接続	3 - 4	4.6 ネットワークからのコマンド制御	3 - 64
1.3 WEB コントロール 遠隔操作	3 - 5	5. PC レスプレゼンテーション	3 - 67
1.4 PC レスプレゼンテーション	3 - 6	5.1 PC レス プレゼンテーションについて	3 - 67
2. 機器の接続とネットワーク設定	3 - 7	5.2 サムネイルモード	3 - 70
2.1 必要な機器について	3 - 7	5.3 全画面モード	3 - 72
2.2 ネットワーク接続について	3 - 7	5.4 スライドショーモード	3 - 74
2.3 ネットワークの手動設定-有線 LAN	3 - 8	5.5 デレクトリモード	3 - 76
2.4 ネットワークの手動設定-無線 LAN	3 - 11	5.6 PC レス プレゼンテーションエラー	3 - 78
3. ライブモード	3 - 14	5.7 プレイリスト	3 - 79
3.1 ライブモードについて	3 - 14	6. 故障かな?と思ったら	3 - 80
3.2 “LiveViewer 3” のインストール	3 - 16	7. MIU 仕様	3 - 82
3.3 らくらくネットワーク接続	3 - 18	保証とアフターサービスについて	(必ずお読みください。)
3.4 パスコード接続	3 - 22		
3.5 手動設定	3 - 27		
3.6 接続確認	3 - 32		
3.7 プロファイル	3 - 35		
3.8 “LiveViewer 3” の操作	3 - 37		

# はじめに

## 使用上のご注意 <必ずお読みください>

### ワイヤレスネットワークカードと記録メディアの抜き差しに関する制限事項

#### 注意



- 本機の動作中はワイヤレスネットワークカードに触れない  
ワイヤレスネットワークカードの抜き差しは、かならず本機の電源スイッチを切ってから行ってください。
- アクセス中の記録メディアには触れない  
SD メモリカード、USB メモリなどの記録メディアは、アクセス中に抜き取らないで下さい。メディア上のLED が点灯 / 点滅していないことも確認してください。

#### お守りください

- SD メモリカードやUSB メモリを抜き取る前に、本機の電源を切るか、または本機の「MIU」メニュー (☞2-34) の「PC レス プレゼンテーション」(☞2-36) - 「メディア取り外し」から目的のメディアに合ったメディアの取り外しを実行してください。

### その他のご注意

オプション品の IEEE802.11g ワイヤレスネットワークカードは、2.4GHz 帯域の電波を使用します。特に無線局の免許は必要ありませんが、下記の内容をご理解のうえ、ご使用ください。

- 下記の機器、施設の近くでは、使用しないでください。
  - ・電子レンジ
  - ・産業・科学・医療機器
  - ・特定小電力無線局
  - ・構内無線局電波の干渉により、通信速度が遅くなったり、通信できなくなる可能性があります。
- お使いになる場所によっては、電波の状態が悪くなり、通信速度が遅くなったり、通信できなくなることがあります。特に、鉄筋、金属、コンクリートなどは、電波を通さないため、ご利用の際は、ご注意ください。
- ワイヤレスネットワークカードが国内で使用できる 2.4GHz 帯域のチャンネル（実際の周波数範囲を複数に分けたもの）は、1～11 です。
- ワイヤレスネットワークカードは、日本国内でのみ、ご使用になれます。国外に持ち出すと、その国の電波法に抵触する恐れがあります。

# 1. 主な機能

本機の MIU (Multi Information processing Unit) は、ワイヤレス、あるいは PC レスでの快適なご利用環境を提供いたします。

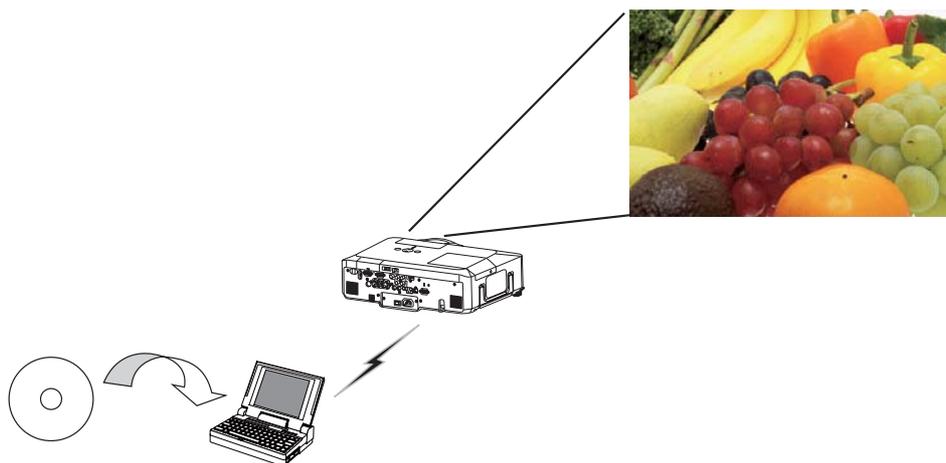
LAN ケーブル、あるいはオプションのワイヤレスネットワークカードでネットワークに有線/無線で接続すると、ネットワーク経由で、本機の遠隔操作や監視を行ったり、PC の画像を本機に送信、表示させることができます。また、SD メモリカード、USB メモリなどの記録メディアを本機に接続すると、メディアに記憶された画像を再生することができます。

## 1.1 ライブモード

本機をネットワークに接続し、ライブモードを使用すると、映像信号のケーブルが不要な、“ワイヤレスプレゼンテーション”が可能です。

ライブモードでは、専用アプリケーション、“Live Viewer 3” が PC の画面をキャプチャし、ネットワーク（有線 LAN または無線 LAN 接続）を介して本機に送信、表示します。また、1 台のプロジェクターで、最大 4 台までの PC の画面を表示することができます。

詳細は、「3. ライブモード」( 3-14 ) をご参照ください。



ライブモードによる“ワイヤレスプレゼンテーション” (イメージ図：無線 LAN 接続時)



“LiveViewer 3” メインメニュー

## 1.2 らくらくネットワーク接続

本機の付属ソフトウェア、“Live Viewer 3”では、本機を簡単にネットワークに接続するための便利なオプションをいくつかご用意しています。ご使用のネットワーク環境に合わせてぜひご利用下さい。詳細は、「3.3 らくらくネットワーク接続」( 3-18) をご参照ください。

### ■パスコード入力

パスコードは、プロジェクターのSSID、IPアドレスなど、ネットワーク接続に必要な情報を含む12桁の記号です。本機の画面に表示されたパスコードを“Live Viewer 3”の画面に入力すると、本機をネットワークに接続することができます。



パスコードの表示画面

### ■プロフィール登録・選択

よく使うプロジェクターのネットワーク設定データを、プロフィールデータとして“Live Viewer 3”に登録することができます。データ登録後は、リストからプロフィールを選択すると、プロジェクターをネットワークに接続することができます。

### ■履歴選択

一度“Live Viewer 3”を使用してネットワークに接続したプロジェクターは、設定データが接続履歴として記録されます。リストから履歴を選択するだけで、ネットワークに接続することができます。

### ■マイコネクション接続

登録したプロフィールデータや、一度接続したプロジェクターを、さらにマイコネクションとして登録することができます。よく使うプロジェクターをマイコネクションに登録しておくことで、マイコネクションを選択するだけでネットワークに接続することができます。

### ■リスト選択

すでに同じネットワーク上にある（ネットワークアドレスが同じ）プロジェクターとPCを接続する場合には、“Live Viewer 3”の画面に表示されるリストから目的のプロジェクターを選択するだけで、接続することができます。

## 1.3 WEB コントロール 遠隔操作

本機をネットワーク接続すると、同じネットワーク上にある PC から、ネットワーク経由で本機の設定、操作、監視などを行うことができます。詳細は、「4. WEB コントロール 遠隔操作」(3-41) をご参照ください。

### ■ WEB コントロール

同じネットワークに接続した PC から、Web ブラウザを使ってネットワークの設定、プロジェクターの監視、WEB リモコンによる操作などを行うことができます。WEB リモコンでは、ライブモード、PC レス プレゼンテーションを操作することもできます。また、下記の自動通知機能、電子メール機能、SNMP トラップ、スケジュール機能の操作、設定も WEB コントロールで行います。

### ■ 電子メール、または SNMP による自動通知

本機がエラーを検出したときやメンテナンスを必要とするとき、電子メール機能、または SNMP を使用して警告メッセージを自動的に送信、受け取ることができます。

### ■ スケジュール設定

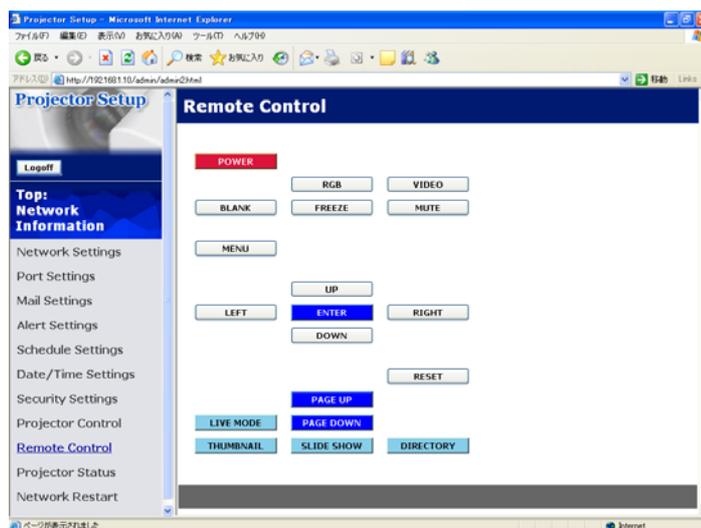
起動や画像の表示など、本機の操作を、日時を指定して自動的に実行させることができます。

### ■ 静止画転送

静止画像をネットワーク経由で本機に転送し、記録メディアに保存、また、本機の画面に表示させることができます。

### ■ RS-232C 通信

ネットワーク経由で RS-232C 通信コマンドを送信し、本機の操作、設定ができます。



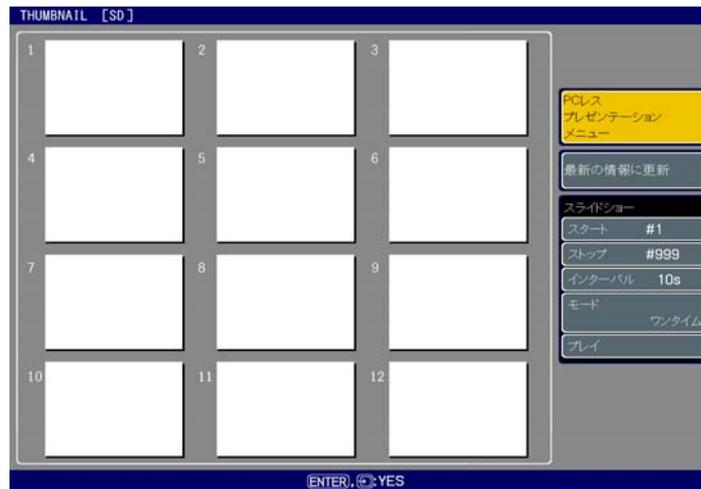
WEB リモコン

## 1.4 PC レス プレゼンテーション

SD メモリカード、USB メモリなどの記録メディアを本機に接続すると、メディアに保存されている画像を、PC を使わず本機の画面に直接表示する、PC レス プレゼンテーションが可能です。

PC レス プレゼンテーションには、メディアに保存された画像ファイルを並べて縮小表示するサムネイルモード、一つの画像を画面にいっぱいに表示する全画面モード、画像を一定間隔で“スライド”のように表示するスライドショーモード、メディアに保存されているディレクトリ、ファイルをつリー表示するディレクトリモードの4つの表示モードがあります。

詳細は、「5. PC レス プレゼンテーション」(  **3-67** ) をご参照ください。



PC レス プレゼンテーション (サムネイル画面)

## 2. 機器の接続とネットワーク設定

### 2.1 必要な機器について

本機の MIU を使用するには、ネットワークの接続方法、および使用する機能によって必要な機器が異なります。以下の説明に従って必要な機器をご用意ください。ただし、必要数としてあげたものは、本機 1 台につき必要な数です。

#### 【共通】

■液晶プロジェクター（本機）：1 台

■PC：1 台

「3.2 “Live Viewer 3” のインストール」(図3-16) にしたがって、“Live Viewer 3” をインストールしておくことをお勧めします。

#### 【有線 LAN 接続用】

■CAT-5 以上の LAN ケーブル：1 本

#### 【無線 LAN 接続用】

■本機用ワイヤレスネットワークカード（オプション：型名 VA08333）：1 枚

■PC 用 IEEE802.11b/g 対応の無線 LAN カード／ボード：1 台

（PC に IEEE802.11b/g 対応の無線 LAN 装置が内蔵されている場合は不要です。）

#### 【PC レス プレゼンテーション用】

■SD メモリカード または USB メモリ：1 個

#### お知らせ

●PC に無線 LAN 機能が搭載されていても、本機と、一部の無線 LAN 装置や PC との間で正常に通信できない場合があります。通信問題の発生を防ぐために、Wi-Fi 認定の無線 LAN デバイスをご使用ください。

●無線 LAN 接続をインフラストラクチャモードで使用するには、無線 LAN アクセスポイントが必要です。

●本機 1 台に複数の PC を有線 LAN で接続する場合は、イーサネットハブと、接続する PC の台数 +1 本（本機の方）の LAN ケーブルが必要です。

### 2.2 ネットワーク接続について

本機の付属ソフトウェア、“Live Viewer 3” をご使用になると、面倒な設定がいらす、簡単にネットワークに接続することができます。“Live Viewer 3” を使用したネットワークの接続方法については、「3.3 らくらくネットワーク接続」(図3-18) をご覧下さい。

“Live Viewer 3” をご使用にならない、また何らかの理由でご使用いただけない場合は、次項以降「2.3 ネットワークの手動設定－有線 LAN」(図3-8)、もしくは「2.4 ネットワークの手動設定－無線 LAN」(図3-11) にしたがって、ネットワークの接続と設定を手動で行ってください。

## 2.3 ネットワークの手動設定－有線 LAN

“Live Viewer 3” をご使用にならない場合は、ネットワーク接続を手動で設定する必要があります。この項では、有線 LAN 接続を手動で設定する方法について説明します。

### 有線 LAN の接続手順

1. 本機の LAN 端子と PC を LAN ケーブルで接続してください ( 図 1-13 )。
2. 次項の「ネットワーク設定方法」、および「インターネット オプションの設定」にしたがって、PC のネットワーク設定を行ってください。
3. 最後に、本機の電源を入れ、「接続の確認」にしたがって、ネットワークの接続確認をしてください。

#### お知らせ

- 既存のネットワークに接続する際は、事前にネットワーク管理者にご相談ください。

### ネットワーク設定方法

Windows XP と Internet Explorer を使用する場合のネットワーク接続の設定方法について説明します。

- 1) 管理者権限で Windows XP にログオンします。  
管理者権限とは、PC の、すべての機能にアクセスできるユーザー権限のことをいいます。
- 2) [スタート]メニューの[設定]から“コントロールパネル”を開きます。
- 3) “コントロールパネル”の作業分野、“ネットワークとインターネット接続”を選択し、“ネットワーク接続”のウィンドウを開いてください。クラシック表示を選択している場合は、“コントロールパネル”から“ネットワーク接続”のウィンドウを開いてください。



ネットワークとインターネット接続

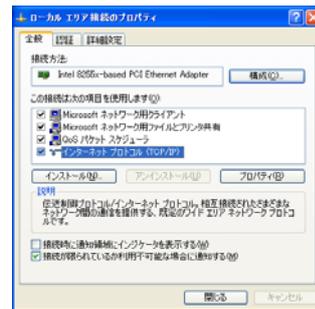
- 4) 使用可能なネットワーク装置が複数存在するときには、使用したいもののみを有効にし、残りの装置は無効にしてください。  
(ここでは、“ローカルエリア接続”を選択した場合を説明します。)



ネットワーク接続

## 2.3 ネットワークの手動設定－有線 LAN(つづき)

- 5) “ローカルエリア接続”のプロパティを開きます。
- 6) “全般”タブで、“インターネットプロトコル (TCP/IP)”を使用プロトコルとして選択(チェックボックスをオン)し、プロパティを開きます)。



ローカルエリア接続のプロパティ

- 7) “次のIPアドレスを使う”を選択(ラジオボタンをオン)し、PCの“IPアドレス”、“サブネットマスク”、“デフォルトゲートウェイ”を設定してください。ネットワーク内にDHCPサーバーがある場合は、“IPアドレスを自動的に取得する”を選択し、IPアドレスを自動的に割り当てることができます。

※ DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) サーバーは、機器に対して、IPアドレスなどの必要なネットワーク設定を行います。  
設定し終わったら、[OK]をクリックし、ウィンドウを閉じてください。



インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ

PCに設定するIPアドレスのネットワークアドレス部分、およびサブネットマスクは、本機と同じとなるようにしてください。ただし、PCのIPアドレス全体が、本機を含む他のネットワーク機器と同じになるようには設定しないでください。

たとえば、本機の初期設定は次のようになっています。

**IPアドレス : 192.168.1.10      サブネットマスク : 255.255.255.0**

このときのネットワークアドレスは、IPアドレスの下線部分、“192.168.1”です。

PCのIPアドレスのネットワークアドレス部分とサブネットマスクは、本機と同じになるよう、次のように指定します。

**IPアドレス : 192.168.1.xxx      サブネットマスク : 255.255.255.0**

IPアドレスの“xxx”部分には、本機を含め、他のネットワーク機器と重複しない1～254の数値(10進数)を指定します。この場合、本機のIPアドレスが“192.168.1.10”であるため、“xxx”部分に10は指定できません。

### お知らせ

- IPアドレスに“0.0.0.0”は設定できません。
- 本機のIPアドレスは、「MIU」メニュー ( 2-34 ) の「インフォメーション」 ( 2-41 ) から確認できます。また、「MIU」メニューの「セットアップ」 ( 2-37 ) - 「IP ADDRESS」 ( 2-29 )、あるいはWEBコントロールを使用して変更することができます ( 3-45, 46 )。
- 本機とPCが同じネットワーク上にある場合(ネットワークアドレスが同じ場合)、デフォルトゲートウェイは空欄とすることができます。本機とPCが異なるネットワーク上にある場合は、デフォルトゲートウェイを設定する必要があります。詳細については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

## 2.3 ネットワークの手動設定－有線 LAN( つづき)

### インターネットオプションの設定

- 1) “ネットワークとインターネット接続” の作業分野、“インターネット オプション” を選択し、“インターネットのプロパティ” ウィンドウを開きます。クラシック表示を選択している場合は、“コントロールパネル” から“インターネット オプション” を選択し、“インターネットのプロパティ” ウィンドウを開いてください。



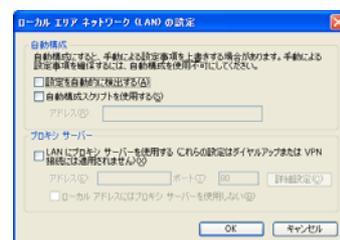
ネットワークとインターネット接続

- 2) “接続” タブで、[LAN の設定] をクリックし、“ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定” ウィンドウを開きます。



インターネットのプロパティ

- 3) “ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定” ウィンドウで、すべてのボックスのチェックを外します。設定し終わったら、[OK] をクリックし、ウィンドウを閉じてください。



ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定

### 接続の確認

- 1) Web ブラウザを起動して以下の URL を入力し、[Go] ボタンをクリックしてください。

**URL: http://(本機の IP アドレス)/**

たとえば、本機の IP アドレスが 192.168.1.10 であれば、URL は次のようになります。

**URL: http://192.168.1.10/**

- 2) 右のログオンウィンドウが表示されたなら、正常に接続されています。接続できない場合は、機器の接続と設定が正しく行われていることをチェックしてください。



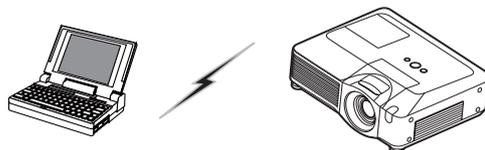
ログオンウィンドウ

#### お知らせ

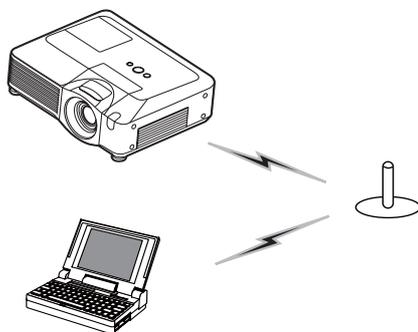
- 本機の IP アドレスは、「MIU」メニュー ( 2-34 ) の「インフォメーション」( 2-41 ) から確認できます。

## 2.4 ネットワークの手動設定－無線 LAN

この項では無線 LAN を手動で設定してネットワークに接続する方法を説明します。オプションのワイヤレスネットワークカードを使用すると、本機と PC 間を無線 LAN で接続することができます。AD-HOC モードと INFRASTRUCTURE モードの両方が使用可能です。AD-HOC] モードは、通信用のアクセスポイントを必要としない無線 LAN の接続制御方式です。INFRASTRUCTURE モードは、通信用のアクセスポイントを必要とする無線 LAN の接続制御方式で、このモードのほうが多数の機器を接続する場合に便利です。



アクセスポイントを使用しない通信 (AD-HOC)



アクセスポイントを使用した通信 (INFRASTRUCTURE)

### 無線 LAN の接続手順

1. オプションのワイヤレスネットワークカードを本機の SD カードスロットに挿入してください(☞ 1-19)。
2. PC に無線 LAN モジュールが内蔵されていない場合は、802.11b/g 無線 LAN アダプタを PC に接続し、デバイスドライバをインストールしてください。(詳細については、無線 LAN アダプタの取扱説明書を参照してください。)
3. 次項の「無線 LAN の接続設定」、および「2.3 ネットワークの手動設定－有線 LAN」－「インターネットオプションの設定」(☞ 3-10) にしたがって、PC のネットワーク設定を行ってください。
4. 最後に、本機の電源を入れ、「2.3 ネットワークの手動設定－有線 LAN」－「接続の確認」(☞ 3-10) にしたがって、ネットワークの接続確認をしてください。

#### お知らせ

- 既存のネットワークに接続する際は、事前にネットワーク管理者にご相談ください。

## 2.4 ネットワークの手動設定－無線 LAN（つづき）

### 無線 LAN の接続設定

Windows XP を使用する場合の、無線 LAN 接続の設定方法について説明します。ここでは、本機が初期設定である場合を説明します。アクセスポイントやデータ暗号化を使用する場合は、設定方法が違います。詳細は、PC と無線 LAN モジュール／アダプタの取扱説明書を参照してください。

本機の無線 LAN 初期設定は次のようになっています。

接続制御 : AD-HOC  
SSID : wireless  
チャンネル : 1ch  
データの暗号化 : 無効  
通信速度 : オート  
IP アドレス : 192.168.1.10

#### お知らせ

●上記の設定は、「MIU」メニュー（[図2-34](#)）の「インフォメーション」（[図2-41](#)）から確認できます。また、「MIU」メニューの「セットアップ」（[図2-37](#)）、あるいは WEB コントロールを使用して変更することができます（[図3-45,46](#)）

- 1) 管理者権限で Windows XP にログオンします。  
管理者権限とは、PC のすべての機能にアクセスできる権限のことをいいます。
- 2) [スタート]メニューの[設定]から“コントロールパネル”を開きます。
- 3) “コントロールパネル”の作業分野、“ネットワークとインターネット接続”を選択し、“ネットワーク接続”のウィンドウを開いてください。クラシック表示を選択している場合は、“コントロールパネル”から“ネットワーク接続”のウィンドウを開いてください。



ネットワークとインターネット接続

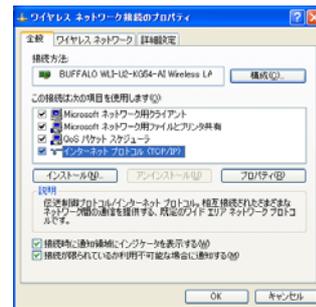
- 4) 使用可能なネットワーク装置が複数存在するときには、“ワイヤレスネットワーク接続”、あるいは他の使用したい無線 LAN 装置を有効に設定し、他のネットワークデバイスはすべて無効に設定します。



ネットワーク接続

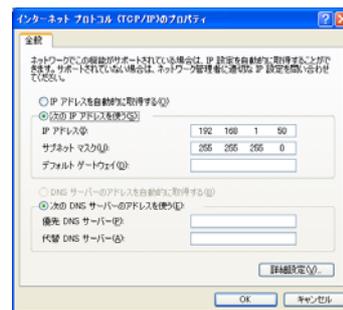
## 2.4 ネットワークの手動設定－無線 LAN (つづき)

- 5) “ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ” ウィンドウを開きます。
- 6) “全般” タブで、“インターネットプロトコル (TCP/IP)” を使用プロトコルとして選択 (チェックボックスをオン) し、プロパティを開きます。



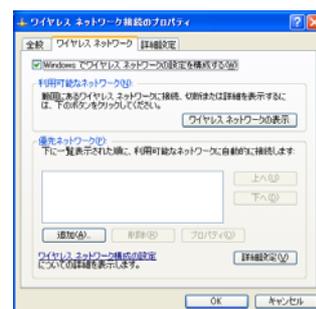
ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ (1)

- 7) “次のIPアドレスを使う”を選択(ラジオボタンをオン)し、PCの“IPアドレス”、“サブネットマスク”、“デフォルトゲートウェイ”を設定してください。設定については、「2.3 ネットワークの手動設定－有線 LAN」－「ネットワーク設定方法」(3-8)をご確認ください。設定し終わったら、[OK]をクリックし、ウィンドウを閉じてください。



インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ

- 8) “ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ” ウィンドウの“ワイヤレスネットワーク” タブで、をクリックします。“Windowsでワイヤレスネットワークの設定を構成する”のチェックボックスをオンにします。
- 9) “優先ネットワーク”の下にある[追加]ボタンをクリックし、“ワイヤレスネットワークのプロパティ” ウィンドウを開きます。

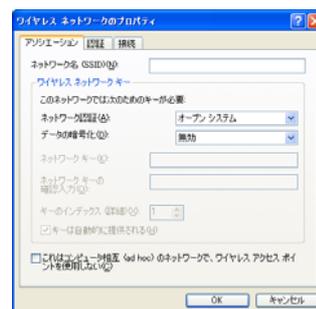


ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ (2)

- 10) “アソシエーション” タブで、以下の各項目を設定します。

**ネットワーク名 (SSID): wireless**  
**データの暗号化: 無効**

設定し終わったら、[OK]をクリックし、“ワイヤレスネットワークのプロパティ” ウィンドウを閉じてください。また、“ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ” でも [OK] をクリックし、ウィンドウを閉じてください。



ワイヤレスネットワークのプロパティ

# 3. ライブモード

本章では、ライブモードによる快適なワイヤレスプレゼンテーションをご利用いただくための準備と手順、“Live Viewer 3”の便利な機能とご使用方法などを説明します

## 3.1 ライブモードについて

### ライブモードのご利用手順概要

1. “Live Viewer 3”をPCにインストールします。  
インストール方法は、次項の「3.2 “Live Viewer 3”のインストール」(図3-16)をご参照ください。
2. 管理者権限でPCにログオンし、“Live Viewer 3”のらくらくネットワーク接続機能を使用して、ネットワークに接続してください。  
この機能を使用してネットワークに接続するには、「3.3 らくらくネットワーク接続」(図3-18)をご参照ください。
3. 本機とPCが正しく接続されていることを確認してください。  
同じネットワーク上に複数のプロジェクターが接続されている場合がありますので、ライブモードで映像を送信する前に、「3.6 接続確認」(図3-32)にしたがって、目的のプロジェクター(本機)が選択されているか確認してください。
4. 本機とPCが正しく接続・選択されると、PCの画面に“Live Viewer 3”のメインメニューが表示されます。  
“Live Viewer 3”の操作方法は、「3.8 “Live Viewer 3”の操作」(図3-37)をご参照ください。
5. 本機をライブモードに設定してください。  
ライブモードの設定方法は、「3.6 接続確認」－「ライブモードに設定する」(図3-34)をご参照ください。

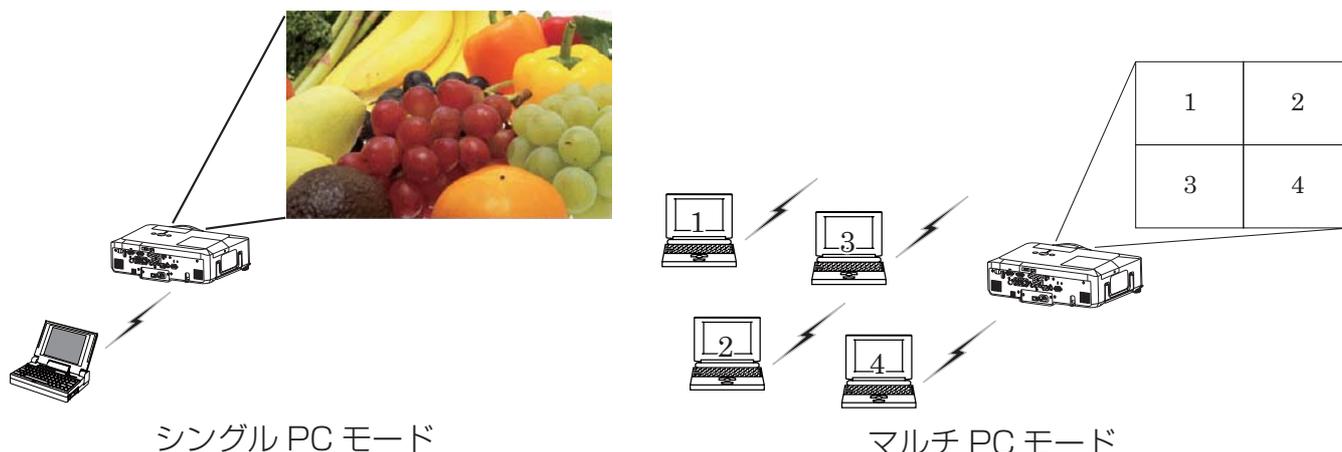
### ライブモードの便利な機能 <表示モード(マルチPCモード)>

ライブモードには、シングルPCモードとマルチPCモードの2つの表示モードがあります。

シングルPCモードは、1台のPC画面をプロジェクターの投写画面全体に表示します。

マルチPCモードは、分割されたプロジェクターの投写画面に、最大4台までのPCの画面を同時に表示します。

表示モードは、“Live Viewer 3”のメインメニュー(図3-37)から、もしくは本機の「MIU」メニュー(図2-34)－「ライブモード設定」－「マルチPCモード」(図2-35)で変更できます。



## 3.1 ライブモードについて (つづき)

### ライブモードの便利な機能 <プレゼンターモード>

シングル PC モードでプレゼンテーションをしている間、本機の投写画面を 1 台の PC で占有し、他の PC からの割り込みを防止することができます。この機能を使用すると、プレゼンテーション中に誤って別の PC 画面が表示され、プレゼンテーションを邪魔されることがなくなります。

プレゼンターモードは、“Live Viewer 3” のオプションメニュー (☞3-40) から設定することができます。また、本機の「MIU」メニュー (☞2-34) - 「ライブモード設定」 - 「プレゼンターモード解除」で、もしくは Web ブラウザからプレゼンターモードを解除することもできます。

### ライブモードの便利な機能 <ユーザー名表示>

ユーザー名を“Live Viewer 3”に登録しておけば、本機の投射画面にユーザー名を表示させて、どの PC の画面が表示されているかを区別することができます。

ユーザー名は、“Live Viewer 3” のオプションメニュー (☞3-40) から登録、表示設定することができます。また、本機の「MIU」メニュー「ライブモード設定」 - 「ユーザー名表示」 (☞2-35) でユーザー名の表示/非表示を設定することもできます。

## 3.2 “Live Viewer 3” のインストール

ここでは、“Live Viewer 3” のインストール方法について説明します。

### PCに必要なハードウェアとソフトウェアの最小条件

- OS : Windows 2000 Professional Service Pack 4、  
Windows XP Home / Professional
- グラフィックインタフェース : Video RAM 4MB 以上（推奨 8MB）
- CPU : Pentium III（推奨 600MHz 以上）
- ディスプレイ : VGA 640x480 以上（推奨 XGA 1024x768）、  
65,536 色表示以上
- メモリ : 64MB 以上（Windows XP 使用の場合、128MB 以上を推奨）
- ハードディスク空き容量 : 10MB 以上
- Web ブラウザ : Internet Explorer（5.5 あるいはそれ以降のバージョン）
- CD-ROM ドライブ
- LAN インタフェース :（無線 LAN の場合）IEEE802.11b/g

#### お知らせ

● Windows Vista をご使用の場合は、最新バージョンの“Live Viewer 3”をインストールしてください。また、Windows Vista をご使用の場合は、“Live Viewer 3”のいくつかの機能が制限されます。詳細は“Live Viewer 3”のインストールマニュアルをご参照ください。最新バージョンの“Live Viewer 3”は、エルモ社ホームページからダウンロードできます。

**エルモ社ホームページ URL:**

[http://www.elmo.co.jp/product/download/driver\\_soft.html](http://www.elmo.co.jp/product/download/driver_soft.html)

- PC の解像度は XGA 以下に設定してください。
- PC 画面の設定によっては、本機の画面に正しく表示されないことがあります。たとえば、PC 画面の解像度が XGA 1024x768 より高く設定されていると、画面の 1024x768 部分のみが表示されます。
- OS のバージョンやネットワークアダプタドライバによっては、画像を適切に送信できないことがあります。OS とドライバは最新バージョンをご使用ください。
- PC に無線 LAN 機能が搭載されていても、本機と、一部の無線 LAN 装置や PC との間で正常に通信できない場合があります。その場合は、Wi-Fi 認定の無線 LAN 装置を使用してください。
- IEEE802.11b を使用した場合、画面の更新が遅くなります。IEEE802.11g をご使用になることをおすすめします。

## 3.2 “Live Viewer 3” のインストール (つづき)

### インストール手順

- 1) PC の電源を入れます。
- 2) 他に開いているアプリケーションがあればすべて閉じてください。
- 3) 付属の CD-ROM “Wireless & Network Software” を PC の CD-ROM ドライブに挿入します。
- 4) 少し間を置いて、右の “Live Viewer 3 用の InstallShield ウィザードへようこそ” ダイアログが表示されます。[次へ] をクリックしてください。  
すでにインストールされている Live Viewer がある場合は削除されます。削除を取り消す場合は、[キャンセル] をクリックしてください。間違っして Live Viewer を削除した場合は、2) からの手順に従って再インストールしてください。
- 5) ライセンス契約書のダイアログが表示されますので、読んだ上で了承頂ければ、[はい] をクリックしてください。
- 6) “インストール先の選択” ダイアログが表示されます。  
ここで [次へ] をクリックすると、C: ¥Program Files¥Projector Tools¥LiveViewer3 フォルダが作成され、プログラムがそのフォルダにインストールされます。別のフォルダにインストールしたい場合は、[参照] をクリックし、インストール先のフォルダを選択してから [次へ] をクリックしてください。
- 7) “プログラム フォルダの選択” ダイアログが表示されます。  
[スタート] メニューの [プログラム] に登録するフォルダ名が “Projector Tools” でよろしければ、[次へ] をクリックしてください。フォルダ名を変更したい場合は、好きな名前を入力し、[次へ] をクリックしてください。
- 8) ハードウェアのインストールのダイアログが表示されたら、[続行] をクリックしてください。
- 9) 少し間を置いて、インストールが完了すると、右の “InstallShield ウィザードの完了” ダイアログが表示されます。  
[完了] をクリックするとインストールが完了し、自動的に PC を再起動します。

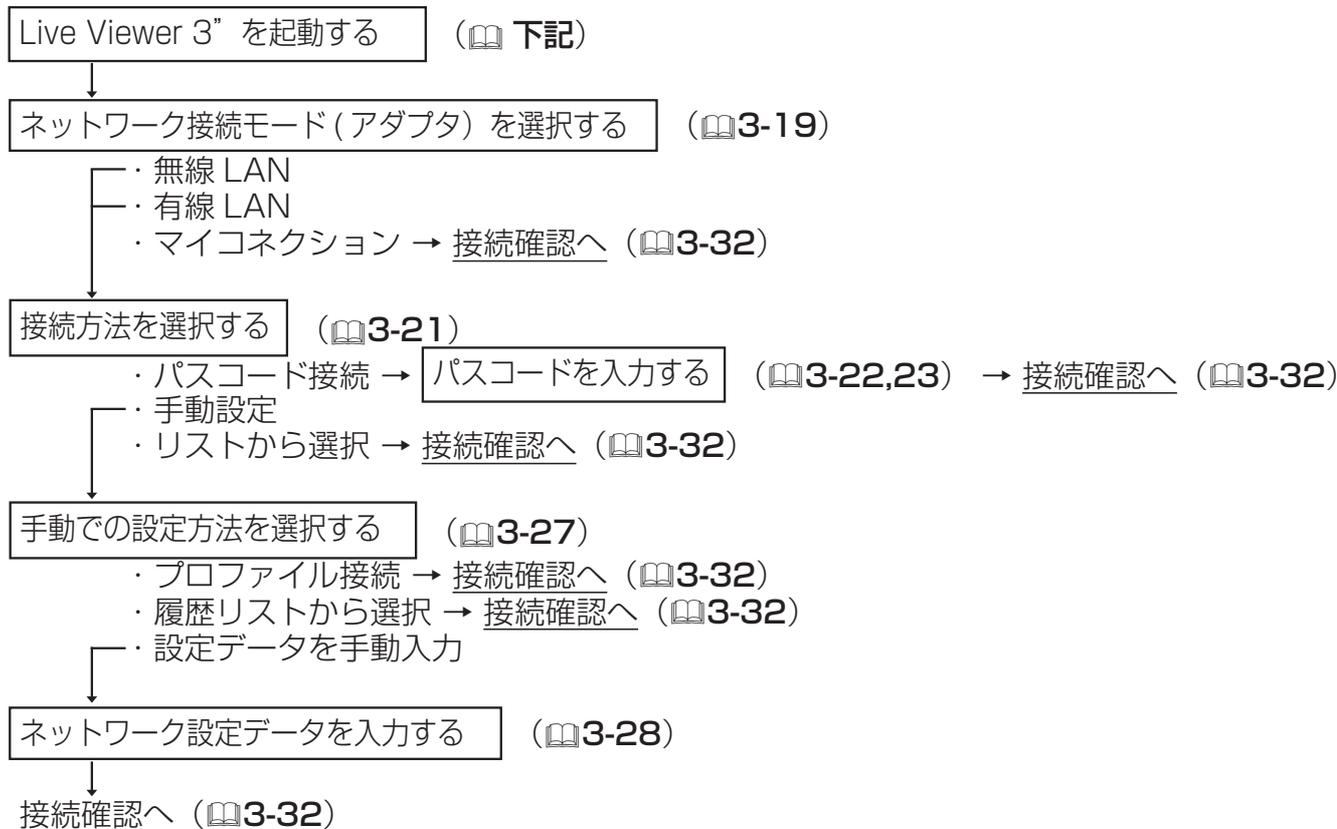


### お知らせ

- 手順 4) で、“Live Viewer 3 用の InstallShield ウィザードへようこそ” ダイアログが表示されない場合は、以下の手順に従ってください。
  - (1)[スタート]メニューから、[ファイル名を指定して実行]を選択します。
  - (2) “E: ¥software ¥setup.exe” と入力し、[OK] をクリックします。  
↑  
PC で CD-ROM ドライブが E ドライブでない場合は、E の代わりに CD-ROM ドライブに割り当てられているドライブ文字を入力してください。
- インストールが正常に終了すれば、[スタート]メニューの [プログラム] に、手順 7) で登録したフォルダと、その中に “LiveViewer3” が表示されます。

## 3.3 らくらくネットワーク接続

“Live Viewer 3” を使用したらくらくネットワーク接続には、何通りかの方法があります。ネットワーク接続の大まかな流れは、以下の通りです。どの接続手順を使用するかは、ご使用のネットワーク環境に合わせて選択してください。



次項以降、Windows XPを使用する場合の、“Live Viewer 3”を使用した接続手順について説明します。

### “Live Viewer 3” を起動する

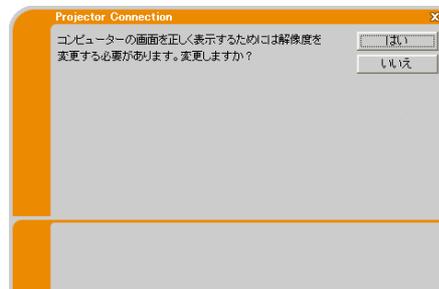
管理者権限で PC にログオンし、デスクトップの “Live Viewer 3” アイコンをダブルクリック、もしくは [スタート] メニューの [プログラム] で、“Live Viewer 3” のインストール時に作成したフォルダから “Live Viewer 3” を選択してください。

#### ■ PC 画面の解像度設定が XGA (1024x768) より大きい場合

右の解像度切り替えウィンドウが表示されます。

ここで解像度を変更しないと、画面の左上を基準に XGA (1024x768) 分のみが本機の画面に表示されます。

解像度を変更する場合は、[はい] を、変更しない場合は [いいえ] をクリックしてください。[はい] をクリックすると、PC の解像度設定が XGA に切り替えられます。



#### お知らせ

- 解像度を変更した場合、コンピューターのデスクトップにあるアイコンの並びが変更されることがあります。
- “Live Viewer 3” 終了後は元の解像度に戻ります。
- ご使用の PC 画面の解像度変更については、PC の取扱説明書をご参照ください。

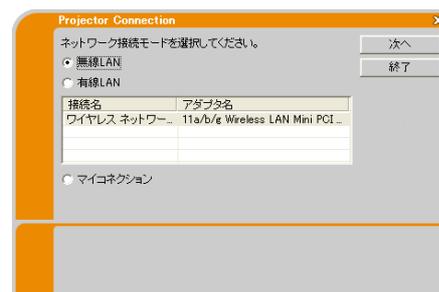
## 3.3 らくらくネットワーク接続（つづき）

### ネットワーク接続モードを選択する

“Live Viewer 3” を起動すると、右のネットワーク接続モード選択ウィンドウが表示されます。

目的のプロジェクトをマイコネクションに登録していない場合は、無線 LAN、有線 LAN のどちらで接続するかを選択してください。“無線 LAN” を選択した場合は無線のネットワークアダプタが、“有線 LAN” を選択した場合は有線のネットワークアダプタが、下のリストに表示されます。リストから使用するネットワークアダプタを選択し、[次へ] をクリックしてください。

ネットワークアダプタを選択する際に問題がある場合は、以下のようなウィンドウが表示されます。



#### ■ 選択されたネットワークアダプタが無効の場合

右のネットワークアダプタの設定切り替え画面が表示されます。選択したネットワークアダプタを使用するには、[はい] をクリックしてアダプタを有効に設定してください。

他のネットワークアダプタを選択する場合は、[いいえ] をクリックしてネットワーク接続モード選択ウィンドウに戻ってください。



#### ■ 本機と PC がネットワークケーブルで接続されていないときに、“有線 LAN” を選択した場合

右のケーブルが接続されていないことをお知らせするウィンドウが表示されます。

本機と PC が LAN ケーブルで接続されていることを確認してください。

[OK] をクリックすると、ネットワーク接続モード選択ウィンドウに戻ります。



#### ■ Windows のファイアウォールが有効になっている場合

右のファイアウォールのブロック解除ウィンドウが表示されます。“Live Viewer 3”を一時的に例外登録して接続を進めるには [はい] をクリックしてください。“LiveViewer3 を常に例外登録する”のチェックボックスをオンにすると、次回からファイアウォールのブロック解除ウィンドウは表示されません。

ファイアウォールを解除しない場合は、[いいえ] をクリックしてください。[いいえ] をクリックしてそのまま設定を進めると、本機と PC をネットワーク接続できない場合があります。



#### お知らせ

- ファイアウォール機能を備えたアプリケーションソフトウェアをインストールされている場合は、アプリケーションソフトウェアの説明書に従ってファイアウォールの設定を無効にしてください。

### 3.3 らくらくネットワーク接続（つづき）

目的のプロジェクター（本機）がマイコネクションに登録済みの場合は、“マイコネクション”を選択（ラジオボタンをオン）し、[次へ]をクリックしてください。本機との接続処理を開始します。「3.6 接続確認」（[図3-32](#)）にしたがって、本機との接続確認を行ってください。

マイコネクションへの設定データ登録は、「3.6 接続確認」、または「3.7 プロファイル」－「マイコネクション登録」（[図3-36](#)）をご参照ください。

マイコネクションを使用する際に、確認事項、あるいは問題がある場合は、以下のようなウィンドウが表示されます。

#### ■ PC に管理者権限でログオンしていない場合

ネットワーク設定を変更できないため、右の接続エラーウィンドウが表示されます。

ネットワーク管理者に確認し、管理者権限でログオンし直してください。

[OK] をクリックすると、ネットワーク接続モード選択ウィンドウに戻ります。



#### ■ 選択した無線のネットワークアダプタが、既に使用中（他の機器に接続されている）の場合

右の接続先変更ウィンドウが表示されます。

本機に接続しなおす場合は [はい] を、接続をやめる場合は [いいえ] をクリックしてください。

[はい] をクリックすると、本機との接続処理を開始します。「3.6 接続確認」（[図3-32](#)）にしたがって、本機との接続確認を行ってください。

[いいえ] をクリックすると、ネットワーク接続モード選択ウィンドウに戻ります。



#### お知らせ

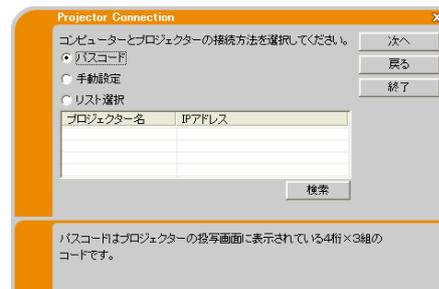
- マイコネクションを使用する場合、本機の「MIU」メニュー（[図2-34](#)）の「セットアップ」（[図2-37](#)）で「DHCP」を「オン」に設定していると、IPアドレスの割り当てが変更されるために接続できないことがあります。マイコネクションを使用する場合には、本機の「DHCP」を「オフ」に設定してください。
- マイコネクションの登録データがない場合には、“マイコネクション”は選択できません。

## 3.3 らくらくネットワーク接続 (つづき)

### 接続方法を選択する

ネットワーク接続ウィンドウでネットワークアダプタの選択後は、右の接続方法選択ウィンドウが表示されます。

ご利用のネットワーク環境に合わせて、お好みの方法を以下から選択してください。



#### ■ “パスコード” 接続

パスコードを使用する場合は、“パスコード” を選択 (ラジオボタンをオン) し、[次へ] をクリックしてください。

「3.4 パスコード接続」( 3-22) にしたがって、パスコードを入力してください。

#### ■ “手動設定”

ネットワークの設定データをプロファイルリストから選択する、接続履歴リストから選択する、ネットワークの設定を手動で入力する場合は、“手動設定” を選択 (ラジオボタンをオン) し、[次へ] をクリックしてください。

「3.5 手動設定」( 3-27) にしたがって、各手順での設定を行ってください。

#### ■ “リスト選択”

すでにご使用の PC と同じネットワークに接続されているプロジェクターに接続する場合は、“リスト選択” を選択 (ラジオボタンをオン) し、目的のプロジェクターをリストから選択して [次へ] をクリックしてください。接続処理を開始します。「3.6 接続確認」( 3-32) にしたがって、接続確認を行ってください。

#### お知らせ

- ネットワークの使用状況によっては、プロジェクターが自動検索で検出されず、リストに表示されない場合があります。その場合は [検索] をクリックし、再検索してください。

## 3.4 パスコード接続

### パスコードについて

パスコードは、プロジェクターの SSID、IP アドレスなど、ネットワーク接続に必要な情報を含む、' 1' - '9' の数字と ' A' - 'Z' のアルファベットを組み合わせた 12 桁の記号です。パスコードを入力することにより、本機と PC を簡単に接続することができます。

パスコードは本機の投写画面に表示されます。パスコードの入力前に、次項を参照に、本機のメニューからパスコードを表示させて確認してください。

以下の条件に当てはまる場合は、パスコードの入力だけでなく、ネットワーク設定を手動で入力する必要があります。設定が必要な項目は、本機と PC の接続形態によって異なります。パスコードの入力後、「ネットワーク設定の手動入力」(  3-25) を参照に、設定を入力してください。

- ・暗号キーを使用する場合

- ・本機のデフォルト設定以外の SSID を使用する場合

本機のデフォルト設定 SSID は以下の 4 通りです。

SSID 1: wireless

SSID 2: WLANProjector1

SSID 3: WLANProjector2

SSID 4: WLANProjector3

- ・クラス A、B、C のデフォルト以外のサブネットマスクを使用する場合

クラス A、B、C のデフォルトサブネットマスク :

クラス A “255.0.0.0”、クラス B “255.255.0.0”、クラス C “255.255.255.0”

### パスコードの確認

本機の使用状況によって、**手順 1** と **2** のどちらかの方法でパスコードを確認してください。

ライブモードで PC の画面を送信している場合や、PC レスプレゼンテーションをご使用中の場合、もしくは MIU 以外の信号を選択している場合は、**手順 2** で確認してください。

#### **手順 1** <ライブモードの画面で確認する>

1. 本機の電源を入れ (  1-25)、MIU の信号を選択してください (  1-28)。
2. 詳細メニューを表示させ (  2-2)、[MIU] メニュー (  2-34) から「ライブモード」を選択してください。
3. 投写画面にパスコードが表示されます。

#### **手順 2** <MIU のインフォメーション画面で確認する>

1. 本機の電源を入れてください。
2. 詳細メニューを表示させ、「MIU」メニューから「インフォメーション」を選択 (  2-41) してください。
3. “MIU - インフォメーション -” ダイアログの、右上端にパスコードが表示されます。

#### お知らせ

- 本機と PC の接続がない状態が 5 分間続くと、パスコードが変更されます。

## 3.4 パスコード接続（つづき）

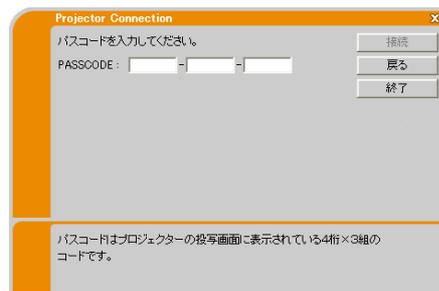
### パスコードの入力

「3.3 らくらくネットワーク接続」－「接続方法を選択する」の、接続方法確認ウィンドウで“パスコード”を選択後、右のパスコードの入力ウィンドウが表示されます。前項で確認した 12 桁のパスコードを、4 桁ずつ 3 つのボックスに入力してください。

（例）PASSCODE: 1234 - 5678 - 9ABC

パスコードの入力後、[ 接続 ] をクリックすると、本機との接続処理を開始します。「3.6 接続確認」( 図 3-32 ) にしたがって、本機との接続確認を行ってください。

暗号キー、本機のデフォルト設定以外の SSID、クラス A、B、C のデフォルト以外のサブネットマスクを使用する場合は、パスコードを入力、[ 接続 ] をクリックした後に、ネットワーク設定を手動で入力する必要があります。「ネットワーク設定の手動入力」( 図 3-25 ) を参照に、設定を入力してください。[ 戻る ] をクリックすると、接続方法確認ウィンドウに戻ります。



#### お知らせ

- パスコードを入力する際に、大文字と小文字の区別はありません

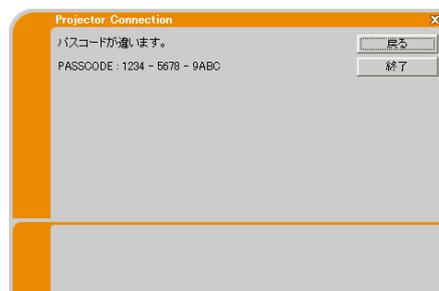
パスコードを入力して接続する際に、確認事項、あるいは問題がある場合は、以下のようなウィンドウが表示されます。

#### ■入力したパスコードが間違っている場合

右のパスコード入力エラーウィンドウが表示されます。

前項にしたがって、再度パスコードを確認し、パスコード入力ウィンドウでパスコードを入力しなおしてください。

[OK] をクリックすると、パスコード入力ウィンドウに戻ります。



#### ■PC に管理者権限でログオンしていない場合

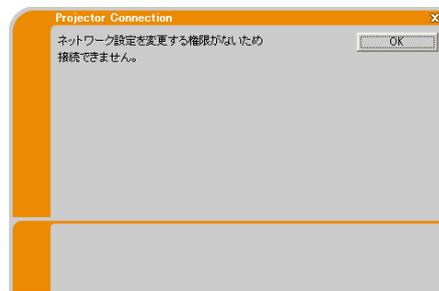
ネットワーク設定を変更できないため、右の接続エラーウィンドウが表示されます。

ネットワーク管理者に確認し、管理者権限でログオンし直してください。

[OK] をクリックすると、本機との接続処理を行わないまま、

“Live Viewer 3” のメインメニューが表示されます。

メインメニューの をクリックすると、接続方法の選択ウィンドウからやり直すことができます。

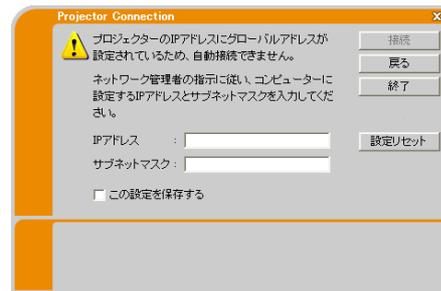


## 3.4 パスコード接続（つづき）

### ■本機の IP アドレスの設定がグローバルアドレスである場合

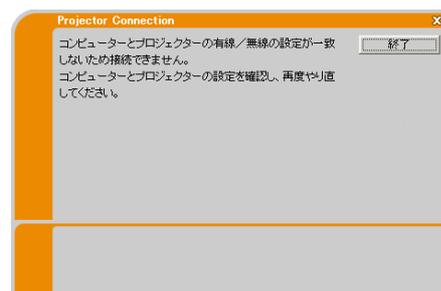
右のグローバルアドレスの警告ウィンドウが表示されます。ネットワーク管理者に確認して、PC に設定する “IP アドレス” と “サブネットマスク” を入力し、[ 接続 ] をクリックしてください。“この設定を保存する” のチェックボックスをオンにすると、次回からこの警告ウィンドウは表示されません。入力した設定を取り消す場合は、[ 設定リセット ] ボタンをクリックしてください。

入力した IP アドレスが本機の IP アドレスと重なった場合は、さらに右の警告ウィンドウが表示されます。「戻る」をクリックして、グローバルアドレスの警告ウィンドウで、本機の IP アドレスと異なる設定を再度入力してください。



### ■選択したネットワーク接続モードとプロジェクターの設定が不一致の場合

右の有線／無線の設定不一致の警告ウィンドウが表示されます。本機の「MIU」メニュー（[図2-34](#)）－「セットアップ」（[図2-37](#)）－「ネットワークモード」（[図2-40](#)）の設定、および使用するネットワークアダプタを確認してください。[OK] をクリックすると、本機との接続処理を行わないまま、“Live Viewer 3” のメインメニューが表示されます。ネットワーク接続モード(アダプタ)の選択からやり直す場合は、“Live Viewer 3” を一旦終了してから再度起動してください。



### ■選択した無線のネットワークアダプタが、既に使用中（他の機器に接続されている）の場合

右の接続先変更ウィンドウが表示されます。本機に接続しなおす場合は [ はい ] を、接続をやめる場合は [ いいえ ] をクリックしてください。[ はい ] をクリックすると、本機との接続処理を開始します。「3.6 接続確認」（[図3-32](#)）にしたがって、本機との接続確認を行ってください。[ いいえ ] をクリックすると、本機との接続処理を行わないまま、“Live Viewer 3” のメインメニューが表示されます。



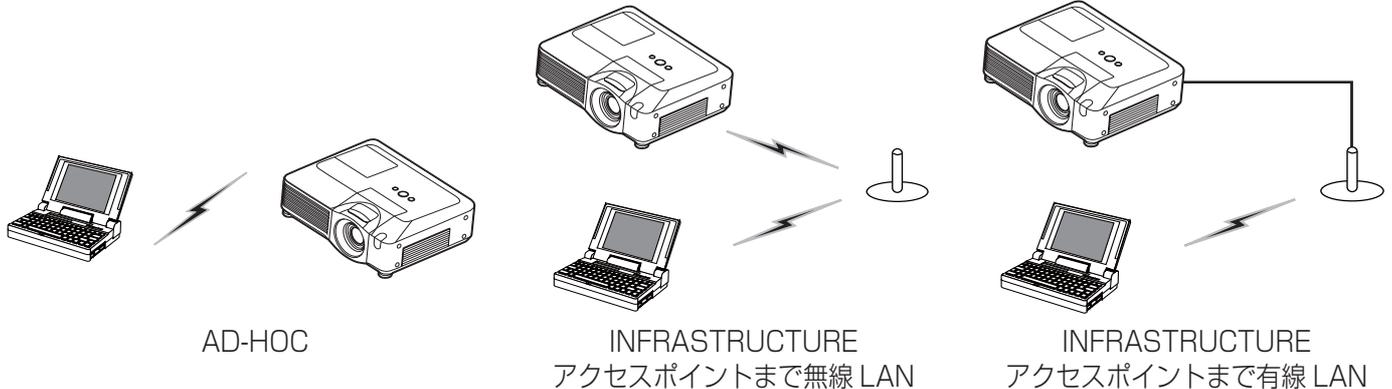
## 3.4 パスコード接続（つづき）

### ネットワーク設定の手動入力

暗号を使用する、本機のデフォルト設定以外の SSID を使用する、クラス A、B、C のデフォルト以外のサブネットマスクを使用する場合は、前項のパスコードの入力ウィンドウでパスコード入力後に、ネットワーク設定の各項目を手動で設定する必要があります。

表示されるウィンドウ、入力する項目は、本機と PC の接続制御方式、接続形態によって、以下のように異なります。

#### ■無線 LAN で接続する場合



以下の場合には、右のネットワーク設定入力ウィンドウが表示されます。

- ・本機と PC を 1 対 1 で接続し、アクセスポイントを経由しない、AD-HOC モードを使用する。
- ・アクセスポイントを経由する、INFRASTRUCTURE モードを使用し、本機からアクセスポイントまで無線 LAN で接続する。必要に応じて、“SSID”、“暗号方式”、“暗号キー”、“サブネットマスク”に、本機のネットワーク設定を入力してください。

アクセスポイントを経由する、INFRASTRUCTURE モードを使用し、本機からアクセスポイントまで有線 LAN で接続する場合は、右のネットワーク設定入力ウィンドウが表示されます。必要に応じて、SSID、暗号方式、暗号キーには、アクセスポイントのネットワーク設定を、サブネットマスクには、本機のネットワーク設定を入力してください。

(例) SSID : WirelessAccessPoint  
暗号方式 : WEP64bit  
暗号キー : \* \* \* \* \*  
サブネットマスク : 255. 255. 255. 128

各項目を設定後、[接続]をクリックすると、本機との接続処理を開始します。「3.6 接続確認」(3-32)にしたがって、本機との接続確認を行ってください。

Projector Connection

以下の項目を入力してください。

SSID : [ ]

暗号方式 : WEP64bit

暗号キー : [ ]

サブネットマスク : [ ]

接続 戻る 終了

プロジェクターのネットワーク設定を入力します。

Projector Connection

以下の項目を入力してください。

SSID : [ ]

暗号方式 : OFF

暗号キー : [ ]

サブネットマスク : [ ]

接続 戻る 終了

SSID、暗号方式、暗号キーはアクセスポイントのネットワーク設定を入力します。  
サブネットマスクはプロジェクターのネットワーク設定を入力します。

#### お知らせ

- アクセスポイントの設定は、ネットワーク管理者に確認してください。
- 本機のネットワーク設定は、「MIU」メニュー (2-34) の「インフォメーション」(2-41) で確認してください。
- 本機に設定された SSID をここで設定するには、手動で入力する方法と、検出した SSID のリストから選択する方法があります。
- 暗号を使用する場合、本機に設定されている暗号キーは、ネットワーク管理者に確認してください。入力された暗号キーは、全て “\*” で表示されます。

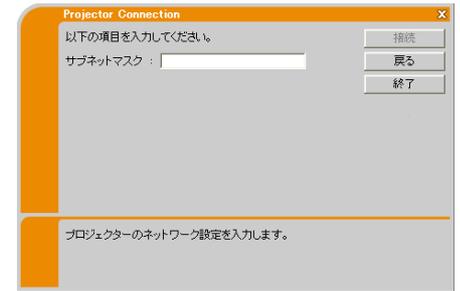
## 3.4 パスコード接続（つづき）

### ■有線 LAN で接続する場合

クラス A、B、C のデフォルト以外のサブネットマスクを使用する場合には、右のネットワーク設定入力ウィンドウが表示されます。本機に設定された、サブネットマスクを入力してください。

（例）サブネットマスク : 255. 255. 255. 128

サブネットマスクを入力後、[ 接続 ] をクリックすると、本機との接続処理を開始します。「3.6 接続確認」( 図 3-32 ) にしたがって、本機との接続確認を行ってください。



### お知らせ

- 本機のネットワーク設定は、「MIU」メニュー ( 図 2-34 ) の「インフォメーション」( 図 2-41 ) で確認してください。

## 3.5 手動設定

「3.3 らくらくネットワーク接続」－「接続方法を選択する」の、接続方法確認ウィンドウで“手動設定”を選択後、右の手動設定方法選択ウィンドウが表示されます。お好みの方法を以下から選択してください。

### ■ “プロフィール接続”

登録してあるネットワークの設定データをプロフィールリストから選択し、接続します。

### ■ “履歴から選択する”

以前、“Live Viewer 3”を使用してネットワークに接続したプロジェクターの設定データを、履歴リストから選択し、接続します。

### ■ “ネットワーク設定を手動入力する”

ネットワークの設定を、全て手動で行います。

[戻る]をクリックすると、接続方法確認ウィンドウに戻ります。



## プロフィール接続

手動設定方法選択ウィンドウで“プロフィール接続”を選択（ラジオボタンをオン）し、リストから目的のプロファイルデータを選択してください。データを選択後、[接続]をクリックすると、本機との接続処理を開始します。「3.6 接続確認」(☞3-32)にしたがって、本機との接続確認を行ってください。プロフィールデータの登録方法は、「3.7 プロファイル」(☞3-35)をご参照ください。

### お知らせ

- プロファイルを使用する場合、本機の「MIU」メニュー (☞2-34) の「セットアップ」(☞2-37) で「DHCP」を「オン」に設定していると、IPアドレスの割り当てが変更されるために接続できないことがあります。プロフィールを使用する場合には、本機の「DHCP」を「オフ」に設定してください。
- 以下の手順で、プロフィールの内容を確認することができます。
  - 1) 確認したいプロフィールをリストから選択し、右クリックでポップアップメニューを表示します。
  - 2) ポップアップメニューのプロパティを選択すると、選択したプロフィールの詳細が表示されます。

## 履歴から選択する

手動設定方法選択ウィンドウで“履歴から選択する”を選択（ラジオボタンをオン）し、リストから目的の設定データを選択してください。データを選択後、[接続]をクリックすると、本機との接続処理を開始します。「3.6 接続確認」(☞3-32)にしたがって、本機との接続確認を行ってください。

### お知らせ

- 1つのネットワークアダプタに対して、最大 10 個の接続履歴が記録されます。履歴が 10 個を超えた場合、接続した日時の古いものから順に新しい接続履歴に置き換えられます。
- 接続した日時の情報は、本機と接続した時点で更新されます。
- 履歴リストを使用する場合、本機の「MIU」メニューの「セットアップ」で「DHCP」を「オン」に設定していると、IPアドレスの割り当てが変更されるために接続できないことがあります。履歴リストを使用する場合には、本機の「DHCP」を「オフ」に設定してください。
- プロファイルデータを選択して接続した場合も、接続履歴に記録されます。

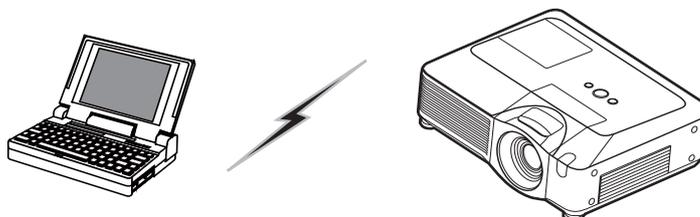
## 3.5 手動設定 (つづき)

### ネットワーク設定を手動入力する

手動設定方法選択ウィンドウで“ネットワーク設定を手動入力する”を選択(ラジオボタンをオン)し、[次へ]をクリックしてください。

表示されるウィンドウ、入力する項目は、本機とPCの接続制御方式、接続形態によって、以下のように異なります。

#### ■無線LANで接続する場合－AD-HOCモード



本機とPCを1対1で接続し、アクセスポイントを経由しない、AD-HOCモードを使用する場合は、右のワイヤレス接続設定ウィンドウが表示されます。

“SSID”、“暗号方式”、“暗号キー”、“サブネットマスク”には、本機のワイヤレス接続設定を入力し、“接続モード”には“AD-HOC”を選択してください。

(例) SSID : wireless  
暗号方式 : WEP64bit  
暗号キー : \* \* \* \* \*  
接続モード : AD-HOC

各項目を設定後、[次へ]をクリックすると、右のIPアドレス入力ウィンドウが表示されます。本機の“IPアドレス”と“サブネットマスク”を入力してください。

(例) IPアドレス : 192.168.1.10  
サブネットマスク : 255.255.255.0

設定を入力後、[接続]をクリックすると、本機とのワイヤレス接続処理を開始します。「3.6 接続確認」(☞3-32)にしたがって、本機との接続確認を行ってください。

Projector Connection

以下の項目を入力してください。

SSID : [ ] [次へ]

暗号方式 : OFF [戻る]

暗号キー : [ ] [終了]

接続モード : AD-HOC [ ]

プロジェクターのワイヤレス設定を入力します。  
プロジェクターのワイヤレス設定情報は  
メニュー→詳細メニュー→MIU→メインフォーメーションを参照ください。

Projector Connection

以下の項目を入力してください。

IPアドレス : [ ] [接続]

サブネットマスク : [ ] [戻る]

[ ] [終了]

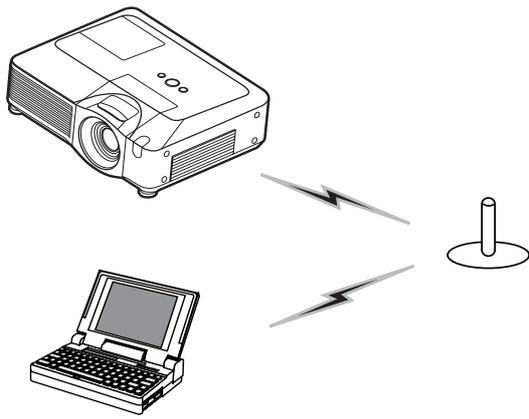
プロジェクターのIPアドレスとサブネットマスクを入力します。

#### お知らせ

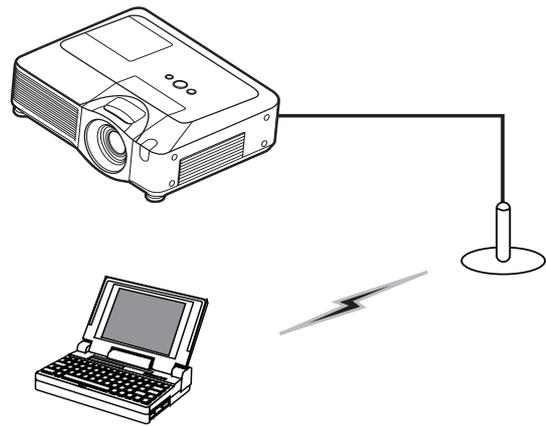
- 本機のネットワーク設定は、「MIU」メニュー (☞2-34) の「インフォメーション」(☞2-41) で確認してください。
- 暗号を使用する場合、本機に設定されている暗号キーは、ネットワーク管理者に確認してください。入力された暗号キーは、全て“\*”で表示されます。

## 3.5 手動設定 (つづき)

### ■無線 LAN で接続する場合－ INFRASTRUCTURE モード



INFRASTRUCTURE  
アクセスポイントまで無線 LAN



INFRASTRUCTURE  
アクセスポイントまで有線 LAN

アクセスポイントを経由する、INFRASTRUCTURE モードを使用する場合は、右のワイヤレス接続設定ウィンドウが表示されません。本機からアクセスポイントまでの接続が有線 LAN でも無線 LAN でも、設定する項目は同じです。

“SSID”、“暗号方式”、“暗号キー”、“サブネットマスク”には、アクセスポイントの設定を入力し、“接続モード”には“INFRASTRUCTURE”を選択してください。

(例) SSID : WirelessAccessPoint  
暗号方式 : WEP64bit  
暗号キー : \* \* \* \* \*  
サブネットマスク : 255.255.255.128

各項目を設定後、[次へ]をクリックすると、右の IP アドレス入力ウィンドウが表示されます。本機の“IP アドレス”と“サブネットマスク”を入力してください。

(例) IP アドレス : 192.168.1.10  
サブネットマスク : 255.255.255.0

設定を入力後、[接続]をクリックすると、本機とのワイヤレス接続処理を開始します。「3.6 接続確認」(図3-32)にしたがって、本機との接続確認を行ってください。



### お知らせ

- アクセスポイントの設定は、ネットワーク管理者に確認してください。
- 本機のネットワーク設定は、「MIU」メニュー (図2-34) の「インフォメーション」(図2-41) で確認してください。
- 暗号を使用する場合、本機に設定されている暗号キーは、ネットワーク管理者に確認してください。入力された暗号キーは、全て“\*”で表示されます。

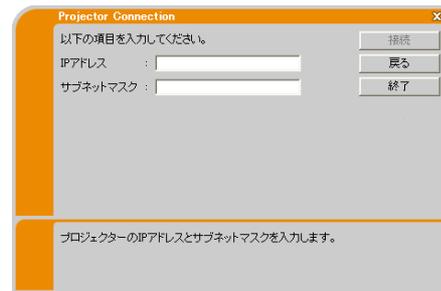
## 3.5 手動設定 (つづき)

### ■有線 LAN で接続する場合

有線 LAN で本機と PC を接続する場合は、右の IP アドレス入力ウィンドウが表示されます。本機の「IP アドレス」と「サブネットマスク」を入力してください。

(例) IP アドレス : 192.168.1.10  
サブネットマスク : 255.255.255.0

設定を入力後、[接続] をクリックすると、本機との接続処理を開始します。「3.6 接続確認」(図3-32) にしたがって、本機との接続確認を行ってください。



### お知らせ

- 本機のネットワーク設定は、「MIU」メニュー (図2-34) の「インフォメーション」(図2-41) で確認してください。

ネットワークを手動で設定して接続する際に、確認事項、あるいは問題がある場合は、以下のようなウィンドウが表示されます。

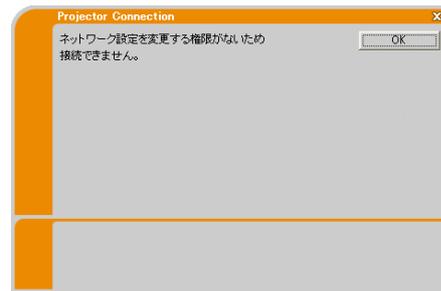
### ■ PC に管理者権限でログオンしていない場合

ネットワーク設定を変更できないため、右の接続エラーウィンドウが表示されます。

ネットワーク管理者に確認し、管理者権限でログオンし直してください。

[OK] をクリックすると、本機との接続処理を行わないまま、「Live Viewer 3」のメインメニューが表示されます。

メインメニューの接続ボタン (図3-37) をクリックすると、接続方法の選択ウィンドウからやり直すことができます。



### ■本機の IP アドレスの設定がグローバルアドレスである場合

右のグローバルアドレスの警告ウィンドウが表示されます。

ネットワーク管理者に確認して、PC に設定する「IP アドレス」と「サブネットマスク」を入力し、[接続] をクリックしてください。「この設定を保存する」のチェックボックスをオンにすると、次回からこの警告ウィンドウは表示されません。

入力した設定を取り消す場合は、[設定リセット] ボタンをクリックしてください。

入力した IP アドレスが本機の IP アドレスと重なった場合は、さらに右の警告ウィンドウが表示されます。「戻る」をクリックして、グローバルアドレスの警告ウィンドウで、本機の IP アドレスと異なる設定を再度入力してください。



## 3.5 手動設定 (つづき)

### ■選択したネットワーク接続モードとプロジェクターの設定が不一致の場合

右の有線／無線の設定不一致の警告ウィンドウが表示されます。本機の「MIU」メニュー ( 2-34 ) - 「セットアップ」 ( 2-37 ) - 「ネットワークモード」 ( 2-40 ) の設定、および使用するネットワークアダプタを確認してください。

[OK] をクリックすると、本機との接続処理を行わないまま、“Live Viewer 3” のメインメニューが表示されます。

ネットワーク接続モード(アダプタ)の選択からやり直す場合は、“Live Viewer 3” を一旦終了してから再度起動してください。



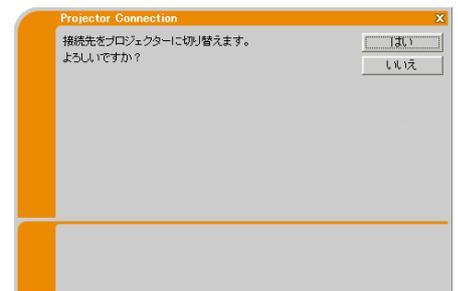
### ■選択した無線のネットワークアダプタが、既に使用中 (他の機器に接続されている) の場合

右の接続先変更ウィンドウが表示されます。

本機に接続しなおす場合は [はい] を、接続をやめる場合は [いいえ] をクリックしてください。

[はい] をクリックすると、本機との接続処理を開始します。「3.6 接続確認」 ( 3-32 ) にしたがって、本機との接続確認を行ってください。

[いいえ] をクリックすると、本機との接続処理を行わないまま、“Live Viewer 3” のメインメニューが表示されます。



## 3.6 接続確認

“Live Viewer 3”でのネットワーク接続設定後、接続処理が実行されると、接続完了、もしくは接続エラーのウィンドウが表示されます。

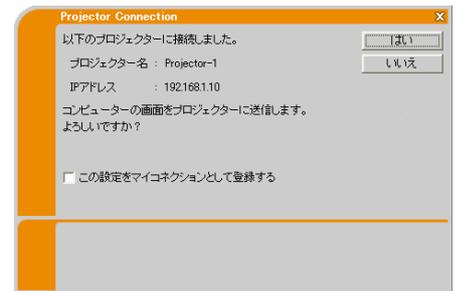
接続が完了したら、「接続完了と画面の送信」(☞ 下記)にしたがって、目的のプロジェクターに接続されていることを確認し、画面の送信を開始、「ライブモードに設定する」(☞ 3-34)にしたがって本機をライブモードに設定してください。接続が完了しなかった場合は、「接続エラー」(☞ 3-33)にしたがって、再度ネットワークの接続設定を行ってください。

### 接続完了と画面の送信

ネットワークの接続処理が正常に完了すると、右の接続完了と画面の送信の確認ウィンドウが表示されます。

目的のプロジェクター(本機)に接続されていることを、ウィンドウに表示されたプロジェクター名とIPアドレスで確認してください。接続先を確認した後で、PCの画面を本機に送信する場合は[はい]をクリックしてください。画面の送信を開始し、“LiveViewer 3”のメインメニューが表示されます。送信された画面を本機で表示するためには、「ライブモードに設定する」(☞ 3-34)にしたがって、本機をライブモードに設定してください。

[いいえ]をクリックすると、画面の送信はせず、“Live Viewer 3”のメインメニューがスタンバイ状態で表示されます。スタンバイ中のメインメニューで、キャプチャ開始ボタン、または表示モード切替ボタン(☞ 3-37)をクリックすると、コンピューターの画面の送信を開始することができます。



#### お知らせ

- “この設定をマイコネクションとして登録する” チェックボックスをオンにすると、接続が完了したプロジェクターの設定データをマイコネクションに登録することができます。

PCの画面を本機に送信する際に、確認事項、あるいは問題がある場合は、以下のようなウィンドウが表示されます。

#### ■ 画像送信先のプロジェクターが、他のPCにプレゼンターモード ON で使用されている場合

右のプレゼンターモードによる表示禁止ウィンドウが表示されます。

プレゼンターモードが OFF されてから再度画面の送信を実行してください。

[OK] をクリックすると、画面の送信はせず、“Live Viewer 3”のメインメニューがスタンバイ状態で表示されます。



#### ■ 画像送信先のプロジェクターが、スライドショーを実行している場合

右のスライドショー停止確認ウィンドウが表示されます。

スライドショーを中止し、ライブモードに切り替えるには、[はい] をクリックしてください。

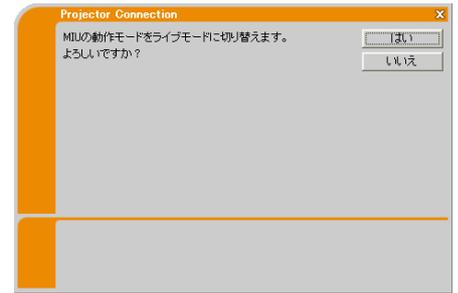
[いいえ] をクリックすると、画面の送信はせず、“Live Viewer 3”のメインメニューがスタンバイ状態で表示されます。



## 3.6 接続確認（つづき）

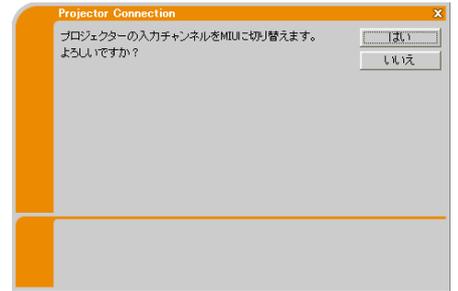
### ■画像送信先のプロジェクターが、ライブモード以外の MIU 動作モードに設定されている場合

右の MIU の動作モード切り替えウィンドウが表示されます。  
MIU の動作モードをライブモードに切り替えるには、[はい]  
をクリックしてください。  
[いいえ] をクリックすると、画面の送信はせず、“Live  
Viewer 3” のメインメニューがスタンバイ状態で表示されます。



### ■画像送信先のプロジェクターが、MIU 以外の入力信号を選択している場合

右の入力チャンネル切り替えウィンドウが表示されます。  
プロジェクターの入力信号を MIU に切り替えるには、[はい] を  
クリックしてください。  
[いいえ] をクリックすると、画面の送信はせず、“Live Viewer 3”  
のメインメニューがスタンバイ状態で表示されます。



## 接続エラー

目的のプロジェクターと接続できず、接続が完了しなかった場合は、右の接続エラーウィンドウが表示されます。

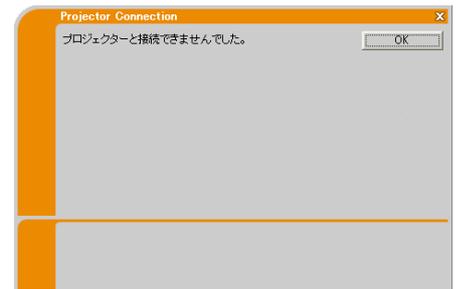
[OK] をクリックすると本機との接続処理を行わないまま、“Live Viewer 3” のメインメニューが表示されます。

メインメニューの接続ボタン (図3-37) をクリックして、接続方法の選択ウィンドウから接続設定をやり直してください。(「3.3 轻轻松松ネットワーク接続」－「ネットワーク接続モードを選択する」(図3-19))

また、接続先のプロジェクターがすでに接続許容台数（5 台）の PC と接続され、接続が完了しなかった場合には、右の接続台数制限ウィンドウが表示されます。

[OK] をクリックすると、本機との接続処理を行わないまま、“Live Viewer 3” のメインメニューが表示されます。

メインメニューの接続ボタン (図3-37) をクリックして、接続方法の選択ウィンドウから接続設定をやり直してください。(「3.3 轻轻松松ネットワーク接続」－「ネットワーク接続モードを選択する」(図3-19))



### お知らせ

●接続方法の選択ウィンドウで“マイコネクション”を選択した場合は、接続エラーウィンドウで [OK] をクリックすると“Live Viewer 3”を終了します。本機の設定を確認し、始めからやり直してください。(図3-18)

## 3.6 接続確認 (つづき)

### ライブモードに設定する

WEB リモコンの [LIVE MODE] ボタンで、または本機のメニュー、付属のリモコンの MY BUTTON (「マイボタン」での登録が必要です) でもライブモードを開始することができます。

#### ■ WEB リモコンで設定する

1. 本機と PC をネットワークで接続し、PC で Web ブラウザを起動、ネットワークにログオンしてください (☞3-42)。
2. WEB コントロールのメインメニューで [Remote Control] をクリックし、WEB リモコンを開いてください。
3. [LIVE MODE] ボタンをクリックします (☞3-58)。

#### ■ 本機のメニューから設定する

1. 本機の電源を入れてください (☞1-25)。
2. 詳細メニューを表示させ (☞2-2)、「MIU」メニュー (☞2-34) から「ライブモード」を選択します。

#### ■ 付属のリモコンの MY BUTTON (マイボタン) に登録して操作する

1. 本機の電源を入れて詳細メニューを表示させ、「その他」メニューから (☞2-21) 「マイボタン」を選択 (☞2-23) します。
2. 「ライブモード」を割り当てる MY BUTTON 1 または 2 を ◀ / ▶ ☞ ボタンで選択し、▲ / ▼ ボタンで「ライブモード」を選択します。

ライブモードに設定するには、「ライブモード」を割り当てた MY BUTTON 1 または 2 を押します。

#### お知らせ

- ライブモードに設定すると、自動的に本機の入力信号は MIU に切り替わります。

## 3.7 プロファイル

### プロファイルについて

本機と PC を接続するためのネットワーク設定データを、プロファイルデータとして “Live Viewer 3” に登録することができます。登録後は、リストからプロファイルを選択するだけで、簡単に本機と接続することができます。

同じネットワークを環境で PC を使用する場合に便利です。

### プロファイルの作成

プロファイルの作成・登録は、手動設定方法選択ウィンドウから行います。手動設定方法選択ウィンドウの表示方法については、「3.3 簡単にネットワーク接続」( 3-18)、および「3.5 手動設定」( 3-27) をご参照ください。

プロファイルは 1 つのネットワークアダプタに対して最大 10 個まで作成することができます。

- 1) “プロファイル接続” の下の、[ 新規作成 ] をクリックすると、右のプロファイルの作成ウィンドウが表示されます。  
すでに 10 個のプロファイルが存在する場合は、新しく作成することができません。登録されているプロファイルを削除 ( 3-36) してから作成してください。
- 2) プロファイルとして登録する、本機と PC のネットワーク設定を入力してください。  
入力した設定を一括で消去したい場合は、[ 設定クリア ] をクリックしてください。
- 3) 必要な設定項目を全て入力したら、[ OK ] をクリックしてください。  
正しく作成できれば、手動設定方法選択ウィンドウのプロファイルリストに、作成したプロファイルが表示されます。  
作成を中止する場合は、[ キャンセル ] をクリックしてください。



#### お知らせ

- プロファイルの新規作成後は、一度、プロファイルリストから作成したプロファイルを選択し、プロファイル接続 ( 3-27) で本機と PC が接続できることをご確認ください。
- 本機のワイヤレスネットワークカードを差し替えた場合、また、PC のネットワークアダプタを変更した場合は、プロファイルを再度作成してください。

## 3.7 プロファイル (つづき)

### プロファイルの編集・削除

手動設定方法の選択ウィンドウ (図3-27) からプロファイルの編集・削除を行うことができます。プロファイルを削除する場合は、“プロファイル接続” の下の、プロファイルリストから、削除したいプロファイルを選択し、[削除] をクリックしてください。

プロファイルを編集する場合は、以下の手順に従ってください。

- 1) “プロファイル接続” の下の、プロファイルリストから、編集したいプロファイルを選択し、[編集] をクリックすると、右のプロファイルの編集ウィンドウが表示されます。  
各入力ボックスには現在設定されているネットワーク設定が表示されます。
- 2) ネットワーク設定を編集してください。  
設定されているネットワーク設定を一括で削除したい場合は [設定クリア] ボタンをクリックしてください。
- 3) 変更する設定項目を全て入力したら、[OK] をクリックしてください。  
編集が正しく行われた場合は、手動設定方法選択ウィンドウのプロファイルリストの作成日時が更新されます。  
編集を中止する場合は、[キャンセル] をクリックしてください。



#### お知らせ

- プロファイルの編集後は、一度、プロファイルリストから編集したプロファイルを選択し、プロファイル接続 (図3-27) で本機と PC が接続できることをご確認ください。

### マイコネクション登録

作成したプロファイルを、さらにマイコネクションプロファイルとして登録することができます。特に頻繁に使用するプロファイルをマイコネクションとして登録すると便利です。

マイコネクションの登録は、手動設定方法の選択ウィンドウ (図3-27) から行います。

- 1) “プロファイル接続” の下の、プロファイルリストから、マイコネクションに登録したいプロファイルを選択し、[マイコネクション登録] をクリックすると、右のプロファイルの一覧ウィンドウが表示されます。  
マイコネクション登録されているプロファイルは、チェックボックスがオンになっています。
- 2) 一覧からマイコネクションに登録するプロファイルを1つ選択 (チェックボックスをオン) してください。  
先にマイコネクションに登録されていたプロファイルのチェックボックスがオフされます。
- 3) [OK] をクリックし、ウィンドウを閉じてください。  
登録を中止する場合は、[キャンセル] をクリックしてください。



#### お知らせ

- マイコネクション登録を解除する場合は、プロファイルの一覧で、プロファイルのチェックボックスをオフにして [OK] をクリックしてください。
- プロファイルの一覧には、選択しているネットワークアダプタに関係なく、全てのプロファイルが表示されます。選択していないネットワークアダプタのプロファイルをマイコネクションに登録することも可能です。
- マイコネクションは、接続完了と画面の送信の確認ウィンドウ (図3-32) から登録することができます。

## 3.8 “Live Viewer 3” の操作

ネットワークの接続設定後、PC 画面には“Live Viewer 3”のメインメニューが表示されます。メインメニューは、Easy タイプと Advanced タイプの2種類のメニュータイプを切り替えて使用することができます。起動時は前回終了時のメニュータイプで表示されますが、本機と PC が接続されていない場合は、かならず Advanced タイプで表示されます。

### メインメニュー

#### (1) キャプチャ開始ボタン

本機への PC 画面の送信を開始します。画面の送信を開始すると、停止ボタンに変化します。

#### (2) 停止ボタン

PC 画面の送信を停止します。画面の送信を停止すると、キャプチャ開始ボタンに変化します。

#### (3) 一時停止ボタン

PC 画面の送信を一時停止し、最後に表示されていた PC 画面を本機の投写画面上に残します。ファイル修正など、本機の画面に表示せず、PC 上で作業したい場合などに便利です。

#### (4) 表示モード切替ボタン

表示モードを切り替えます (図3-14)。クリックすると、シングル PC モード、マルチ PC モード 1、2、3、4 への切替ボタン、およびマルチ PC モードのステータスが表示されます。キャプチャ開始/停止ボタンの機能も兼用しています。

#### (5) 接続ボタン

接続方法選択ウィンドウを表示します。(図3-21)

#### (6) オプションボタン

オプションメニューを表示します。(図3-40)

#### (7) インフォメーションボタン

“Live Viewer 3”のバージョン情報を表示します。

#### (8) メニュータイプ切替ボタン

Easy タイプから Advanced タイプへ、Advanced タイプから Easy タイプへ、メインメニューを切り替えます。

#### (9), (10) 終了ボタン

本機との接続を切断し、“Live Viewer 3”を終了します。

#### (11) 最小化ボタン

メインメニューを閉じ、PC のタスクトレイに下のようなアイコンで表示します。本機との接続状態によって、下図のアイコンが表示されます。メインメニューを再表示するには、アイコンをダブルクリックしてください。



接続中



切断中

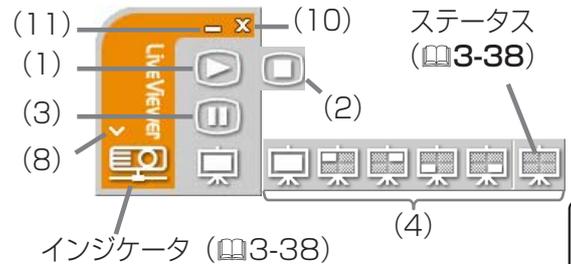


未接続



待機中

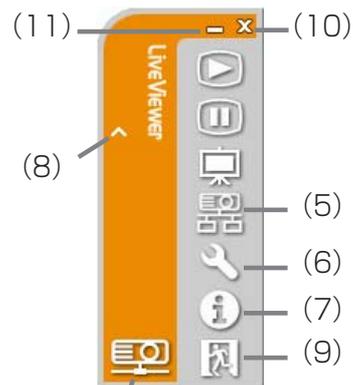
#### Easy タイプ



インジケータ (図3-38)



#### Advanced タイプ



インジケータ (図3-38)

### お知らせ

●キャプチャ開始ボタンと停止ボタンを頻繁にクリックすると、画面が正常に表示されなくなることがありますので、おやめください。

## 3.8 "Live Viewer" の操作 (つづき)

### ステータス表示

#### ■インジケータ

メインメニューのインジケータ (図3-37) で、本機と PC の接続状態を表示します。

インジケータ	ステータス	接続状態
	未接続	本機と PC が未接続です。
	待機中	本機とは接続されていますが、PC 画面を送信していません。
	接続中	本機と接続し、PC 画面を送信中です。 接続処理中はインジケータが点滅します。
	接続中断	本機との接続が切断されました。

#### ■マルチ PC モードのステータス

表示モード切替ボタンのステータス (図3-37) で、本機がマルチ PC モードで使用されている場合の、4分割画面の使用状況を表示します。

ステータス	画面使用状況
	1 台も表示していません
	1 台分の PC 画面を表示
	2 台分の PC 画面を表示
	3 台分の PC 画面を表示
	4 台分の PC 画面を表示

#### お知らせ

- ステータス表示は 3 秒間隔で更新されます。ステータスが取得できない場合は表示されません。
- 接続中にマウスカーソルをインジケータ上に置くと、現在接続しているプロジェクターのプロジェクター名と IP アドレスの設定を確認することができます。また、現在のプレゼンターモードの状態が表示されます。

## 3.8 "Live Viewer" の操作 (つづき)

### 表示モードの切り替え

表示モードのシングル PC モードとマルチ PC モードを切り替えるには、メインメニューの表示モード切替ボタンを使用します。

- 1) メインメニューの表示モード切替ボタンをクリックし、各表示モードへの切替ボタンとマルチ PC モードのステータスを表示させます。



① ② ③ ④ ⑤ (⑥)

- ①シングル PC モードボタン：投射画面全体に表示
- ②マルチ PC モード 1 ボタン：投射画面の左上に表示
- ③マルチ PC モード 2 ボタン：投写画面の右上に表示
- ④マルチ PC モード 3 ボタン：投写画面の左下に表示
- ⑤マルチ PC モード 4 ボタン：投写画面の右下に表示
- (⑥マルチ PC モードのステータス)

- 2) ①～⑤のボタンから表示したいモードをクリックすると、本機の投写画面が、選択した表示モードの画面に切り替わり、PC の画面を送信します。
- 4) メインメニューの、表示モードの切替ボタンが、選択した表示モードのボタンに切り替わります。

#### お知らせ

- “Live Viewer 3” のインストール後最初の起動時、ライブモードはシングル PC モードで表示されますが、2 度目以降は、前回終了するときを選択されていた表示モードで表示されます。
- 使用中の表示モード、表示位置と同じ切替ボタンをクリックすると、画面の送信が停止します。もう一度同じ切替ボタンをクリックすると、画面の送信を再開します。
- マルチ PC モードのどれかを選択すると、本機の投写画面は自動的に 4 分割画面に切り替わります。
- プレゼンターモードをオンにしてシングル PC モードで本機を使用している PC がある場合は、他の PC は表示モード切替ボタンをクリックすることができません。
- マルチ PC モードで別の PC が画面を送信している表示位置を指定した場合は、先に表示されていた PC は本機との接続が切断されます。
- 表示モードは、本機の「MIU」メニュー ( 2-34 ) - 「ライブモード設定」 - 「マルチ PC モード」 ( 2-35 ) から変更できます。

## 3.8 “Live Viewer” の操作 (つづき)

### オプションメニュー

メインメニューのオプションボタン(☰3-37)をクリックすると、オプションメニューが表示されます。

#### (1) “画像転送モード設定”

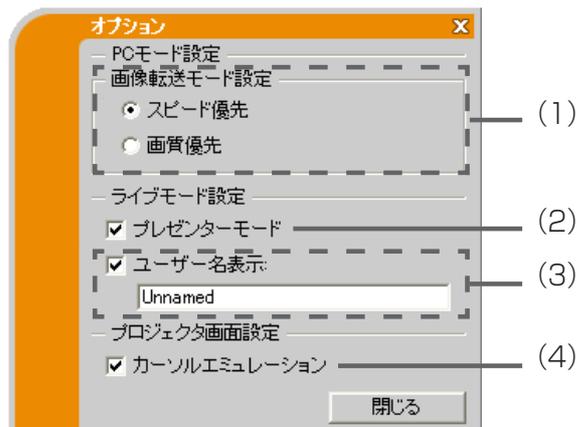
“Live Viewer 3” は、キャプチャした PC 画面を JPEG データとして本機に送信しています。この項目では、JPEG データの圧縮率が異なる以下の2つのモードを切り替えて、画質、あるいは画面の更新速度のどちらを優先するかを選択することができます。

“スピード優先”：

JPEG データの圧縮率を高く設定します。画面の更新間隔を短くできますが、画質はやや劣ります。

“画質優先”：

JPEG データの圧縮率を低く設定します。画質を良くできますが、画面の更新間隔が長くなります。



#### (2) “プレゼンターモード”

“プレゼンターモード” をオン (チェックボックスをオン) にすると、シングル PC モードで本機を使用中、他の PC からの割り込みを防止することができます。初期設定では、オンに設定されています。

#### (3) “ユーザー名表示”

半角英数記号、最大 20 文字の文字列を、使用中の PC の名前をユーザー名として登録し、本機の投射画面に表示させることができます。初期設定では、ユーザー名は “Unnamed” が登録されています。

登録したユーザー名を画面に表示させるには、“ユーザー名表示” のチェックボックスをオンにしてください。

#### (4) “カーソルエミュレーション”

ライブモードでの本機の投射画面に、キャプチャされた PC 画面のカーソル、マウスポインタが表示されないときは、“カーソルエミュレーション” をオン (チェックボックスをオン) にしてください。本機の画面に、カーソル、マウスポインタが二重に表示される場合は、“カーソルエミュレーション” をオフにしてください。

### お知らせ

- マルチ PC モードではプレゼンターモードの設定が無効になります。
- マルチ PC モードからシングル PC モードに切り替えた場合、表示されている PC のプレゼンターモードの設定が反映されます。
- プレゼンターモードを設定した PC 以外に、本機の「MIU」メニュー (☰2-34) - 「ライブモード設定」 - 「プレゼンターモード解除」からプレゼンターモードを解除することができます。
- ユーザー名は、本機の「MIU」メニュー「ライブモード設定」 - 「ユーザー名表示」 (☰2-35) からも表示／非表示を設定できます。

# 4. WEB コントロール 遠隔操作

本機をネットワーク接続すると、ライブモードや PC レスプレゼンテーションの他に、ネットワークを経由した、以下の操作、設定が可能です。

## ■ WEB コントロール

同じネットワークに接続した PC から、Web ブラウザを使って本機を操作、設定できます。  
詳細は、「4.1 WEB コントロール」(📖3-42) をご参照ください。

## ■ 電子メール機能による自動通知

本機がエラーを検出したときやメンテナンスを必要とするとき、指定されたアドレスへ、電子メールで警告メッセージを自動的に送信することができます。  
詳細は、「4.2 電子メール機能による自動通知」(📖3-60) をご参照ください。

## ■ SNMP による自動通知

本機は SNMP (Simple Network Management Protocol) に対応しており、SNMP マネージャを使用してエラー／警告メッセージを受け取ることができます。  
詳細は、「4.3 SNMP による自動通知」(📖3-61) をご参照ください。

## ■ スケジュール設定

起動や画像の表示など、本機の操作を、日時を指定して自動的に実行させることができます。  
詳細は、「4.4 スケジュール設定」(📖3-62) をご参照ください。

## ■ 静止画転送

静止画像をネットワーク経由で本機に転送し、転送し、記録メディアに保存、また、本機の画面に表示させることができます。  
詳細は、「4.5 静止画転送」(📖3-63) をご参照ください。

## ■ RS-232C 通信

ネットワーク経由で RS-232C 通信コマンドを送信し、本機の操作、設定ができます。  
詳細は、「4.6 ネットワークからのコマンド制御」(📖3-64) をご参照ください。

## 4.1 WEB コントロール

本機と PC を同じネットワークに接続すると、Web ブラウザを使用して本機の設定、制御をネットワーク経由で行う、WEB コントロールが可能です。

WEB コントロールには、ネットワークにログオンするための ID とパスワードが必要です。ID には、WEB コントロールの全ての項目を設定・操作できる管理者 ID と、一部の機能のみを操作できるユーザー ID の 2 種類があります。管理者 ID、ユーザー ID、およびパスワードの初期設定は下表の通りです。

ID の種類	ID	パスワード
管理者 ID	Administrator	(初期設定では設定されていません)
ユーザー ID	User	(初期設定では設定されていません)

### お知らせ

- WEB コントロールには、Internet Explorer 5.5 あるいはそれ以降のバージョンが必要です。
- Web ブラウザの設定で、Java スクリプトを有効にしてください。Java スクリプトが無効になっていると、WEB コントロールのウィンドウが正しく表示できないことがあります。Java スクリプトを有効にする方法については、Web ブラウザのヘルプファイルを参照してください
- Web ブラウザの更新プログラムは、すべて適用しておいてください。Windows XP Service Pack 2 以前の Microsoft Windows を使用している PC で、Internet Explorer を使用して WEB コントロールを行う場合は、セキュリティ更新プログラム Q832894 (MS04-004) を必ずインストールしてください。インストールしておかないと、WEB コントロールの画面が正常に表示されないことがあります。また、古いバージョンの Internet Explorer を使用すると、操作開始から 50 秒後に強制的にログアウトする場合があります。

## ログオン

WEB コントロールを行うためには、以下の手順にしたがって、本機と同じネットワーク上にある PC からネットワークにログオンしてください。

- 1) Web ブラウザを起動して、アドレスバーに以下の URL を入力し、[Go] ボタンをクリックしてください。

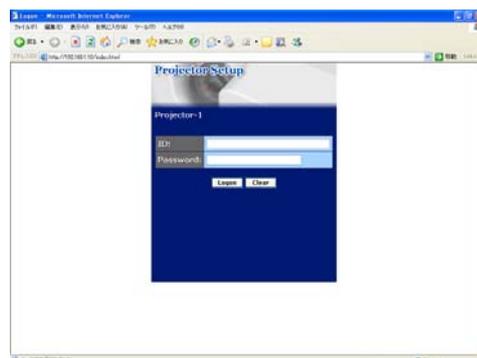
**URL: [http://\(本機の IP アドレス\)/](http://(本機の IP アドレス)/)**

例：本機の IP アドレスが “192.168.1.10” の場合

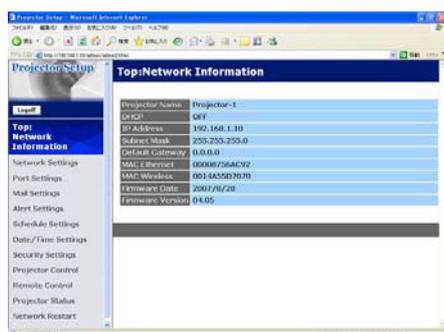
**URL: <http://192.168.1.10/>**

右のログオンウィンドウが表示されます。

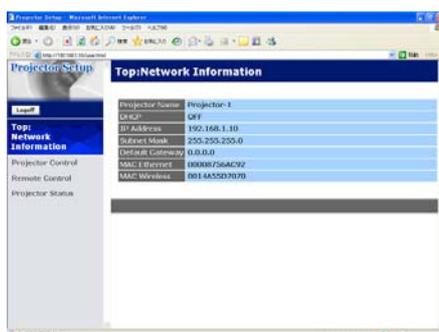
- 2) ID とパスワードを入力して、[Logon] ボタンをクリックします。ログオンが成功すると、ログオンしたときの ID の種類によって、下の、どちらかのウィンドウが表示されます。



ログオンウィンドウ



管理者 ID でログオンした場合



ユーザー ID でログオンした場合

## 4.1 WEB コントロール (つづき)

### WEB コントロールのメインメニュー

ログオンが成功すると表示されるウィンドウの左側には、WEB コントロールのメインメニューが表示されます。表示されるメインメニューの項目数、およびメニュー項目の中の設定項目数は、管理者 ID でログオンしたか、ユーザー ID でログオンしたかによって異なります。

管理者 ID とユーザー ID での、表示・操作できるメインメニューの項目は、下表の通りです。

メインメニュー項目	説明	管理者 ID	ユーザー ID
Network Information	本機の現在のネットワーク設定を表示します。	○	△
Network Settings	ネットワーク接続の設定を行います。	○	×
Port Settings	通信ポートの設定を行います。	○	×
Mail Settings	電子メール機能の設定を行います。	○	×
Alert Settings	エラー／警告の自動通知を設定します。	○	×
Schedule Settings	スケジュールの設定を行います。	○	×
Date/Time Settings	日時の設定を行います。	○	×
Security Settings	セキュリティの設定を行います。	○	×
Projector Control	本機を遠隔操作します。	○	△
Remote Control	WEB リモコン 本機付属のリモコンのイメージで本機を操作します。	○	○
Projector Status	現在の本機の状態を表示します。	○	○
Network Restart	本機のネットワーク接続を再起動します。	○	×

○：表示

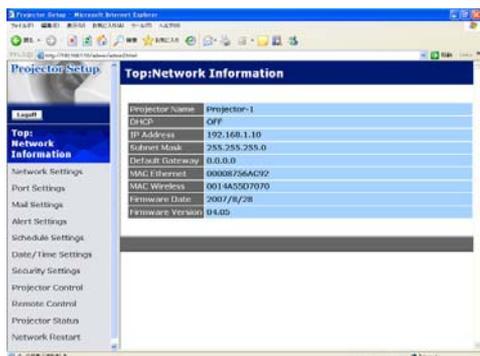
△：表示、但し一部の設定項目が非表示

×：非表示

次項以降、メインメニューの操作と項目を説明します。

## 4.1 WEB コントロール (つづき)

### Network Information (ネットワークの設定情報)



メインメニューの [Network Information] をクリックすると、左のウィンドウが表示されます。  
“Network Information” では、本機の現在のネットワークの設定を表示します。

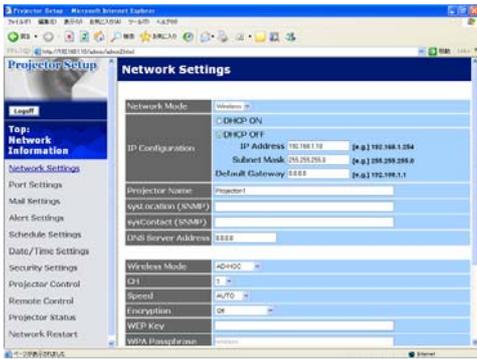
項目	説明
Projector Name	本機に登録されたプロジェクター名です。
DHCP	本機の DHCP 設定です。
IP Address	本機の IP アドレスです。
Subnet Mask	本機のサブネットマスクです。
Default Gateway	本機のデフォルトゲートウェイです。
MAC Ethernet	有線 LAN の MAC アドレスです。
MAC Wireless	無線 LAN の MAC アドレスです。
Firmware Date	ネットワークファームウェアのタイムスタンプを表示します。
Firmware Version	ネットワークファームウェアのバージョンを表示します。

#### お知らせ

- 上のウィンドウは、管理者 ID でログオンしたときの例です。
- “MAC Wireless” は、本機のネットワークモードが有線 LAN に設定されているか、ワイヤレスネットワークカードが挿入されていない場合は表示されません。
- “Firmware Date”、“Firmware Version” は、ユーザー ID でログオンした場合、表示されません。

## 4.1 WEB コントロール (つづき)

### Network Settings (ネットワーク設定)



メインメニューの [Network Settings] をクリックすると、左のウィンドウが表示されます。ユーザー ID でログオンした場合、この項目は表示されません。

“Network Settings” では、ネットワーク接続の設定を行います。設定が終わったら [Apply] ボタンをクリックして保存してください。

項目	説明
Network Mode	“Wired” (有線 LAN) または “Wireless” (無線 LAN) のいずれかのネットワークモードを選択します。
IP Configuration	ネットワークの設定を行います。
DHCP ON	DHCP を有効にします。
DHCP OFF	DHCP を無効にします。
IP Address	DHCP を無効にしたときの IP アドレスを設定します。
Subnet Mask	DHCP を無効にしたときのサブネットマスクを設定します。
Default Gateway	DHCP を無効にしたときのデフォルトゲートウェイを設定します。
Projector Name	プロジェクター名を設定します。 半角 64 文字まで設定できます。使用できるのは、半角の、英数字、スペース、および以下の記号のみです。 !#\$%&'()*+,-./:;<=>?@[^_`{ }~
sysLocation (SNMP)	SNMP 使用時に参照する設定場所情報を入力します。 半角英数字で 255 文字まで入力できます。
sysContact (SNMP)	SNMP 使用時に参照する連絡先情報を入力します。 半角英数字で 255 文字まで入力できます。
DNS Server Address	DNS サーバーのアドレスを設定します。

## 4.1 WEB コントロール – Network Settings (ネットワーク設定) (つづき)

項目	説明
Wireless Mode	無線 LAN の接続制御方式を、“AD-HOC” モード、または “Infrastructure” モードから選択します。
CH (Communication channel)	無線 LAN で使用するチャンネル (1 ~ 11) を選択します。
Speed (Communication speed)	無線 LAN の通信速度を設定します。
Encryption	データの暗号方式を設定します。
WEP Key	WEP キーを入力します。 “64bit” の場合は半角 10 文字まで、“128 bit” の場合は半角 26 文字まで入力できます。使用できるのは、半角数字と “a” ~ “f” のアルファベット (大文字小文字不問) のみです。入力文字数が偶数になるように設定してください。入力文字数が奇数の場合、設定は全て 0 にクリアされます。
WPA Passphrase	WPA パスフレーズを入力します。 半角 8 ~ 63 文字で入力します。使用できるのは、半角の、英数字、スペース、および以下の記号のみです。 !#\$%&'()*+,-./:;<=>?@ [ \ ] ^ _ {   } ~
SSID	SSID を選択します。リストにない SSID を使用する場合は、“Custom” を選択し、入力ボックスに使用する SSID を入力してください。半角で 32 文字まで入力できます。使用できるのは、半角の、英数字、スペース、および以下の記号のみです。 !#\$%&'()*+,-./:;<=>?@ [ \ ] ^ _ {   } ~

### お知らせ

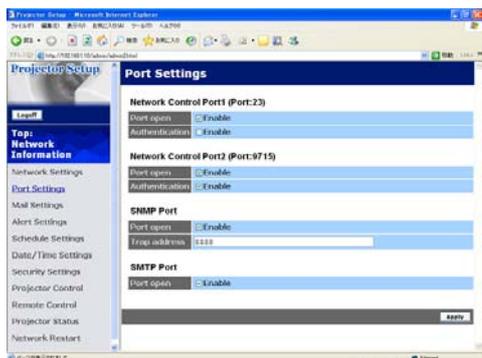
- 新しい設定は、ネットワーク接続を再起動した後に有効になります。設定を変更したら、ネットワーク接続を再起動してください (📖3-59)。
- 本機を既存のネットワークに接続する場合は、事前にネットワーク管理者にご相談ください。
- “WEP Key”、“WPA passphrase” および “SSID” に、使用不可能な文字が使用された場合は、設定できません。

### お守りください

- ワイヤレスネットワークカードは、日本国内でのみ、ご使用になれます。国外に持ち出すと、その国の電波法に抵触する恐れがあります。

## 4.1 WEB コントロール (つづき)

### Port Settings (ポート設定)



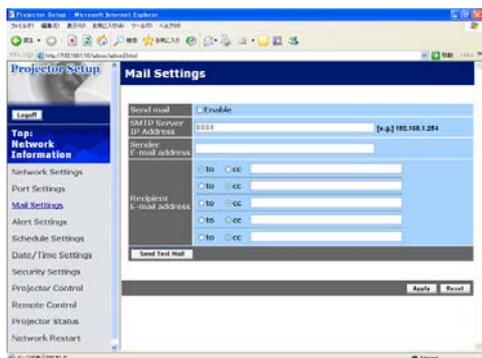
メインメニューの [Port Settings] をクリックすると、左のウィンドウが表示されます。ユーザー ID でログオンした場合、この項目は表示されません。

“Port Settings” では、通信ポートの設定を行います。設定が終わったら [Apply] ボタンをクリックして保存してください。

項目	説明
Network Control Port1 (Port:23)	コマンド制御ポート 1 (TCP #23) を設定します。
Port open	Port:23 を使用するには、 [Enable] チェックボックスをオンにします。
Authentication	このポートで認証を使用する場合は、 [Enable] チェックボックスをオンにします。
Network Control Port2 (Port:9715)	コマンド制御ポート 2 (TCP #9715) を設定します。
Port open	Port:9715 を使用するには、 [Enable] チェックボックスをオンにします。
Authentication	このポートで認証を使用する場合は、 [Enable] チェックボックスをオンにします。
SNMP Port	SNMP ポートを設定します。
Port open	SNMP を使用するには、 [Enable] チェックボックスをオンにします。
Trap address	SNMP トラップの宛先の IP アドレスを設定します。
SMTP Port	SMTP ポートを設定します。
Port open	電子メール機能を使用するには、 [Enable] チェックボックスをオンにします。

## 4.1 WEB コントロール (つづき)

### Mail Settings (メール設定)



メインメニューの [Mail Settings] をクリックすると、左のウィンドウが表示されます。ユーザー ID でログオンした場合、この項目は表示されません。

“Mail Settings” では、電子メール機能の設定を行います。設定が終わったら [Apply] ボタンをクリックして保存してください。

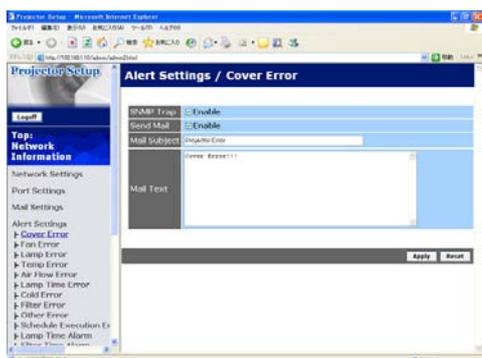
項目	説明
Send mail	電子メール機能を使用するには、[Enable] チェックボックスをオンにします。電子メールの送信条件を [Alert Settings] フィールドで設定します。
SMTP Server IP Address	メールサーバーの IP アドレスを設定します。 ネットワークの設定に有効な DNS サーバーがある場合、IP アドレスだけでなく、ドメイン名も利用できます。 ホストまたはドメイン名は最大 255 文字まで入力することができます。
Sender E-mail address	送信者の電子メールアドレスを設定します。 送信者の電子メールアドレスの長さは、半角で 255 文字まで入ります。
Recipient E-mail address	受信者（最大 5 名）の電子メールアドレスを設定します。 各アドレスの [TO] または [CC] を指定することもできます。受信者の電子メールアドレスは、半角で 255 文字まで入ります。
Send Test Mail	ボタンをクリックすると、“Recipient E-mail address” で設定したアドレスに、テストメールを送信します。

#### お知らせ

- メール設定が正しく機能するかどうかは、[Send Test Mail] ボタンをクリックして確認できます。[Send Test Mail] ボタンをクリックする前に、“Send mail” の [Enable] チェックボックスをオンにしてください。
- 本機を既存のネットワークに接続する場合は、事前にネットワーク管理者にご相談ください。

## 4.1 WEB コントロール (つづき)

### Alert Settings (自動通知設定)



メインメニューの [Alert Settings] をクリックすると、左のウィンドウが表示されます。ユーザー ID でログオンした場合、この項目は表示されません。

“Alert Settings” では、エラー／警告の自動通知を設定します。[Alert Settings] の下に表示される、各エラー／警告通知項目を選択し、通知の設定を行ってください。

設定が終わったら [Apply] ボタンをクリックして保存してください。

#### ■エラー／警告通知項目

項目	エラー／警告内容
Cover Error	ランプカバーがきちんと固定されていません。
Fan Error	冷却ファンが動作していません。
Lamp Error	ランプが点灯しません。ランプ、および本機内部が高温になっている可能性があります。
Temp Error	本機内部が高温になっている可能性があります。
Air Flow Error	内部の温度が上がっています。エアフィルターが目詰まりしている可能性があります。
Lamp Time Error	ランプの使用時間が交換設定時間を超えました。
Cold Error	本機の内部温度が低すぎる可能性があります。
Filter Error	エアフィルターの使用時間が通知設定時間を超えました。
Other Error	その他のエラーが発生しました。
Schedule Execution Error	設定されたスケジュールを正常に実行できませんでした (☞3-62)。
Lamp Time Alarm	ランプの使用時間が“Alarm Time” の設定時間に達しました。
Filter Time Alarm	エアフィルターの使用時間が“Alarm Time” の設定時間に達しました。
Transition Detector Alarm	状態監視機能が異常を検知しました。状態監視機能については、【応用編】「その他」メニュー (☞2-21) の「セキュリティ」(☞2-27) - 「状態監視」(☞2-30) をご参照ください。
“CHANGE THE LAMP” is displayed.	“ランプを交換して下さい” のメッセージが表示されました。
Cold Start	電源スイッチが入りました。(電源オフ→スタンバイ)
Authentication Failure	未認証の SNMP コミュニティからの SNMP アクセスがありました。

## 4.1 WEB コントロール – Alert Settings (自動通知設定) (つづき)

### ■通知設定

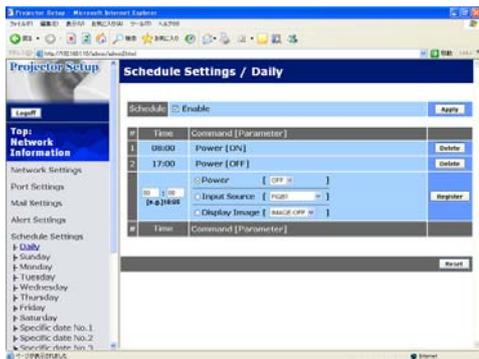
項目	説明
Alarm Time	“Lamp Time Alarm”、または“Filter Time Alarm”を通知する時間を設定します。
SNMP Trap	この項目のSNMPトラップによる自動通知を有効にするには、[Enable] チェックボックスをオンにします。
Send Mail	この項目の電子メール機能による自動通知を有効にするには、[Enable] チェックボックスをオンにします。
Mail Subject	送信する電子メールの件名を設定します。 半角で 255 文字まで設定できます。
Mail Text	送信する電子メールの本文を設定します。 半角で 1024 文字まで設定できます。

### お知らせ

- “Schedule Execution Error” を除くエラーの詳細については、【応用編】「故障かなと思ったら」(📖2-43 ~ 48) をご参照ください。
- “Other Error” が発生した (通知された) 場合は、販売店にご連絡ください。
- “Filter Error” を通知する時間は、「その他」メニュー (📖2-21) の「特別な設定」(📖2-24) – 「フィルター掃除通知」(📖2-25) で設定してください。「フィルター掃除通知」が「無効」に設定されている場合は、このエラーは通知されません。
- “Lamp Time Error” を通知する時間は変更できません。このエラー通知を受け取った場合は、すみやかにランプを交換してください。ランプ交換については、【基本編】「ランプを交換する」(📖1-32, 33) をお読みください。
- “Cold Start” と “Authentication Failure” は、SNMP トラップでの自動通知のみ可能です。

## 4.1 WEB コントロール (つづき)

### Schedule Settings (スケジュール設定)



メインメニューの [Schedule Settings] をクリックすると、左のウィンドウが表示されます。ユーザー ID でログオンした場合、この項目は表示されません。

“Schedule Settings” では、スケジュールの設定を行います。[Schedule Settings] の下に表示される、各スケジュールの日程を選択し、それぞれのスケジュールの日時と実行するイベントを設定してください。

すでに設定されているスケジュールがある場合は、リストに表示されます。設定した新しいイベントを追加するには、[Register]

ボタンをクリックします。イベントを削除するには [Delete] ボタンを、リストに表示されたすべてのイベントを削除するには [Reset] ボタンをクリックします。

設定が終わったら [Apply] ボタンをクリックして保存してください。

#### ■スケジュールの日程

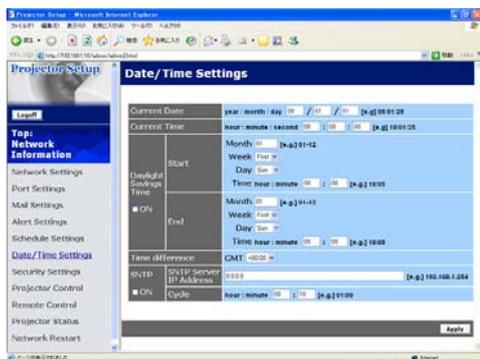
項目	説明
Daily	毎日実行されるスケジュールを設定します。
Sunday	毎週日曜日に実行されるスケジュールを設定します。
Monday	毎週月曜日に実行されるスケジュールを設定します。
Tuesday	毎週火曜日に実行されるスケジュールを設定します。
Wednesday	毎週水曜日に実行されるスケジュールを設定します。
Thursday	毎週木曜日に実行されるスケジュールを設定します。
Friday	毎週金曜日に実行されるスケジュールを設定します。
Saturday	毎週土曜日に実行されるスケジュールを設定します。
Specific date No.1	特定日 (No.1) のスケジュールを設定します。
Specific date No.2	特定日 (No.2) のスケジュールを設定します。
Specific date No.3	特定日 (No.3) のスケジュールを設定します。
Specific date No.4	特定日 (No.4) のスケジュールを設定します。
Specific date No.5	特定日 (No.5) のスケジュールを設定します。

#### ■日時とイベント設定

項目	説明
Schedule	設定したスケジュールを有効にするには、[Enable] チェックボックスをオンにします。
Date(Month/Day)	イベントを実行する日を月 / 日の形式で設定します。 特定日のスケジュールを設定する場合のみ表示されます。
Time	イベントを実行する時間を時 : 分の形式で設定します。
Command [Parameter]	実行するイベントを設定します。
Power	電源の入 / 切を設定します。
Input Source	映像入力信号を設定します。
Display Image	静止画転送機能 ( 3-63 ) で転送した画像を表示します。

## 4.1 WEB コントロール (つづき)

### Date/Time Settings (日付／時刻設定)



メインメニューの [Date/Time Settings] をクリックすると、左のウィンドウが表示されます。ユーザー ID でログオンした場合、この項目は表示されません。

“Date/Time Settings” では、日時の設定を行います。設定が終わったら [Apply] ボタンをクリックして保存してください。

項目	説明
Current Date	年 / 月 / 日の形式で本日の日付を設定します。
Current Time	時 : 分 : 秒の形式で現在時刻を設定します。
Daylight Savings Time	夏時間を有効にするには、[ON] チェックボックスをオンにします。
Start	夏時間を開始する日時を設定します。
Month	夏時間を開始する月 (1 ~ 12) を設定します。
Week	夏時間を開始する日がその月で何週目か (First、2、3、4、Last) を設定します。
Day	夏時間を開始する日の曜日 (Sun、Mon、Tue、Wed、Thu、Fri、Sat) を設定します。
Time	hour 夏時間を開始する“時”(0 ~ 23) を設定します。
minute	夏時間を開始する“分”(0 ~ 59) を設定します。
End	夏時間を終了する日時を設定します。
Month	夏時間を終了する月 (1 ~ 12) を設定します。
Week	夏時間を終了する日が、その月で何週目か (First、2、3、4、Last) を設定します。
Day	夏時間を終了する週単位の曜日 (Sun、Mon、Tue、Wed、Thu、Fri、Sat) を設定します。
Time	hour 夏時間を終了する“時”(0 ~ 23) を設定します。
minute	夏時間を終了する“分”(0 ~ 59) を設定します。

## 4.1 WEB コントロールー Date/Time Settings (日付/時刻設定) (つづき)

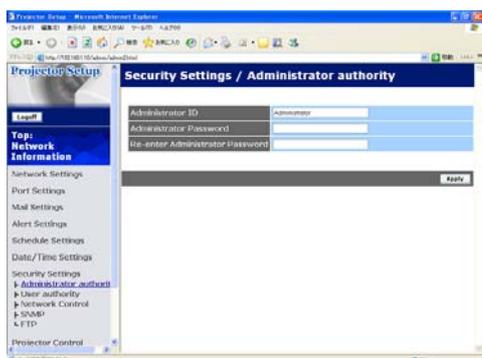
項目	説明
Time difference	グリニッジ標準時に対する時差(時:分)を設定します。 PCの設定と同じ時差を設定してください。不明な場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。
SNTP	SNTP サーバーを使って日時を自動的に設定する場合は、チェックボックスをオンにします。
SNTP Server IP Address	SNTP サーバーの IP アドレスを設定します。
Cycle	SNTP サーバーから日時の情報を受け取る間隔(時:分)を設定します。

### お知らせ

- 本機を既存のネットワークに接続する場合は、事前にネットワーク管理者にご相談ください。
- SNTP 機能を設定する前に、時差を設定してください。
- 本機の SNTP 機能が有効のときは、Time Server から日時の情報を取得し、設定を上書きします。
- 内蔵時計の時間はずれてくる場合があります。正確な時間を維持するためには、SNTP を使用することをお勧めいたします。

## 4.1 WEB コントロール (つづき)

### Security Settings (セキュリティ設定)



メインメニューの [Security Settings] をクリックすると、左のウィンドウが表示されます。ユーザー ID でログオンした場合、この項目は表示されません。

“Security Settings” では、パスワードなどの通信に関わるセキュリティの設定を行います。

設定が終わったら [Apply] ボタンをクリックして保存してください。

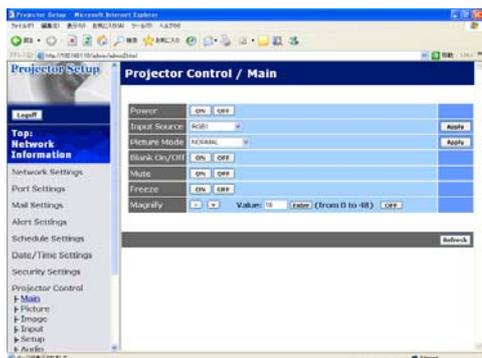
項目	説明
Administrator authority	管理者 ID とパスワードを設定します。
Administrator ID	管理者 ID を設定します。半角英数字で 32 文字まで設定できます。
Administrator Password	管理者パスワードを設定します。半角英数字で 255 文字まで設定できます。
Re-enter Administrator Password	確認のために、上記のパスワードを再入力してください。
User authority	ユーザー ID とパスワードを設定します。
User ID	ユーザー ID を設定します。半角英数字で 32 文字まで設定できます。
User Password	ユーザーパスワードを設定します。半角英数字で 255 文字まで設定できます。
Re-enter User Password	確認のために、上記のパスワードを再入力してください。
Network Control	コマンド制御の認証パスワードを設定します。
Authentication Password	認証パスワードを設定します。半角英数字で 32 文字まで設定できます。
Re-enter Authentication Password	確認のために、上記のパスワードを再入力してください。
SNMP	SNMP 使用時のコミュニティ名を設定します。
Community name	コミュニティ名を設定します。半角英数字で 64 文字まで設定できます。
FTP	FTP で使用するユーザー名とパスワードを設定します。
User	ユーザー名を設定します。半角英数字で 32 文字まで設定できます。
Password	パスワードを設定します。半角英数字で 32 文字まで設定できます。
Re-enter Password	確認のために、上記のパスワードを再入力してください。

#### お知らせ

- “Network Control” で設定したコマンド制御の認証パスワードは、コマンド制御ポート 1、2 (  3-47) で共通となります。

## 4.1 WEB コントロール (つづき)

### Projector Control (プロジェクター制御)



メインメニューの [Projector Control] をクリックすると、左のウィンドウが表示されます。

“Projector Control” では、本機をネットワーク経由で遠隔操作することができます。

“Main” 項目の内容詳細については【基本編】を、“Picture” ~ “Option” 項目の内容詳細については【応用編】をご参照ください。

項目	説明
Main	
Power	本機の電源をオン/オフします。
Input Source	入力信号を切り替えます。 設定を変更したら、[Apply] ボタンをクリックしてください。
Picture Mode	映像モードを選択します。 設定を変更したら、[Apply] ボタンをクリックしてください。
Blank On/Off	ブランク画面の表示/非表示(通常画面)を設定します。
Mute	音声ミュート(消音)のオン/オフを設定します。
Freeze	映像の静止/静止解除を設定します。
Magnify	画面を拡大します。 設定値を変更したら、[Enter] ボタンをクリックしてください。
Picture	設定を変更したら、[Enter] もしくは [Apply] ボタンをクリックしてください。
Brightness	明るさを調節します。
Contrast	コントラストを調節します。
Gamma	画面のガンマ設定を調節します。 [Edit] ボタンをクリックすると、カスタム設定画面を表示します。
Color Temp	画面の色温度設定を調節します。 [Edit] ボタンをクリックすると、カスタム設定画面を表示します。
Color	色の濃さを調節します。
Tint	色あいを調節します。
Sharpness	画質を調節します。
Active Iris	アクティブアイリス(レンズ絞り)の設定を選択します。
MyMemory Save	現在の設定をマイメモリー(1~4)に保存します。
MyMemory Recall	マイメモリー(1~4)に保存された設定をロードします。
Image	設定を変更したら、[Enter] もしくは [Apply] ボタンをクリックしてください。
Aspect	アスペクト(画面の縦横比)を選択します。
Over Scan	画面のオーバースキャンを設定します。
V Position H Position	画面の垂直位置、および水平位置を調節します。
H Phase	画面のクロック位相を調節します。
H Size	画面の水平サイズを調節します。
Auto Adjust Execute	ボタンをクリックすると、画面の自動調整を実行します。

## 4.1 WEB コントロール – Projector Control (プロジェクター制御) (つづき)

項目	説明
Input	設定を変更したら、[Apply] ボタンをクリックしてください。
Progressive	プログレッシブモードを選択します。
Video NR	映像ノイズの低減レベルを選択します。
3D-YCS	3次元YC分離の設定を選択します。
Color Space	色空間モードを選択します。
Component	COMPONENT VIDEO 端子の機能を選択します。
C-Video Format	ビデオ信号のフォーマットを選択します。
S-Video Format	S-ビデオ信号のフォーマットを選択します。
HDMI	HDMI 信号モードを選択します。
Frame Lock-RGB1	RGB1 のフレームロックを有効/無効にします。
Frame Lock-RGB2	RGB2 のフレームロックを有効/無効にします。
Frame Lock-HDMI	HDMI のフレームロックを有効/無効にします。
RGB in-1	RGB1 の SYNC ON G モードを選択します。
RGB in-2	RGB2 の SYNC ON G モードを選択します。
Setup	設定を変更したら、[Enter] もしくは [Apply] ボタンをクリックしてください。
Auto Keystone Execute	ボタンをクリックすると、垂直方向のキーストン(台形歪み)の自動調整を実行します。
Keystone V	垂直方向のキーストンを調節します。
Keystone H	水平方向のキーストンを調節します。
Whisper	ファン速度(標準、または静音)を選択します。
Mirror	画面の反転モードを選択します。
Audio	設定を変更したら、[Apply] ボタンをクリックしてください。
Volume	音量を調節します。
Treble	音声の高音域を調節します。
Bass	音声の低音域を調節します。
SRS WOW	SRS WOW 機能のモードを設定します。
Speaker	内蔵スピーカの音声出力をオン/オフします。
Audio-RGB1	RGB1 と連動する音声入力端子を設定します。
Audio-RGB2	RGB2 と連動する音声入力端子を設定します。
Audio-HDMI	HDMI と連動する音声入力端子を設定します。
Audio-Video	VIDEO と連動する音声入力端子を設定します。
Audio-S-Video	S-VIDEO と連動する音声入力ポートを設定します。
Audio-Component	COMPONENT と連動する音声入力ポートを設定します。
Audio-MIU	MIU と連動する音声入力ポートを設定します。
HDMI Audio	HDMI Audio の設定を選択します。

## 4.1 WEB コントロール – Projector Control (プロジェクター制御) (つづき)

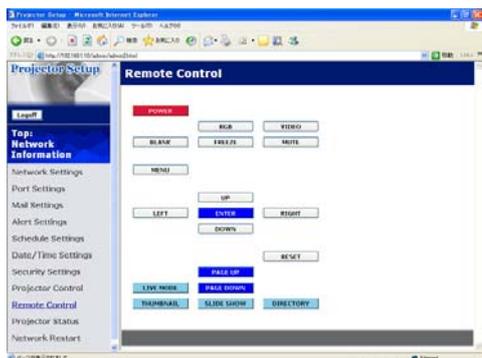
項目	説明
Screen	設定を変更したら、[Enter] もしくは [Apply] ボタンをクリックしてください。
Language	本機のメニューなど、画面の表記言語を選択します。
Menu Position V Menu Position H	メニューの垂直位置、および水平位置を調節します。
Blank	ブランク画面を選択します。
Startup	初期画面を選択します。
MyScreen Lock	マイスクリーンロックをオン/オフします。
Message	メッセージモードを選択します。
Option	設定を変更したら、[Enter] もしくは [Apply] ボタンをクリックしてください。
Auto Search	入力信号の自動検索の有効/無効を設定します。
Auto Keystone	オートキーストン機能の有効/無効を設定します。
Auto on	オートオン機能の有効/無効を設定します。
Auto off	オートオフの実行時間を設定します。
My Button-1	リモコンの My Button 1 に割り付ける機能を選択します。
My Button-2	リモコンの My Button 2 に割り付ける機能を選択します。
Remote Receiv. Front	本機前面のリモコン受光部の有効/無効を設定します。
Remote Receiv. Rear	本機背面のリモコン受光部の有効/無効を設定します。
Remote Receiv. Top	本機上面のリモコン受光部の有効/無効を設定します。
Remote Freq. Normal	リモコン受光周波数“標準”の有効/無効を設定します。
Remote Freq. High	リモコン受光周波数“高”の有効/無効を設定します。
Service	
Quit Presenter Mode	ボタンをクリックすると、プレゼンターモード (☐3-40) を強制終了します。

### お知らせ

- WEB コントロール使用中に、本機のメニューやリモコンで設定を変更した場合、ウィンドウの表示と実際の設定が一致しないことがあります。その場合には [Refresh] ボタンをクリックして本機の設定を再読み込みしてください。
- “Sevice” は、ユーザー ID でログオンした場合、表示されません。

## 4.1 WEB コントロール (つづき)

### Remote Control (WEB リモコン)



メインメニューの [Remote control] をクリックすると、左のウィンドウが表示されます。

“Remote control” (WEB リモコン) では、本機付属のリモコンのイメージで本機を操作できます。

リモコンの各ボタン、および PC レス プレゼンテーションメニューと同様に動作します。

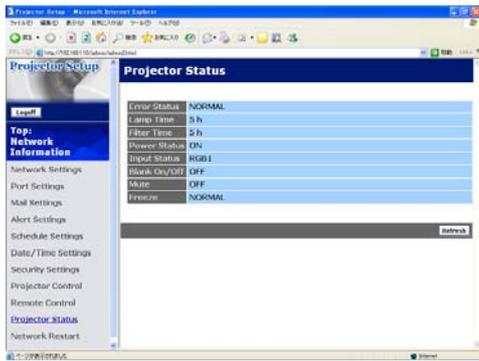
項目	説明
POWER	STANDBY/ON ボタンと同様に動作します。
RGB	RGB ボタンと同様に動作します。
VIDEO	VIDEO ボタンと同様に動作します。
BLANK	BLANK ボタンと同様に動作します。
FREEZE	FREEZE ボタンと同様に動作します。
MUTE	MUTE ボタンと同様に動作します。
MENU	MENU ボタンと同様に動作します。
UP	▲ボタンと同様に動作します。
DOWN	▼ボタンと同様に動作します。
LEFT	◀ ボタンと同様に動作します。
RIGHT	▶ ボタンと同様に動作します。
ENTER	ENTER ボタンと同様に動作します。
RESET	RESET ボタンと同様に動作します。
PAGE UP	PAGE UP ボタンと同様に動作します。
PAGE DOWN	PAGE DOWN ボタンと同様に動作します。
LIVE MODE	本機をライブモードに設定します。
THUMBNAIL	PC レス プレゼンテーションをサムネイルモードで開始します。
SLIDE SHOW	PC レス プレゼンテーションをスライドショーモードで開始します。
DIRECTORY	PC レス プレゼンテーションをディレクトリモードで開始します。

#### お知らせ

- リモコンと WEB リモコンを同時に使用して本機を操作しないでください。同時に使用すると、誤動作するおそれがあります。
- これらのボタンを押したままにしても、コマンドを連続して送ることはできません。押したままにする代わりにボタンを繰り返しクリックする必要があります。
- ボタンを連続してクリックすると、一部のコマンドが正常に送信されないことがあります。少し間をおいて再度クリックしてください。
- [POWER] ボタンをクリックすると、本機の電源を切る確認メッセージが表示されます。[OK] ボタンをクリックして本機の電源を切るか、[CANCEL] ボタンをクリックして元の状態に戻してください。
- WEB リモコンで、簡易マウス/キーボード機能 (1-24) の操作はできません。

## 4.1 WEB コントロール (つづき)

### Projector Status (プロジェクターステータス)

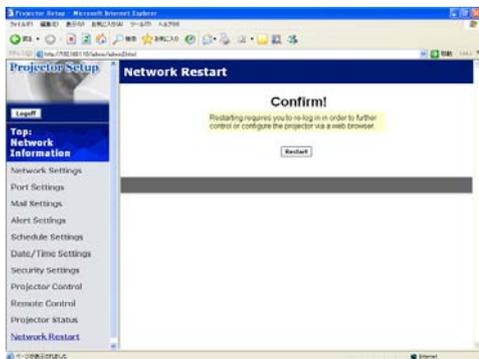


メインメニューの [Projector Status] をクリックすると、左のウィンドウが表示されます。

“Projector Status” では、現在の本機の状態を表示します。

項目	説明
Error Status	現在起きているエラー状態を表示します。
Lamp Time	現在使用中のランプの使用時間を表示します。
Filter Time	現在使用中のエアフィルターの使用時間を表示します。
Power Status	現在の電源状態 (入/切) を表示します。
Input Status	現在選択されている映像入力端子を表示します。
Blank On/Off	ブランク画面の表示/非表示 (通常画面) の状態を表示します。
Mute	現在の音声ミュート (消音) のオン/オフの状態を表示します。
Freeze	現在の映像の静止/静止解除の設定を表示します。

### Network Restart (ネットワークリスタート)



メインメニューの [Network Restart] をクリックすると、左のウィンドウが表示されます。ユーザー ID でログオンした場合、この項目は表示されません。

“Network Restart” では、本機のネットワーク接続を再起動します。

ネットワーク接続を再起動し、新しい設定を有効にするには、[Restart] ボタンをクリックしてください。

#### お知らせ

- ネットワーク接続を再起動した後、再び Web ブラウザで本機を調整、または設定を変更するには、再起動して 10 秒以上経ってから再度ログオンする必要があります。
- DHCP がオンに設定されている場合、ネットワークの再起動後にログオンメニューが表示されます。

### Logoff (ログオフ)

メインメニューの [Logoff] ボタンをクリックすると、ネットワークからログオフし、ログオンウィンドウ (図3-42) が表示されます。

## 4.2 電子メール機能による自動通知

本機のメンテナンスが必要な場合やエラー発生時に、指定のアドレスに、本機からエラー／警告の電子メールを自動送信させることができます。

電子メール機能を使用して、本機のエラー／警告を自動通知するには、以下の手順にしたがって設定を行ってください。

- 1) Web ブラウザから、管理者 ID でネットワークにログオンします (☞3-42)。
- 2) WEB コントロールのメインメニューで [Port Settings] をクリックします。
- 3) “SMTP Port” の “Port open” [Enable] チェックボックスをオンにして SMTP ポートを有効にします (☞3-47)。
- 4) [Apply] ボタンをクリックして、設定を保存します。
- 5) メインメニューで [Mail Settings] をクリックします。
- 6) “Send mail” の [Enable] チェックボックスをオンし、メールサーバーの IP アドレス、送信者／受信者の電子メールアドレスを設定します (☞3-48)。
- 7) [Apply] ボタンをクリックして、設定を保存します。
- 8) 電子メールの設定が正しいことを確認して、[Send Test Mail] ボタンをクリックしてください。メール設定が正しく機能すれば、次のようなメールが、指定されたアドレスに送信されます。  
表題 : Test Mail <プロジェクト名>  
本文 : Send Test Mail  
Date <テスト実施日>  
Time <テスト実施時間>  
IP Address <本機の IP アドレス >  
MAC Address <本機の MAC アドレス >
- 9) メインメニューで [Alert Settings] をクリックします。
- 10) 通知設定する各エラー／警告項目を選択します (☞3-49)。
- 11) “Send Mail” の [Enable] チェックボックスをオンにし、電子メールの件名と本文を入力します。必要に応じて “Alarm Time” も設定します。
- 12) [Apply] ボタンをクリックして、設定を保存します。

エラー／警告メッセージが、次のような形式の電子メールで送信されます。

表題 : <メールの件名> <プロジェクト名>  
本文 : <メールの本文>  
Date <エラー／警告の発生日>  
Time <エラー／警告の発生時間>  
IP Address <本機の IP アドレス>  
MAC Address <本機の MAC アドレス>

### お知らせ

- 最大 5 つの受信電子メールアドレスを設定できます。
- 本機の電源が突然切れた場合は、電子メールを送信できないことがあります。

## 4.3 SNMP による自動通知

SNMP を使えるネットワーク環境であれば、SNMP マネージャを使って本機のエラー／警告の通知を受け取ることができます。

SNMP を使用して、本機のエラー／警告を自動通知するには、以下の手順にしたがって設定を行ってください。

- 1) Web ブラウザから、管理者 ID でネットワークにログオンします (📖3-42)。
- 2) WEB コントロールのメインメニューで [Port Settings] をクリックします。
- 3) “SNMP Port” の “Port open” [Enable] チェックボックスをオンにして SNMP ポートを有効にします。また、SNMP トラップの宛先の IP アドレスを設定します (📖3-47)。
- 4) メインメニューで [Security Settings] をクリックします。
- 5) [SNMP] をクリックして、コミュニティ名を設定します (📖3-54)。  
コミュニティ名は、初期設定では “public” が設定されています。
- 6) メインメニューで [Alert Settings] をクリックします。
- 7) 通知設定する各エラー／警告項目を選択します (📖3-49, 50)。
- 8) “SNMP Trap” の [Enable] チェックボックスをオンにします。
- 9) [Apply] ボタンをクリックして、設定を保存します。

### お知らせ

- SNMP 機能の実行はネットワーク管理者が行うことをお勧めいたします。
- SNMP によって本機を監視できるようにするには、SNMP マネージャが PC にインストールされている必要があります。

## 4.4 スケジュール設定

スケジュール機能を使用して、指定した日時にイベントを自動的に実行させることができます。スケジュールには 3 つの日程があります。

- ・ Daily（毎日）： 指定した操作を指定時刻に毎日実行します。
- ・ Sunday～Saturday（曜日）： 指定した操作を指定曜日の指定時刻に実行します。
- ・ Specific Date（特定日）： 指定した操作を毎年指定日の指定時刻に実行します。

実行できるイベントは、次の 3 種類です。

- ・ 本機の電源入／切
- ・ 映像入力信号の切り替え
- ・ 静止画転送機能（[図3-63](#)）で転送された画像の表示

### ■日付 / 時刻の設定

スケジュールを設定する前に、以下の手順に従って、本機の日付と時刻を設定してください。

- 1) Web ブラウザから、管理者 ID でネットワークにログオンします（[図3-42](#)）。
- 2) WEB コントロールのメインメニューで [Date/Time Settings] をクリックし、日時を設定します。（[図3-52,53](#)）。
- 3) [Apply] ボタンをクリックして、設定を保存します。

### ■スケジュール設定

日時と実行するイベントを、以下の手順にしたがって設定してください。

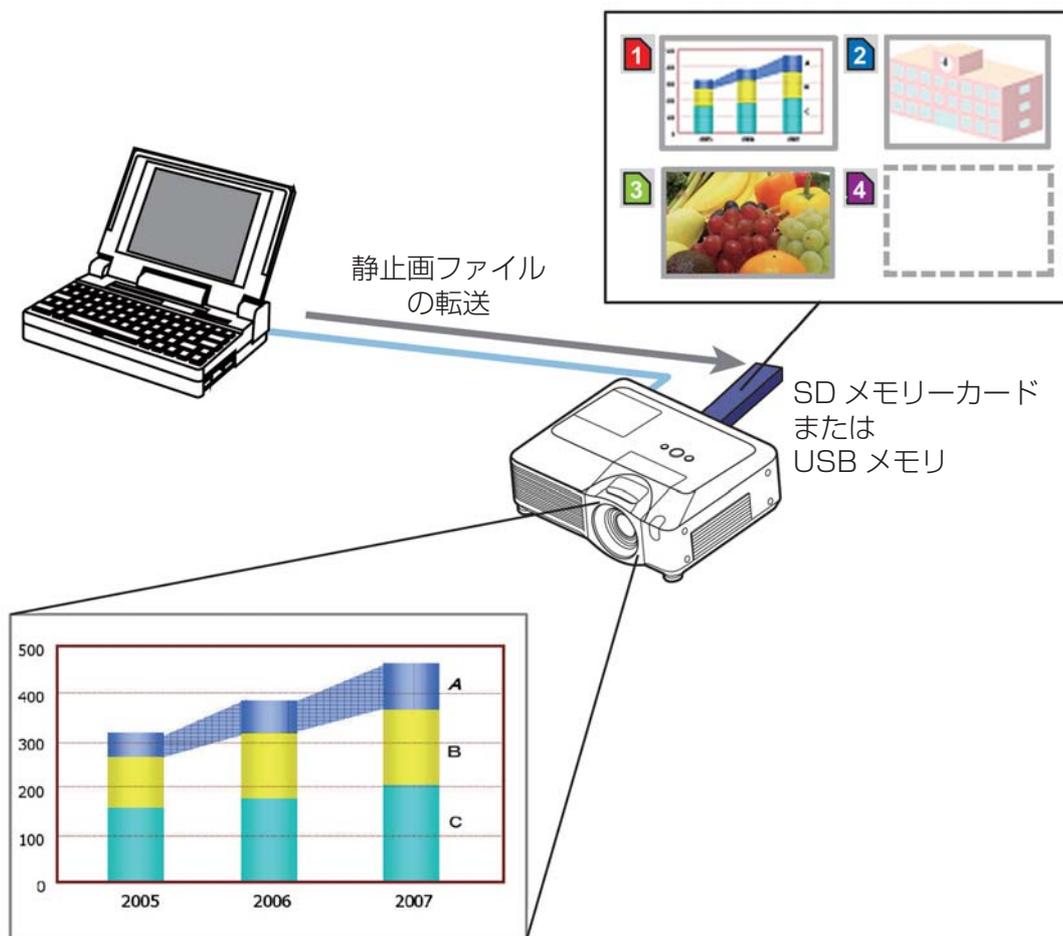
- 1) Web ブラウザから、管理者 ID でネットワークにログオンします（[図3-42](#)）。
- 2) WEB コントロールのメインメニューで [Schedule Settings] をクリックし、設定するスケジュールの日程を選択します（[図3-51](#)）。
- 3) [Enable] チェックボックスをオンにしてスケジュールを有効にします。  
特定日のスケジュールを設定する場合は、日付（月 / 日）を入力します。
- 4) スケジュールを実行する時間、イベントを設定し、[Register] ボタンをクリックします。  
リストに表示されたスケジュールを削除したい場合は、[Delete] ボタンを、リストに表示されたすべてのイベントを削除するには [Reset] ボタンをクリックします。
- 5) [Apply] ボタンをクリックして、設定を保存します。

### お知らせ

- スケジュール設定したイベントの優先順位は、1) 特定日、2) 曜日、3) 毎日の順になります。
- 最大 5 つの特定日をスケジュール設定できます。
- 同日の同時刻に複数のイベントを設定した場合、イベントの番号が小さいほど優先順位が高くなります。（例えば、「Specific date No.1」は、「Specific day No.2」以降より優先順位が高くなります。）ただし、電源を入れるイベントは最後に実行されます。
- 日付と時間が正しく設定されているのに、時刻設定にエラーが生じる場合、内蔵時計用電池が切れている可能性があります。「内蔵時計用電池の交換」（[図1-35](#)）に従って電池を交換してください。
- 内蔵時計の時間はずれてくる場合があります。正確な時間を維持するためには、SNTP を使用することをお勧めします。
- 電源を入れるスケジュール設定が 1 つでも有効になっていると、本機がスタンバイ状態のときに POWER インジケータがおよそ 3 秒間周期で緑色に点滅します。
- スケジュール機能を使用するには、本機がスタンバイ状態（[図2-45](#)）か、電源が入っていない必要ありません。電源スイッチがオフ（「○」側が押されている）になっていたり、ブレーカーが落ちていたりすると、スケジュール機能は動作しません。

## 4.5 静止画転送

静止画像をネットワーク経由で本機に転送し、記録メディアに保存、また、本機の画面に表示させることができます。



静止画転送には、PCに専用のアプリケーションをインストールする必要があります。このアプリケーションはエルモ社ホームページからダウンロードできます。

エルモ社ホームページ URL: [http://www.elmo.co.jp/product/download/driver\\_soft.html](http://www.elmo.co.jp/product/download/driver_soft.html)

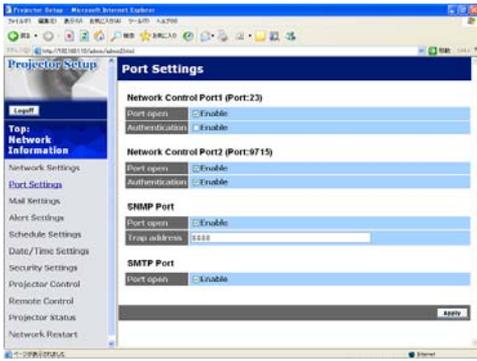
アプリケーションに関する説明はダウンロードしたアプリケーションに付属のマニュアルを参照してください。

転送された画像を表示するには、「MIU」メニュー（[図2-34](#)）の「静止画転送」（[図2-41](#)）を選択してください。

### お知らせ

- JPG、PNG、BMPのファイル形式に対応しています。
- 最大4つの画像ファイルを本機に登録することができます。
- 静止画転送機能で本機に転送した画像は、スケジュール機能を使用して表示することができます（[図3-62](#)）。

## 4.6 ネットワークからのコマンド制御



RS-232C コマンドを使用し、ネットワークから本機を操作、設定することができます。

コマンド制御には、TCP #23 と TCP #9715 の、2 ポートが割り当てられています。

### コマンド制御の設定

ネットワーク経由で本機をコマンド制御するには、以下の手順にしたがって設定を行ってください。

- 1) Web ブラウザから、管理者 ID でネットワークにログオンします (☞3-42)。
- 2) WEB コントロールのメインメニューで [Port Settings] をクリックします。
- 3) TCP #23 のポートを使用する場合は、“Network Control Port1 (Port: 23)” の “Port open” [Enable] チェックボックスをオンにしてコマンド制御ポート 1 を有効にします (☞3-47)。  
このポートの認証が必要なときには、“Authentication” の [Enable] チェックボックスをオンにします。認証が必要ない場合は、チェックボックスをオフにします。
- 4) TCP #9715 のポートを使用する場合は、“Network Control Port2 (Port: 9715)” の “Port open” [Enable] チェックボックスをオンにしてコマンド制御ポート 2 を有効にします (☞3-47)。  
このポートの認証が必要なときには、“Authentication” の [Enable] チェックボックスをオンにします。認証が必要ない場合は、チェックボックスをオフにします。
- 5) [Apply] ボタンをクリックして、設定を保存します。  
認証設定を有効にする場合、下記の設定が必要になります。
- 6) メインメニューで [Security Settings] をクリックします。
- 7) [Network Control] をクリックして、認証パスワードを入力します (☞3-54)。
- 8) [Apply] ボタンをクリックして、設定を保存します。

#### お知らせ

- “Security Settings” で入力した認証パスワードは、コマンド制御ポート 1、2 に共通となります。
- 接続後に 30 秒間通信がなければ、TCP 接続は自動的に切断されます。

## 4.6 ネットワークからのコマンド制御（つづき）

### コマンド形式

通信ポートによってコマンド形式に一部違いがあります。

#### ■ TCP #23

送信データ形式は、RS-232C コマンドと同じものをそのまま使用できます。

応答データ形式は、RS-232C コマンドと同じですが、認証エラーが発生した場合は、以下の応答が返されます。

<認証エラー応答>

応答	エラーコード	
0x1F	0x04	0x00

#### ■ TCP #9715

送信データ形式は、以下のように RS-232C コマンドにヘッダー（0x02）、データ長（0x0D）、チェックサム（1 バイト）、接続 ID（1 バイト）のデータを付加します。

ヘッダー	データ長	RS-232C コマンド	チェックサム	接続 ID
0x02	0x0D	13 バイト	1 バイト	1 バイト

ヘッダー → 0x02、固定  
データ長 → RS-232C コマンドのバイト長（0x0D、固定）  
RS-232C コマンド → RS-232C コマンド、0xBE 0xEF から始まる 13 バイトのコマンド  
チェックサム → ヘッダからチェックサムまでの和の下位 8 ビットが 0 となる値  
接続 ID → 0 ~ 255 のランダムな値（この数値は応答データに付加されます。）

応答データ形式は、RS-232C コマンドに、接続 ID（送信データの接続 ID と同じ）が加わります。

< ACK 応答 >

応答	接続 ID
0x06	1 バイト

< NAK 応答 >

応答	接続 ID
0x15	1 バイト

< エラー応答 >

応答	エラーコード	接続 ID
0x1C	2 バイト	1 バイト

< データ応答 >

応答	データ	接続 ID
0x1D	2 バイト	1 バイト

< ビジー応答 >

応答	ステータスコード	接続 ID
0x1F	2 バイト	1 バイト

< 認証エラー応答 >

応答	認証エラーコード		接続 ID
0x1F	0x04	0x00	1 バイト

## 4.6 ネットワークからのコマンド制御（つづき）

### 認証

本機の認証には MD5（Message Digest 5）というアルゴリズムを使用しています。認証機能を有効にして本機をコマンド制御するには、MD5 アルゴリズムで処理した認証データを、送信コマンドの先頭に追加する必要があります。

認証機能が有効のときに、本機とネットワーク接続すると、本機からはランダムな 8 バイトが返されます。これと認証パスワードを結合して MD5 アルゴリズムで処理したものが、認証データです。

認証パスワードが “password”、ランダムな 8 バイトが “a572f60c” である場合の例です。

- 1) 本機にネットワーク接続し、ランダムな 8 バイト、“a572f60c” を受け取ります。
- 3) ランダムな 8 バイト “a572f60c” と認証パスワード “password” を結合します。  
結合した値は “a572f60cpassword” となります。
- 4) 結合した値 “a572f60cpassword” を MD5 アルゴリズムで処理します。  
結果、“e3d97429adffa11bce1f7275813d4bde” という値を得ます。
- 5) “e3d97429adffa11bce1f7275813d4bde” という値をコマンドの先頭に付加し、“e3d97429adffa11bce1f7275813d4bde” + コマンドというデータを送信します。
- 6) 送信データが正しければ、コマンドが実行されて応答データが返されます。送信データが正しくない場合、認証エラーが返されます。

#### お知らせ

- 2 回目以降、同じ接続をする場合、認証データは省略することができます。

# 5. PC レスプレゼンテーション

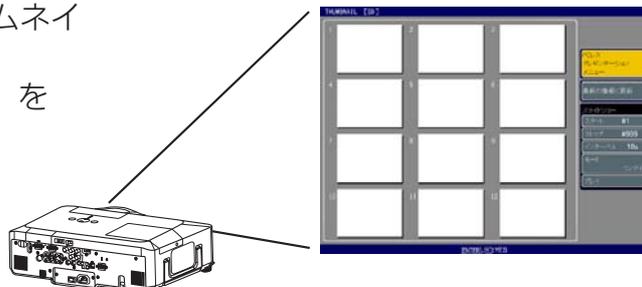
## 5.1 PC レス プレゼンテーションについて

### PC レス プレゼンテーションの表示モード

PC レス プレゼンテーションには以下の 4 つの表示モードがあります。

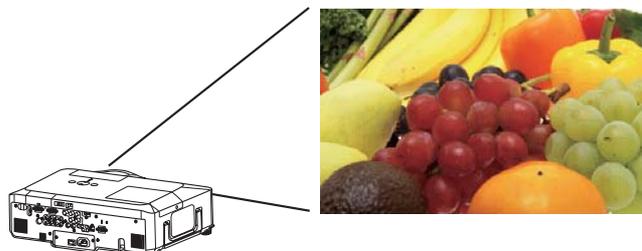
#### ■サムネイルモード

記録メディアに保存された、複数の画像のサムネイル（縮小した画像）を一画面に表示します。  
詳細は、「5.2 サムネイルモード」(P3-70) をご参照ください。



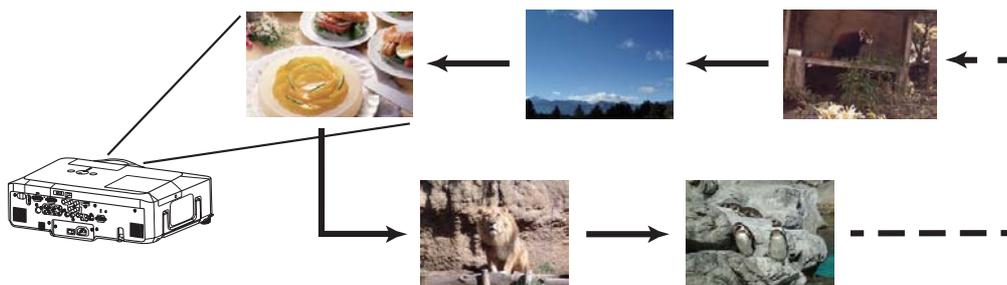
#### ■全画面モード

1 つの画像を画面いっぱいに表示します。  
詳細は、「5.3 全画面モード」(P3-72) をご参照ください。



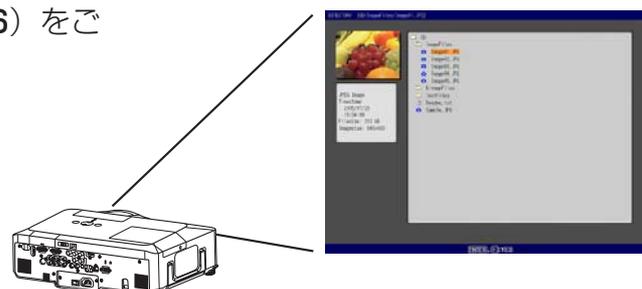
#### ■スライドショーモード

画像を一定間隔で切り替えながら、次々に表示します。  
詳細は、「5.4 スライドショーモード」(P3-74) をご参照ください。



#### ■ディレクトリモード

記録メディアに保存されているディレクトリおよびファイルの一覧をツリー表示します。  
詳細は、「5.5 ディレクトリモード」(P3-76) をご参照ください。



## 5.1 PC レス プレゼンテーションについて（つづき）

### PC レス プレゼンテーションのご利用手順

PC レス プレゼンテーションを開始する前に、画像・映像ファイルを保存した記録メディアを、SD メモリカードならば本機の SD カードスロットに、USB メモリならば AUX I/O ポートに装着し（[図 1-19](#)）、本機の電源スイッチを入れてください（[図 1-13](#)）。

PC レス プレゼンテーションは、WEB リモコン、または本機のメニュー、付属のリモコンの MY BUTTON（「マイボタン」）での登録が必要です）から開始することができます。

#### ■ WEB リモコンで開始する

1. 本機と PC をネットワークで接続し、PC で Web ブラウザを起動、ネットワークにログオンしてください（[図 3-42](#)）。
2. WEB コントロールのメインメニューで [Remote Control] をクリックし、WEB リモコンを開いてください。
3. ご利用になる表示モードに合わせ、サムネイルモードならば [THUMBNAIL]、スライドショーモードならば [SLIDE SHOW]、ディレクトリモードならば [DIRECTORY] の各ボタンをクリックします（[図 3-58](#)）。

#### ■本機のメニューから開始する

1. 本機の電源を入れてください。
2. 詳細メニューを表示させ（[図 2-2](#)）、「MIU」メニュー（[図 2-34](#)）の「PC レス プレゼンテーション」（[図 2-36](#)）から、ご利用になる表示モードに合わせ、「サムネイル」、または「スライドショー」、「ディレクトリ」を選択します。

#### ■付属のリモコンの MY BUTTON（マイボタン）に登録して操作する

1. 本機の電源を入れて詳細メニューを表示させ、「その他」メニューから（[図 2-21](#)）「マイボタン」を選択（[図 2-23](#)）します。
2. PC レス プレゼンテーションの開始を割り当てる MY BUTTON 1 または 2 を ◀/▶ ボタンで選択し、▲/▼ボタンで、ご利用になる表示モードに合わせて「サムネイル」、または「スライドショー」、「ディレクトリ」を選択します。

PC レス プレゼンテーションを開始するには、操作を割り当てた MY BUTTON 1 または 2 を押します。

#### お知らせ

- PC レス プレゼンテーションを開始すると、自動的に本機の入力信号は MIU に切り替わります。
- 全画面モードは、直接 WEB リモコン、本機のメニュー、MY BUTTON から開始することはできません。サムネイルモードかディレクトリモードで目的の画像を選択し、開始してください。

### ⚠ 注意



#### ●アクセス中の記録メディアには触れない

記録メディアは、アクセス中に抜き取らないで下さい。メディア上の LED が点灯/点滅していないことも確認してください。

### お守りください

- SD メモリカードや USB メモリを抜き取る前に、本機の電源を切るか、または本機の「MIU」メニューの「PC レスプレゼンテーション」－「メディア取外し」（[図 2-36](#)）から目的のメディアに合ったメディアの取り外しを実行してください。
- 本機能で使用する画像ファイルは、個人的な目的でのみご使用ください。
- ご使用になるメディアに保存されたデータは、必ずバックアップをおとりください。本機使用中にデータが破損、消失しても、いかなる理由においても保障しません。
- USB メモリ以外の機器を AUX/I/O 端子に接続しないでください。本機および接続した機器の故障の原因となることがあります。

## 5.1 PC レス プレゼンテーションについて (つづき)

### 使用可能な記録メディアとファイル形式

#### ■使用可能な記録メディアの種類

- ・ SD メモリカード : 最大 2GB まで。
- ・ USB メモリ (USB フラッシュメモリ、USB ハードディスク、USB メモリカードリーダー)

#### ■対応する記録メディアのフォーマット

- ・ FAT12 / FAT16(FAT) / FAT32

#### ■表示できるファイル形式

- ・ JPEG(.jpeg, .jpg) : プログレッシブエンコード JPEG は除きます。
- ・ BMP(.bmp) : 16bit、および圧縮形式の BMP は除きます。
- ・ PNG(.png) : インターレース PNG は除きます。
- ・ MPEG4(.mp4) : ビット解像度 1Mbps 以下の Simple Profile に対応しています。解像度は VGA まで、オーディオ形式は AAC にのみ対応しています。

#### お知らせ

- 複数のドライブとして認識される USB メモリ、および USB ハブには対応していません。
- セキュリティ機能付き USB メモリには対応していません。
- USB ハードディスクに AC アダプタが接続できる場合は AC アダプタを接続して使用してください。
- SD メモリカードとワイヤレスネットワークカードを同時に使用する (本機に挿入する) ことはできません。
- SDHC メモリカードには対応していません。
- SD メモリカード、USB メモリの種類によっては、正常に動作しないものがあります。
- NTFS フォーマットのメディアには対応していません。
- PC レス プレゼンテーションに使用するファイル名とディレクトリ名は、以下のように制限されます。
  - (1) 本機の言語設定 (「スクリーン」メニュー (☞2-17) の「表示言語」が日本語に設定されている場合半角英数字および日本語のかな、カナ、漢字以外は使用できません。
  - (2) 本機の言語設定 (「スクリーン」メニューの「表示言語」が日本語以外に設定されている場合半角英数字およびラテン系アルファベット (Latin-1 コード: アルファベットと西ヨーロッパの特殊文字) 以外は使用できません。

## 5.2 サムネイルモード

サムネイルモードを選択すると、サムネイル画面が表示されます。サムネイル画面には、記録メディアに保存された画像ファイルのサムネイルと、その右側にサムネイルメニューが表示されます。また、サムネイル画面からは、全画面モード、およびスライドショーモードに移ることができます。



### サムネイルモードの操作

サムネイルモードは、本機の操作パネル、付属のリモコン、WEB リモコンの各ボタンで以下の操作ができます。

操作ボタン			操作内容
操作パネル	付属のリモコン	WEB リモコン	
▲/▼/◀/▶	▲/▼/◀/▶	[UP] / [DOWN] / [LEFT] / [RIGHT]	カーソルを移動します。
▶	▶	[RIGHT]	サムネイルメニューの項目を実行 / 操作します。
—	PAGE UP PAGE DOWN	[PAGE UP] / [PAGE DOWN]	ページを切り替えます。
INPUT	ENTER	[ENTER]	選択した画像を全画面モードで表示します。
—	MENU	[MENU]	「PCレスプレゼンテーション」メニュー (2-36) を表示します。

#### お知らせ

- 上記の操作は、本機のメニュー表示中は実行できません。
- PCレスプレゼンテーション中に入力信号を切り替える場合は、一旦本機のメニューを表示させてください。

## 5.2 サムネイルモード（つづき）

### サムネイル画像

サムネイル画像は、サムネイル画面 1 ページにつき最大で 12 ファイル表示されます。13 個目以降のファイルは、2 ページ目以降に表示されます。

サムネイル画面に表示される画像ファイルは、メディアの中の、1 つのディレクトリ内にあるファイルのみです。サムネイルモードで PC レス プレゼンテーションを開始した場合は、メディアのルートディレクトリにあるファイルのみが表示されます。ルートディレクトリの中の、他のディレクトリ内のファイルをサムネイル表示したい場合は、ディレクトリモード（[図3-76](#)）で目的のディレクトリを開いてから、サムネイルモードを選択してください。

ファイルに問題があり、画像が読み込めないなどの問題が発生した場合、サムネイルの代わりに以下のエラーアイコンが表示されます。

	ファイルが破損しているか、対応していない形式が使われています。
	ファイルはプレイリスト（ <a href="#">図3-79</a> ）の一覧にありますが、実際のファイルは存在しないか、見つかりません。

### サムネイルメニュー

カーソルがサムネイル画像の右の列にあるときに、さらに▶ボタンを押すと、サムネイルメニューにカーソル（黄色の反転表示）を移動することができます。目的の項目にカーソルを移動し、▶ボタンを押すか、[RIGHT] ボタンをクリックすると、選択された項目を実行または操作することができます。

#### (1) PC レスプレゼンテーションメニュー

PC レスプレゼンテーションメニュー（「MIU」メニュー（[図2-34](#)）－「PC レス プレゼンテーション」（[図2-36](#)）を開きます。

#### (2) 最新の情報に更新

この項目を選択して▶ボタンを押すか、[RIGHT] ボタンをクリックすると、更新操作の確認メッセージが表示されます。そのまま更新を実行すると、プレイリスト（[図3-79](#)）が初期化されるため、サムネイル画面が更新されてスライドショーの設定（[図3-75](#)）、画像の回転（[図3-72](#)）等の設定が元の状態に戻ります。更新を実行するには、ENTER または INPUT ボタンを押す、もしくはクリックします。

#### (3) スライドショー

スライドショーの開始、および表示順序、表示間隔などを設定します。詳細は「5.4 スライドショーモード」（[図3-74](#)）をご参照ください。



#### お知らせ

- 本機の簡単メニュー、あるいは詳細メニューを表示中は、サムネイルメニューは操作できません。

## 5.3 全画面モード

全画面モードは、本機の画面全体に 1 つの画像を表示します。

サムネイルモード、またはディレクトリモードでファイルを選択し、ENTER ボタンまたは INPUT ボタンを押すか、WEB リモコンの [ENTER] をクリックすると全画面モードとなり、フルスクリーンサイズで画像を表示できます。



フルスクリーン表示

全画面表示

### 全画面モードの操作

全画面モードのときは、本機の操作パネル、付属のリモコン、WEB リモコンの各ボタンで以下の操作ができます。

操作ボタン			操作内容
操作パネル	付属のリモコン	WEB リモコン	
▲/▼ または ◀/▶	▲/▼ または ◀/▶	[UP] / [DOWN] または [LEFT] / [RIGHT]	右回り / 左回りで 90 度画像を回転します。 前 / 後の画像を表示します。
INPUT	ENTER	[ENTER]	サムネイルモード、またはディレクトリモードに戻ります。
—	MENU	[MENU]	「PC レス プレゼンテーション」メニュー (☞3-73) を表示します。

#### お知らせ

- ▲/▼または◀/▶、[UP] / 「DOWN」または [LEFT] / [RIGHT] ボタンでの画像の回転と送り操作は、「キー操作設定」(☞3-73) で選択してください。
- 画像を回転させると、プレイリスト (☞3-79) に画像の回転状態が記録され、表示モードを変更しても回転したままになります。画像を元に戻すには、画像を 360 度回転させるか、プレイリストを消去してください。
- 上記の操作は、本機のメニュー表示中は実行できません。
- PC レスプレゼンテーション中に入力信号を切り替える場合は、一旦本機のメニューを表示させてください。
- MP4 ファイルの開始と終了部分の画像は、適切に表示されない場合があります。

## 5.3 全画面モード（つづき）

### 「PC レス プレゼンテーション」メニューでの設定

「PC レス プレゼンテーション」メニューからは、静止画像の表示サイズ、画像の回転と送りのキー操作設定（▲／▼または◀／▶、[UP]／[DOWN] または [LEFT]／[RIGHT] ボタンでの操作設定）を変更することができます。

#### ■静止画像の表示サイズを変更する

1. MENU ボタンを押すか [MENU] ボタンをクリックし、「PC レス プレゼンテーション」メニューを表示させます。
2. ▲／▼、または [UP]／[DOWN] ボタンで「表示サイズ」を選択し、▶ボタンを押すか [RIGHT] ボタンをクリックします。
3. ▲／▼、または [UP]／[DOWN] ボタンでお好みの画像の表示サイズを選択し、▶または [RIGHT] ボタンで決定します。

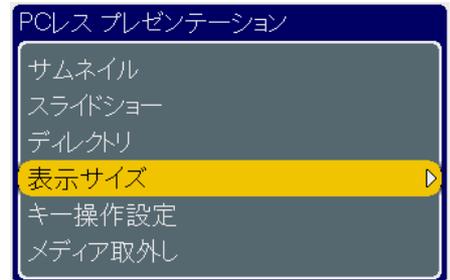
「リアル」：実際（オリジナル）の画像サイズで表示します。

画像のサイズが XGA より小さい場合、画面中央に画像を表示します。画像のサイズが XGA より大きい場合は、画像の中央部分のみを表示します

「ノーマル」：画像のオリジナルのアスペクト比を維持しながら、可能な限りの最大サイズで画像全体を表示します。

「フル」：フルスクリーンサイズで画像を表示します。

画像のアスペクトは、スクリーンのアスペクト（4:3）に変わります。



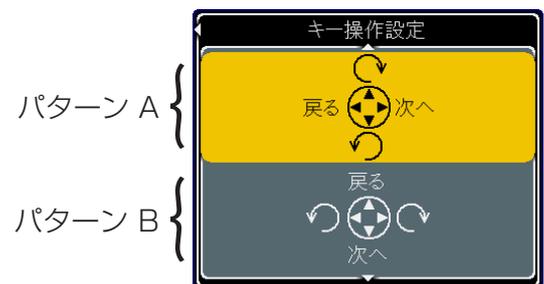
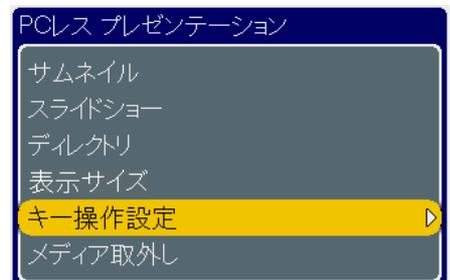
メニュー編

#### ■キー操作設定を変更する

1. MENU ボタンを押すか [MENU] ボタンをクリックし、「PC レス プレゼンテーション」メニューを表示させます。
2. ▲／▼、または [UP]／[DOWN] ボタンで「キー操作設定」を選択し、▶ボタンを押すか [RIGHT] ボタンをクリックします。
3. ▲／▼、または [UP]／[DOWN] ボタンで、使用したいキー設定を選択し、▶または [RIGHT] ボタンで決定します。

パターン A：◀、[LEFT]：前の画像  
▶、[RIGHT]：次の画像  
▲、[UP]：右回転  
▼、[DOWN]：左回転

パターン B：◀、[LEFT]：左回転  
▶、[RIGHT]：右回転  
▲、[UP]：前の画像  
▼、[DOWN]：次の画像



#### お知らせ

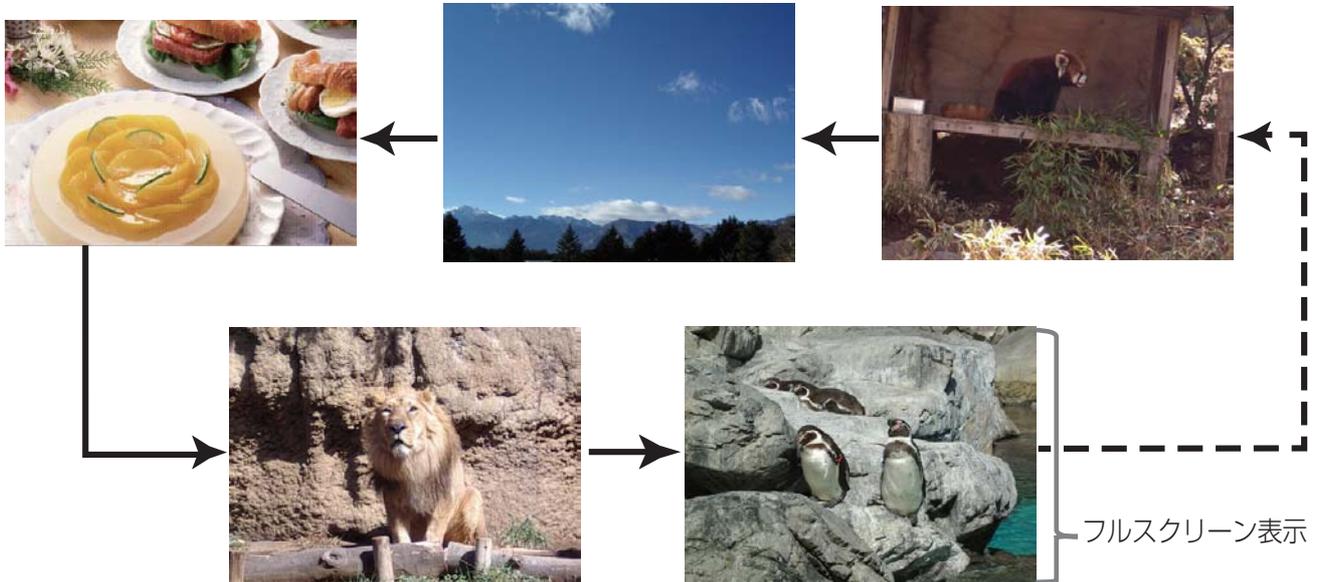
●動画の表示サイズは変更できません。

動画ファイルの解像度が VGA より高い場合は、VGA サイズで再生されます。動画ファイルの解像度が VGA より低い場合は、画面中央で再生されます。

## 5.4 スライドショーモード

スライドショーモードは、1つのディレクトリ内にある画像を、間隔を置いてスクリーン全体に順番に表示します。

スライドショーモードは、WEB リモコン、または本機のメニュー、付属のリモコンのMY BUTTON 以外にも、サムネイル画面のサムネイルメニュー (図3-71) から開始することができます。各画像の表示時間はプレイリスト (図3-79) またはメニューを使って設定できます。



スライドショーモード

### スライドショーモードの操作

スライドショーモードのときは、本機の操作パネル、付属のリモコン、WEB リモコンの各ボタンで以下の操作ができます。

操作ボタン			操作内容
操作パネル	付属のリモコン	WEB リモコン	
INPUT	ENTER	[ENTER]	サムネイルモードに切り替えます。
—	MENU	[MENU]	「PC レス プレゼンテーション」メニュー (図2-36) を表示します。

#### お知らせ

- 上記の操作は、本機のメニュー表示中は実行できません。
- PC レスプレゼンテーション中に入力信号を切り替える場合は、一旦本機のメニューを表示させてください。
- スライドショーモードでは、プレイリスト (図3-79) に記録されている画像が表示されます。ディレクトリにプレイリストがない場合は、プレイリストを作成し、表示できる画像を自動的にプレイリストに登録します。
- 画像がプレイリストに記載されていない場合、サムネイルモード、スライドショーモードでは表示されません。

## 5.4 スライドショーモード（つづき）

### サムネイルメニューでの設定

サムネイル画面のサムネイルメニュー（3-70）からスライドショーの再生オプションを設定できます。

#### (1) スタート #

スライドショーを開始する画像番号を設定します。画像番号は、各サムネイル画像の左上に表示されています。

#### (2) ストップ #

スライドショーを終了する画像番号を設定します。

#### (3) インターバル

スライドショーでの、画像 1 枚あたりの表示時間を設定します。

#### (4) モード

スライドショーの再生モードを選択します。次の 2 種類があります。

ワンタイム：スライドショーを 1 回再生します。

エンドレス：スライドショーの最後の画像を表示すると再び最初に戻ることを繰り返し続けます。

#### (5) プレイ

スライドショーを開始します。



#### お知らせ

- 本機の簡単メニュー、あるいは詳細メニューを表示中は、サムネイルメニューは操作できません。
- 動画の場合はインターバルの設定に関わらず、動画の長さだけ再生します。
- また、画像の保存されているディレクトリの階層が深い、画像ファイルが多い等の場合は設定した時間より数秒長くかかる場合があります。
- サムネイルメニューでの設定は、プレイリスト（3-79）の設定より優先されます。
- 優先順位をリセットするには、“slidemode.txt” ファイルをディレクトリから削除します。
- “モード”を“ワンタイム”に設定すると、ENTER または INPUT ボタンを押すか [ENTER] ボタンをクリックしない限り、スライドショーの最後の画像が表示され続けます。

## 5.5 ディレクトリモード

ディレクトリモードは、記録メディアに保存されているディレクトリとファイルの一覧を、ツリー表示します。

ディレクトリ表示の画面左上には、選択されている画像ファイルのプレビューが表示されます。選択されているのが動画ファイルの場合、動画の最初の画像がプレビューで表示されます。ディレクトリや表示不可能なファイルのプレビューは表示されません。プレビューの下には、選択されているディレクトリやファイルの情報が表示されます。



ディレクトリモード

### ディレクトリモードの操作

ディレクトリモードでは、本機の操作パネル、付属のリモコン、WEB リモコンの各ボタンで以下の操作ができます。

操作ボタン			操作内容
操作パネル	付属のリモコン	WEB リモコン	
▲/▼	▲/▼	[UP] / [DOWN]	カーソルを移動します。
◀	◀	[LEFT]	閉じているディレクトリを開きます。
▶	▶	[RIGHT]	開いているディレクトリを閉じます。
—	PAGE UP PAGE DOWN	[PAGE UP] / [PAGE DOWN]	ディレクトリ表示が 1 画面に収まらない場合に、ページを切り替えます。
INPUT	ENTER	[ENTER]	表示可能なファイルの場合、全画面モードで表示します。ディレクトリの場合、サムネイルモードで表示します。
—	MENU	[MENU]	本機のメニューを表示します。

#### お知らせ

- 上記の操作は、本機のメニュー表示中は実行できません。
- PC レスプレゼンテーション中に入力信号を切り替える場合は、一旦本機のメニューを表示させてください。
- 表示不可能なファイルは、ENTER / INPUT / [ENTER] ボタンでの操作は実行できません。
- 表示できるディレクトリの階層は、メディアのルートディレクトリを含め 10 階層までです（例えば SD メモリカードの中のディレクトリは 9 階層まで）。
- ファイルやディレクトリが多すぎる場合、一部のファイルまたはディレクトリは表示されません。この場合、記録メディアから必要のないファイル、ディレクトリを削除してください。

## 5.5 ディレクトリモード（つづき）

### ファイル情報

ファイル情報として表示されるのは以下の内容です。

#### ■表示可能な画像ファイルの場合

- File format（ファイル形式：JPEG、PNG、BMP）
- Time stamp（ファイルの作成日）
- File size（ファイルのサイズ）
- Image size（ファイルの解像度）

#### ■表示可能な動画ファイルの場合

- File format（ファイル形式：MP4）
- Time stamp（ファイルの作成日）
- File size（ファイルのサイズ）
- Movie size（ファイルの解像度）
- Movie time（再生時間）

#### ■表示不可能なファイルの場合

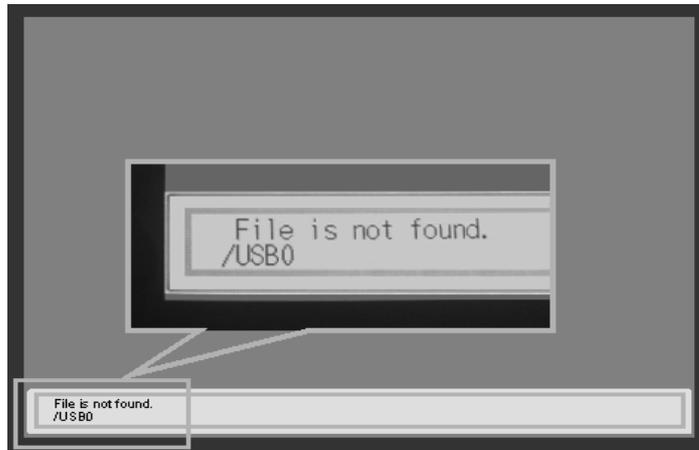
- File format（ファイル形式）
- Time stamp（ファイルの作成日）
- File size（ファイルのサイズ）

#### ■ディレクトリの場合

- File format（Directory）
- Time stamp（ディレクトリの作成日）

## 5.6 PC レス プレゼンテーションエラー

PC レス プレゼンテーション中、画面下部の灰色の部分にエラーメッセージが表示される場合があります。



PC レス プレゼンテーションのエラーメッセージ

表示されるエラーメッセージは、下表の通りです。

エラーメッセージ	エラー内容	表示モード
File not found	表示可能なファイルがありません。	全画面モード、スライドショーモード
Illegal Playlist file	プレイリストファイルに問題があります。 (ファイルサイズが 64KB を超えている、 ファイル内の 1 行が 1022 文字を超えている、 改行コードが異常など)	全画面モード、スライドショーモード

## 5.7 プレイリスト

プレイリストとはサムネイルやスライドショーモードで表示される画像ファイルと、それらの表示される順番などを決める DOS 形式のテキストファイルです。

プレイリストのファイル名は“imagelistdir.txt”です。PC レス プレゼンテーションで、プレイリストファイルが存在しないディレクトリを表示すると、そのディレクトリ用のプレイリストファイルが新しく自動で作成されます。作成される場所は表示しているディレクトリの中です。

プレイリストファイルは PC 上で編集することができます。

プレイリストは 1 ファイルにつき 1 行で記述します。リストの記述の順番、内容は、以下の通りです。

**パス名 / パス名 / … / ファイル名, 表示時間, 回転情報**

### ■パス名 / パス名 / …

画像ファイルの、記録メディア内のパスです。

### ■ファイル名

画像ファイルのファイル名です

### ■表示時間

スライドショーの表示時間です。

0 ~ 999900 (ms) 範囲で記述できますが、実際のスライドショーでは 100ms 単位に丸められます。

### ■回転情報

画像の回転情報です。右回り、90 度単位で記述します。

rot1 が 90 度回転、rot2 は 180 度回転、rot3 は 270 度回転です。回転なしの場合は記述なしか、rot0 を指定します。

表示時間、回転情報は、それぞれカンマ“,”で区切って記述してください。画像を非表示にしたい場合は、そのファイルが記載されている行を削除してください。画像ファイルをメディアに追加して表示したい場合は、ファイル名と保存先のパス名をプレイリストに追加してください。

プレイリストの記述例：

```
images/photo1/img001.jpg  
images/photo1/img002.jpg, 2000  
images/photo1/img003.jpg, 500, rot1  
images/photo1/img004.jpg  
images/photo1/img005.jpg, 500, rot2
```

### お知らせ

- プレイリストは一度作成されたら自動で上書きされません。プレイリストを作成した後で画像を追加保存しても、その画像は表示されません。それを表示させたい場合は保存されていたプレイリストを削除して新しくプレイリストを作り直すか、手動でプレイリストにファイルを追加してください。
- プレイリストの 1 行に書ける文字数は、1022 文字まで（改行コードを含めて 1024 文字まで）です。これを超えるとプレイリストとして無効になり、プレイリストのエラーで表示できなくなります。
- プレイリストの最大サイズは 64kB までです。これを超えると無効になります。
- プレイリストに登録可能な画像ファイル数は最大で 999 です。999 を超える場合は、先頭から 999 個のファイルを利用します。

## 6. 故障かな？と思ったら

問題	考えられる原因	チェック事項	参照頁	
画像が表示されない。	本機の電源が入っていない	本機のランプが点灯していますか？	1-25	
	本機の映像信号の切替が MIU になっていない。	本機が MIU の信号を選択していますか？	1-28	
無線 LAN	通信できない。	ワイヤレスネットワークカードが本機に差し込まれていない、あるいは SD メモリカードが差し込まれた状態になっている。	本機に付属のワイヤレスネットワークカードを SD スロットに差し込んでください。	1-19
		PC および（または）本機のネットワーク設定が正しくない。	SSID と IP アドレスを変更してみてください。	3-12,13 2-37,39
		Windows のコントロールパネルから、PC の無線 LAN 接続設定を変更できない。	PC、または PC でご使用のワイヤレス LAN カードに設定用ユーティリティがある場合は、そちらをご使用ください。設定方法に関しては PC、またはカードのマニュアルをご参照ください。	—
有線 LAN	通信できない。	PC および（または）本機のネットワーク設定が正しくない。	PC と本機の両方のネットワーク設定をチェックしてください。	3-8 ~ 10
		ワイヤレスネットワークカードが本機に差し込まれている。	本機からワイヤレスネットワークカードを抜き取ってください（ワイヤレス / 有線 LAN の両方を同時に使用できません）。	1-19
ライブモード	接続したいプロジェクターがプロジェクターのリストにない。	PC および（または）本機のネットワーク設定が正しくない。	PC と本機の両方のネットワーク設定をチェックしてください。本機の設定を変更した場合は、Web ブラウザの「Network Restart」か、本機の「MIU」メニューの「特別な設定」から「MIU リスタート」を実行するか、または本機の電源スイッチを切って再度入れ直してください。本機をスタンバイ状態にした後に電源を入れ直したただけでは、新しい設定は有効にならないことがあります。	3-44 3-59 2-42
		無線信号が弱い。	・ PC と本機を近づけてください。 ・ 無線波はコンクリートや金属（スチール・ドアなど）を通過しません。	—
	通信できない。	本機がライブモードに設定されていない。	「MIU」メニューをチェックし、ライブモードに設定されていることを確認してください。	2-34 3-34
		WPA-PSK または WPA2-PSK を使用して、「Live Viewer 3」で暗号設定して接続できない。	PC、または PC でご使用のワイヤレス LAN カードに設定用ユーティリティがある場合は、そちらをご使用ください。設定方法に関しては PC、またはカードのマニュアルをご参照ください。	—
	「Live Viewer 3」でネットワークの設定を変更したのに、設定の変更が PC に反映されない。	PC、または PC でご使用のワイヤレス LAN カードに設定用ユーティリティがある場合は、そちらから設定変更してみてください。設定方法に関しては PC、またはカードのマニュアルをご参照ください。	—	

問題		考えられる原因	チェック事項	参照頁
ライブモード (しゅき)	投影像の動きが PC 画像の動きよりも遅い。	本機は PowerPointR アニメーションなどのダイナミック画像をフル速度で中継できない。	キャプチャ性能の優先レベルを上げてみてください。速度が幾分速くなることがあります。	3-40
		画像転送に使用している圧縮率が低すぎる	“Live Viewer 3” の “画像転送モード” を “スピード優先” に設定してみてください。画質が低下しますが、速度を上げるのに役立つことがあります。	3-40
	画像ノイズが多い。	画像転送に使用している圧縮率が高すぎる。	“Live Viewer 3” の “画像転送モード” を “画質優先” 側に設定してみてください。速度が遅くなる場合があります。	3-40
	2つのカーソルが表示される。	PC と本機の両方のカーソルが同時に表示されている。	“Live Viewer 3” の “カーソルエミュレーション” をオフにしてください。	3-40
	カーソルが表示されない。	一部の PC では、“カーソルエミュレーション” を行わないとカーソルが表示されない場合があります。	“Live Viewer 3” の “カーソルエミュレーション” をオンにしてください。	3-40
PCレス	記録メディアを挿入した後、サムネイルモードまたはディレクトリモードに切り替えても、メディアの中身が表示されない。	記録メディアを挿入した後、メディアの情報が更新されていない。	サムネイルモードまたはディレクトリモードを再選択するか、「PCレス プレゼンテーション」メニューを再表示してください。	3-70 3-76
その他 - 本機から PC に正しい (または完全な) 情報が送信されない。 - 本機が応答しない。 - スクリーン上の画像が、PC の画像が変わってしばらくしても変わらない。	本機と PC 間の通信が正常に作動していない。 本機の MIU 機能が正常に作動していない。	「MIU」メニューで「特別な設定」の「MIU リスタート」を実行してみてください。	2-42	

# 7. MIU 仕様

項目	仕様
製品名	液晶プロジェクター
ファイル形式	JPEG、PNG、BMP、MPEG4
制御ソフトウェア	専用の PC アプリケーションおよび Web ブラウザ
対応プロトコル	TCP/IP、DHCP クライアント、HTTP サーバー
ネットワーク	無線 LAN (IEEE802.11g) (AD-HOC モード、および INFRASTRUCTURE モード)
イーサネット	(100Base-TX/10Base-T)
セキュリティ	WEP(64/128bit)、WPA-PSK/PSK2(TKIP/AES)、SSID
PC アプリケーションの動作環境	OS : Windows XP Home Edition/ Professional Windows 2000 Professional Service Pack 4 CPU : Pentium III 600MHz 以上 (推奨) メモリサイズ : 64M バイト以上 128M バイト以上 (XP の場合) グラフィック I/F : DirectX 6.1 以上 ビデオ RAM : 4MB 必要 (8MB 推奨) HDD : 10MB CD-ROM ドライブ Web ブラウザ : Internet Explorer 5.5 またはそれ以降のバージョン
SD カード	SD カード (カードによっては対応していない場合があります。)
ワイヤレスネットワークカード	C-guys SD-Link11g
USB	USB1.0 ホスト : Mass Storage Class SBC/BOT タイプ 以下の USB メモリの読み出し / 書き込みが可能 : - USB フラッシュメモリ - USB カードリーダー - USB ハードディスク (それぞれカード・装置によって対応していない場合があります。)

# 保証とアフターサービスについて(必ずお読みください。)

## 修理を依頼されるときは (出張修理)

(☞2-43) ~ (☞2-48)、(☞3-80) ~ (☞3-81)に従って調べていただき、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

### 保証書

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめください。内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間については保証書をご覧ください。

### ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または弊社サービス機関にお問い合わせください。

### 補修用性能部品保有期間

補修用性能部品の保有期間は、製造打切り後6年です。

### 保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

### 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料修理させていただきます。

### ご連絡していただきたい内容

品名	液晶プロジェクター
本体型名	EDP-XG50
お買上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
梱包材の有無	輸送いただく場合はお買い上げ時の梱包材をお使いください。梱包材が損傷していたり廃棄または紛失した場合はお知らせください。
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

### 修理料金のしくみ

#### 技術料

故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費などが含まれています。

+

#### 部品代

修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合があります。

+

#### 出張料

製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

ご購入店名、ご購入日を記入しておいてください。サービスを依頼されるときに便利です。

ご購入店名	ご購入年月日
電話 ( )	年 月 日

## 長年ご使用のプロジェクターの点検をぜひ！ .....

熱、湿気、ホコリ、煙草の煙などの影響や、使用度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全を損なって事故につながることもあります。

**愛情点検**

**このような症状はありませんか**

- 電源スイッチを入れても映像が出ない。
- 映像が時々、消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像が消えない。
- 内部に水や異物が入った。
- ランプが破裂した。



**ご使用中止**

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずし必ず販売店にご相談ください。

# お問い合わせ先

本社	〒467-8567	名古屋市瑞穂区明前町6番14号	☎(052)811-5131
東京支店	〒108-0073	東京都港区三田3丁目12番16号山光ビル4階	☎(03)3453-6471
名古屋支店	〒467-8567	名古屋市瑞穂区明前町6番14号	☎(052)824-1571
大阪支店	〒540-0039	大阪府中央区東高麗橋2番4号	☎(06)6942-3221
九州支店	〒812-0039	福岡市博多区冷泉町2番8号朝日プラザ祇園2階	☎(092)281-4131
仙台営業所	〒980-0021	仙台市青葉区中央4丁目10番14号エノトセーフビル2階	☎(022)266-3255
広島営業所	〒730-0041	広島市中区小町5番8号ドルチェ2階	☎(082)248-4800

製品のお問い合わせは、最寄りの弊社支店または営業所へ

## 商標について：

- ・ **ELMO** は株式会社エルモ社の商標です。
- ・ VGA および XGA は International Business Machines Corporation の登録商標です。
- ・ Apple および Mac は Apple Computer, Inc. の登録商標です。
- ・ VESA および SVGA は Video Electronics Standard Association の商標です。
- ・ Windows および Internet Explorer は Microsoft Corporation の商標または登録商標です。
- ・ その他の社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

- ・ **SRS WOW** は SRS Labs, Inc. の商標です。

WOW 技術は SRS Labs, Inc. からのライセンスに基づき製品化されています。

## 【保証規定】

- 保証期間内においても次の場合には有料修理となります。
  - 本証書のご提示がない場合。
  - 本証書の所定事項の未記入あるいは字句を訂正された場合。
  - 輸送および移動時の落下、衝撃等お取り扱いが適正でないために生じた故障または損傷の場合。
  - 本製品の説明書記載方法および注意事項に反するお取り扱いによって生じた故障の場合。
  - 火災、地震、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）による故障または損傷の場合。
  - 本製品に接続している当社指定の機器以外の機器に起因して、本製品に故障が生じた場合。
  - 本製品には異常がなく、本製品と接続およびセットで使用される他の部分の不良を点検もしくは改善した場合。
- 出張に要する実費を申し受けます。また、対象商品を直接メーカーへ送付された場合の送料等はおお客様の負担となります。
- ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- 本製品がご贈答品等あるいはご転居後に修理を依頼される場合は、本保証書に記載された販売店にご相談ください。
- 光学部品（ランプ、液晶パネル、偏光板、PBS、コントラストアップフィルム）および冷却ファンは寿命部品です。
- 指定以外のランプや部品が使用された場合は、保証の対象となりません。
- 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保存してください。（コピーでの使用はできません。）

修理メモ

- ※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店又は取扱説明書に記載された当社サービス機関にお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、取扱説明書をご覧ください。

きりとり線

# エルモ液晶プロジェクター保証書

**ELMO**

お客様用

品名	エルモ液晶プロジェクター		形名	EDP-XG50	製造番号 (保証書No)	
	お客様様	フリガナ	保 証 期 間	お買い上げ日 年 月 日より 本 体…………… 1 年間 ランプ…………… 6 ヶ月又は使用時間500時間のどちらか短い期間 ランプ以外の寿命部品(裏面参照) …………… 1 年間又は使用時間1000時間のどちらか短い期間		
お名前		フリガナ		〒	電話	( ) -
販売店	ご住所			〒	電話	( ) -
	社名			(担当者名)		
	住所			〒	電話	( ) -

保証期間内に正常なご使用状態のもとで、万一故障した場合は本書記載内容にもとづき、無料修理いたします。  
お買い上げの販売店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用して頂く場合がございますので、ご了承下さい。  
本書は日本国内においてのみ有効です。— This warranty is valid only in Japan. — <裏面をご覧ください。>

**ELMO 株式会社 エルモ社**

〒467-8567 名古屋市瑞穂区明前町 6 番 14 号 TEL(052)811-5131

きりとり線



この取扱説明書の印刷には、植物性大豆インクを使用しています。  
この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。



QR74921

RO-Cx  
Printed in Japan